



# Lモード 対応

Dナンバー・ディスプレイ対応

ISDN コードレスホン

# W-1200LP

## 取扱説明書

このたびは、ISDNコードレスホンW-1200LPをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品  
W-1200P-M

基礎知識編

電話編

Lモード編

付録

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

## 本書中のマーク説明

 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 <b>お願い</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
 <b>お知らせ</b>	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 <b>ワンポイント</b>	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

## ご使用にあたってのお願い

本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、「機器使用料金」は不要となります。

本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信や録音などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。

本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。

本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

操作早見表をご使用の際は、必ず取扱説明書をよくお読みになり、ご理解いただいたうえでお使いください。

## ⚠ 危険

お使いになる前に

充電は、コードレス電話機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

電池パックは、赤（プラス）・黒（マイナス）の向きが決められています。コードレス電話機に接続するときは、赤・黒の向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

この電池パックは、W-1200LPに付属のコードレス電話機専用です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

- 火の中に投入したり、加熱しない。
- 直接はんだ付けしない。
- 赤（プラス）・黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない。
- 電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードを挟まない。
- 外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷をつけない。
- 水や海水につけたり、ぬらさない。

電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

## ⚠ 警告

お使いになる前に

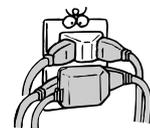
電源アダプタは、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



お客様がご用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続してお使いにならないでください。

充電器および電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

## 警告

お使いになる前に

本商品を分解、改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。また、改造は法律で禁じられています。



電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタをコンセントから抜いて点検・清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。

## 警告

お使いのとき

ぬれた手で主電話機を操作したり、ぬれた手で電池パックを交換しないでください。感電の原因となることがあります。



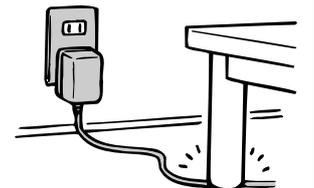
ぬれた手で電源アダプタと電話機コードを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



本商品のそばに水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品その他の容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



電源アダプタコードおよび電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコード等が破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタコードや電話機コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。



電源アダプタコードや電話機コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ、電話機コードを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。主電話機は電源アダプタと電話機コードをコンセントから抜いて、コードレス電話機は直ちに充電をやめ、充電器の電源アダプタをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または内部に異物や水などが入った場合は、主電話機は電源アダプタと電話機コードをコンセントから抜いて、コードレス電話機は直ちに充電をやめ、充電器の電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

コードレス電話機をねじったり、重い物をのせたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。



コードレスシステムは、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医用機器に影響を与え、事故の原因になります。

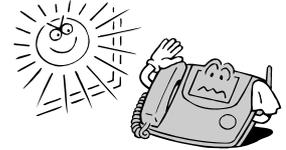
## ⚠ 注意

### お使いになる前に

主電話機および充電器を壁に取り付けるときは、電話機の重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。重みでネジが抜けて、けが・破損の原因となることがあります。

電池パックの充電温度範囲は5 ~ 35 です。この温度範囲外で充電すると、液もれや発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がリ、火災の原因となることがあります。



調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



主電話機および充電器底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

## ⚠ 注意

### お使いのとき

本商品や電源アダプタコード、電話機コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタや電話機コードをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタやコネクタを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



充電器の上に指輪などの金属類を置かないでください。金属が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。



近くに雷が発生したときは、電源アダプタをコンセントから抜いてご使用をお控えください。落雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。



長期不在時は、安全のため必ず主電話機の電源アダプタおよび充電器の電源アダプタをコンセントから抜いてください。

電話機や充電器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊したりしてけがの原因となることがあります。

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

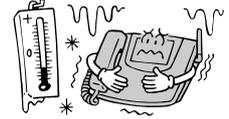
STOP

お願い

## 置き場所について

故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。

- 製氷倉庫など特に温度が下がる場所
- 塵・ほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所



金属製家具などの近くは避けてください。電波が飛びにくくなります。

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクス、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く雑音大きいときは、主電話機の設置場所を移動してみてください。電波が強すぎる場合はコードレス電話機が使用できないことがあります。

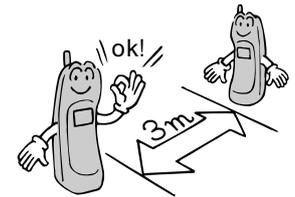


周囲の環境（壁、家具など）によって使用範囲が狭くなります。

- 主電話機とコードレス電話機間で内線通話をして、電波の強さを確認し通話できる範囲を確かめてください。

本商品を設置するときは、以下の点に留意してください。

- 主電話機とコードレス電話機、コードレス電話機どうしも3 m以上離してご使用ください。
- INS64回線2本に、それぞれコードレスホンを1セットずつ接続して使用する場合は、距離を十分に取って使用できる位置を確認してからお使いください。
- 他のターミナルアダプタに本商品を接続しないでください。誤作動の原因となります。



主電話機のアンテナは床面に対して垂直に立ててください。

- 準備のあと、主電話機とコードレス電話機間で内線通話をして雑音の入らない場所かどうかを確かめてから設置してください。

硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなる場合があります。

コードレス電話機を汚れやすいところに置かないでください。

STOP

お願い

お使いのとき

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください（電話機等の変色や変形の原因となることがあります）。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

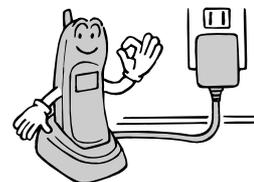


落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



主電話機および充電器の電源アダプタを抜いたままにしないでください。

- 留守番機能やコードレス電話機、ドアホンが使えません。
- コードレス電話機が充電できません。
- コードレス電話機のクイック通話が設定されている場合、充電中に充電器の電源アダプタが外れるとコードレス電話機はお話し中の状態となります。
- INSナンバー・ディスプレイ/INSメッセージ到着お知らせサービスを利用した機能が使えません。
- アナログ通信機器やワイヤレスパソコンアダプタ、ワイヤレスモデムアダプタAが使用できません。



停電のときは、主電話機を使用してください。コードレス電話機は使用できません。（☛P182）



コードレス電話機は以下のような使用はできません。

- 浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
- 水道水などの流水に直接当てないでください。
- 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
- ぬれたまま、0 以下になる場所に放置しないでください。
- 受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
- コードレス電話機に水滴が付いた状態で、充電器に戻さないでください。



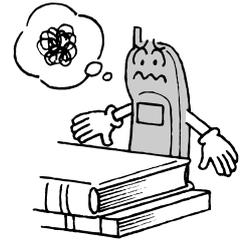
# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

**STOP** お願い

お使いのとき

ハンズフリーでお話しのとき、以下の点に注意してください。

- マイクの前には、ものなどを置かないでください。また、マイクとの距離は50 cm以内を目安としてお話しください。
- マイクを手で覆わないでください。「ピー」と鳴ることがあります。
- 以下のような場合、スピーカからの音が途切れることがあります。
  - ・外の相手の方のお話しが終わらないうちに、こちらから話しかけたとき
  - ・外の相手の方と同時に話し始めたとき
  - ・周囲の騒音が大きい場所に置いたとき



内線の音声呼び出しに回答しているとき、以下の点に注意してください。

- マイクの前には、ものなどを置かないでください。また、マイクとの距離は50 cm以内を目安としてお話しください。
- マイクを手で覆わないでください。「ピー」と鳴ることがあります。

コードレス電話機をお使いのとき、以下の点に注意してください。

- コードレス電話機どうしの内線通話のあとは、他のコードレス電話機が使用できるまでに、しばらく時間がかかることがあります。
- 外線通話、内線通話のあと、すぐに次の操作を行っても、受け付けないことがあります。

トラックや車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。



本商品は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点に十分配慮してご使用ください。

INSナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

# 目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
サービスガイド	12
この取扱説明書の読み進めかた	14

## 基礎知識編

### 1 お使いになる前に

セットを確認してください	17
各部の名前(主電話機)	18
各部の名前(コードレス電話機「LP1」)	22
各部の名前(コードレス電話機「P6」)	25
主電話機を接続します	28
コードレス電話機の準備	30
日付・時刻の設定	33

## 電話編

### 1 電話をかける / 受ける

主電話機で電話をかけるには(発信)	34
ハンドセットを取りあげてかける	34
ハンドセットを置いたままかける (ハンズフリー通話)	34
コードレス電話機で電話をかけるには(発信)	36
手に持ってかける(クイック通話)	36
ハンズフリーでかける(ハンズフリー通話)	36
電話がかかってきたときは(着信)	38
主電話機で受ける	38
コードレス電話機で受ける	40
相手の方に待っていただくには(保留)	42
主電話機で保留にする	42
コードレス電話機で保留にする	42
同じ相手の方にかかけ直すには(再ダイヤル)	43
主電話機からかける	43
コードレス電話機「LP1」からかける	43
コードレス電話機「P6」からかける	44
電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルに登録するには	45
主電話機で登録する	45
コードレス電話機「LP1」で登録する	46
コードレス電話機「P6」で登録する	48
電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルを修正するには	50
主電話機で修正する	50
コードレス電話機「LP1」で修正する	50

コードレス電話機「P6」で修正する	51
簡単ダイヤルでかけるには(簡単ダイヤル)	52
主電話機からかける	52
コードレス電話機「LP1」からかける	53
コードレス電話機「P6」からかける	53
電話帳ダイヤルでかけるには(電話帳ダイヤル)	54
主電話機からかける	54
コードレス電話機「LP1」からかける	55
コードレス電話機「P6」からかける	56
文字を入力するには	57
主電話機で入力する	57
コードレス電話機「LP1」で入力する	58
コードレス電話機「P6」で入力する	59

### 2 内線電話として使う

他の電話機とお話するには(内線通話)	60
主電話機から呼び出す	60
コードレス電話機から呼び出す	61
電話を取りつぐには(保留転送)	62
主電話機から取りつぐ	62
コードレス電話機から取りつぐ	63

### 3 留守番電話を使う

留守番電話として使うには	64
留守をセット / 解除するには	65
留守をセットする	65
留守を解除する	66
自分の声で応答メッセージを録音するには	67
応答メッセージを録音する	67
応答メッセージを消去する	67
リモコン操作するには	68
暗証番号を登録する	68
外出先から用件を聞く	69

### 4 各種サービス・機能を利用する

発信者番号の通知と表示について	70
発信者番号を通知する(発信者番号通知)	70
一般回線からの電話番号も表示する (INSNUMBER・ディスプレイ)	71
かけてきた相手の方にかかけ直す(蓄積番号発信)	73
i・ナンバーで複数の電話番号を使い分けるには (i・ナンバー)	76
i・ナンバーを設定する	76

# 目次

お話し中にかかってきた電話を受けるには （キャッチ機能）	78
主電話機で受ける	78
コードレス電話機で受ける	78
サブアドレスを指定して特定の機器を呼び出すには （サブアドレス）	79
条件を指定して転送するには （INSボイスワープ）	80
Lモードを利用するには	81
メッセージやメールの到着を知りたいときは （INSメッセージ到着お知らせサービス）	82
ヘルプ機能を利用するには	83
主電話機から利用する	83
コードレス電話機「LP1」から利用する	83
その他の便利な機能を使うには	84

## Lモード編

### 1 Lモードの基礎知識

Lモードをご利用になる前に 必ずお読みください	85
はじめにこの操作を行ってください （端末機器自動設定）	85
こんなことができます	86
おぼえておいてください	86

### 2 Lモードの基本操作

Lモードゲートウェイと接続して 各種サービスを利用する	91
サイトに接続する	91
Lモードゲートウェイの接続を切断する	91
サイト画面上での操作のしかた	92
メールを作成して送信する	95
新規メールを作成して送信する	95
作成したメールを保存する	99
メールを受信する	100
メールを受信して読む	100
メールを読み直す	102
受信メールの内容画面の見かた	103

### 3 Lモードの応用操作

インターネットのホームページを見る （URL入力）	104
------------------------------	-----

URLを入力してホームページに接続する	104
URLの履歴を使って ホームページに接続する	105
お気に入りのサイト/ホームページを 登録する（Bookmark）	106
お気に入りのサイト/ホームページを Bookmarkに登録する	106
Bookmarkを使って サイト/ホームページを見る	106
いつもの操作をより簡単にする（Lワープ）	108
いつも見るサイト/ホームページを Lワープに登録する	108
Lワープを使ってLモード操作を行う	108
ページの内容を保存しておく（画面メモ）	110
気に入ったページを画面メモに登録する	110
画面メモを見る	110
画面メモを削除する	111
表示を更新して最新情報を見る（再読込）	112
画像を1枚ずつ確認する（画像選択表示）	113
待ち受け画面用の画像を用意する （スクリーン設定）	114
サイト/ホームページの画像を スクリーン設定する	114
画面メモの画像をスクリーン設定する	114
画面上の電話番号/ファクス番号/ メールアドレス/URLを利用する	116
表示されている電話番号に 電話をかける（PHONE TO機能）	116
表示されているファクス番号に電話をかけて 内線のファクスに転送する（FAX TO機能）	116
表示されているメールアドレス宛に メールを送る（MAIL TO機能）	117
表示されているURLに接続する （WEB TO機能）	118
着信メロディを受信する	119
着信メロディをダウンロードする	119
送信メール一覧を利用する	120
送信メール一覧を表示する	120
送信メールの内容を確認する	121
宛先を電話帳に登録する	122
保存していた未送信メールを送る	123
送信メールを手直しして使う	124
送信メールを保護/保護解除する	125
送信メールを削除する	126
送信メール一覧を並べ替える（ソート）	127
送信メール一覧の表示方法を切り替える	128

受信メール一覧を利用する	129
受信メール一覧を表示する	129
受信メールの返事を送る（返信メール）	130
受信メールをほかの宛先に転送する （フォワードメール）	132
差出人を電話帳に登録する	133
受信メールを保護／保護解除する	134
受信メールを削除する	135
受信メール一覧を並べ替える（ソート）	136
受信メール一覧の表示方法を切り替える	137
独自の定型文を作る	138
定型文を作り変える	138
送信メールに署名を付ける	139
署名を作る	139
署名の貼付を設定する	140
保存されているメールの数を確認する	141
Lモードの設定変更機能／機種変更時に	
便利な機能（L設定）	142
画像データの表示形式を設定する （画像表示設定）	143
センタ番号を確認する	143
電話帳／Bookmarkデータを送信する （データアップロード）	144
無通信監視タイマを設定する	145

## 付録

### 1 Q&A

電話をかける／受ける （主電話機・コードレス電話機）	146
音量を調節するとき（主電話機）	147
音量を調節するとき（コードレス電話機「LP1」）	148
音量を調節するとき（コードレス電話機「P6」）	149
保留／内線通話／保留転送のとき （主電話機・コードレス電話機）	150
その他の機能をお使いのとき （主電話機・コードレス電話機）	151

### 2 登録・設定

主電話機で行う登録・設定	154
「初期設定」から行う登録・設定	154
「ISDN設定」から行う登録・設定	155
「留守設定」から行う登録・設定	157

「電話設定」から行う登録・設定	158
コードレス電話機「LP1」で行う登録・設定	160
「着信メロディ」から行う登録・設定	160
「設定」から行う登録・設定	162
「スクリーン」から行う登録・設定	164
コードレス電話機「P6」で行う登録・設定	165
機能番号一覧	167
主電話機	167
コードレス電話機「LP1」	168
コードレス電話機「P6」	168

## 3 ご参考に

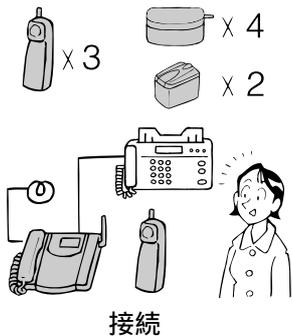
アナログ通信機器を利用するには	169
主電話機の設定	169
ファクスを受信する	170
電話をかける／受ける	171
保留にする／解除する	171
他の電話機を呼び出す（内線通話）	171
他の電話機へ取りつく（保留転送）	171
ワイヤレスパソコンアダプタなどを利用して データ通信を行うには	172
インターネットに接続する	172
外のパソコンとデータ通信を行う	172
パソコンどうして内線データ通信を行う	173
ワイヤレスモデムアダプタAを利用して データ通信を行うには	174
付属品をご利用になるには	175
ドアホンを接続して使うには	176
主電話機でドアホンの呼び出しに応答する	176
コードレス電話機でドアホンの呼び出しに 応答する	176
オプションをご利用になるには	177
電池パックの取り扱い	178
故障かな？と思ったら	179
停電になったときは	182
こんな音がしたら	183
絵文字一覧	184
区点コード表	188
索引	200
操作早見表	205
主電話機	205
コードレス電話機「LP1」	207
コードレス電話機「P6」	208
Lモード関連の操作	209
仕様	211
保守サービスのご案内	211

# サービスガイド

## W-1200LPでできること

### 最大8台までの通信機器を利用できます

本セット(主電話機1台、コードレス電話機1台)のほかに、増設用コードレス電話機( PHS対応電話機も含む )3台、アナログ通信機器(ファクスなど)1台、ワイヤレスパソコンアダプタ(オプション)などPIAFS対応のデータ専用子機4台、ワイヤレスモデムアダプタA(オプション)2台、計10台の中から8台までを利用することができます。

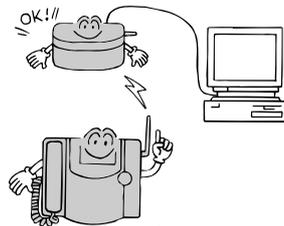


P28

P177

### PIAFSデータ通信をサポートしています

PIAFS対応のワイヤレスパソコンアダプタ(オプション)などに接続したパソコンから、データ通信(PIAFS 32K/64K)ができます。



データ通信を行うときは、ワイヤレスパソコンアダプタに添付の取扱説明書を参照してください。その他、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

データ通信

P172

### アナログ通信機器を接続できます

お手持ちのG3ファクスなどを接続して、ご利用になれます。



アナログ通信機器

P169

### Lモード対応コードレス電話機を接続できます

Lモード(電話機でメールのやりとりや、各種情報の閲覧ができるサービス)に対応したコードレス電話機を接続することができます。

Lモード

P81

P85

### いろいろな機能をディスプレイを見ながら簡単操作

主電話機では、いろいろな機能をディスプレイに表示される案内を見ながら簡単に操作できます。また、コードレス電話機でも電話機の状態をディスプレイの表示で確認することができます。

ディスプレイ表示

P21

P24

P27

### 名前と電話番号を登録できます

主電話機では最大200件、Lモード対応のコードレス電話機「LP1」では最大300件、コードレス電話機「P6」では最大100件までの名前と電話番号を登録でき、簡単な操作で電話帳ダイヤルをかけることができます。名前は漢字で登録できます。

P45

### 手放してお話できます

外の相手の方とは、ハンドセットまたはコードレス電話機を置いたままでお話することができます。

ハンズフリー通話

P34

P36

### 内線の呼び出しに手放して応答できます

内線電話機から呼び出されたときに、主電話機のハンドセットまたはコードレス電話機を置いたままに回答することができます。相手の方が電話を切ると自動的に電話が切れ、電話機に触れる必要がありません。

内線トークバック

P60

### ワイヤレスモデム通信ができます

ワイヤレスモデムアダプタA(オプション)を使うと、CS/BSチューナーなどをワイヤレスで電話回線に接続することができます(モバイルマジック対応)。



P174

# INSネット64ならではの幅広いサービス

INSネット64には、いろいろなご利用形態があります。



INSネット64の付加サービスの料金が別途必要です。



主電話機での設定が必要です。



かけてきた方の電話番号を表示  
かけてきた方の電話番号や企業名(氏名)  
を表示することができます。  
INSナンバー・ディスプレイ  
ネーム・ディスプレイ

**P71**



お出かけ先への転送機能  
無条件転送、無応答転送、話中時転送の  
指定ができます。

INSボイスワープ

**P80**



1本の契約回線に複数の電話番号  
複数の電話番号を使い分けて、電話と  
ファクスなどを別々の番号で受けられます。

i・ナンバー

**P76**



メッセージやメールの到着をお知らせする  
メッセージやメールの情報を、ディスプ  
レイに表示してお知らせします。

INSメッセージ到着お知らせサービス

**P82**



接続した機器を呼び分ける  
サブアドレスを指定して特定の機器を呼  
び出すことができます。

サブアドレス

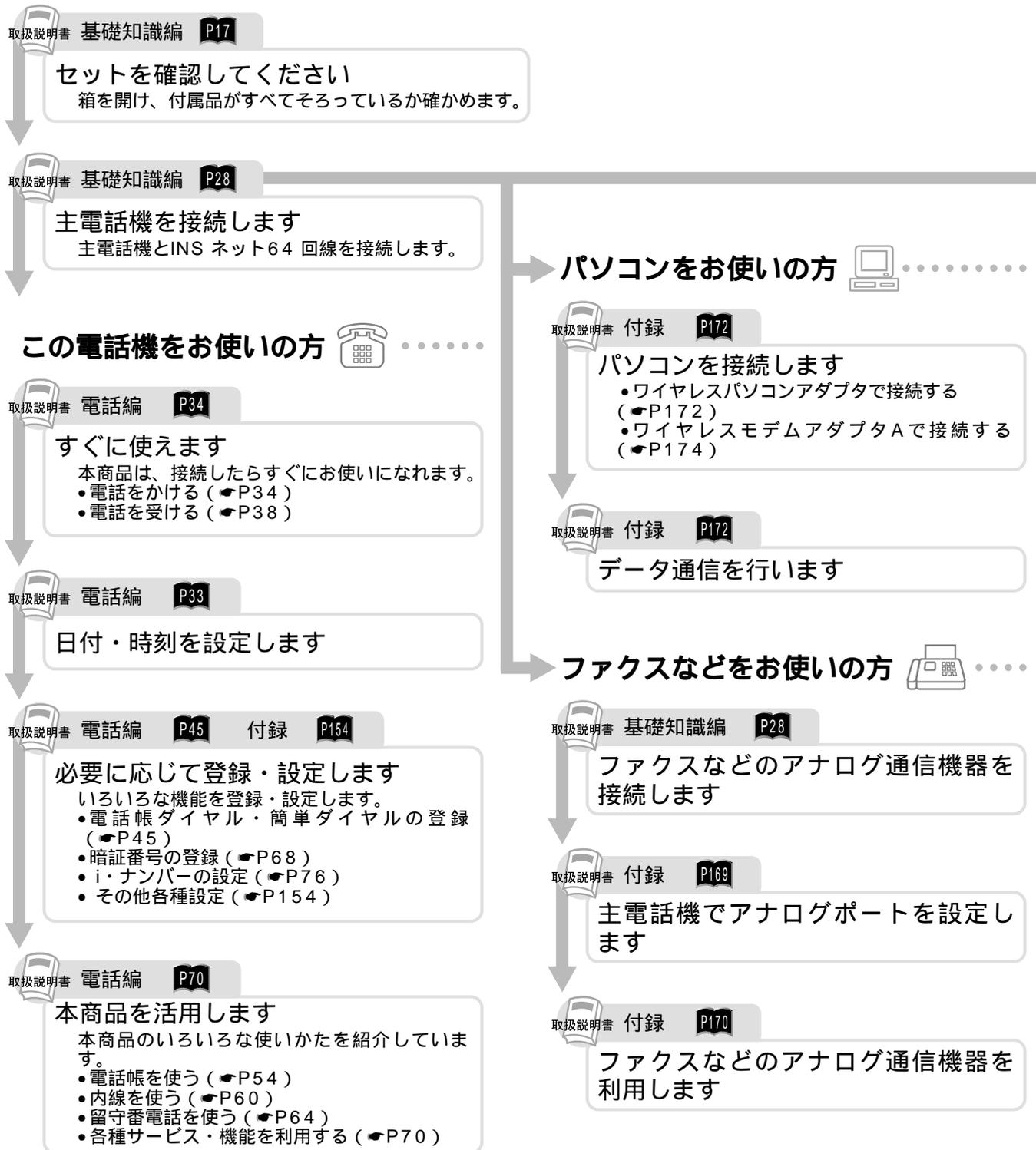
**P79**

サービス	説明	料金	設定	参照ページ
料金情報通知	INSネットから、通信料金が通知されま す。	-	-	<b>P151</b>
サブアドレス通知	サブアドレスを通知して、特定の機器に 着信させることができます。	-		<b>P79</b>
INSナンバー・ディスプレイ	一般の電話回線からかかってきた電話も、 電話番号が通知されます。		-	<b>P71</b>
ネーム・ディスプレイ	電話をかけてきた相手の企業名(氏名)を 表示します。		-	<b>P72</b>
i・ナンバー	複数の電話番号を持つことができます。			<b>P76</b>
INSボイスワープ	かかってきた電話を、指定した条件に よって転送します。			<b>P80</b>
INSマジックボックス	メッセージ録音、着信転送の機能を利用 できます。			<b>P82</b>
Lモード	主電話機に接続したLモード対応コードレ ス電話機でメールサービスと情報検索サー ビスの2つのサービスがご利用になれます。			<b>P81</b> <b>P85</b>
INSメッセージ到着お知らせサービス	メッセージセンターでメッセージやメール をお預かりし、ディスプレイに表示して 通知します。		-	<b>P82</b>

ネーム・ディスプレイは平成13年7月現在、サービス未提供です。

# この取扱説明書の読み進めかた

本商品を最初にお使いになるときは、この取扱説明書を次の順序でお読みください。



## Lモードをお使いの方 .....

当社とLモードをご契約ください

 取扱説明書 電話編 **P81**  
主電話機でLテーブルを設定します

 取扱説明書 Lモード編 **P85**  
Lモードゲートウェイアクセス番号を取得します  
• 端末機器自動設定 (●P85)

 取扱説明書 Lモード編 **P91**  
情報検索サービス、メールサービスを利用します  
• サイトに接続する (●P91)  
• メールを送信、受信 (●P95、100)

 取扱説明書 Lモード編 **P142**  
必要に応じてLモードの利用に関する設定をします

 取扱説明書 Lモード編 **P104**  
インターネットを活用します  
本商品からLモードを利用した、いろいろなインターネットの使いかたを紹介しています。

 取扱説明書 サービスガイド **P13**  
INSネット64のサービスを紹介します  
INSネット64と本商品で何ができるか見てみましょう。

 取扱説明書 付録 **P146**  
こんなときにお使いください  
使いかたに疑問が生じたとき：Q&Aをご確認ください (●P146)  
トラブルが発生したとき：修理を依頼される前にご確認ください (●P179)

# この取扱説明書の読み進めかた

## 操作説明のページの構成

**章タイトル**  
 章ごとにタイトルが付けられています。

**タイトル**  
 目的ごとにタイトルが付けられています。

**操作手順説明**  
 順番に操作を説明します。

**3 留守番電話を使う** **留守をセット/解除するには**

外出中に用件が録音されると、主電話機の留守ランプが点滅します。録音がないときは、留守ランプは点灯のままです。

**留守を解除する**

1 ハンドセットを置いたまま、**○** ボタンを押す。  
 用件が録音されている場合は留守ランプが点滅から点灯に変わり、用件の件数を案内する音声が聞こえたと、用件の再生が始まります。各用件の終わりに、録音された宛先の電話番号が案内されます。新たに録音された用件のみ再生されます。

**留守を解除したあとに用件を聞き直す**

1 ハンドセットを置いたまま、再生/通話録音ボタンを押す。

**ワンポイント**

再生中にできる操作は

操作	押すボタン
再生中の用件を消去する	<b>○</b> ボタン (「消去しますか?」と表示されたら) <b>○</b> ボタン [OK] または <b>○</b> ボタン
再生中の用件を聞き直す	<b>○</b>
1つ前の用件をもう一度聞く	<b>○</b> を2回 (0.5秒以内に続けて押す)
再生中の用件を飛ばして次の用件を聞く(最後の用件のときは、再生を終了する)	<b>○</b>
再生を途中で止める	<b>○</b> ボタンまたは再生/通話録音ボタンまたは <b>○</b> ボタン

用件をすべて消去するには(用件全消去) (※P157)

留守をセットしたまま用件を再生するには  
 ハンドセットを置いたまま、再生/通話録音ボタンを押します。新たに録音された用件のみ再生されます。

INSナランバー・ディスプレイをご利用の場合は  
 録音されている用件を再生すると、相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。電話録音が有効に記録されている場合に名前も表示されます。電話番号が表示されている間にハンドセットを取りあげると、その番号が電話をかけることができます。

電話をかけた方が名前・ディスプレイをご利用の場合は  
 こちらが名前・ディスプレイを契約し、相手の企業名(氏名)を登録してご利用ください。電話をかけた方が電話録音に記録されていなくても、用件再生時に企業名(氏名)と電話番号が表示されます。

電話録音に記録されている場合は、登録されている名称が表示されます。

**お知らせ**

用件再生中に外から電話がかかってくると、再生は停止します。

**スピーカーの音量を調節するには(スピーカー音量)** (※P147)

66

**プラス**  
 関連する操作について説明します。

**電話機イラスト**  
 操作で使うボタンなどの位置を示します。

**ワンポイント/お知らせ/お願い**  
 知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。

**お知らせ**  
 この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

**お願い**  
 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

**アイコン**  
 (Q&A参照アイコン)  
 操作について「Q&A」を参照していただきたいときに使われています。

付録 第1章「Q&A」の同じアイコンの項に、説明や操作方法が書かれていることを示します。

コードレス電話機の操作説明には、基本的にLモード対応のコードレス電話機「LP1」の表示を例として用いています。ただし、Lモード対応のコードレス電話機「LP1」とコードレス電話機「P6」で表示や操作が異なる場合は、両方を併記しています。

# セットを確認してください

## 本体（一式）



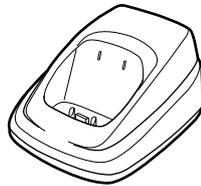
主電話機本体（1台）



ハンドセット（1個）



コードレス電話機「LP1」（1台）

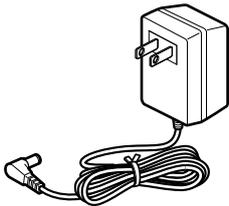


コードレス電話機「LP1」充電器（1台）

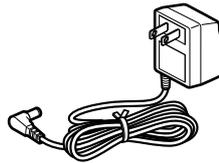


コードレスホン電池パック-062（1個）

## 付属品



主電話機用電源アダプタ（1個）  
（コード：約1.8 m）  
電源アダプタSG02（K）



コードレス電話機充電器用電源アダプタ（1個）  
（コード：約1.8 m）  
電源アダプタSA01（K）



電話機コード（1本）  
（約2 m）



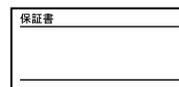
主電話機用壁掛け木ネジ・ワッシャ（各2個）



充電器用壁掛け木ネジ・ワッシャ（各2個）



取扱説明書（1部）

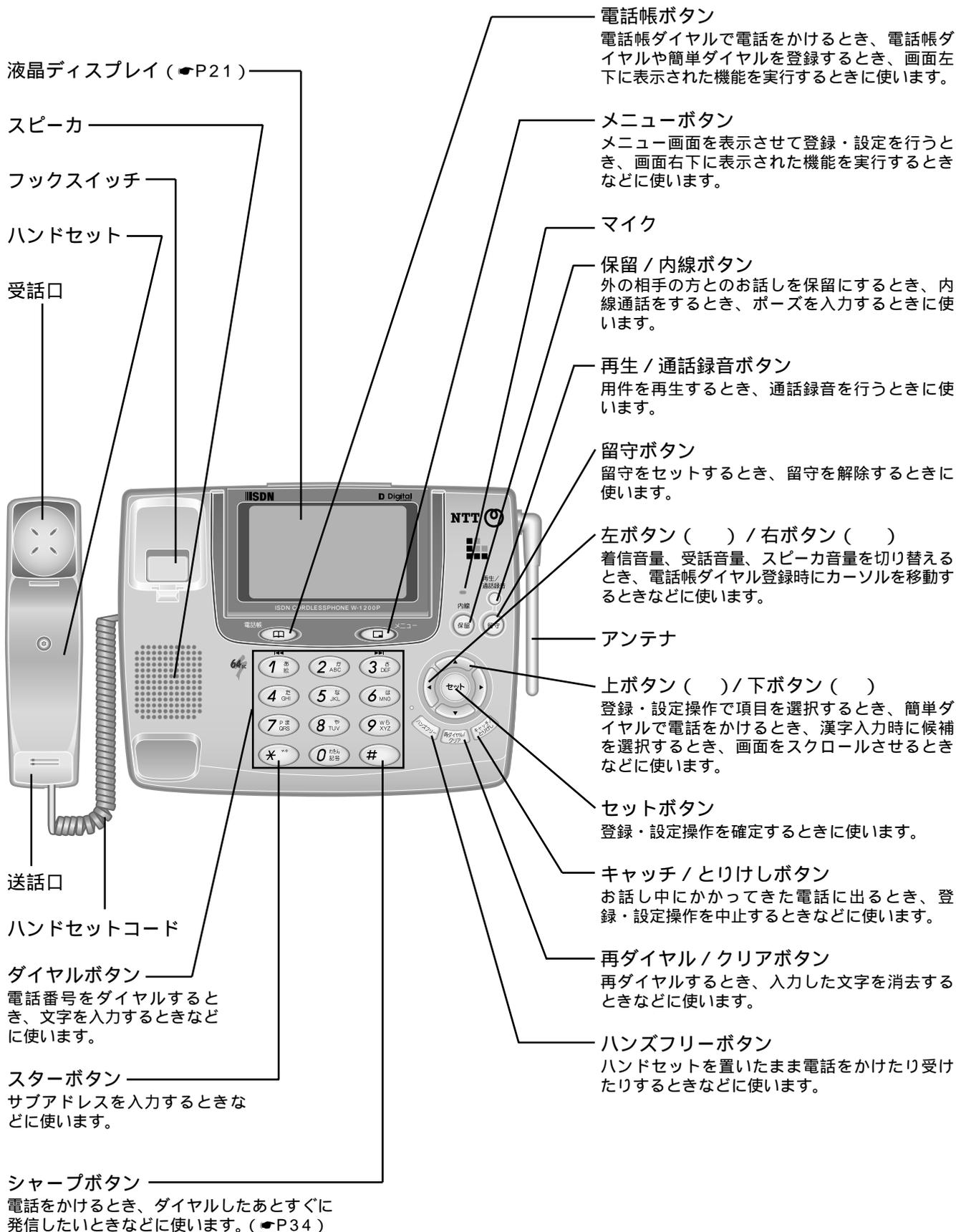


保証書（1枚）

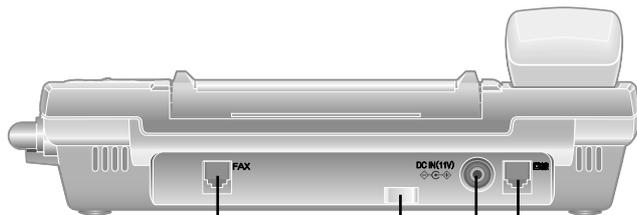


「NTT通信機器お取扱相談センター」シール（1枚）

セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご連絡ください。



【背面図】



- 電話機コード差込口（回線）  
電話機コードを差し込み、回線と接続します。（☛P28）
- 電源アダプタコード差込口（DC IN（11V））  
電源アダプタコードを差し込みます。（☛P28）
- コード押さえ  
電源アダプタコードを引っかけます。（☛P28）
- アナログポート（FAX）  
アナログ通信機器（G3ファクスなど）を接続します。（☛P28）



ワンポイント

液晶ディスプレイは見やすい角度に調節することができます。

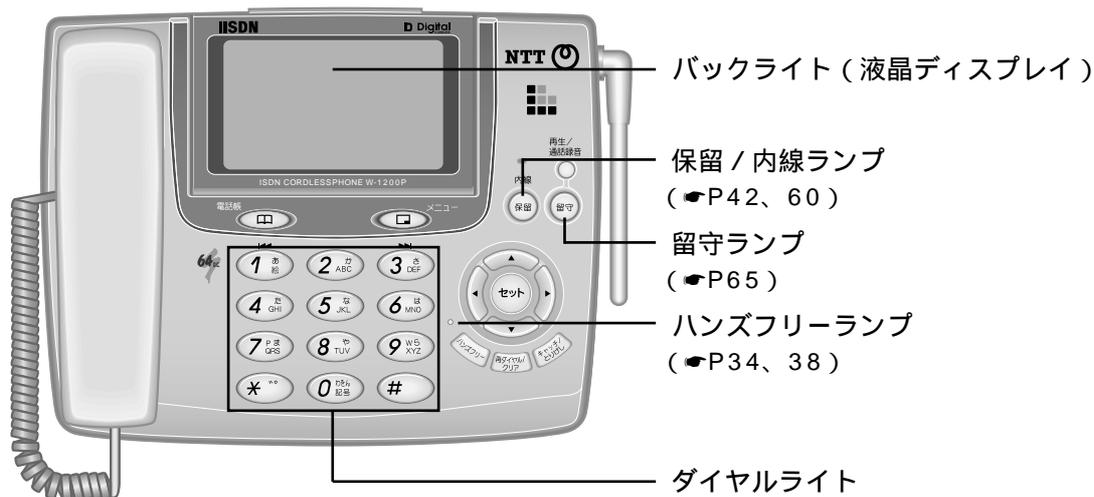


STOP お願い

アンテナを無理に引っ張ったり動かない方向に曲げたりしないでください。



## 【ランプ表示】

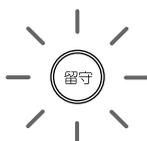


ランプの種類	ランプのつきかた (色)	電話機の状態
バックライト (液晶ディスプレイ)	点灯 (緑)	ハンドセットを取りあげたとき 外から電話がかかってきたとき ダイヤルなどのボタン操作をしたとき (通話中に約5分経過すると消灯) 内線で呼び出されているとき ドアホンで呼び出されているとき 他の内線電話機が保留中のとき
保留 / 内線ランプ	点灯 (赤)	内線でお話し中のとき ドアホンとお話し中のとき
	速い点滅 (赤)	内線で呼び出されているとき ドアホンから呼び出されているとき
留守ランプ	点灯 (赤)	留守がセットされているとき
	点滅 (赤)	用件が録音されているとき
ハンズフリーランプ	点灯 (緑)	外の相手の方とお話し中のとき
	点灯 (オレンジ)	外の相手の方とハンズフリーでお話し中のとき
	点灯 (赤)	他の内線電話機が2回線使用中のとき ハンズフリー通話できないとき
	点滅 (緑)	外の相手の方のお話しを保留中のとき
	点滅 (赤)	外の相手の方のお話しを保留中のとき (すべての電話機で応答できる とき)
ダイヤルライト	速い点滅 (赤)	外から電話がかかってきたとき
	点灯 (緑)	ハンドセットを取りあげたとき ダイヤルなどのボタン操作をしたとき

### ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

ランプの点灯



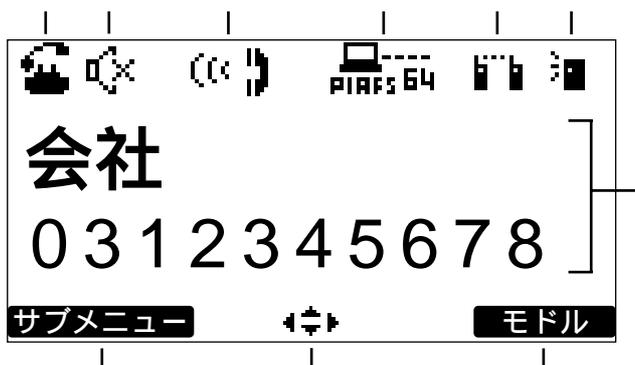
ランプの点滅



ランプの速い点滅



## 【液晶ディスプレイの見かた】



### こんなときに表示されます

	点灯	主電話機でお話し中（内線 / 外線）のとき		着信音量を「OFF」（切）に設定しているとき
	点滅	主電話機またはコードレス電話機で保留中のとき		
	速い点滅	外から電話がかかってきたとき、内線で呼び出されているとき、ドアホンで呼び出されているとき		
       のどれか1つ	外線1が電話でお話し中またはファクス通信中	       のどれか1つ	外線2が電話でお話し中またはファクス通信中	外線2が電話でお話し中またはファクス通信中 外線2が同期PPP通信中 外線2がPIAFS32K透過通信中 外線2がPIAFS64K透過通信中 外線2がLモード（情報検索 / Lメール）通信中 外線2がSメール通信中 外線2がモデムアダプタ通信中
	外線1が同期PPP通信中		外線2が同期PPP通信中	
	外線1がPIAFS32K透過通信中		外線2がPIAFS32K透過通信中	
	外線1がPIAFS64K透過通信中		外線2がPIAFS64K透過通信中	
	外線1がLモード（情報検索 / Lメール）通信中		外線2がLモード（情報検索 / Lメール）通信中	
	外線1がSメール通信中		外線2がSメール通信中	
	外線1がモデムアダプタ通信中		外線2がモデムアダプタ通信中	
	内線でお話し中のとき、他の内線電話機で内線を使用中のとき		ドアホンでお話し中のとき、他の内線電話機でドアホンを使用中のとき	
数字や文字	日時、電話番号、通話時間、通話料金、相手の方の名前などを表示しているとき INSナンバー・ディスプレイを利用しているときに電話番号を表示しない理由などを表示しているとき		選択できるメニュー項目があり、スクロールできる方向を表示しているとき	
 サブメニュー           など	ボタンを押して実行または選択できる機能があるとき （状況に応じて変わります）	 モデル           など	ボタンを押して実行または選択できる機能があるとき （状況に応じて変わります）	

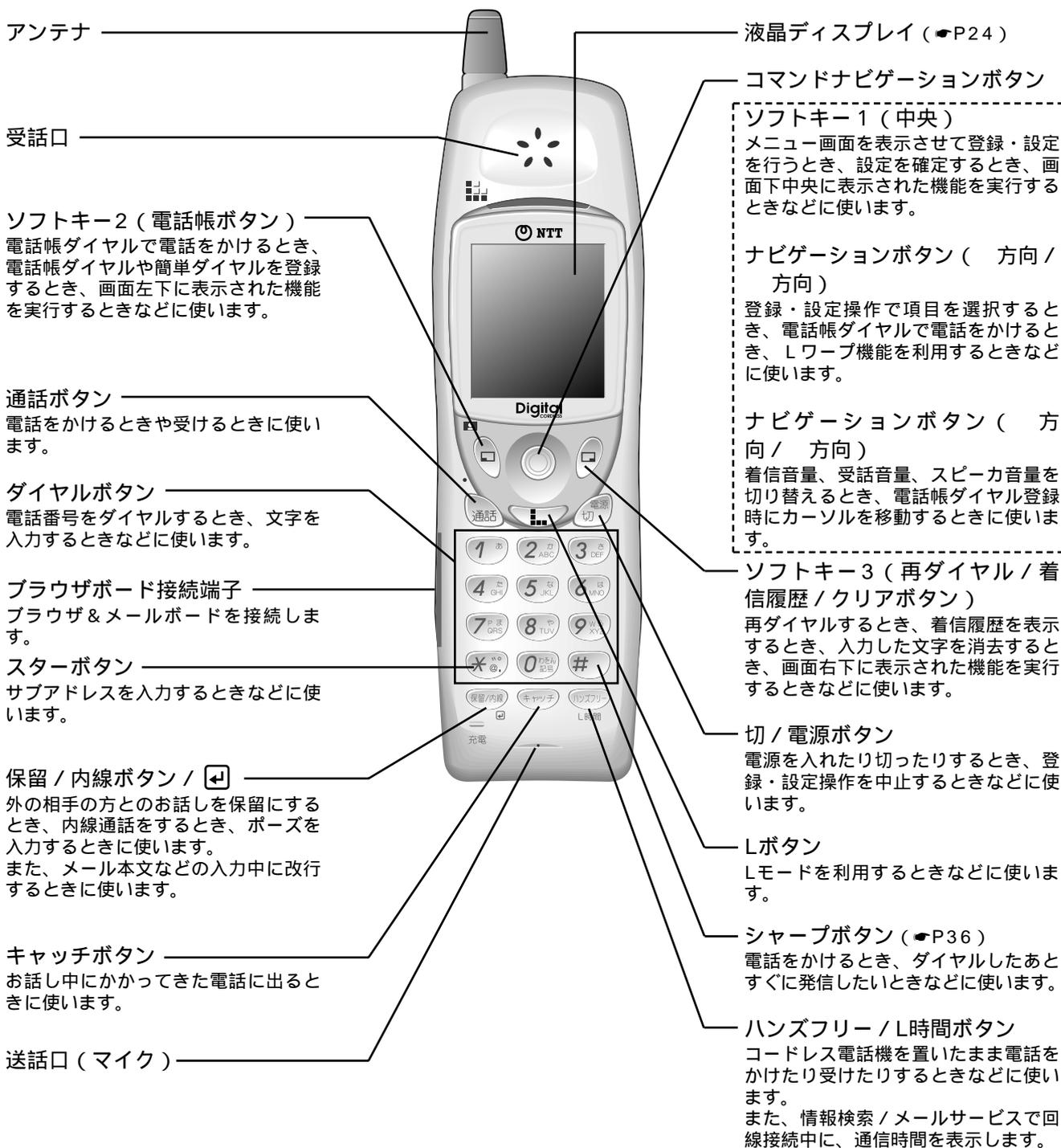


### お知らせ

本書の説明用画面は、実際の画面と字体や形状および表示内容が異なる場合があります。また、周囲の明るさなどにより、実際の画面の階調と明るさの異なる場合があります。

# 各部の名前

## (コードレス電話機「LP1」)



液晶ディスプレイ (●P24)

コマンドナビゲーションボタン

ソフトキー-1 (中央)  
メニュー画面を表示させて登録・設定を行うとき、設定を確定するとき、画面下中央に表示された機能を実行するときなどに使います。

ナビゲーションボタン ( 方向 / 方向 )  
登録・設定操作で項目を選択するとき、電話帳ダイヤルで電話をかけるとき、Lワープ機能を利用するときなどに使います。

ナビゲーションボタン ( 方向 / 方向 )  
着信音量、受話音量、スピーカ音量を切り替えるとき、電話帳ダイヤル登録時にカーソルを移動するときに使います。

ソフトキー-3 (再ダイヤル/着信履歴/クリアボタン)  
再ダイヤルするとき、着信履歴を表示するとき、入力した文字を消去するとき、画面右下に表示された機能を実行するときなどに使います。

切/電源ボタン  
電源を入れたり切ったりするとき、登録・設定操作を中止するときなどに使います。

Lボタン  
Lモードを利用するときなどに使います。

シャープボタン (●P36)  
電話をかけるとき、ダイヤルしたあとすぐに発信したいときなどに使います。

ハンズフリー/L時間ボタン  
コードレス電話機を置いたまま電話をかけたり受けたりするときなどに使います。  
また、情報検索/メールサービスで回線接続中に、通信時間を表示します。

アンテナ

受話口

ソフトキー-2 (電話帳ボタン)  
電話帳ダイヤルで電話をかけるとき、電話帳ダイヤルや簡単ダイヤルを登録するとき、画面左下に表示された機能を実行するときなどに使います。

通話ボタン  
電話をかけるときや受けるときに使います。

ダイヤルボタン  
電話番号をダイヤルするとき、文字を入力するときなどに使います。

ブラウザボード接続端子  
ブラウザ&メールボードを接続します。

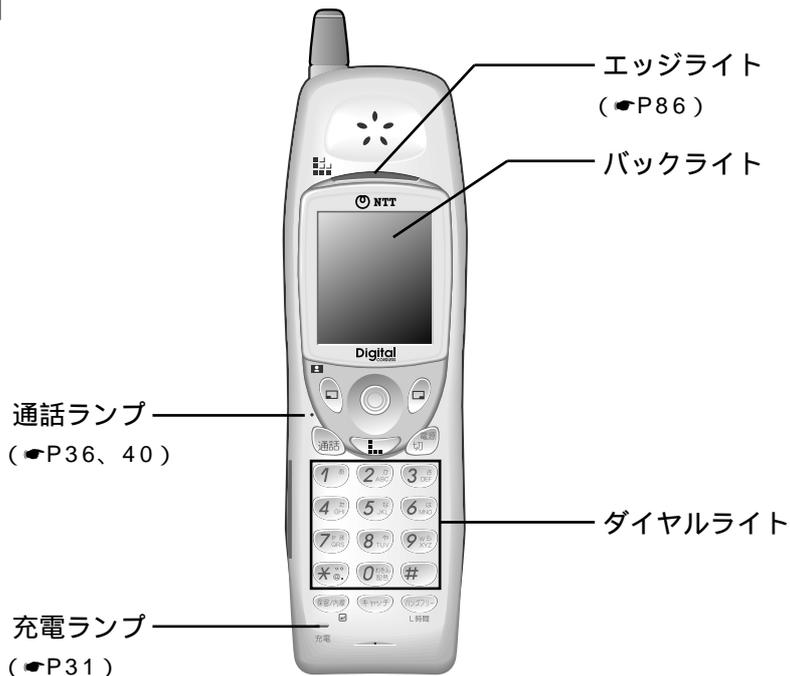
スターボタン  
サブアドレスを入力するときなどに使います。

保留/内線ボタン /   
外の相手の方のお話しを保留にするとき、内線通話をするとき、ポーズを入力するときに使います。  
また、メール本文などの入力中に改行するときに使います。

キャッチボタン  
お話し中にかかってきた電話に出るときに使います。

送話口 (マイク)

## 【ランプ表示】



ランプの種類	ランプのつきかた (色)	電話機の状態
エッジライト	点滅 (オレンジ)	INSメッセージ到着お知らせサービスを利用しているときに、受信メッセージやメールが到着したとき (充電器に置いているときのみ)
	点灯 (オレンジ)	Lモードゲートウェイと接続しているとき
バックライト	点灯	充電器から取りあげたとき / ダイアルなどのボタン操作をしたとき
通話ランプ	点灯 (緑)	外の相手の方とお話し中のとき / 内線でお話し中のとき
	点灯 (赤)	主電話機または他の内線電話機が2回線使用中のとき
	点滅 (緑)	外の相手の方とのお話しを保留中のとき
	速い点滅 (緑)	外から電話がかかってきたとき / 内線で呼び出されているとき / ドアホンで呼び出されているとき / 主電話機が留守応答中のとき
ダイアルライト	点灯 (緑)	充電器から取りあげたとき / ダイアルなどのボタン操作をしたとき
充電ランプ	点灯 (赤)	充電中のとき
	点灯 (緑)	充電が完了したとき

### ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

ランプ点灯



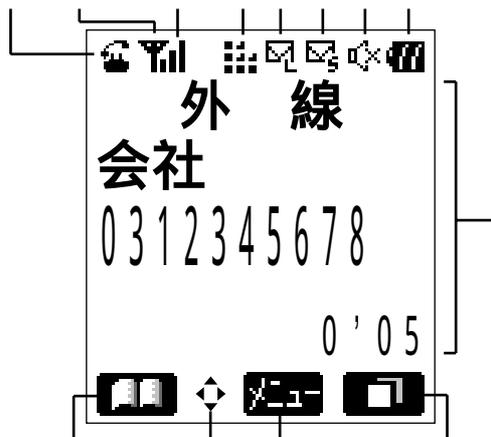
ランプ点滅



ランプの速い点滅



### 【液晶ディスプレイの見かた】



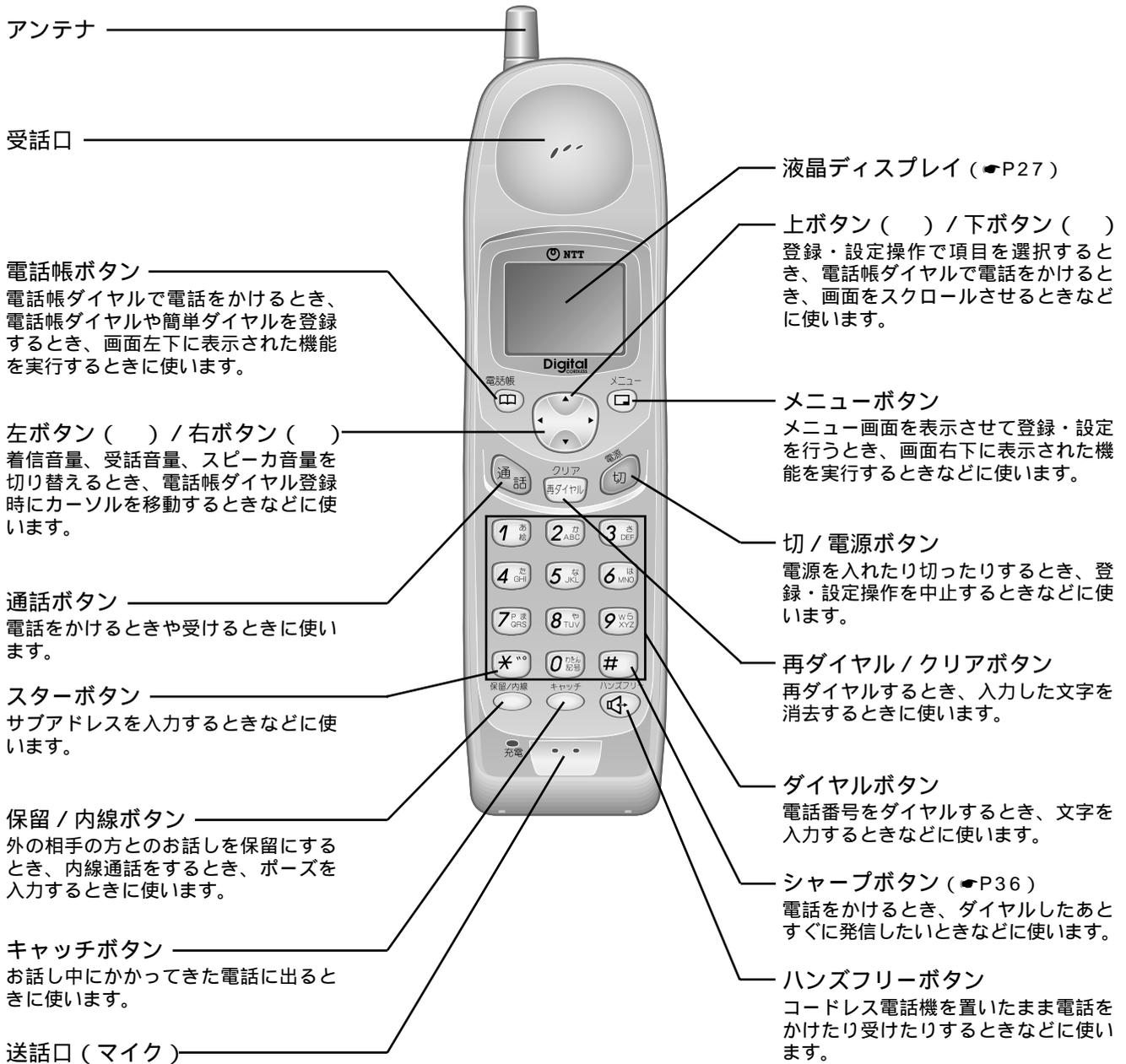
#### こんなときに表示されます

	点灯	コードレス電話機でお話中（内線／外線）のとき
	点滅	主電話機またはコードレス電話機で保留中のとき
	速い点滅	外から電話がかかってきたとき／内線で呼び出されているとき／ドアホンで呼び出されているとき／主電話機が留守応答中のとき
		電波の届いている場所にいるとき（●P32）
		受けている電波の強さ（●P32）
	点滅	Lモードゲートウェイに接続を開始したとき／ページの取得中（情報検索サービス）／メール受信／メール送信中（メールサービス）（●P86）
	点灯	Lモードゲートウェイと接続しているとき
		ハンズフリーでお話中のとき（●P36、40）
		メッセージセンターでLメールをお預かりしているとき（●P82）
		メッセージセンターでSメールをお預かりしているとき（●P82）
		着信音量を「OFF」（切）に設定しているとき（●P148）
		電池の残量（充電器に置いていないときに表示）（●P32）
数字や文字		日時、電話番号、通話時間、通話料金、相手の方の名前などを表示しているとき／INSナンバー・ディスプレイを利用しているときに、電話番号を表示しない理由などを表示しているとき
		選択できるメニュー項目があり、スクロールできるとき
など		ボタンを押して実行または選択できる機能があるとき（状況に応じて変わります）
決定 など		ボタンを押して実行または選択できる機能があるとき
など		ボタンを押して実行または選択できる機能があるとき（状況に応じて変わります）

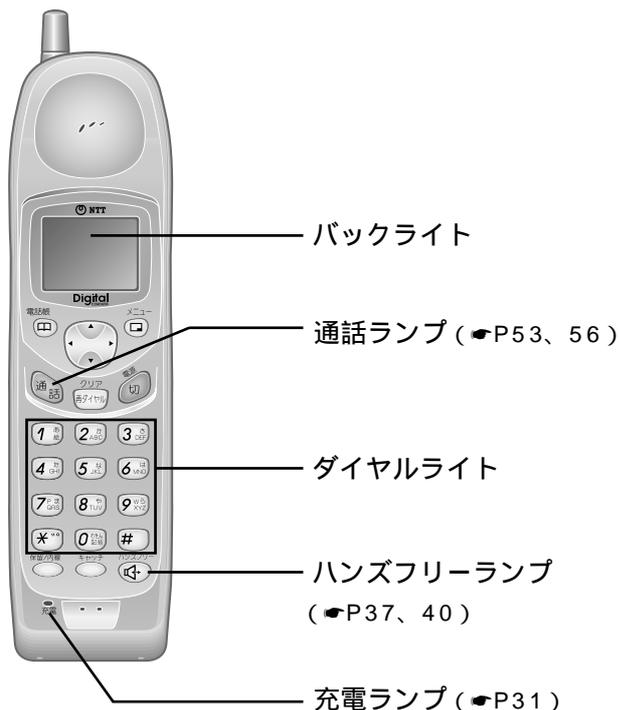


#### お知らせ

本書の説明用画面は、実際の画面と字体や形状や表示内容が異なる場合があります。また、周囲の明るさなどにより、実際の画面の階調と明るさの異なる場合があります。



### 【ランプ表示】



ランプの種類	ランプのつきかた (色)	電話機の状態
バックライト	点灯 (緑)	充電器から取りあげたとき ダイヤルなどのボタン操作をしたとき
通話ランプ	点灯 (緑)	外の相手の方とお話し中のとき / 内線でお話し中のとき
	点灯 (赤)	主電話機または他の内線電話機が2回線使用中のとき
	点滅 (緑)	外の相手の方とのお話しを保留中のとき
	速い点滅 (緑)	外から電話がかかってきたとき / 内線で呼び出されているとき / ドアホンで呼び出されているとき / 主電話機が留守応答中のとき
ダイヤルライト	点灯 (緑)	充電器から取りあげたとき ダイヤルなどのボタン操作をしたとき
ハンズフリーランプ	点灯 (オレンジ)	ハンズフリー通話中のとき
充電ランプ	点灯 (赤)	充電中のとき
	点灯 (緑)	充電が完了したとき

### ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

ランプ点灯



ランプ点滅



ランプの速い点滅



## 【液晶ディスプレイの見かた】



### こんなときに表示されます

	点灯	コードレス電話機でお話し中（内線 / 外線）のとき
	点滅	主電話機またはコードレス電話機で保留中のとき
	速い点滅	外から電話がかかってきたとき / 内線で呼び出されているとき / ドアホンで呼び出されているとき / 主電話機が留守応答中のとき
		電波の届く場所にいるとき（●P32）
		受けている電波の強さ（●P32）
		着信音量を「OFF」（切）に設定しているとき（●P149）
		電池の残量（充電器に置いていないときに表示）（●P32）
数字や文字		日時、電話番号、通話時間、通話料金、相手の方の名前などを表示しているとき / INSナンバー・ディスプレイを利用しているときに、電話番号を表示しない理由などを表示しているとき
		選択できるメニュー項目があり、スクロールできるとき
など		ボタンを押して実行または選択できる機能があるとき（状況に応じて変わります）
など		ボタンを押して実行または選択できる機能があるとき（状況に応じて変わります）

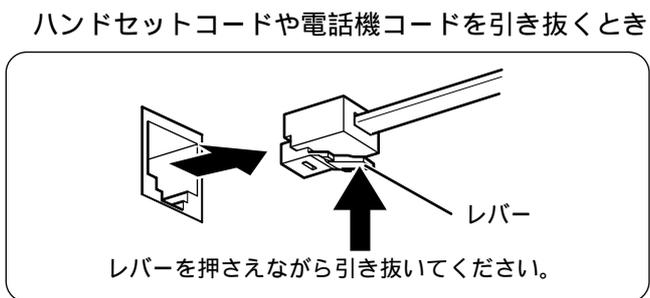
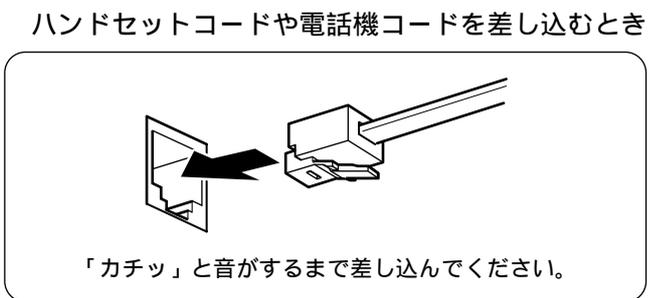
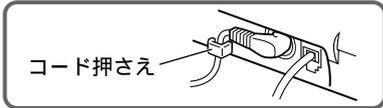
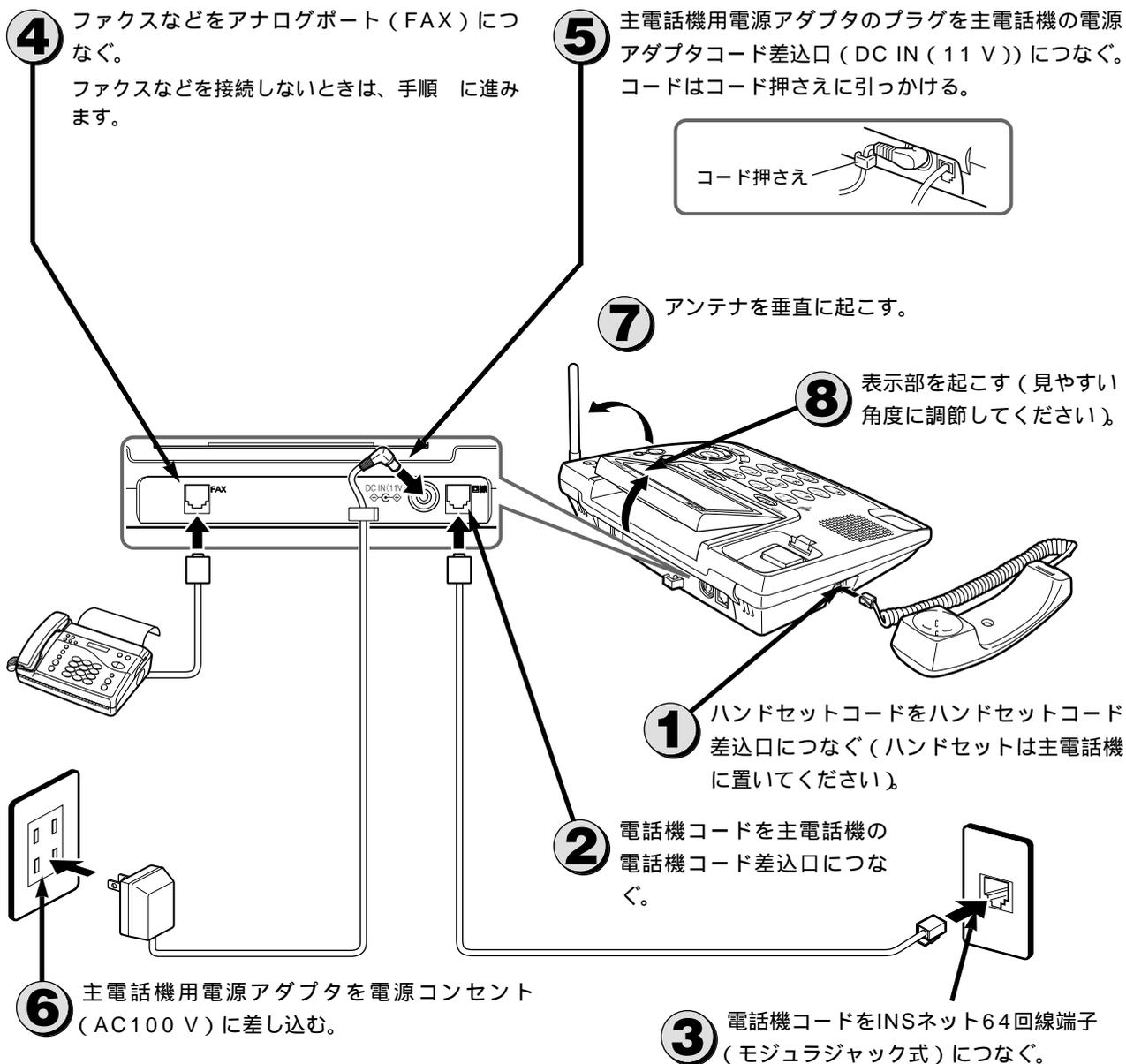


### お知らせ

本書の説明用画面は、実際の画面と字体や形状および表示内容が異なる場合があります。また、周囲の明るさなどにより、実際の画面の階調と明るさの異なる場合があります。

# 主電話機を接続します

主電話機はDSUを内蔵しており、INSネット64回線に直接接続して使用します。INSネット64に加入されていないときは別途INSネット64のお申し込みが必要です。局番なしの116番または当社の営業所等へご相談ください。



## アナログ通信機器（ファクスなど）を接続する

アナログポートには、一般のアナログ回線に接続するプッシュ式（PB）のアナログ通信機器（ファクスなど）が接続できます。ダイヤル式（DP）のアナログ通信機器は接続できません。



### お知らせ

INSネット64回線と接続する前に電源を入れると、LCDバックライト、ハンズフリーランプ、ダイヤルライト、保留/内線ランプが点滅します。

INSネット64回線に接続して電源を入れると、「12:00」が表示されます。

「回線未接続」と表示されたときは、正しく接続されているかご確認ください。

アナログポートには、(財)電気通信端末機器審査協会の適合認定を取得しているアナログ通信機器（ファクスなど）を接続してください。

一般のアナログ回線との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もあります。

また、アナログ通信機器では、INSナンバー・ディスプレイや発信者番号通知およびネーム・ディスプレイによる電話番号表示や企業名（氏名）表示は行われません。

### STOP お願い

INSネット64回線の接続は、必ず電源を切った状態で行ってください。

付属の電話機コードを延長する場合は、約7 mを限度としてください。

アナログ通信機器との接続に使用するケーブルは、最長100 m（0.4）を目安としてください。

また、ケーブルは2芯のモジュラコードを使用してください。誤って4芯または6芯のモジュラコードを差し込んだ場合は、いったん電源アダプタと電話機コードを抜き、2芯のケーブルに取り替えてから再度、接続の手順、を行ってください。

アナログポートに接続するケーブルについて屋外にわたる配線は絶対に行わないでください。雷などによる故障の原因となります。

アナログポートには、アナログ通信機器を1台接続できます。複数の通信機器を接続すると、使用できないことがあります。主電話機の電源アダプタは専用の電源アダプタ「SG02(K)」を使用してください。ワイヤレスパソコンアダプタの電源アダプタ「SD01(K)」などを接続すると、故障の原因となります。



## INSネット64の各種サービスをご利用になっているときは

以下のサービスを契約されている場合は、ご利用になるための設定を行ってください。新たにサービスをご利用になるには、当社との契約が必要です。

i・ナンバー

追加番号をファクスに割り当てる。(P76)

Lモード

Lモードを契約した契約者回線番号、i・ナンバー(1~3)にLモード対応コードレス電話機の内線番号を割り当てる。(P81)



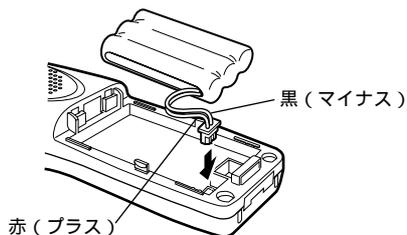
**警告**

電源アダプタは必ず付属のものをお使いになり、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災の原因となることがあります。

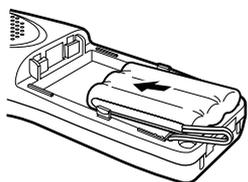
# コードレス電話機の準備

## コードレス電話機の電源を入れる

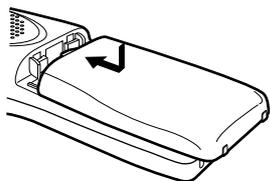
- 1** 電池パックのコネクタを差込口に差し込む。  
コネクタは赤いコードが左になるようにして最後まで確実に差し込みます。



- 2** 電池パックを入れる。  
電池カバーを取り付けるとき、コードが電池カバーにあたらぬように、コードをケース内にしっかり押し込んでください。



- 3** 電池カバーを取り付ける。  
コードをはさまないように注意して電池カバーをスライドさせ、「パチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。



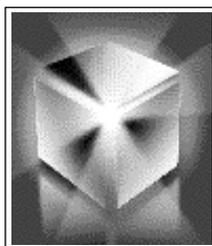
**STOP** お願い

電池カバーはしっかりと閉めてください。不十分だとカバーが外れ、電池パックが落下するおそれがあり、故障の原因となることがあります。

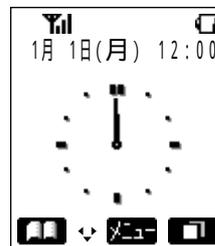
**危険**

電池パックは必ず付属のものをお使いになり、それ以外のは絶対にお使いにならないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・やけど・けがの原因となることがあります。

- 4**  ボタンを1秒以上押す。  
ディスプレイにウェイクアップ画面が約1秒間表示されます。



ディスプレイの表示が消えるとコードレス電話機が使用できる状態になります。

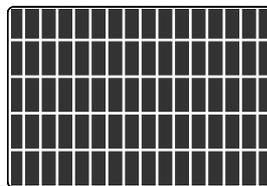


待ち受け画面

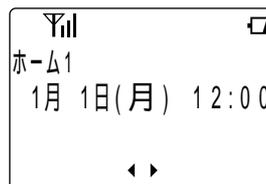
**ワンポイント**

電源を切るには  
 ボタンを2秒以上押します。

コードレス電話機「P6」では  
手順 でディスプレイに以下のような表示が約1秒間点灯します。

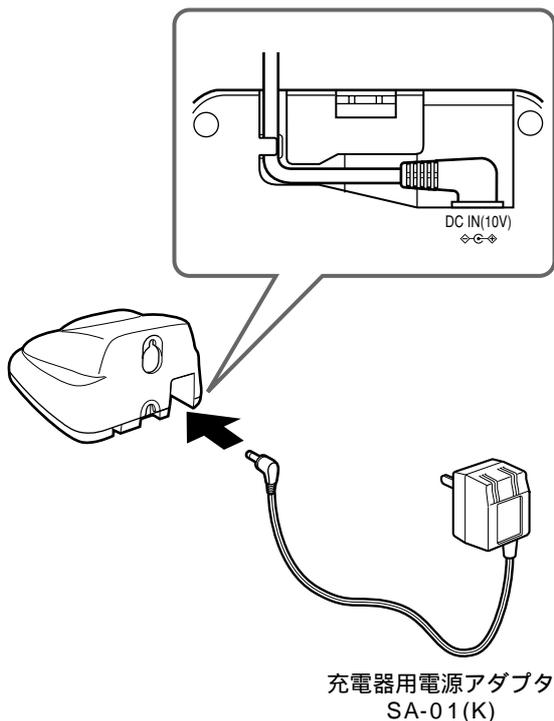


ディスプレイの表示が消えるとコードレス電話機が使用できる状態になります。



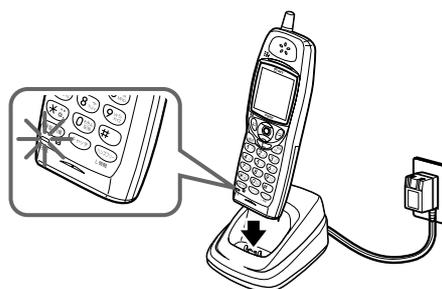
## 充電器を準備する

- 1 充電器用電源アダプタのプラグを充電器の電源アダプタコード差込口につなぐ。  
コードは充電器の溝にはめ込みます。



## コードレス電話機を充電する

- 1 電源アダプタを電源コンセント (AC100 V) に差し込む。
- 2 コードレス電話機を充電器に置いて充電する。  
必ずダイヤルボタンを前面にして置いてください。  
初めてお使いのときや、電池パックを交換したときは、必ず6時間以上充電してください。  
充電中は、充電ランプが赤色に点灯します。充電が完了すると緑色に変わります。



充電ランプが点灯しないときは、もう一度コードレス電話機を充電器に置き直してください。

### ⚠ 危険

充電器は必ず付属のものをお使いください。それ以外の充電器で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・やけど・けがの原因となることがあります。  
なお、コードレス電話機「LP1」は「LP1」用の、コードレス電話機「P6」は「P6」用の専用の充電器をご使用ください。  
充電器の品名は底面に表記されています。

### ⚠ 注意

コードレス電話機「LP1」から電池パックを取り外したまま約1日 放置、または「充電してください」と表示されたあと充電せずにそのまま約1ヶ月 放置した場合、登録された情報内容（電話帳やメール、ブラウザ機能で登録したデータなど）が消去され、お買い求め時の状態に戻ります。情報内容は、別にメモをとるなどして保管して下さるようお願いいたします。  
内蔵バックアップ電池の充電状態によりこれらの期間は短くなる場合があります。

### ⚠ 注意

電池パックの充電温度範囲は5 ~ 35 度です。この温度範囲外で充電すると、液もれや発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

## 📢 お知らせ

充電が完了しても、コードレス電話機は充電器に置いたままがかまいません。  
充電中は、充電器やコードレス電話機底面があたたかくなることがありますが故障ではありません。  
コードレス電話機、充電器がぬれているときは、必ず乾いた布でふき取ってから充電してください。

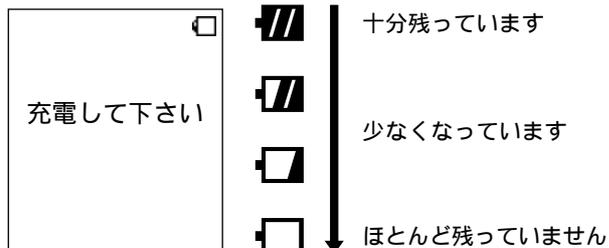
### STOP お願い

コードレス電話機をご使用にならないときは、常に充電器に置いて充電するようにしてください。  
充電端子が汚れていたり、異物がついていると、コードレス電話機を充電器に置いても充電されないことがあります。いつもきれいにしておいてください。

# コードレス電話機の準備

## 電池残量を確認する

ご使用になる前に電池残量を確認してください。電池残量がなくなると、お話し中だけでなく電話をかけた後や登録などの操作をしようとするとき中断される場合があります。このとき「ピー」という警報音が鳴り、ディスプレイに「充電して下さい」と表示されます。



電池パックを交換したときは、必ず6時間以上充電してください。

### 【電池の使用可能時間の目安】

条件	使用可能時間
待ち受け	約350時間
連続通話	約 6時間
連続ブラウザ操作時間	約 2時間



### ワンポイント

コードレス電話機「P6」では電池の使用可能時間の目安は以下のとおりです。

### 【電池の使用可能時間の目安】

条件	使用可能時間
待ち受け	約700時間
連続通話	約 7時間



コードレス電話機でお話し中に「ピッピッピッ...」という音が鳴ったら(●P151)  
コードレス電話機でお話し中に「ピー」という音が鳴ったら(●P151)



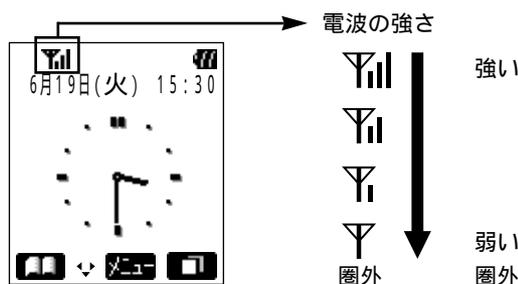
### お知らせ

コードレス電話機「LP1」、「P6」は、お買い求め時や、電池切れなどで設定内容がお買い求め時の内容に戻った場合、西暦年の設定を行う必要があります。日付・時刻に関しては主電話機で日付・時刻を合わせたあと、コードレス電話機で通話を行うと、主電話機と同じ日付(月日)・時刻(時分)がディスプレイに表示されます。コードレス電話機「LP1」、「P6」の日付・時刻が主電話機と異なっているときは、一度コードレス電話機「LP1」、「P6」で通話を行ってください。「コードレス電話機「P6」で日付・時刻を設定するには」(●P166)

## 電波の状態を確認する

お話しできる範囲(電波の届く範囲)は、主電話機から見通し距離で約100 m以内です。

電話をかけた後や受けたりできる状態になると、ディスプレイにが表示されます。



や のときは電波が弱いため、電話がかかりにくい場合があります。電波の届かないところ(圏外)では、お話しすることはできません。コードレス電話機のアンテナマーク()が安定して2本以上立っているところでお使いください。



### お知らせ

主電話機から100 m以内の場所でも、周囲の環境によりお話しできないことがありますので、あらかじめ内線通話などにより主電話機からの電波が弱い場所を確認しておくことをお勧めします。コンクリートパネル板で仕切られている場所など、周囲の状況によってお話しできる範囲が狭くなることがあります。

## コードレス電話機「LP1」の日付・時刻を設定する

ご使用になる前に、下記の方法で日付(年月日)・時刻(時分)を設定してください。

<例> 2001年6月19日午後3時30分と設定する場合>

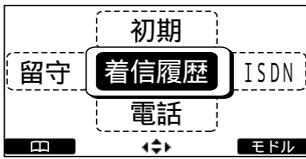
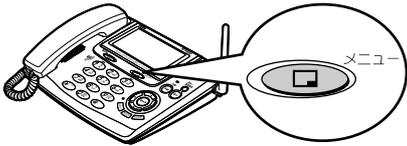
- ボタン[メニュー]を押す。
- ボタンを 方向に倒して「設定」を選択し、○ ボタン[選択]を押す。
- ボタンを 方向または 方向に倒して「カレンダー設定」を選択し、○ ボタン[選択]を押す。
- 現在の設定内容が表示されます。
- ボタン[選択]を押す。
- 西暦年の下2桁を入力する  
例: 0<sup>年</sup> 1<sup>年</sup> と押す。
- ボタン[決定]を押す。
- 日付を入力する。  
例: 0<sup>日</sup> 6<sup>日</sup> 1<sup>日</sup> 9<sup>日</sup> と押す。
- ボタン[決定]を押す。
- 時刻(24時間制)を入力する。  
例: 1<sup>時</sup> 5<sup>分</sup> 3<sup>分</sup> 0<sup>分</sup> と押す。
- ボタン[決定]を押す。
- ボタン[OK]を押す。

# 日付・時刻の設定

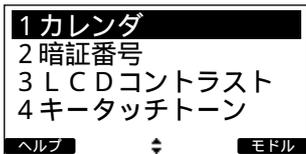
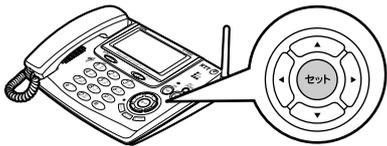
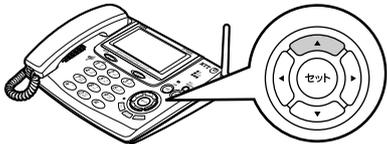
留守番電話や着信履歴などには、内蔵の時計により日付と時刻が自動的に記憶されます。ご使用になる前に、主電話機で日付・時刻を合わせてください。お買い求め時は、「2001年1月1日12:00」に設定されています。

<例> 2001年6月19日午後3時30分に合わせる場合

1 ハンドセットを置いたまま、 ボタンを押す。

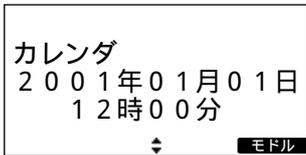


2 上ボタン ( ) を押して「初期 (設定)」を選択し、 ボタンを押す。

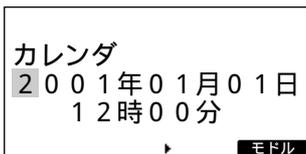


3 「1 カレンダー」が選択されていることを確認し、 ボタンを押す。

現在の設定値が表示されます。

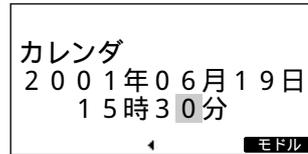
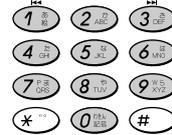


4 ボタンを押す。



5 年 (2000~2099) 月 (01~12) 日 (01~31) 時刻 (0000~2359) をダイヤルボタンで指定する。

ここでは を押します。



6 ボタンを押す。

「ピー」という音が鳴って、設定が終わります。



## ワンポイント

操作を間違えたときは

ボタンを押して、もう一度年月日、時刻を入力し直します。

左ボタン ( ) または右ボタン ( ) で修正位置までカーソルを移動させ、入力し直すこともできます。

コードレス電話機の日付・時刻は

コードレス電話機「LP1」、「P6」は、お買い求め時や電池切れなどで設定内容がお買い求め時の内容に戻った場合、西暦年の設定を行う必要があります。(●P32) 日付・時刻に関しては主電話機で日付・時刻を合わせたあと、コードレス電話機で通話を行うと、主電話機と同じ日付(月日)・時刻(時分)がディスプレイに表示されます。コードレス電話機単独で日時を設定することもできます。(●P162、166) コードレス電話機の日付・時刻が主電話機と異なっているときは、一度コードレス電話機で通話を行ってください。

## お知らせ

日付・時刻を設定しないと、留守番電話のタイムスタンプは録音されず、INSナンバー・ディスプレイの日付・時刻も表示されません。

時刻はあくまで目安としてご利用ください。誤差が生じたときは、時刻を設定し直してください。

回線がつながっていない状態で電源アダプタを抜くと、初期値(12:00)に戻ります。もう一度設定し直してください。ただし、回線がつながっていれば日付・時刻の設定内容は保持されます。



登録・設定操作中に電話がかかってきたときは (●P151)

# 主電話機で電話をかけるには (発信)

INSネット64の2つの通話チャンネルを利用して電話をかけることができます。ただし、他の内線電話機やファクス、ワイヤレスパソコンアダプタなどで2回線とも使用中のときは、ハンドセットを取りあげると「ツーツー...」という音が聞こえ、電話をかけることはできません。

## ハンドセットを取りあげてかける

- 1** ハンドセットを取りあげる。  
「ツー」という発信音を確認してください。

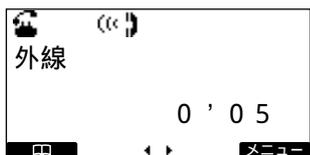


- 2** 電話番号をダイヤルボタンで押す。  
最後の番号を押したあと、約5秒で発信します。電話番号のあとに **#** ボタンを押すと、すぐに発信します。



押し間違えたときは、ハンドセットを置いて、もう一度最初からやり直します。

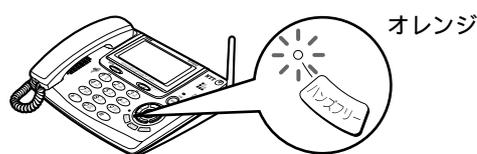
- 3** 相手の方が出たら、お話しする。  
通話時間が表示されます。



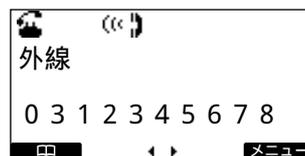
- 4** お話しが終わったら、ハンドセットを置く。  
通話時間と通話料金が表示されます (約5秒間)。

## ハンドセットを置いたままかける (ハンズフリー通話)

- 1** **ハンズフリー** ボタンを押す。  
「ツー」という発信音を確認してください。



- 2** 電話番号をダイヤルボタンで押す。  
最後の番号を押したあと、約5秒で発信します。電話番号のあとに **#** ボタンを押すと、すぐに発信します。



押し間違えたときは、**ハンズフリー** ボタンを押して、もう一度最初からやり直します。

- 3** 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、マイクに向かってお話しする。  
通話時間が表示されます。



マイクとの距離は50 cm以内を目安にお話しください。

- 4** お話しが終わったら、**ハンズフリー** ボタンを押す。  
通話時間と通話料金が表示されます (約5秒間)。



## ワンポイント

電話番号を確認してからかけるには(プリセット発信)  
電話番号を確認してから電話をかけるときは、次の手順でかけます。

電話番号(最大40桁)をダイヤルボタンで押す。  
プリセット発信の場合は、電話番号のあとに#を付けなくてもいいです。

押し間違えたときは、 ボタンを押して1桁ずつ消去して入力し直します。 ボタンを約1秒以上押し続けて番号をすべて消去してから入力し直すこともできます。  
ハンドセットを取り上げる。または  ボタンを押す。  
表示されている電話番号がダイヤルされます。

相手の方が出たら、お話しする。

サブアドレスを指定して電話をかけるには(●P79)

簡単に同じ相手にかけ直すには(再ダイヤル)(●P43)

電話帳ダイヤルでかけるには(●P54)

簡単ダイヤルでかけるには(●P52)

かけてきた相手の方にかかけ直すには(蓄積番号発信)(●P73)

ブッシュホンサービスを利用するには(●P84)

ボタンを押したときの「ピッ」という音を鳴らないようにするには(キータッチトーン)(●P154)



## お知らせ

他の電話機が2回線とも使用中のときは、電話をかけることはできません。このとき主電話機のハンズフリーランプが赤く点灯しています。回線の使用状態は、ディスプレイの表示で確認できます。(●P21)

発信ボタンの設定(●P156)が「利用しない」に設定されているときは、手順2で  ボタンを押すと発信できません。



ハンドセットでお話し中、相手の方の声が聞き取りにくいときには(受話音量)(●P147)  
スピーカの音量を調節するには(スピーカ音量)(●P147)



お話し中に電話をかけるには(●P146)  
プリセット発信とは(●P146)



お話しの途中でハンズフリー通話に変えたいときには(●P146)  
ハンズフリー通話の途中でハンドセットを持ったお話しに変えたいときには(●P146)

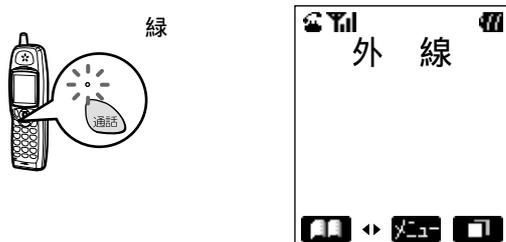


ディスプレイに表示される電話番号の桁数は(●P151)  
ディスプレイに表示される通話時間は(●P151)  
ディスプレイに表示される通話料金は(●P151)

通話ランプが赤く点灯しているときは電話をかけることができません。

## 手に持ってかける (クイック通話)

- 1 充電器から取りあげる。  
「ツーン」という発信音を確認してください。



充電器から外しているときは、**通話** ボタンを押します。

- 2 電話番号をダイヤルボタンで押す。  
最後の番号を押したあと、約5秒で発信します。電話番号のあとに**#**ボタンを押すと、すぐに発信します。



押し間違えたときは、**電源切** ボタンを押して最初からやり直します。

- 3 相手の方が出たら、お話しする。  
通話時間が表示されます。



- 4 お話しが終わったら、充電器に置く。  
充電器に置かないときは、**電源切** ボタンを押します。  
通話時間と通話料金が表示されます (約5秒間)。

## ハンズフリーでかける (ハンズフリー通話)

- 1 充電器に置いたまま、**ハンズフリー** ボタンを押す。  
「ツーン」という発信音を確認してください。



充電器から外しているときも、**ハンズフリー** ボタンを押します。

- 2 電話番号をダイヤルボタンで押す。  
最後の番号を押したあと、約5秒で発信します。電話番号のあとに**#**ボタンを押すと、すぐに発信します。



押し間違えたときは、**電源切** ボタンを押して最初からやり直します。

- 3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、送話口 (マイク) に向かってお話しする。  
通話時間が表示されます。



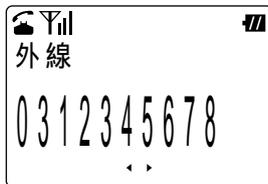
送話口 (マイク) との距離は50 cm以内を目安にお話しください。

- 4 お話しが終わったら、**電源切** ボタンを押す。  
**ハンズフリー** ボタンを押しても電話は切れません。  
通話時間と通話料金が表示されます (約5秒間)。



## ワンポイント

コードレス電話機「P6」では  
コードレス電話機「LP1」と同様の操作で電話をかけることができます。



なお、「ハンズフリーでかける」では、**ハンズフリー** ボタンを **切** ボタンに読み替えてご使用ください  
(ハンズフリー通話中、ハンズフリーランプが点灯します)。

電話番号を確認してからかけるには(プリセット発信)  
電話番号をダイヤルボタンで押す。  
プリセット発信の場合は、電話番号のあとに # を付けないでください。  
押し間違えたときは、クリアボタンを押して1桁ずつ消去して入力し直します。クリアボタンを1秒以上押して番号をすべて消去してから入力し直すこともできます。  
充電器から取りあげるか **通話** ボタンを押す。  
表示されている電話番号がダイヤルされます。  
相手の方が出たらお話しする。

サブアドレスを指定して電話をかけるには(●P79)  
簡単に同じ相手にかけ直すには(再ダイヤル)(●P43、44)  
電話帳ダイヤルでかけるには(●P55、56)  
簡単ダイヤルでかけるには(●P53)  
かけてきた相手の方へかけ直すには(蓄積番号発信)(●P74、75)  
プッシュホンサービスを利用するには(●P84)  
ボタンを押したときの「ピッ」という音を鳴らないようにするには(キータッチトーン)(●P163、165)



## お知らせ

お買い求め時は、クイック通話ができるように設定されています。クイック通話ができないように設定を変えることもできます。(●P163、166)  
お話しが終わったとき、コードレス電話機の **切** ボタンを2秒以上押しと電源が切れてしまいますのでご注意ください。  
発信ボタンの設定(●P156)が「利用しない」に設定されているときは、手順2で **#** ボタンを押すと発信できません。



相手の方が声が聞き取りにくいときには(受話音量)(●P148、149)  
スピーカの音量を調節するには(スピーカ音量)(●P148、149)



お話し中に電話をかけるには(●P146)  
クイック通話とは(●P146)  
クイック通話を解除すると(●P146)  
プリセット発信とは(●P146)



お話しの途中でハンズフリー通話に変えたいときは(●P146)  
ハンズフリー通話の途中でコードレス電話機を持ったお話しに変えたいときは(●P146)



ディスプレイに表示される電話番号の桁数は(●P151)  
ディスプレイに表示される通話時間は(●P151)  
ディスプレイに表示される通話料金は(●P151)



コードレス電話機でお話し中に「ピッピッピッ...」という音が鳴ったら(●P151)  
コードレス電話機でお話し中に「ピー」という音が鳴ったら(●P151)

# 電話がかかってきたときは (着信)

外から電話がかかってくると、主電話機とコードレス電話機の両方で着信音が鳴ります。主電話機ではハンズフリーランプとが、コードレス電話機では通話ランプとが速く点滅します。どの電話機でも電話を受けることができます。

## 主電話機で受ける

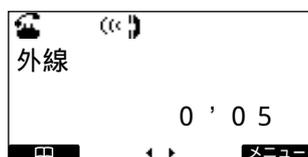
### ハンドセットを取りあげて受ける

着信音が鳴ったら...



**1** ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話する。

通話時間が表示されます。



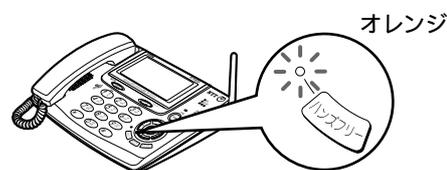
**2** お話が終わったら、ハンドセットを置く。  
通話時間の表示が約5秒後に消えます。

### ハンドセットを置いたまま受ける (ハンズフリー通話)

着信音が鳴ったら...



**1**  ボタンを押す。



**2** マイクに向かってお話しする。  
通話時間が表示されます。



マイクとの距離は50 cm以内を目安にお話してください。

**3** お話が終わったら、 ボタンを押す。  
通話時間の表示が約5秒後に消えます。



### ワンポイント

着信音を変えるには (外線着信音) (●P158)

お話し中に外から電話がかかってきたときは (●P78)

電話に出なかったときは

ディスプレイに「電話がありました」と表示され、電話がかかってきたことがわかります。このとき  ボタンを押すと相手の方の電話番号などを確認できます。

サブアドレス通知を利用している相手の方から電話がかかってきたときは (●P79)

通話後に電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルに登録するには電話帳ダイヤルや簡単ダイヤルに登録していない相手の方からかかってきた場合、INSナンバー・ディスプレイまたはネーム・ディスプレイにより、電話を切ったあとに電話番号や企業名 (氏名) が表示されることがあります。このとき  ボタンを2秒以上押し、この表示内容を電話帳に登録することができます。(●P46)



お話しの途中でハンズフリー通話に変えたいときには (●P146)  
ハンズフリー通話の途中でハンドセットを持ったお話しに変えたいときは (●P146)



着信音の音量を切り替えるには (着信音量) (●P147)  
相手の方の音が聞き取りにくいときには (受話音量) (●P147)  
スピーカの音量を調節するには (スピーカ音量) (●P147)



ディスプレイに表示される電話番号の桁数は (●P151)  
ディスプレイに表示される通話時間は (●P151)  
電話がかかってきたときのディスプレイ表示は (●P152)

プラス  
α相手の方の電話番号を確認してから  
受ける

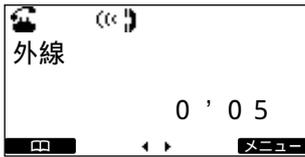
INSナンバーディスプレイをご契約の場合、または相手の方がINSネット、PHS対応電話機、携帯電話から発信者番号を通知して電話をかけてきた場合は、電話番号が表示されます。(☛P71)

ネーム・ディスプレイをご契約の場合で、相手の方が企業名(氏名)を通知して電話をかけてきた場合は、企業名(氏名)も表示されます。(☛P72)

着信音が鳴ったら...



- 1 電話番号を確認し、ハンドセットを取りあげてお話しする。  
通話時間が表示されます。

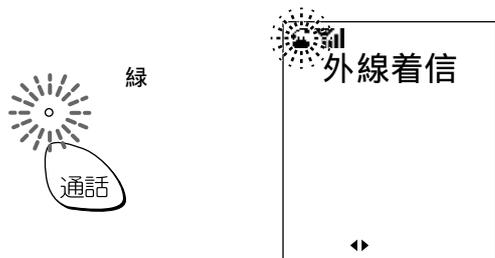


ハンズフリー ボタンを押し、マイクに向かってお話しします。

## コードレス電話機で受ける

### 手に持ってお話しする (クイック通話)

着信音が鳴ったら...



- 1 充電器から取りあげて、相手の方とお話しする。通話時間が表示されます。



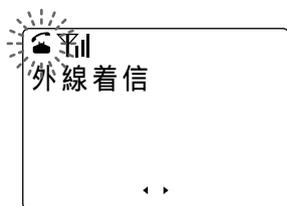
充電器から外しているときは、**通話** ボタンを押します。

- 2 お話しが終わったら、充電器に置く。充電器に置かないときは、**電源切** ボタンを押します。通話時間の表示が約5秒後に消えます。



### ワンポイント

コードレス電話機「P6」ではコードレス電話機「LP1」と同様の操作で電話を受けることができます。

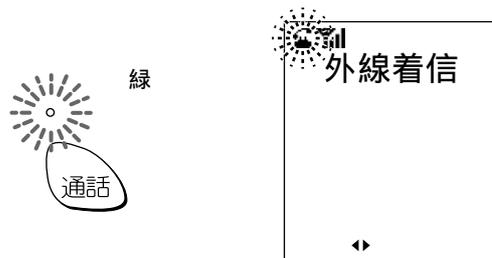


なお、「ハンズフリーで受ける」では、**ハンズフリー** ボタンを **通話** ボタンに読み替えてご使用ください (ハンズフリー通話中、ハンズフリーランプが点灯します)。

お話し中に外から電話がかかってきたときは (●P78) サブアドレス通知を利用している相手の方から電話がかかってきたときは (●P79)

### ハンズフリーでお話しする (ハンズフリー通話)

着信音が鳴ったら...



- 1 充電器に置いたまま、**ハンズフリー** ボタンを押す。



充電器から外しているときも、**ハンズフリー** ボタンを押します。

- 2 送話口 (マイク) に向かってお話しする。通話時間が表示されます。



送話口 (マイク) との距離は50 cmを目安にお話しください。

- 3 お話しが終わったら、**電源切** ボタンを押す。**ハンズフリー** ボタンを押しても電話は切れません。通話時間の表示が約5秒後に消えます。



### お知らせ

コードレス電話機の着信音は、主電話機より少し遅れて鳴ります。コードレス電話機で受けるときは、必ずコードレス電話機の着信音が鳴り始めてから電話を受けてください。着信音が鳴る前に、「受信中」(発信電話番号表示データの受信中)と表示されることがあります。このとき、電話に出たりかけたりすることはできません。

## 相手の方の電話番号を確認してから受ける

INSナンバーディスプレイをご契約の場合、または相手の方がINSネット、PHS対応電話機、携帯電話から発信者番号を通知して電話をかけてきた場合は、電話番号が表示されます。(●P71)

ネーム・ディスプレイをご契約の場合で、相手の方が企業名(氏名)を通知して電話をかけてきた場合は、企業名(氏名)も表示されます。(●P72)

着信音が鳴ったら...



- 1 電話番号を確認し、充電器から取りあげてお話しする。  
通話時間が表示されます。



**ハンズフリー** ボタンを押し、送話口(マイク)に向かってお話しします。



お話し途中でハンズフリー通話に変えたいときには(●P146)  
ハンズフリー通話の途中でコードレス電話機を持ったお話しに変えたいときは(●P146)



お話し中に外から電話がかかってきたときは(●P146)  
クイック通話とは(●P146)  
クイック通話を解除すると(●P146)



着信音の音量を切り替えるには(着信音量)(●P148)  
相手の方の声が聞き取りにくいときには(受話音量)(●P148)  
スピーカ音量を調節するには(スピーカ音量)(●P148)



## ワンポイント

コードレス電話機「LP1」の着信音を変えるには(着信音切替)電話帳ダイヤルの登録または変更の際、7種類の固定の着信音(トレモロ、すずおり、クラリネットをこわしちゃった、亜麻色の髪の乙女、カノン、悲愴、春)または、3種類の変更可能な着信音(ダウンロードなどで登録・変更)から鳴り分け設定をしておくことで、かけてきた相手の方により異なる着信音を鳴らすことができます。(●P47)

待ち受け画面で ボタン[メニュー]を押し。

「着信メロディ」が選択されていることを確認し、 ボタン[選択]を押し。

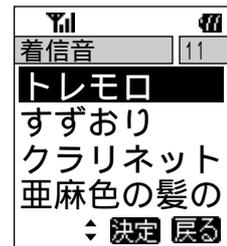
「着信音」が選択されていることを確認し、 ボタン[選択]を押し。

現在の設定内容が表示されます。

ボタン[選択]を押し。

ボタンを 方向または方向に倒して、メロディを選択する。

選択したメロディが鳴ります。



ボタン[決定]を押し。

ボタン[OK]を押し。

コードレス電話機「P6」の着信音を変えるには(着信音切替)電話帳ダイヤルの登録または変更の際、10種類の固定の着信音から鳴り分け設定をしておくことで、かけてきた相手の方により異なる着信音を鳴らすことができます。(●P48)

ボタンを押し。

上ボタン( )または下ボタン( )で「着信音切替」を選択し ボタン[センタク]を押し。

左ボタン( )または右ボタン( )で着信音を選択し ボタン[ケッテイ]を押し



コードレス電話機でお話し中に「ピッピッピッ...」という音が鳴ったら(●P151)

コードレス電話機でお話し中に「ピー」という音が鳴ったら(●P151)



ディスプレイに表示される電話番号の桁数は(●P151)

ディスプレイに表示される通話時間は(●P151)

電話がかかってきたときのディスプレイ表示は(●P152)

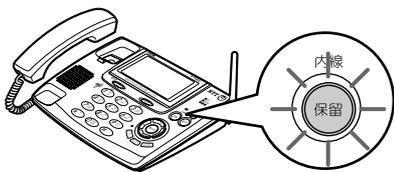
# 相手の方に待っていただくには（保留）

お話しを一時中断して相手の方に待っていただくときは保留にします。相手の方へは保留メロディが流れます。保留にしたあと、他の電話機でも電話に出ることができます。

## 主電話機で保留にする

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えて...

- 1 ボタンを押す。  
相手の方には保留メロディが聞こえます。



ハンズフリーでお話ししていたときも、 ボタンを押します。

- 2 ハンドセットを置く。

## コードレス電話機で保留にする

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えて...

- 1 ボタンを押す。  
相手の方には保留メロディが聞こえます。



ハンズフリーでお話ししているときも、 ボタンを押します。

- 2 充電器に置く。  
充電器に置かないときは、 ボタンを押します。

## 主電話機で電話に出る

- 3 ハンドセットを取りあげてお話しする。



ボタンを押して、マイクに向かってお話しします。

## コードレス電話機で電話に出る

- 3 充電器から取りあげてお話しする。



充電器から外しているときは、 ボタンを押してからお話しします。

ボタンを押して、送話口（マイク）に向かってお話しします。

### ワンポイント

コードレス電話機「P6」ではコードレス電話機「LP1」と同様の操作で保留にすることができます。 ボタンを保留 / 内線ボタンに読みかえてご使用ください。

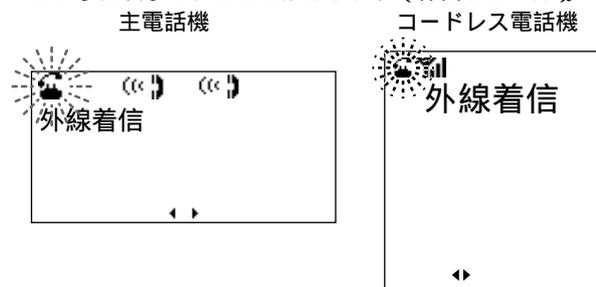
保留にした主電話機でまたすぐお話しするには ボタンを押して保留にしたあとハンドセットを置かずに、もう一度 ボタンを押すと、保留にした相手の方とお話しすることができます。

保留にしたコードレス電話機でまたすぐお話しするには ボタンを押して保留にしたあと充電器に置かずに、もう一度 ボタンまたは ボタンを押すと、保留にした相手の方とお話しすることができます。

他の内線電話機に取りつぐには（☛P62、63）

### お知らせ

他の内線電話機が外線着信中または保留中に、手順2で主電話機のハンドセットを置いたり、コードレス電話機を充電器に置いたとき、保留している相手の方から呼び返され、以下のように表示されることがあります（保留リコール）。



保留にしたときは（☛P150）  
保留中に電話をかける / 電話がかかってきたときは（☛P150）

# 同じ相手の方にかけ直すには (再ダイヤル)

最後にかけた相手の方に、簡単な操作でもう一度電話をかけ直すことができます。再ダイヤルでは、直前にかけた相手の方の電話番号を電話機ごとに記憶しています。

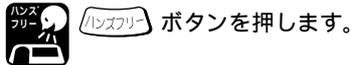
## 主電話機からかける

直前にかけた電話番号の40桁までを記憶しています。

- 1 ハンドセットを置いたまま、 ボタンを押す。最後にかけた電話番号が表示されます。



- 2 ハンドセットを取り上げる。表示されている電話番号がダイヤルされます。



- 3 相手の方が出たら、お話しする。

## ワンポイント

主電話機でハンドセットを取り上げて再ダイヤルするには  
ハンドセットを取り上げる。  
 ボタンを押す。  
相手の方が出たら、お話しする。

コードレス電話機「LP1」で充電器から取り上げて再ダイヤルするには  
充電器から取り上げる。  
 ボタンを押す。  
 ボタンを押す。  
相手の方が出たら、お話しする。

電話帳ダイヤルや簡単ダイヤルのあとでは  
電話帳ダイヤルや簡単ダイヤルでかけた電話番号も再ダイヤルすることができます。

主電話機の再ダイヤルを消去するには  
ハンドセットを置いたまま、 ボタンを押す。  
 ボタン [サブメニュー] を押す。  
下ボタン ( ) で「削除」を選択し、 ボタンを押す。  
 ボタンを押す。

コードレス電話機「LP1」の再ダイヤルを消去するには  
通話ランプが消えていることを確認して、 ボタンを押す。  
 ボタン [サブメニュー] を押す。  
 ボタンを 方向に倒して「1件削除」を選択し、 ボタン [決定] を押す。  
 ボタン [OK] を押す。

## コードレス電話機「LP1」からかける

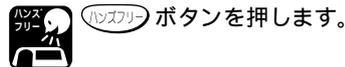
直前にかけた電話番号の50桁までを記憶しています。ダイヤル発信は32桁までです。

- 1 ボタンを押す。「着信履歴」が表示されたときは、 ボタン [切替] を押して変更します。最後にかけた電話番号が表示されます。



電話帳ダイヤルで発信した場合は、名称と番号が表示されます。 ボタンを 方向または 方向に倒すと、名称と電話番号の表示が切り替わります。

- 2 充電器から取り上げる。表示されている電話番号がダイヤルされます。充電器から外しているときは、 ボタンを押します。



- 3 相手の方が出たら、お話しする。

## お知らせ

コードレス電話機「LP1」でかけた電話番号を主電話機で再ダイヤルすることはできません。また、主電話機でかけた電話番号をコードレス電話機「LP1」で再ダイヤルすることもできません。

\*、#、ポーズなども1桁として記憶されます。PBX（構内交換機）の内線電話機としてお使いの場合は、再ダイヤルを利用できない場合があります。



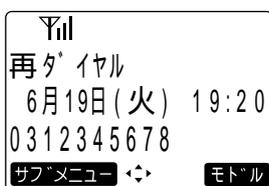
ディスプレイに表示される電話番号の桁数は (●P151)  
ディスプレイに表示される通話時間は (●P151)  
ディスプレイに表示される通話料金は (●P151)

# 同じ相手の方にかけ直すには (再ダイヤル)

## コードレス電話機「P6」からかける

直前にかけた電話番号の40桁までを記憶しています。

- 1 **再ダイヤル** ボタンを押す。  
「着信履歴」が表示されたときは、**再ダイヤル** ボタンを押します。  
最後にかけた電話番号が表示されます。



電話帳ダイヤルで発信した場合は、名称が表示されません。左ボタン( )または右ボタン( )を押すと、名称と電話番号の表示が切り替わります。

- 2 充電器から取りあげる。  
表示されている電話番号がダイヤルされます。  
充電器から外しているときは、**通話** ボタンを押します。



**通話** ボタンを押します。

- 3 相手の方が出たら、お話しする。



### ワンポイント

コードレス電話機「P6」で充電器から取りあげて再ダイヤルするには

充電器から取りあげる。

**再ダイヤル** ボタンを押す。

相手の方が出たら、お話しする。

電話帳ダイヤルや簡単ダイヤルのあとでは  
電話帳ダイヤルや簡単ダイヤルでかけた電話番号も再ダイヤルすることができます。

コードレス電話機「P6」で再ダイヤルを消去するには  
通話ランプが消えていることを確認して、**再ダイヤル** ボタンを押す。

**再ダイヤル** ボタン [サブメニュー] を押す。

下ボタン( )で「削除」を選択し、**再ダイヤル** ボタン [ケッテイ] を押す。

左ボタン( )で「YES」を選択し、**再ダイヤル** ボタン [ケッテイ] を押す。



### お知らせ

コードレス電話機「P6」でかけた電話番号を主電話機で再ダイヤルすることはできません。また、主電話機でかけた電話番号をコードレス電話機「P6」で再ダイヤルすることもできません。

\*、#、ポーズなども1桁として記憶されます。

PBX (構内交換機) の内線電話機としてお使いの場合は、再ダイヤルを利用できない場合があります。



ディスプレイに表示される電話番号の桁数は (●P151)

ディスプレイに表示される通話時間は (●P151)

ディスプレイに表示される通話料金は (●P151)

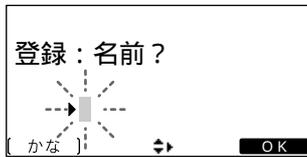
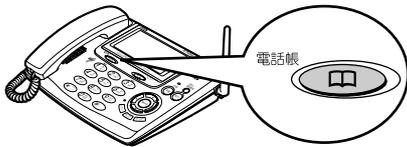
# 電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルに登録するには

電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルに相手の方の名前や電話番号をあらかじめ登録しておく、簡単に検索して電話をかけることができます。

## 主電話機で登録する

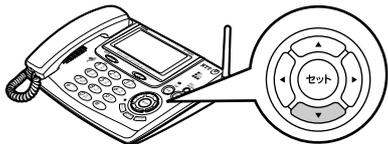
最大200件（簡単ダイヤル10件を含む）まで登録できます。名前とフリガナ、電話番号は必ず登録してください。

- 1 ハンドセットを置いたまま、 ボタンを1秒以上押す。

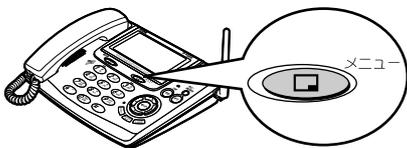


「お名前を入力してください」という音声がかかります。

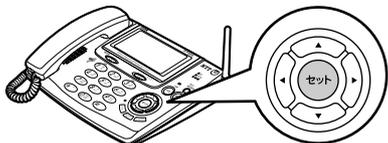
- 2 <名前の登録>  
「主電話機で入力する」(P57)の手順2~4を行って相手の方の名前を登録し、下ボタン( )または  ボタン [OK] または  ボタンを押す。



または



または



最大全角8文字（漢字、ひらがな、カタカナ）、半角16文字（カタカナ、英字、数字）まで入力できます。「文字を入力するには」(P57) 名前を登録すると、フリガナが自動的に表示されます。

- 3 <フリガナの登録>  
表示されたフリガナでよいときは、下ボタン( ) または  ボタン [OK] または  ボタンを押す。

変更するときはフリガナを修正したあと、下ボタン( ) または  ボタン [OK] または  ボタンを押します。

最大半角16文字（カタカナ、英字、数字）まで入力できます。

「電話番号を入力してください」という音声がかかります。

- 4 <電話番号の登録>  
相手の方の電話番号（最大32桁）を入力し、下ボタン( ) を押す。  
簡単ダイヤルに登録しないときは手順6へ進みます。

- 5 <簡単ダイヤルの登録>  
左ボタン( ) または右ボタン( ) で簡単ダイヤル番号（0~9）を選択する。

- 6 登録を終了するときは、 ボタン [トウロク] または  ボタンを押す。  
「ピー」という音が鳴り、登録が終わります。

## お知らせ

相手の方の電話番号の最終桁に # を登録しないでください。間違った相手先に電話がかかったり、話し中になったりすることがあります。  
市外局番が登録されていないと、INSナンバー・ディスプレイご利用時、または相手の方が発信者番号を通知して電話をかけてきたときに、かけてきた相手の方の名前が表示されず、電話番号だけが表示されます。



登録・設定操作中に電話がかかってきたときは (P151)

操作を間違えたときは (P151)

電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには (P151)

(次ページへつづく)

# 電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルに登録するには

## コードレス電話機「LP1」で登録する

最大300件（簡単ダイヤル10件を含む）まで登録できます。名前とフリガナ、電話番号は必ず登録してください。電話がかかってきたときに通常とは違うメロディが流れるように設定しておくこともできます（鳴り分け設定）。一般の電話回線からの着信でも鳴り分け設定を利用するためには、INSナンバー・ディスプレイの契約が必要です。電話番号検索時や着信時の名前、電話番号表示の背景として、画像を選ぶことができます（画像の登録）。

### ワンポイント

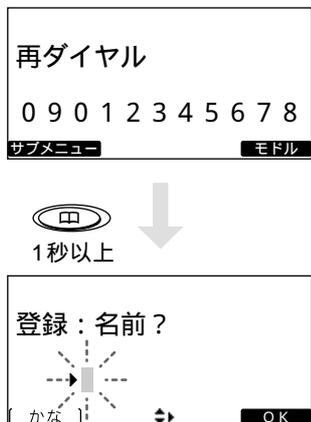
各項目をとばして登録するときは何も入力せずに下ボタン（）を押すと、次の項目へ進むことができます。

記憶されている電話番号を電話帳ダイヤル、簡単ダイヤルに登録するには

再ダイヤル、着信履歴に記憶されている電話番号、またはプリセットダイヤルで表示されている電話番号を登録することができます。電話番号が32桁を超える場合は、33桁以降を削除して登録します。

登録したい電話番号が表示されているときに、 ボタン [サブメニュー] を1秒以上押す。

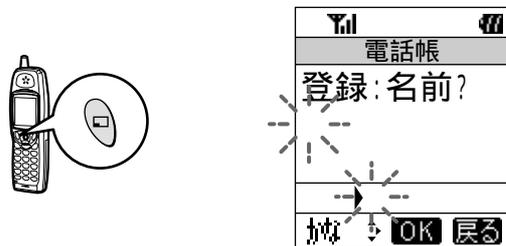
<例>再ダイヤルから登録するとき



「主電話機で登録する」の手順2～6の操作をする。電話番号の登録画面では、電話番号が表示されています。

通話ランプが消えていることを確認して...

1  ボタンを1秒以上押す。



2 <名前の登録>

「コードレス電話機「LP1」で入力する」(P58)の手順2～4を行って相手の方の名前を登録し、 ボタンを 方向に倒す、または  ボタン [OK] を押す。



最大全角12文字（漢字、ひらがな、カタカナ）半角24文字（カタカナ、英字、数字）まで入力できます。「文字を入力するには」(P58)フリガナが自動的に表示されます。

3 <フリガナの登録>

表示されたフリガナでよいときは、 ボタンを 方向に倒す、または  ボタン [OK] を押す。変更するときはフリガナを修正したあと、 ボタンを 方向に倒す、または  ボタン [OK] を押します。

最大半角10文字（カタカナ、英字、数字）まで入力できます。

「文字を入力するには」(P58)

4 <電話番号の登録>

相手の方の電話番号（最大24桁）を入力し、 ボタンを 方向に倒す。

メールアドレスを設定しないときは、もう一度  ボタンを 方向に倒して手順6へ進みます。

**5** <メールアドレスの登録>  
相手の方のメールアドレスを入力し、 ボタンを 方向に倒す。  
半角50文字（英字、数字）まで入力できます。  
「文字を入力するには」(●P58)  
鳴り分けを設定しないときは、もう一度  ボタンを 方向に倒して手順7へ進みます。

**6** <鳴り分け設定>  
 ボタンを 方向または 方向に倒してメロディ（10種類）または「通常と同じ」を選択し、 ボタンを 方向に倒す。  
メロディを選択するたびに曲が流れます。  
画像を設定しないときは、もう一度  ボタンを 方向に倒して手順8へ進みます。

**7** <画像の登録>  
 ボタンを 方向または 方向に倒して背景に表示する画像を選択し、 ボタンを 方向に倒す。  
スクリーン設定 (●P114) で登録した画像から選ぶことができます。簡単ダイヤルに登録しないときは、もう一度  ボタンを 方向に倒して手順9へ進みます。

**8** <簡単ダイヤルの登録>  
 ボタンを 方向または 方向に倒して簡単ダイヤル番号（0～9）を選択する。

**9**  ボタン [登録] を押す。  
「ピー」という音が鳴り、登録が終わります。  
  
 ボタン [OK] を押す。

## お知らせ

手順6 鳴り分け設定 では、着信音の設定に従って音が鳴ります。(●P41)  
手順6 鳴り分け設定 で設定できるメロディは、ダウンロードしたメロディ3種類を含む10種類です。  
相手の方の電話番号の最終桁に # を登録しないでください。間違った相手先に電話がかかったり、話し中になったりすることがあります。  
市外局番が登録されていないと、INSナンバー・ディスプレイをご利用時、または相手の方が発信者番号を通知して電話をかけてきたときに、かけてきた相手の方の名前が表示されず、電話番号だけが表示されます。  
また、鳴り分けも正常に動作しません。



登録・設定操作中に電話がかかってきたときは (●P151)

操作を間違えたときは (●P151)

電話番号にポーズ（待ち時間）を入れて登録するには (●P151)



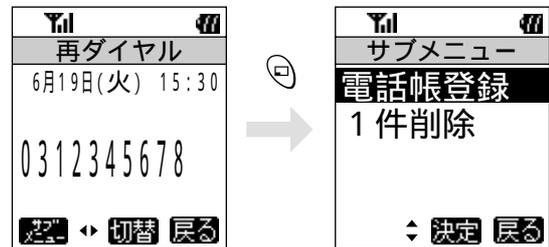
## ワンポイント

記憶されている電話番号を電話帳ダイヤル、簡単ダイヤルに登録するには

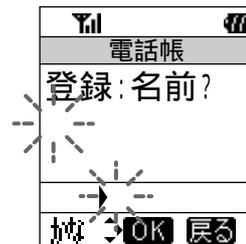
再ダイヤル、着信履歴に記憶されている電話番号、またはプリセットダイヤルで表示されている電話番号を登録することができます。電話番号が24桁を超える場合は、25桁以降を削除して登録します。

登録したい電話番号が表示されているときに、 ボタン [サブメニュー] を押す。(プリセットダイヤルの場合は、 ボタンを約1秒以上押して手順へ進みます。)

<例>再ダイヤルから登録するとき



「電話帳登録」が選択されていることを確認して、 ボタン [決定] を押す。



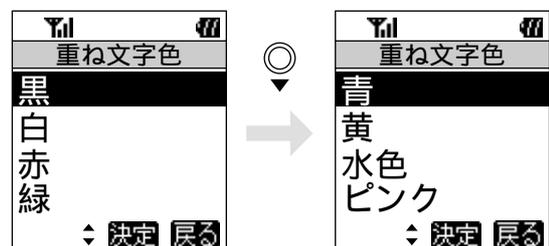
「コードレス電話機「LP1」で登録する」の手順2～10の操作をする。

電話番号の登録画面では、電話番号が表示されています。

画像に重ねて表示する文字の色（8種類）を変更するには文字の色は、画像選択した場合のみ指定できます。

手順7で  ボタン [サブメニュー] を押して「重ね文字色」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。

 ボタンを 方向または 方向に倒して、文字の色を選択する。



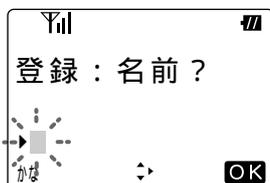
 ボタン [決定] を押す。

## コードレス電話機「P6」で登録する

最大100件（簡単ダイヤル10件を含む）まで登録できます。名前とフリガナ、電話番号は必ず登録してください。電話がかかってきたときに通常とは違うメロディが流れるように設定しておくこともできます（鳴り分け設定）。一般の電話回線からの着信でも鳴り分け設定を利用するためには、INSナンバー・ディスプレイの契約が必要です。

通話ランプが消えていることを確認して...

- 1  ボタンを1秒以上押す。



- 2 <名前の登録>

「コードレス電話機「P6」で入力する」(P59)の手順2~4を行って相手の方の名前を登録し、下ボタン( )またはボタン[OK]を押す。



または



最大全角8文字（漢字）、半角16文字（ひらがな、カタカナ、英字、数字）まで入力できます。

「文字を入力するには」(P59)フリガナが自動的に表示されます。

- 3 <フリガナの登録>

表示されたフリガナでよいときは、下ボタン( )またはボタン[OK]を押す。

変更するときはフリガナを修正したあと、下ボタン( )またはボタン[OK]を押します。

最大半角16文字（カタカナ、英字、数字）まで入力できます。

- 4 <電話番号の登録>

相手の方の電話番号（最大24桁）を入力し、下ボタン( )を押す。

鳴り分け設定をしないときは「トウロク」を押し、手順6へ進みます。

- 5 <鳴り分け設定>

左ボタン( )または右ボタン( )でメロディ（10種類）または「通常と同じ」を選択し、下ボタン( )またはボタン[トウロク]を押す。



メロディを選択するたびに曲が流れます。

簡単ダイヤルに登録しないときは手順7へ進みます。

- 6 <簡単ダイヤルの登録>

左ボタン( )または右ボタン( )で簡単ダイヤル番号（0~9）を選択する。

- 7 ボタン[トウロク]を押す。

「ピー」という音が鳴り、登録が終わります。



## ワンポイント

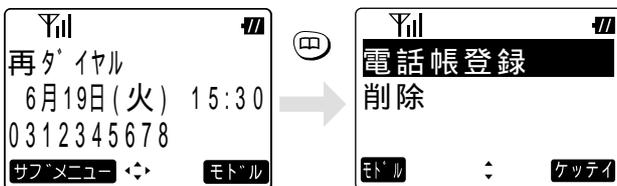
記憶されている電話番号を電話帳ダイヤル、簡単ダイヤルに登録するには

再ダイヤル、着信履歴に記憶されている電話番号、またはプリセットダイヤルで表示されている電話番号に登録することができます。電話番号が24桁を超える場合は、25桁以降を削除して登録します。

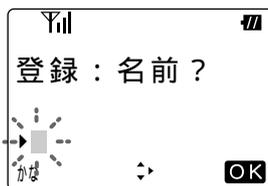
登録したい電話番号が表示されているときに、 ボタン [サブメニュー] を押す。

(プリセットダイヤルの場合は、 ボタンを1秒以上押しで手順へ進みます。)

<例>再ダイヤルから登録するとき



「電話帳登録」が選択されていることを確認して、 ボタン [ケッテイ] を押す。



「コードレス電話機で登録する」の手順2～7の操作をする。電話番号の登録画面では、電話番号が表示されています。



## お知らせ

手順5では、着信音の設定に従って音が鳴ります。(P 41) 「OFF」に設定しているときでも、音量「標準」で音が鳴ります。

相手の方の電話番号の最終桁に#を登録しないでください。間違った相手先に電話がかかったり、話し中になったりすることがあります。

市外局番が登録されていないと、INSナンバー・ディスプレイご利用時、または相手の方が発信者番号を通知して電話をかけてきたときに、かけてきた相手の方の名前が表示されず、電話番号だけが表示されます。

また、鳴り分けも正常に動作しません。



登録・設定操作中に電話がかかってきたときは (P 151)

操作を間違えたときは (P 151)

電話番号にポーズ(待ち時間)を入れて登録するには (P 151)

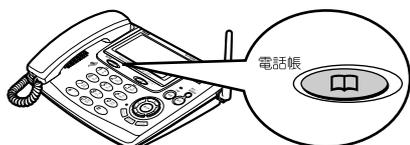
# 電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルを修正するには

登録されている電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルの内容を修正することができます。

## 主電話機で修正する

1 電話帳ダイヤル「主電話機からかける」(●P54)の手順1~4の操作をして、修正する電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルを表示させる。

2  ボタン [サブメニュー] を押す。



3 「修正」が選択されていることを確認し、 ボタンを押す。

「お名前を入力してください」という音声聞こえます。



4 「主電話機で登録する」(●P45)の手順2~6の操作をして、内容を修正する。



### ワンポイント

電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルを1件ずつ消去するには

● 主電話機  
「主電話機で修正する」の手順1の操作をして、消去する電話帳ダイヤルを表示させる。

 ボタン [サブメニュー] を押す。

下ボタン ( ) を押して「削除」を選択し、 ボタンを押す。

左ボタン ( ) を押して「削除」を選択し、 ボタンを押す。

消去を中止するときは「中止」を選択し、 ボタンを押します。

● コードレス電話機「LP1」

「コードレス電話機「LP1」で修正する」の手順1の操作をして、消去する電話帳ダイヤルを表示させる。

 ボタン [サブメニュー] を押す。

 ボタンを 方向に倒して「削除」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

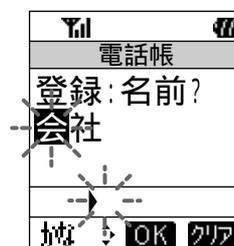
## コードレス電話機「LP1」で修正する

1 電話帳ダイヤル「コードレス電話機「LP1」からかける」(●P55)の手順1~4の操作をして、修正する電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルを表示させる。

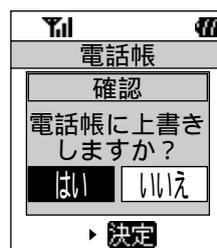
2  ボタン [サブメニュー] を押す。



3 「修正」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。



4 「コードレス電話機「LP1」で登録する」(●P46)の手順2~9の操作をして、内容を修正する。



5  ボタンを 方向または 方向に倒して上書きするかどうかを選択し、 ボタン [決定] を押す。

「はい」：上書きして登録

「いいえ」：追加して登録

「ピー」という音が鳴り、登録が終わります。

6  ボタン [OK] を押す。

「電話帳データを削除しますか?」と表示されたら、 ボタンを 方向に倒して「はい」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

消去を中止するときは「いいえ」を選択し、 ボタン [決定] を押します。

「ピー」という音のあと、 ボタン [OK] を押す。

## コードレス電話機「P6」で修正する

1 電話帳ダイヤル「コードレス電話機「P6」からかける」(●P56)の手順1~4の操作をして、修正する電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルを表示させる。

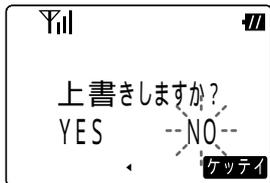
2  ボタン [サブメニュー] を押す。



3 「修正」が選択されていることを確認し、 ボタン [ケッテイ] を押す。



4 「コードレス電話機「P6」で登録する」(●P48)の手順2~7の操作をして、内容を修正する。



5 左ボタン ( ) または右ボタン ( ) で上書きするかどうかを選択し、 ボタン [ケッテイ] を押す。

「YES」：上書きして登録

「NO」：追加して登録

「ピー」という音が鳴り、登録が終わります。



## ワンポイント

電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルを1件ずつ消去するには

「コードレス電話機で修正する」の手順1の操作をして、消去する電話帳ダイヤルを表示させる。

 ボタン [サブメニュー] を押す。

下ボタン ( ) を押して「削除」を選択し、 ボタン [ケッテイ] を押す。

左ボタン ( ) を押して「YES」を選択し、 ボタン [ケッテイ] を押す。

消去を中止するときは「NO」を選択し、 ボタン [ケッテイ] を押します。

コードレス電話機の電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルをすべて消去 (電話帳全削除) するには (●P166)

# 簡単ダイヤルでかけるには (簡単ダイヤル)

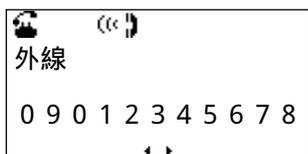
よくかける相手の方の電話番号を簡単ダイヤルに登録しておく( P 45、46、48 ) 1桁の数字を入力するだけで電話をかけることができます。

## 主電話機からかける

1 簡単ダイヤル番号 ( 0 0 ~ 9 9 ) を押す。



2 ハンドセットを取りあげる。  
電話番号が表示されたあと、ダイヤルされます。



 **ハンズフリー** ボタンを押します。

3 相手の方が出たら、お話しする。



 マイクに向かってお話しします。



### ワンポイント

簡単ダイヤル番号を確認してからかけるには  
ハンドセットを置いたまま下ボタン ( ) を押す。  
簡単ダイヤルで登録した名称が確認できます。

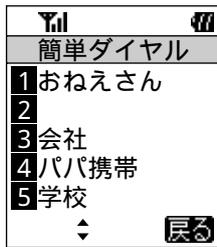
1	会社	6	
2	学校	7	
3		8	
4	パパ携帯	9	
5		0	

簡単ダイヤル番号 ( 0 0 ~ 9 9 ) を押す。  
相手の方が出たらお話しします。

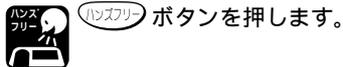
## コードレス電話機「LP1」からかける

通話ランプが消えていることを確認して...

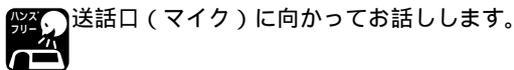
- 1  ボタンを 方向に倒す。  
簡単ダイヤルで登録した名称が表示されます。



- 2 簡単ダイヤル番号 (0<sup>0</sup> ~ 9<sup>9</sup>) を押す。  
電話番号が表示されたあと、ダイヤルされます。



- 3 相手の方が出たら、お話しする。



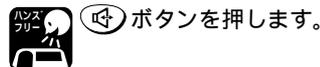
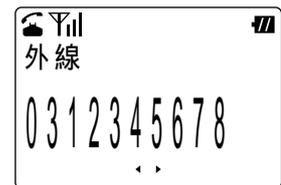
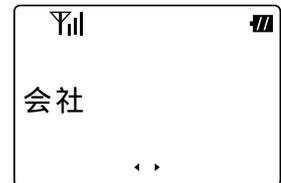
## コードレス電話機「P6」からかける

通話ランプが消えていることを確認して...

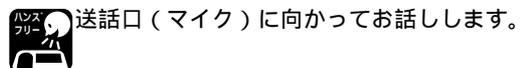
- 1 簡単ダイヤル番号 (0<sup>0</sup> ~ 9<sup>9</sup>) を押す。



- 2  ボタンを押す。  
名前と電話番号が順に表示されたあと、ダイヤルされます。



- 3 相手の方が出たら、お話しする。



## ワンポイント

コードレス電話機「P6」の簡単ダイヤル番号を確認するには手順1の前に以下の操作を行うと、簡単ダイヤルの登録内容が確認できます。

 ボタンを押す。

下ボタン ( ) または上ボタン ( ) で「簡単ダイヤル検索」を選択し、 ボタン [センタク] を押す。

電話をかけるときは、 ボタンを押してから手順1以降の操作を行います。

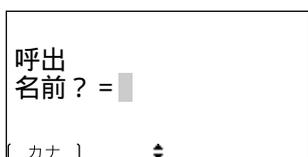
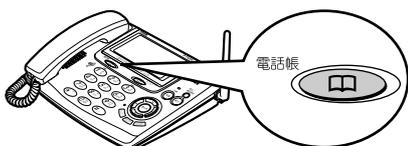
# 電話帳ダイヤルでかけるには (電話帳ダイヤル)

よくかける相手の方の電話番号を電話帳ダイヤルに登録しておく(●P45、46、48)、簡単な操作で電話をかけることができます。

## 主電話機からかける

### <例> 名前検索の場合

- 1 ハンドセットを置いたまま、 ボタンを押す。

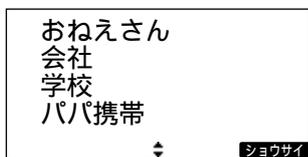
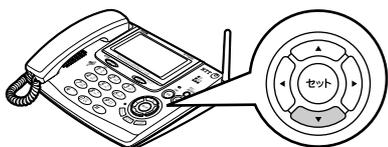


- 2 名前のフリガナの先頭1文字をダイヤルボタンで入力する。

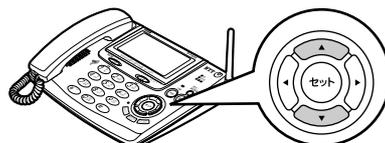


「文字を入力するには」(●P57)

- 3 下ボタン( )を押す。  
入力した文字から始まる名前が順に表示されます。  
<例> 「カ」を入力した場合



- 4 下ボタン( )または上ボタン( )で名前を選択する。



下ボタン( )または上ボタン( )を押し続けると、画面をすばやくスクロールさせることができます。

 ボタン [ショウサイ] を押すと、登録した名前、電話番号などを確認できます。

- 5 ハンドセットを取りあげる。  
選択した相手先にダイヤルされます。



ハンズフリー ボタンを押します。

- 6 相手の方が出たら、お話しする。



マイクに向かってお話しします。



### ワンポイント

ハンドセットを取りあげて電話帳ダイヤルでかけるには  
ハンドセットを取りあげる。

 ボタンを押す。

名前のフリガナの先頭1文字を入力する。

下ボタン( )を押す。

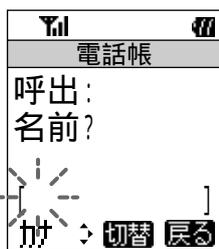
下ボタン( )または上ボタン( )で電話帳ダイヤルを選択する。

## コードレス電話機「LP1」からかける

## &lt;例&gt; 名前検索の場合

通話ランプが消えていることを確認して...

- 1  ボタンを押す。



「ダイヤル?」と表示された場合は、 ボタン [切替] を押して検索方法を変更します。

- 2 名前のフリガナの先頭1文字をダイヤルボタンで入力する。

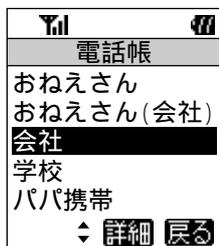


「文字を入力するには」(P58)

- 3  ボタンを 方向または 方向に倒す。

入力した文字から始まる名前が五十音順に表示されます。

<例> 「カ」を入力した場合



- 4  ボタンを 方向または 方向に倒して名前を選択する。

 ボタンを 方向または 方向に倒し続けると、画面をすばやくスクロールさせることができます。

 ボタン [詳細] を押すと、登録した内容を表示させることができます。

- 5  ボタンを押す。  
電話番号がダイヤルされます。



-  ボタンを押します。

- 6 相手の方が出たら、お話しする。

-  送話口(マイク)に向かってお話しします。



## ワンポイント

充電器から取りあげて電話帳ダイヤルでかけるには  
充電器から取りあげる。

-  ボタンを押す。

-  ボタンを押す。

名前のフリガナの先頭1文字を入力する。

-  ボタンを 方向または 方向に倒す。

-  ボタンを 方向または 方向に倒して、かけたい電話帳ダイヤルにカーソルを合わせる。

-  ボタンを押す。

電話帳登録が4件以下のときは  
手順1~3の操作を行うと手順4  
の操作を行わなくても登録した  
名前と電話番号が表示されます。  
なお、 ボタンを 方向また  
は 方向に倒すと、他の登録内容  
を順に表示することができます。  
以降、手順5に進んでください。

電話番号で電話帳を検索するには  
入力した数字(最大24桁)を  
含む電話番号を検索して、電話  
をかけることができます。

-  ボタンを押す。

「名前?」と表示された場合  
は、 ボタン [切替] を押  
して検索方法を変更します。

検索する電話番号を含む番号を入力する。

-  ボタンを 方向または 方向に倒す。

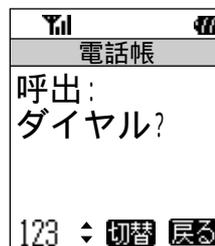
入力した数字を含む電話番号の電話帳ダイヤルが表示され  
ます。

-  ボタンを 方向または 方向に繰り返し倒す。

順次名前と電話番号が表示されます。

電話をかける場合は、以降手順5に進んでください。

なお、 ボタンを 方向または 方向に倒すと、他の  
登録内容を順に表示することができます。

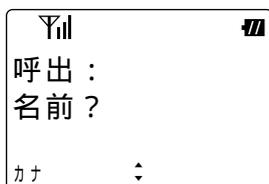


## コードレス電話機「P6」からかける

### <例> 名前検索の場合

通話ランプが消えていることを確認して...

1 ボタンを押す。



2 名前のフリガナの先頭1文字をダイヤルボタンで入力する。



「文字を入力するには」(P59)

3 下ボタン( )または上ボタン( )を押す。  
入力した文字から始まる名前が順に表示されます。  
<例> 「カ」を入力した場合



4 下ボタン( )または上ボタン( )で名前を選択する。



下ボタン( )または上ボタン( )を押し続けると、画面をすばやくスクロールさせることができます。

ボタン [ ショウサイ ] を押すと登録した内容を表示させることができます。

5 ボタンを押す。  
電話番号がダイヤルされます。



ボタンを押します。

6 相手の方が出たら、お話しする。

送話口(マイク)に向かってお話しします。

### ワンポイント

コードレス電話機を充電器から取りあげて電話帳ダイヤルでかけるには

充電器から取りあげる。

ボタンを押す。

ボタンを押す。

名前のフリガナの先頭1文字を入力する。

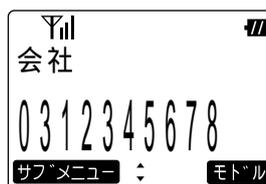
下ボタン( )または上ボタン( )を押す。

下ボタン( )または上ボタン( )で電話帳ダイヤルを選択する。

ボタンを押す。

電話帳登録が2件以下のとき、コードレス電話機からかけるには

「コードレス電話機からかける」の手順1~3の操作を行うと手順4の操作を行わなくても登録した名前と電話番号が表示されます。



以降、手順5に進んでください。

# 文字を入力するには

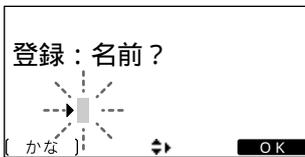
電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルを登録するときなどは、ダイヤルボタンを使って文字を入力します。

## 主電話機で入力する

漢字（全角） ひらがな（全角） カタカナ（全角／半角） 英字（半角） 数字（半角） 記号（半角）を入力することができます。

### <例> 電話帳ダイヤルに名前を登録する場合

- 1 ハンドセットを置いたまま、 ボタンを1秒以上押す。



- 2 ボタンを繰り返し押し、入力する文字の種類を選択する。

- 3 文字が割り当てられたボタンを押す。

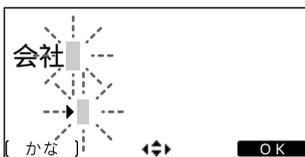
例：「会社」と入力する場合  
「かな」を表示させて...  
② を1回押す...か  
① を2回押す...い  
③ を2回押す...し  
⑧ を4回押す...や



下ボタン（）を繰り返し押す...「かいしや」の変換候補が順に表示されます。

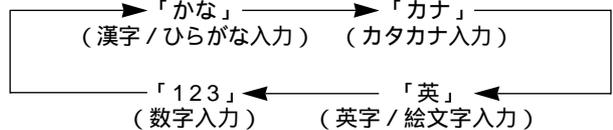


- 4 ボタン [OK] または ボタンを押す。文字が確定します。



### ワンポイント

入力モードを切り替えるには  
文字入力中に ボタンを押すたびに、入力モードが切り替わります。



ボタンと文字の対応表（主電話機）

入力モード ボタン	「かな」表示 (漢字/ひらがな入力) <sup>1</sup>	「カナ」表示 (カタカナ入力)	「英」表示 (英字/絵文字入力)	「123」表示 (数字入力)
①	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	(半角スペース) ♥1234567890	1
②	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2
③	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef	3
④	たちつとっ	タチツテトツ	GHIghi	4
⑤	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
⑥	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno	6
⑦	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
⑧	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	TUVtuv	8
⑨	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0	わをん - · ! ? , .	ワヲン - · ! ?	! ? - & ( ) " \$ % + , ; < = > [ ¥ ] ^ ` {   }	0
*	* ° 3	* °	@ _ / . : ;	*
#	(区点入力) <sup>2</sup>			#

- 1 変換によりカタカナ（全角/半角）も入力できます。
- 2 (#) ボタンを押したあと、区点コード（4桁の数字）（）を入力し、上ボタン（）または下ボタン（）を押して文字を選択します。
- 3「かな」表示の「°」「°」は、前に入力した文字が「°」「°」を使用できる文字の場合のみ入力できます。

入力した文字を消すには

1文字消すとき：左ボタン（）または右ボタン（）で消したい文字にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。  
すべての文字を消すとき：左ボタン（）または右ボタン（）でカーソルを文末に移動し、 ボタンを1秒以上押す（カーソル以降に文字がある場合は、カーソル以降の文字がすべて消える）。



登録・設定操作中に電話がかかってきたときは（）  
操作を間違えたときは（）

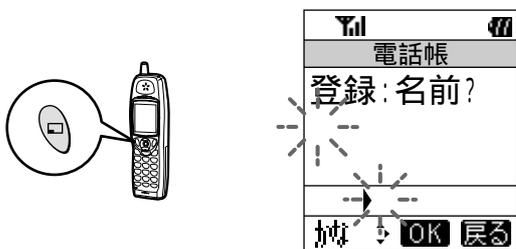
# 文字を入力するには

## コードレス電話機「LP1」で入力する

漢字（全角） ひらがな（全角） カタカナ（全角/半角） 英字（半角） 数字（半角） 記号（半角）を入力することができます。

### <例> 電話帳ダイヤルに名前を登録する場合

1 ボタンを1秒以上押す。



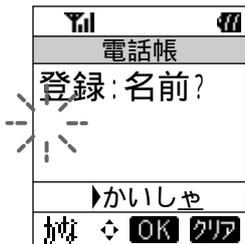
2 ボタンを繰り返し押し、入力する文字の種類を選択する。

3 文字が割り当てられたボタンを押す。

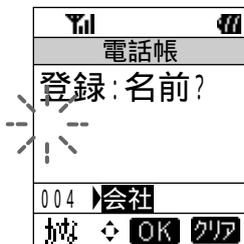
例：「会社」と入力する場合

「かな」を表示させて...

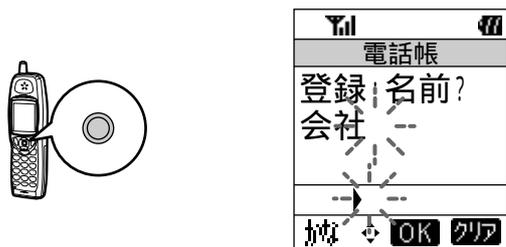
- ② を1回押す...か
- ① を2回押す...い
- ③ を2回押す...し
- ⑧ を4回押す...や



ボタンを繰り返し 方向に倒す...「かいしゃ」の変換候補が順に表示されます。

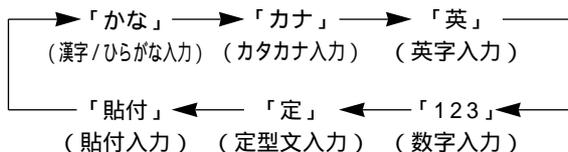


4 ボタン [OK] を押す。  
文字が確定します。



## ワンポイント

入力モードを切り替えるには  
文字入力中に ボタンを押すたびに、入力モードが切り替わります。



ただし、フリガナ入力時は、「カナ」(カタカナ) 「英」「123」「カナ」...の順に入力モードが切り替わります。

ボタンと文字の対応表

入力モード	「かな」表示 <sup>1</sup> (漢字/ひらがな入力)	「カナ」表示 (カタカナ入力)	「英」表示 (英字入力)	「123」表示 (数字入力)
①	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	(半角スペース)	1
②	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc <sup>3</sup>	2
③	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef <sup>3</sup>	3
④	たちつとっ	タチツテトツ	GHIghi <sup>3</sup>	4
⑤	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl <sup>3</sup>	5
⑥	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno <sup>3</sup>	6
⑦	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs <sup>3</sup>	7
⑧	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	TUVtuv <sup>3</sup>	8
⑨	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz <sup>3</sup>	9
0	わをん - · ! ? , .	ワヲン - · ! ?	! ? - & ( ) " \$ % + ; < = > [ \ ] ^ _ {  }	0
* (絵文字)	* * <sup>2</sup> (絵文字入力) <sup>4</sup>	* *	. @ _ / :	*
#	(区点入力) <sup>5</sup>			#

- 1 変換によりカタカナ（全角/半角）も入力できます。
- 2 「かな」表示の「<sup>゛</sup>」「<sup>゜</sup>」は、前に入力した文字が「<sup>゛</sup>」「<sup>゜</sup>」を使用できる文字の場合のみ入力できます。
- 3 メール宛先入力時は、小文字から先に表示されます。
- 4 絵文字（●P184）入力は、メールの題名/本文またはサイト/ホームページの入力時のみ有効です。（●P97）
- 5 を押したあと、区点コード（4桁の番号）（●P188）を入力します。

入力した文字を消すには

1文字消すとき： ボタンを 方向または 方向に倒して消したい文字にカーソルを合わせ、 ボタン [クリア] を押す。

すべての文字を消すとき： ボタン [クリア] を1秒以上押す。

- 電話番号入力時は、 ボタン [クリア] を押すと最後の1桁が消え、 ボタン [クリア] を1秒以上押すと全桁が消えます。

ポーズを入力するには

電話番号入力時に、 ボタンを押す、続けて を押します。1桁目には入力できません。



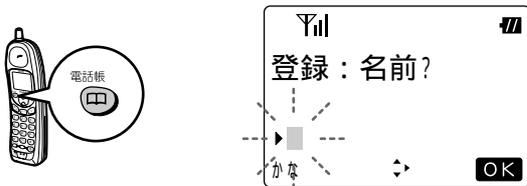
登録・設定操作中に電話がかかってきたときは  
(●P151)  
操作を間違えたときは (●P151)

## コードレス電話機「P6」で入力する

漢字（全角） ひらがな（半角） カタカナ（半角） 英字（半角） 数字（半角） 記号（半角）を入力することができます。

### <例> 電話帳ダイヤルに名前を登録する場合

- 1 ボタンを1秒以上押す。



- 2 ボタンを繰り返し押し、入力する文字の種類を選択する。

- 3 文字が割り当てられたボタンを押す。

例：「会社」と入力する場合

「かな」を表示させて...

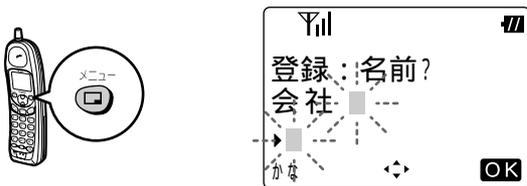
- を1回押す...か
- を2回押す...い
- を2回押す...し
- を4回押す...や



下ボタン（）を繰り返し押す...「かいしや」の変換候補が順に表示されます。



- 4 ボタン [OK] を押す。  
文字が確定します。



## ワンポイント

入力モードを切り替えるには  
文字入力中に ボタンを押すたびに、入力モードが切り替わります。

▶「かな」→「英」→「123」  
(漢字/ひらがな/カタカナ入力) (英字/絵文字入力) (数字入力)

ただし、フリガナ入力時は、「カナ」(カタカナ) 「英」「123」「カナ」...の順に入力モードが切り替わります。

ボタンと文字の対応表(コードレス電話機)

入力モード ボタン	「かな」表示 (漢字/ひらがな入力)	「カナ」表示 (カタカナ入力)	「英」表示 (英字/絵文字入力) <sup>1</sup>	「123」表示 (数字入力)
	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	(半角スペース) ♥👤👤👤👤	1
	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2
	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef	3
	たちつとっ	タチツテトツ	GHIghi	4
	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno	6
	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	TUVtuv	8
	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
	わをん -・!?,。	ワヲン -・!?	!?"&()*"\$%+ ;:<=>[¥]^`{ }	0
	* ° 3	* °	@_/:.	*
	(区点入力) <sup>2</sup>			#

- 1 を繰り返し押すと、いろいろな絵文字を入力することができます。
- 2 を押したあと、区点コード(4桁の番号)( P188)を入力します。
- 3 「かな」表示の「\*」「°」は、前に入力した文字が「\*」「°」を使用できる文字の場合のみ入力できます。

カタカナを入力するには

ボタンを繰り返し押し「かな」を表示させる。

文字を入力する。

下ボタン（）を繰り返し押しカタカナに変換する。

ボタン [OK] を押す。

入力した文字を消すには

1文字消すとき：左ボタン（）または右ボタン（）で消したい文字にカーソルを合わせ、クリアボタンを押す。  
すべての文字を消すとき：クリアボタンを1秒以上押す。

- 電話番号入力時は、クリアボタンを押すと最後の1桁が消え、クリアボタンを1秒以上押すと全桁が消えます。

ポーズを入力するには

電話番号入力時に、保留/内線ボタンを押し、続けて を押します。1桁目には入力できません。



登録・設定操作中に電話がかかってきたときは  
( P151)

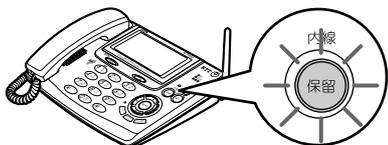
操作を間違えたときは ( P151)

他の電話機を内線番号で呼び出してお話しすることができます。また、呼びかけに対して、ハンドセットやコードレス電話機に触れずにハンズフリーで応答することができます(内線トークバック)。

### 主電話機から呼び出す

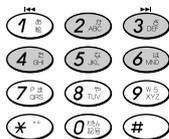
#### 呼び出す方(主電話機)

- 1** ハンドセットを置いたまま、内線ボタンを押す。  
「ツー」という音を確認してください。



- 2** 呼び出す内線電話機の内線番号 ( 2線 ~ 6線 ) を押す。

呼出音が聞こえます。



2線 ~ 5線 : コードレス電話機

6線 : アナログポートに接続した通信機器 (電話機、ファクスなど)

- 3** ハンドセットを取りあげて、呼出音が終わったら呼びかける。

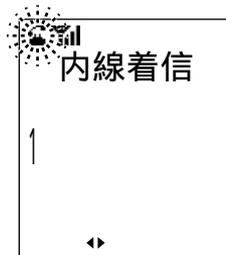


アナログポートの通信機器を呼び出したときは、呼びかけることはできません。呼出音が鳴り続けますので、相手の方が応答したらお話しください。

- 4** お話が終わったら、ハンドセットを置く。

#### 呼び出される方(コードレス電話機「LP1」の例)

- 1** 呼び出されると呼出音が鳴り、続いて呼びかける声が聞こえる。



アナログポートの電話機では、呼出音が鳴り続けます。

- 2** 通話口(マイク)に向かってお話しする。



充電器から取りあげるか、充電器から外しているとき 通話 ボタンを押すと内線通話になります。



#### ワンポイント

「呼び出す方」の手順1または3で呼び出しを中止するときは内線ボタンを押します。

内線通話中に電話がかかってきたら主電話機とコードレス電話機で、お話しに重なって着信音が聞こえます。電話に出たい方が **キャッチ** ボタン(コードレス電話機の場合は **キャッチ** ボタン)を押して、外の相手の方とお話しください。このとき、内線通話は切れます。

呼びかけずに呼出音だけにするには(内線呼出音)お買い求め時は「内線トークバック(音声呼出)」に設定されていますが、内線呼出音の設定を「トーン呼出」にすると、呼出音が鳴り続けるようになります。(P150、158)  
アナログポートの通信機器から呼び出すには(P171)

## コードレス電話機から呼び出す

## 呼び出す方(コードレス電話機「LP1」の例)

- 1 充電器から取りあげてボタン  を押す。



充電器から外しているときは、通話ランプが点灯していないことを確認します。

- 2  ボタンを押す。

「ツー」という音を確認してください。



- 3 呼び出す電話機の内線番号 (  ~  ) を押す。  
呼出音が聞こえます。



-  : 主電話機  
 ~  : コードレス電話機  
 : アナログポートに接続した通信機器  
(電話機、ファクスなど)

- 4 呼出音が終わったら、呼びかける。



アナログポートの通信機器を呼び出したときは、呼びかけることはできません。呼出音が鳴り続けますので、相手の方が応答したらお話しください。

- 5 お話しが終わったら、充電器に置く。  
充電器に置かないときは、  ボタンを押します。



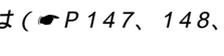
## ワンポイント

コードレス電話機「P6」ではコードレス電話機「LP1」と同様の操作で呼び出すことができます。  ボタンを保留/内線ボタンに読み替えてご使用ください。



内線番号の割り当ては (  )  
内線トークバック (音声呼出) をやめるには  
(  )

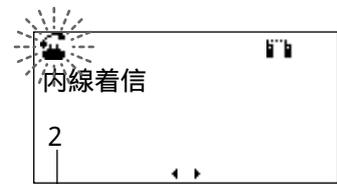


呼出音の音量を切り替えるには (  )  
相手の方の声が聞き取りにくいときには (受話音量)  
(  )  
スピーカの音量を調節するには (スピーカ音量)  
(  )

## 呼び出される方(主電話機の例)

コードレス電話機が呼び出されたときは (  )

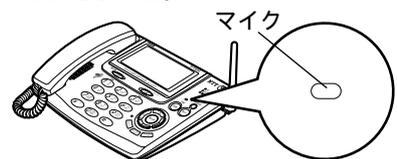
- 1 呼び出されると呼出音が鳴り、続いて呼びかける声が聞こえる。  
バックライトが点灯します。



呼び出しているコードレス電話機の内線番号

アナログポートの電話機では、呼出音が鳴り続けます。

- 2 マイクに向かってお話しする。



ハンドセットを取りあげると内線通話になります。

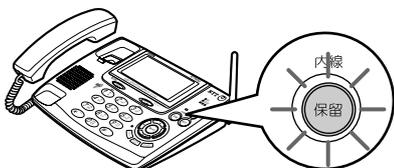
主電話機で受けた電話をコードレス電話機へ、またはコードレス電話機で受けた電話を主電話機や他のコードレス電話機へ取りつぐことができます。

## 主電話機から取りつぐ

### 呼び出す方 (主電話機)

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えて...

- 1  ボタンを押す。  
相手の方には保留メロディが聞こえます。



 ハンズフリー通話でお話しているときは、ハンドセットを取りあげてから  ボタンを押します。

- 2 呼び出す内線電話機の内線番号 (  ~  ) を押す。  
呼出音が聞こえます。



 ~  : コードレス電話機  
 : アナログポートに接続した通信機器 (電話機、ファクスなど)

- 3 呼出音が終わったら、呼びかける。

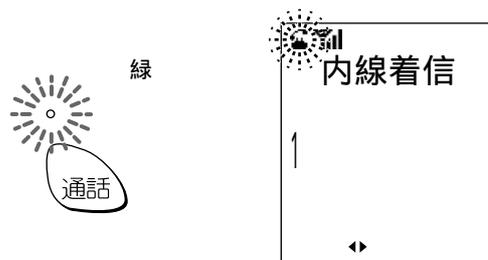


アナログポートの通信機器を呼び出したときは、呼びかけることはできません。呼出音が鳴り続けますので、相手の方が応答したらお話しください。

- 4 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝える。
- 5 転送するために、ハンドセットを置く。

### 呼び出される方 (コードレス電話機「LP1」の例)

- 1 呼び出されると呼出音が鳴り、続いて呼びかける声が聞こえる。



アナログポートの電話機では、呼出音が鳴り続けます。

- 2 充電器から取りあげて、お話しする。



充電器から外しているときは、 ボタンを押します。

- 3 外からの相手の方とお話しする。



### ワンポイント

呼び出す相手の方を変えるには (コードレス電話機を2台以上接続しているとき)

「呼び出す方」の手順3で、呼び出された方が応答しなかったときは、 ボタンを押して、別の内線番号を押し直します。

呼びかけずに呼出音だけにするには (内線呼出音)

お買い求め時は「内線トークバック (音声呼出)」に設定されていますが、内線呼出音の設定を「トーン呼出」にすると、呼出音が鳴り続けるようになります。(●P150、158)

アナログポートの通信機器から呼び出すには (●P171)

## コードレス電話機から取りつぐ

## 呼び出す方（コードレス電話機「LP1」の例）

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えて...

- 1**  ボタンを押す。  
相手の方には保留メロディが聞こえます。



- 2** 呼び出す電話機の内線番号（ ~ ）を押す。  
呼出音が聞こえます。



-  : 主電話機  
 ~  : コードレス電話機  
 : アナログポートに接続した通信機器  
（電話機、ファクスなど）

- 3** 呼出音が終わったら、呼びかける。



アナログポートの通信機器を呼び出したときは、呼びかけることはできません。呼出音が鳴り続けますので、相手の方が応答したらお話しください。

- 4** 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝える。

- 5** 転送するために、充電器に置く。  
充電器に置かないときは、 ボタンを押します。



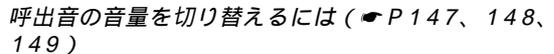
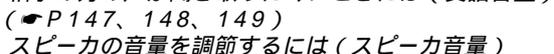
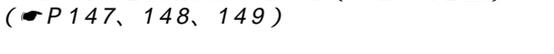
## ワンポイント

コードレス電話機「P6」ではコードレス電話機「LP1」と同様の操作で取りつぐことができます。 ボタンを保留/内線ボタンに読み替えてご使用ください。



内線番号の割り当ては（）  
呼び出しを中止して、外の相手の方とのお話しに戻るには（）  
呼びかけに対してハンドセットまたはコードレス電話機を持たずに応答するには（）  
保留にしたときは（）

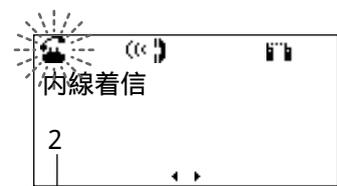


呼出音の音量を切り替えるには（）  
相手の方の声が聞き取りにくいときには（受話音量）  
（）  
スピーカの音量を調節するには（スピーカ音量）  
（）

## 呼び出される方（主電話機の例）

コードレス電話機が呼び出された場合は（）

- 1** 呼び出されると呼出音が鳴り、続いて呼びかける声が聞こえる。  
バックライトが点灯します。



呼び出しているコードレス電話機の内線番号

アナログポートの電話機では、呼出音が鳴り続けます。

- 2** ハンドセットを取りあげてお話しする。

- 3** 外からの相手の方とお話しする。



## 留守番電話として使うには

留守番電話にすると、外出中に電話をかけてきた方に対して外出の旨を伝え（応答メッセージ）用件を録音していただくことができます。電話機に内蔵されている応答メッセージ（内蔵メッセージ）を利用すれば、すぐに留守番電話として使えます。さらに、自作の応答メッセージを利用することもできます。

### 外出するとき

#### 留守をセットする

 ボタンを押して、留守をセットします。（☛P65）



#### 留守セット時に使用される応答メッセージ

自作の応答メッセージを録音していないとき  
2種類の内蔵メッセージが電話機に内蔵されていますので、すぐに利用できます。

#### < 応答録音メッセージ >

- ファクスを接続していないとき  
「ただいま留守にしています。おそれ入りますが、ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。」
- ファクスを接続しているとき（☛P170）  
「ただいま留守にしています。おそれ入りますが、ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方は送信してください。」

留守セット中に用件録音件数が59件になったり、録音時間の残量がなくなると、以下の応答専用メッセージに変わり、用件は録音されません。

#### < 応答専用メッセージ >

- ファクスを接続していないとき  
「ただいま留守にしています。おそれ入りますが、のちほどおかけ直してください。」
- ファクスを接続しているとき（☛P169）  
「ただいま留守にしています。おそれ入りますが、のちほどおかけ直してください。ファクシミリの方は送信してください。」

自作の応答メッセージを録音しているとき  
自分の声で録音した応答メッセージが使用されます。  
「自分の声で応答メッセージを録音するには」（☛P67）

### 外出中

#### 用件が録音される

留守中でも自動的に電話がつながり、用件が録音されます。



#### 用件録音

留守セット中に電話がかかってくると、自動的に電話がつながり、応答メッセージが流れます。

相手の方が「ピー」という音のあとに話した用件が録音されます。

相手の方が電話を切ると、録音された曜日と時刻が自動的に録音されます。

「外出先から用件を聞くには」（☛P69）

### 帰宅したら

#### 用件を聞く

用件が録音されているときは、留守ランプが点滅しています。留守を解除すると、自動的に用件の再生が始まります。（☛P66）



### お知らせ

コードレス電話機で留守番電話の機能を利用することはできません。

### お願い

留守設定をしているときに、警察（110）、消防（119）からの呼び返しがあると留守番電話が応答します。留守番電話が応答したあとはコードレス電話機では応答できませんので、主電話機のハンドセットを取りあげてお話しをしてください。

# 留守をセット / 解除するには

主電話機の留守ボタンを押して留守ランプを点灯させるだけで、留守をセットすることができます。留守ランプが点灯または点滅しているときは、すでに留守がセットされています。

## 留守をセットする

- 1 ハンドセットを置いたまま、留守ボタンを押す。  
留守ランプが点灯し、応答メッセージが再生され、留守がセットされます。



### ワンポイント

留守セット時に使用される応答メッセージは(●P64)  
前の用件を消さずに留守をセットするには(アキュムレート録音)  
お買い求め時は、留守をセットするたびに、前に録音されていた用件が消去されるように設定されています。前の用件を消去せずに留守をセットできるアキュムレート録音に変更することができます。(●P157)

例：用件A、Bが前回録音されていた場合

<通常の留守セット>



<アキュムレート録音で留守セット>



### お知らせ

留守セット中でも、外から電話がかかってくると、コードレス電話機にも着信します。

留守番電話で応答中に外から電話がかかってきたときは、次の条件以外の電話を受けることはできません。

- ・i・ナンバー登録されているコードレス電話機やアナログポートの通信機器へ着信した場合
- ・サブアドレス指定によってコードレス電話機やアナログポートの通信機器へ着信した場合

留守セット中にi・ナンバー登録やサブアドレス指定されているコードレス電話機やアナログポートの通信機器へ個別着信があった場合、留守番電話は応答しません。

# 留守をセット / 解除するには

外出中に用件が録音されると、主電話機の留守ランプが点滅します。録音がないときは、留守ランプは点灯のままです。

## 留守を解除する

- 1 ハンドセットを置いたまま、**留守** ボタンを押す。  
用件が録音されている場合は留守ランプが点滅から点灯に変わり、用件の件数を案内する音声聞こえたあと、用件の再生が始まります。各用件の終わりに、録音された時刻と曜日を音声で案内します。



用件を全部再生し終わると、「ピーピピピ」という音が鳴り、留守ランプが消灯します。  
用件が録音されていない場合は「用件入っていません」という音声聞こえたあと、「ピピピピ」という音が鳴り、留守ランプが消灯します。



## 留守を解除したあとに用件を聞き直す

- 1 ハンドセットを置いたまま、再生 / 通話録音ボタンを押す。



## ワンポイント

再生中にできる操作は

操作	押すボタン
再生中の用件を消去する	<b>再ダイヤル / フリガ</b> ボタン (「消去しますか?」と表示される) <b>OK</b> ボタン [OK] または <b>セット</b> ボタン
再生中の用件を聞き直す	<b>1</b> ボタン
1つ前の用件をもう一度聞く	<b>1</b> ボタンを2回 (0.5秒以内に続けて押す)
再生中の用件をとばして次の用件を聞く(最後の用件ときは、再生を終了する)	<b>3</b> ボタン
再生を途中で止める	<b>#</b> ボタンまたは再生 / 通話録音 ボタン または <b>キックオフ / とりだし</b> ボタン

用件をすべて消去するには(用件全消去)(▶P157)

留守をセットしたまま用件を再生するには  
ハンドセットを置いたまま、再生 / 通話録音ボタンを押します。新たに録音された用件のみ再生されます。

INSナンバー・ディスプレイをご利用の場合は  
録音されている用件を再生すると、相手の方の電話番号がディスプレイに表示されます。電話帳ダイヤルに登録している場合は名前も表示されます。電話番号が表示されている間にハンドセットを取りあげると、その番号に電話をかけることができます。

ネーム・ディスプレイをご利用の場合は  
こちらがネーム・ディスプレイを契約し、相手が企業名(氏名)を通知してきた場合、電話をかけてきた方が電話帳に登録されていない場合、用件再生時に企業名(氏名)と電話番号が表示されます。

電話帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。



## お知らせ

用件再生中に外から電話がかかってくると、再生は停止します。



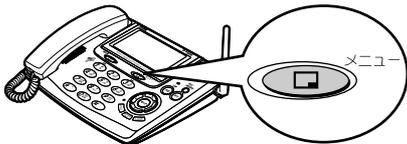
スピーカの音量を調節するには(スピーカ音量)  
(▶P147)

# 自分の声で応答メッセージを録音するには

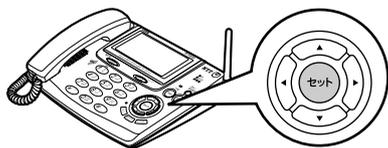
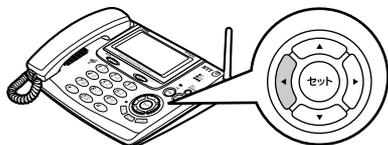
あらかじめ用意されている応答メッセージの代わりに、自分の声で録音した応答メッセージ（最大約20秒）を利用することができます。応答メッセージの録音は、主電話機で行います。

## 応答メッセージを録音する

- 1 ハンドセットを置いたまま、 ボタンを押す。



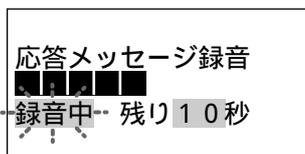
- 2 左ボタン（）を押して「留守（設定）」を選択し、 ボタンを押す。



- 3 下ボタン（）または上ボタン（）で「応答メッセージ録音」を選択し、 ボタンを押す。  
現在の設定内容（録音あり/なし）が表示されます。

- 4  ボタンを押す。  
「受話器を取り、ピーと鳴りましたら応答メッセージをお話してください。」という音声聞こえます。

- 5 ハンドセットを取りあげ、「ピー」という音のあとに  
応答メッセージを話す。  
録音の残り時間が表示されます。



録音時間（約20秒）を超えると、「ピー」という音が鳴って自動的に録音が止まります。

- 6 話し終えたらハンドセットを置く、または  
 ボタンを押す。  
「ピー」という音が鳴り、録音した応答メッセージが再生されます。  
再生が終わると「ピピピピ」という音が鳴り、録音が終わります。

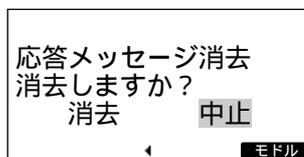
## 応答メッセージを消去する

- 1 ハンドセットを置いたまま、 ボタンを押す。

- 2 左ボタン（）を押して「留守（設定）」を選択し、 ボタンを押す。

- 3 下ボタン（）または上ボタン（）で「応答メッセージ消去」を選択し、 ボタンを押す。

- 4  ボタンを押す。



- 5 左ボタン（）を押して「消去」を選択し、 ボタンを押す。  
「ピー」という音が鳴り、消去が終わります。

### 応答メッセージの例

- 「はい、 です。ただいま電話に出ることができません。ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話してください。」
- 「はい、 です。ただいま電話に出ることができません。おかけしお電話いたしますので、お名前と電話番号をお願いします。」



### お知らせ

用件の録音時間の残量にかかわらず、応答メッセージを録音できます。

新たに応答メッセージを録音すると、前に録音した応答メッセージは消去されます。

自作の応答メッセージを消去すると、あらかじめ用意されている応答メッセージに戻ります。



スピーカの音量を調節するには（ P147）



操作を間違えたときは（ P151）  
登録・設定操作中に電話がかかってきたときは（ P151）

# リモコン操作するには

リモコン操作とは、外からこの電話機に電話をかけて、留守番電話に録音されている用件を聞くなどの操作をすることです。リモコン操作を利用するためには、あらかじめ主電話機で暗証番号を登録しておきます。

## リモコン操作の準備

- ① 暗証番号を登録する。(☛右記)
- ② 留守をセットする。  
外出するときは、主電話機の **留守** ボタンを押して、留守をセットします。(☛P 65)
- ③ 外出する。

## ワンポイント

暗証番号を変更するには  
新たに暗証番号を登録します。もとの番号は消去され、新しく登録した番号が暗証番号になります。

暗証番号を削除するには  
手順1～4の操作をする  
**メニュー** ボタン [サクジョ] を押す

## お知らせ

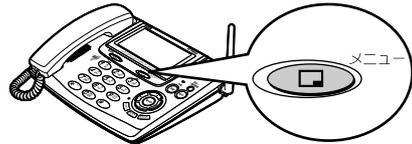
登録した暗証番号を確認することはできません。



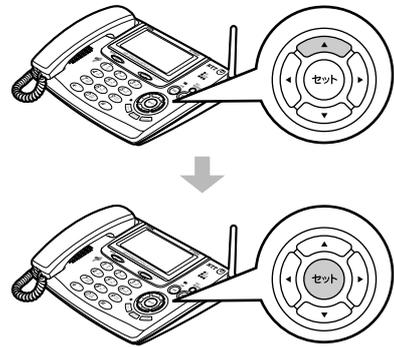
登録・設定操作中に電話がかかってきたときは  
(☛P151)  
操作を間違えたときは (☛P151)

## 暗証番号を登録する

- 1 ハンドセットを置いたまま、**メニュー** ボタンを押す。



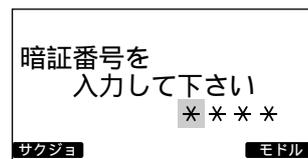
- 2 上ボタン ( ) を押して「初期(設定)」を選択し、**セット** ボタンを押す。



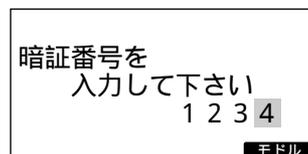
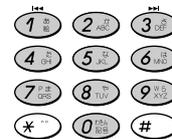
- 3 下ボタン ( ) または上ボタン ( ) で「暗証番号」を選択し、**セット** ボタンを押す。

現在の設定内容(暗証番号あり/なし)が表示されます。

- 4 **セット** ボタンを押す。



- 5 暗証番号(4桁の数字)をダイヤルボタンで押す。



- 6 **セット** ボタンを押す。  
「ピー」という音が鳴り、登録が終わります。

外出先から暗証番号を使って、留守中に録音されている用件を聞きます。

## 外出先から用件を聞く

- 1 外出先からこの電話機に電話をかける。  
プッシュホンまたはプッシュ信号を送ることができる電話機からかけます。  
ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があれば、リモコン操作が行えます。



留守番電話の応答メッセージが聞こえている間に...

- 2 **#** ボタンを押す。  
応答メッセージが止まります。
- 3 暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで押す。  
暗証番号を押し間違えたときは、**#** ボタンを2回押しして、もう一度暗証番号を押し直します。
- 4 **#** ボタンを押す。  
「用件...件再生します。」という音声がかえ、続いて用件が再生されます。  
音声が聞こえないときは、暗証番号が間違っています。もう一度手順2からやり直してください。暗証番号を3回間違えると、自動的に電話は切れます。

用件再生中にできる操作は

操 作	押すボタン
再生中の用件を聞き直す	<b>1</b>
1つ前の用件をもう一度聞く	<b>1</b> を2回押す (0.5秒以内に続けて押す)
再生中の用件をとばして次の用件を聞く(最後の用件ときは、再生を終了する)	<b>3</b>
再生を途中で止める	<b>#</b>

- 5 用件を聞く。  
用件を全部再生し終わると、「ピーピピピ」という音が鳴り、「番号を押してください」という音声が聞こえます。

「番号を押してください」のあとにできる操作は

操 作	押すボタン
用件を先頭から聞き直す	<b>2</b>
用件をすべて消去して再度留守セットする	<b>8 1</b>

- 6 リモコン操作が終わったら、電話を切る。



### お知らせ



応答メッセージが聞こえている間に **#** ボタンを押しても応答メッセージが止まらない場合は、少し長めに（2秒間）押してください。

「番号を押してください」という音声のあとに、約4秒間何も操作しなかった場合は、「番号を押してください」のあとに「用件再生は2です。用件再セットは81です」という音声が聞こえます。

「番号を押してください」という音声のあとに、約10秒間なにも押さないでいると、自動的に電話が切れます。用件を再生しないと、再セット（用件の全消去）はできません。

携帯電話やPHS対応電話機でリモコン操作する場合は、正常に動作しないことがあります。

リモコン操作を間違えたり、操作をしないと通話が切れます。携帯に便利なりモコンカードをご利用ください。(●P205)

# 発信者番号の通知と表示について

こちらの発信電話番号を相手先に通知したり、相手先の発信電話番号をこちら側のディスプレイに表示させるサービスとして、INSネット64では「発信者番号通知」と「INSナンバー・ディスプレイ」をご利用になれます。

## 発信者番号を通知する（発信者番号通知）



発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号（契約者回線番号、追加番号）を通知する機能です。INSネット64のご契約者間、一般の電話回線のナンバー・ディスプレイご契約者、携帯電話機、PHS対応電話機との通信でご利用になれます。

### 通知される電話番号

通常は、契約者回線番号が通知されます。

サブアドレス通知を設定している場合は、サブアドレスも通知されます。（●P156）

i・ナンバーをご利用の場合はその番号が通知されます。（●P76）

### 電話番号通知のされかた

発信者番号を通知するかどうかは、INSネット64の契約内容とダイヤル操作の組み合わせによって、以下のように決まります。

契約内容	ダイヤル操作		
	相手番号（通常の操作）	184 + 相手番号	186 + 相手番号
通常通知	通知する	通知しない	通知する
通常非通知	通知しない	通知しない	通知する

INSネット64の契約で「常時通知拒否」をご契約の場合は、どんな操作をしても通知しません。「184」や「186」は利用できません。

### 相手の方に通知される発信者番号

相手の方に発信者番号として通知される電話番号は、i・ナンバーの設定（●P76）や、どの電話機から発信したかによって、以下のように異なります。

契約・設定内容		通知される発信者番号
i・ナンバーを利用していない		契約者回線番号
i・ナンバーを利用している	追加番号を割り当てていない電話機から発信したとき	契約者回線番号
	契約者回線番号を割り当てた電話機から発信したとき	
	追加番号を割り当てた電話機から発信したとき	追加番号

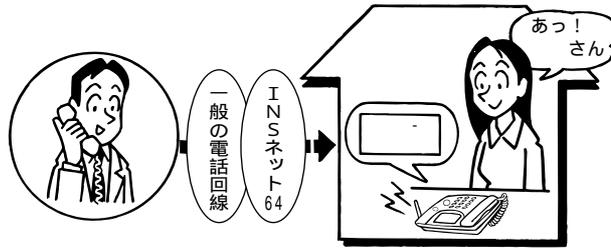
## 一般回線からの電話番号も表示する (INSナンバー・ディスプレイ)



一般の電話回線から着信があった場合でも、発信者の電話番号がINSネットサービスをご利用の受信側のディスプレイに表示されます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。

このサービスをご利用になるには、INSナンバー・ディスプレイの契約 (有料) が必要です。

- 相手の方がINSネット64ご契約者、携帯電話機、PHS対応電話機であれば、このサービスを契約していなくても、発信者番号通知サービスによって発信者番号が通知されます。



一般の電話回線からでも発信者の電話番号が通知される。

このように表示されます

**電話がかかってくる前は...**

<主電話機>	<コードレス電話機>

日付と時刻が表示されています。

着信音が鳴る前に、「受信中」(発信電話番号表示データの受信中) と表示されます。このとき電話に出たり電話をかけたりすることはできません。

**着信すると...**

<主電話機>	<コードレス電話機>

着信音が鳴り、相手の方の電話番号が表示されます。

**応答すると...**

<主電話機>	<コードレス電話機>

通話時間が表示されます。

**電話を切ると...**

<主電話機>	<コードレス電話機>

約5秒後に相手の方の電話番号が表示されます。このとき、電話帳ダイヤルに登録することができます。(P46) 約10秒後に表示が消えます。

(次ページへつづく)

# 発信者番号の通知と表示について

## 留守番電話の用件を再生している場合

用件再生 1 / 5件  
6月19日 15:00  
0312345678

電話番号が表示されているときに、ハンドセットを取りあげるだけで電話をかけることができます。



### ワンポイント

電話に出なかったときは

「電話がありました」とディスプレイに表示されます。

☎ ボタンを押すと、相手の方の電話番号などが表示されます。

発信企業名（氏名）表示機能を利用するには（ネーム・ディスプレイ）

本商品はネーム・ディスプレイに対応しており、電話をかけてきた相手の企業名や氏名を、電話番号とともに受信側のディスプレイに表示させることができます。（☛P153）

ネーム・ディスプレイは平成13年7月現在、サービス未提供です。



## 相手の方の電話番号が表示されない理由

表示	表示の意味
非通知	かけてきた相手の方が番号を表示しない操作をした または、表示しない契約になっている
公衆電話	相手の方が公衆電話からかけている
表示圏外	相手の方がナンバー・ディスプレイを提供していない地域からかけている



### お知らせ

停電中は、INSナンバー・ディスプレイを利用した機能はご利用になれません。

電話帳ダイヤルや簡単ダイヤルに登録している相手の方から電話がかかってくると、登録した名前と電話番号が表示されます。

デジタルコードレス電話機「LP1」「P6」（☛P177）以外のPHS対応電話機を接続しても、発信電話番号表示機能、発信企業名（氏名）表示機能はご利用になれないことがあります。

INSナンバー・ディスプレイをご契約でない場合でも、かけてきた相手の方がINSネットサービス、携帯電話、PHS対応電話機を利用して発信者番号を通知してきた場合は、電話番号が表示されます。



ディスプレイに表示される電話番号の桁数は（☛P151）

電話がかかってきたときのディスプレイ表示は（☛P152）

## サービスを利用した便利な機能

ナンバー・ディスプレイを利用すると、いろいろな便利な機能を使うことができます。

### かけてきた方の電話番号を表示する（着信履歴表示）

かけてきた方の電話番号は10件分記憶されており、表示させることができます。10件を超えたときは、古い電話番号から消去されます。（☛P73、74、75）

### かけてきた方にかける（蓄積番号発信）

着信履歴表示を行い、かけてきた方の電話番号を表示させて、簡単な操作でその電話番号に電話をかけることができます。（☛P73、74、75）

### 相手の方が電話番号を通知しないとき、着信音を鳴らさないようにする（非通知拒否）

非通知の場合、留守番電話（非通知拒否メッセージ）で応答し、着信音を鳴らさないように設定することができます。（☛P158）

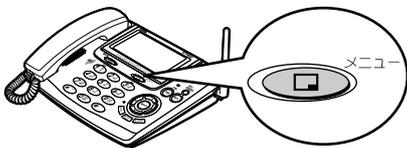
## かけてきた相手の方へかけ直す (蓄積番号発信)

かけてきた相手の方の電話番号を最新のものから10件分記憶し、ディスプレイに表示させることができます(着信履歴表示)。表示した電話番号は、簡単な操作でかけることができます。

一般の電話回線からの着信でも蓄積番号発信を利用するためには、INSナンバー・ディスプレイの契約が必要です。

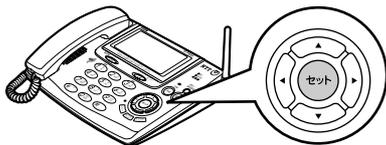
### 主電話機でかけ直す

- 1 ハンドセットを置いたまま、 ボタンを押す。



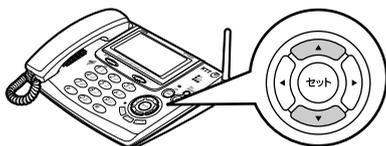
- 2 「着信履歴」が選択されていることを確認し、 ボタンを押す。

最後にかけてきた相手の方の電話番号と着信日時が表示されます。



表示されている番号にかける場合は、手順4へ進みます。

- 3 下ボタン( )または上ボタン( )を繰り返し押し、かけたい電話番号を表示させる。  
着信履歴が順に表示されます。



- 4 ハンドセットを取りあげる。  
表示されている電話番号がダイヤルされます。



 ボタンを押します。

- 5 相手の方が出たら、お話しする。



マイクに向かってお話しします。



### ワンポイント

相手の方の名前と電話番号が電話帳ダイヤルまたは簡単ダイヤルに登録されているときは相手の方の名前も表示されます。



着信履歴を消去するには  
手順1～3の操作をして、消去したい電話番号を表示させる。

 ボタン [サブメニュー] を押す。

下ボタン( )または上ボタン( )で「削除」を選択し、 ボタンを押す。

 ボタンを押す。



### お知らせ

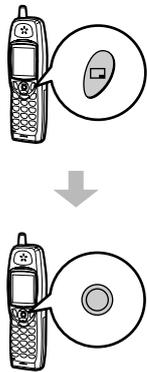
すでに着信履歴に記憶されている電話番号から再度電話がかかってきたときは、前の電話番号は消去されず、新たに同じ電話番号が着信履歴に記憶されます。

# 発信者番号の通知と表示について

## コードレス電話機「LP1」でかけ直す

通話ランプが消えていることを確認して...

- 1**  ボタンを押す。  
 「再ダイヤル」と表示された場合は  ボタン [切替] を押して変更します。  
 最後にかけてきた相手の方の電話番号と着信日時が表示されます。

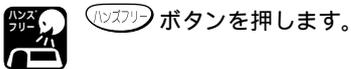


表示されている番号にかける場合は、手順3へ進みます。

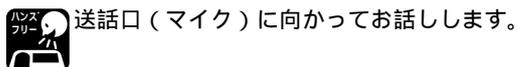
- 2**  ボタンを繰り返し 方向または 方向に倒して、かけたい電話番号を表示させる。  
 着信履歴が順に表示されます。



- 3**  ボタンを押す。  
 表示されている電話番号がダイヤルされます。



- 4** 相手の方が出たら、お話しする。



## ワンポイント

相手の方の名前と電話番号が電話帳ダイヤルまたは簡単ダイヤルに登録されているときは相手の方の名前も表示されます。



 ボタンを 方向または 方向に倒すたびに、名前と電話番号の表示が切り替わります。  
 ただし、電話帳ダイヤルに市外局番から正しく登録されていないと、番号が一致しなくなり、相手の方の名前が表示されません。

着信履歴を1件ずつ消去するには

- 手順1~2の操作をして、消去したい電話番号を表示させる。  
 ボタン [サブメニュー] を押す。  
 ボタンを 方向または 方向に倒して「1件削除」を選択し、 ボタン [決定] を押す。  
 「ピー」という音のあと、 ボタン [OK] を押す。

着信履歴をすべて消去するには

- 手順1の操作を行う。  
 ボタン [サブメニュー] を押す。  
 ボタンを 方向または 方向に倒して「全件削除」を選択し、 ボタン [決定] を押す。  
 「ピー」という音のあと、 ボタン [OK] を押す。

## お知らせ

すでに着信履歴に記憶されている電話番号から再度電話がかかってきたときは、前の電話番号は消去されず、新たに同じ電話番号が着信履歴に記憶されます。

## コードレス電話機「P6」でかけ直す

通話ランプが消えていることを確認して...

- 1**  ボタンを押す。  
「再ダイヤル」が表示されたときは、 ボタンを押します。  
最後にかけてきた相手の方の電話番号と着信日時が表示されます。

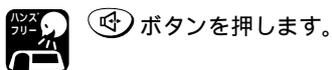


表示されている番号にかける場合は、手順3へ進みません。

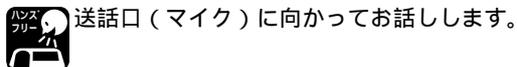
- 2** 下ボタン( )または上ボタン( )を繰り返し押し、かけたい電話番号を表示させる。  
着信履歴が順に表示されます。



- 3**  ボタンを押す。  
表示されている電話番号がダイヤルされます。



- 4** 相手の方が出たら、お話しする。



送話口(マイク)に向かってお話しします。


**ワンポイント**

相手の方の名前と電話番号が電話帳ダイヤルまたは簡単ダイヤルに登録されているときは相手の方の名前も表示されます。



コードレス電話機では、左ボタン( )または右ボタン( )を押すたびに、名前と電話番号の表示が切り替わります。ただし、電話帳ダイヤルに市外局番から正しく登録されていないと、番号が一致なくなり、相手の方の名前が表示されません。

着信履歴を消去するには

手順1～2の操作をして、消去したい電話番号を表示させる。

 ボタン [サブメニュー] を押す。

下ボタン( )または上ボタン( )で「削除」を選択し、 ボタン [ケッテイ] を押す。

左ボタン( )を押して「YES」を選択し、 ボタン [ケッテイ] を押す。

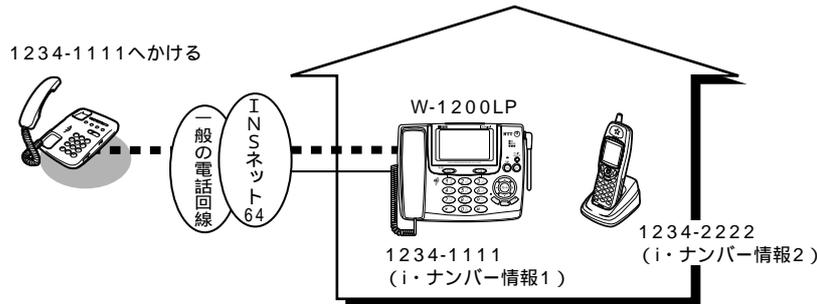

**お知らせ**

すでに着信履歴に記憶されている電話番号から再度電話がかかってきたときは、前の電話番号は消去されず、新たに同じ電話番号が着信履歴に記憶されます。

# i・ナンバーで複数の電話番号を使い分けるには (i・ナンバー)

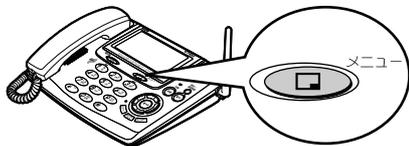


i・ナンバーをご契約になると、2つまたは3つの電話番号を持つことができます。電話機やファクスを別々の番号で受けたいときなどは、電話番号ごとに呼び分けることができます。このサービスをご利用になるには、i・ナンバーの契約(有料)が必要です。

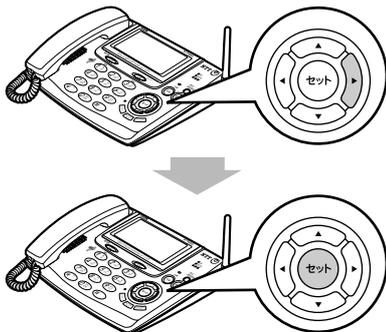


## i・ナンバーを設定する

1 ハンドセットを置いたまま、 ボタンを押す。

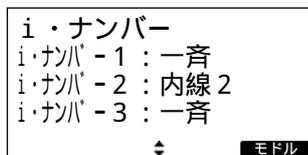


2 右ボタン()を押して「ISDN (設定)」を選択し、 ボタンを押す。



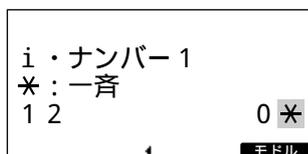
3 「i・ナンバー」が選択されていることを確認し、 ボタンを押す。

現在の設定内容が表示されます。



4 ボタンを押す。

5 上ボタン()または下ボタン()を繰り返し押し、設定を変更する i・ナンバーを選択し、 ボタンを押す。



6 左ボタン()または右ボタン()を繰り返し押し番号を割り当てる電話機の内線番号を選択する。

...どの内線電話機にも着信しない

...主電話機

~ ...特定のコードレス電話機

...ファクス等 (アナログポート)

(72~75)..ワイヤレスパソコンアダプタ

(76、77)..ワイヤレスモデムアダプタA

を選択して ボタンを押したあと、一の位(2~7)を選択して ボタンを押します。

...一斉着信

7 ボタンを押す。

「ピー」という音が聞こえ、設定が終わります。



### ワンポイント

追加番号を主電話機または、コードレス電話機に割り当てると追加番号に電話がかかってきたときに、通常と異なる着信音が鳴り、主電話機または、コードレス電話機だけが呼び出されていることをお知らせします。

お買い求め時の設定は

i・ナンバー-1、3は「\* : 一斉着信」、i・ナンバー-2は「2 : 内線2」に設定されています。



### お知らせ

i・ナンバー-1 (契約者回線番号) i・ナンバー-2、3 (追加番号) いずれも、主電話機、コードレス電話機、ファクスおよびワイヤレスパソコンアダプタ等を割り当てることで、その割り当て先に着信することができます。たとえば、契約者回線番号にダイヤルしてきた場合には、i・ナンバー-1 (契約者回線番号) の割り当て先に着信します。

非通知拒否 (P158) を設定しているときに相手为非通知でかけてきた場合には、i・ナンバー設定にかかわらず、留守番電話 (非通知拒否メッセージ) で応答します。

本商品ではダイヤルインサービスはご利用になれません。

i・ナンバーによる着信先指定は、サブアドレスによる指定よりも優先されます。たとえば、相手の方が追加番号の割り当て先と異なるサブアドレスを指定してダイヤルしてきた場合には、追加番号の割り当て先に着信します。

## i・ナンバーの利用例

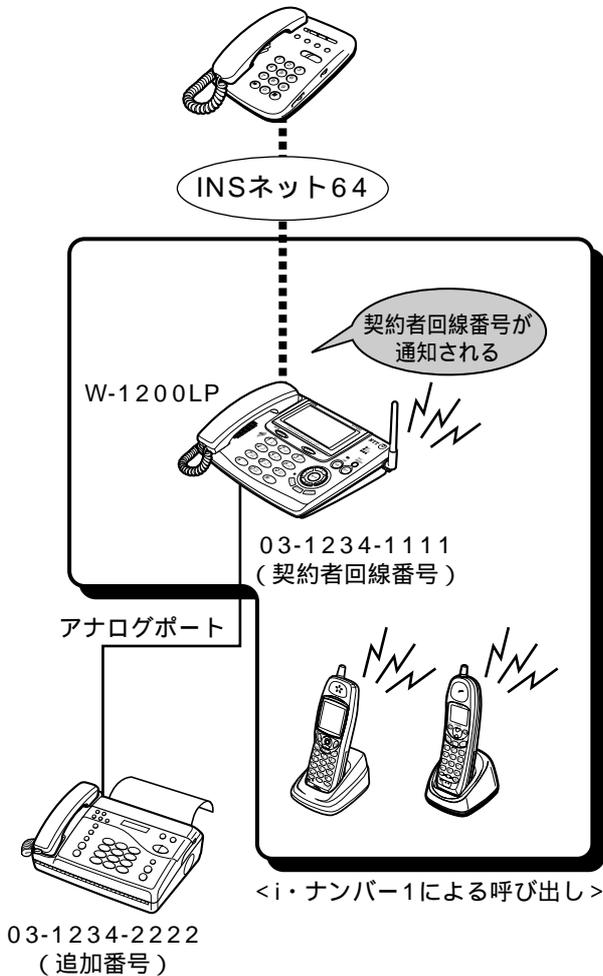
契約者回線番号に着信した場合にはアナログポートに接続している機器以外のすべての主電話機とコードレス電話機を呼び出し、追加番号に着信した場合にはファクスだけを呼び出すように設定することができます。設定方法を以下に示します。

03-1234-1111の契約者回線番号のほかに、03-1234-2222の追加番号を追加したとき

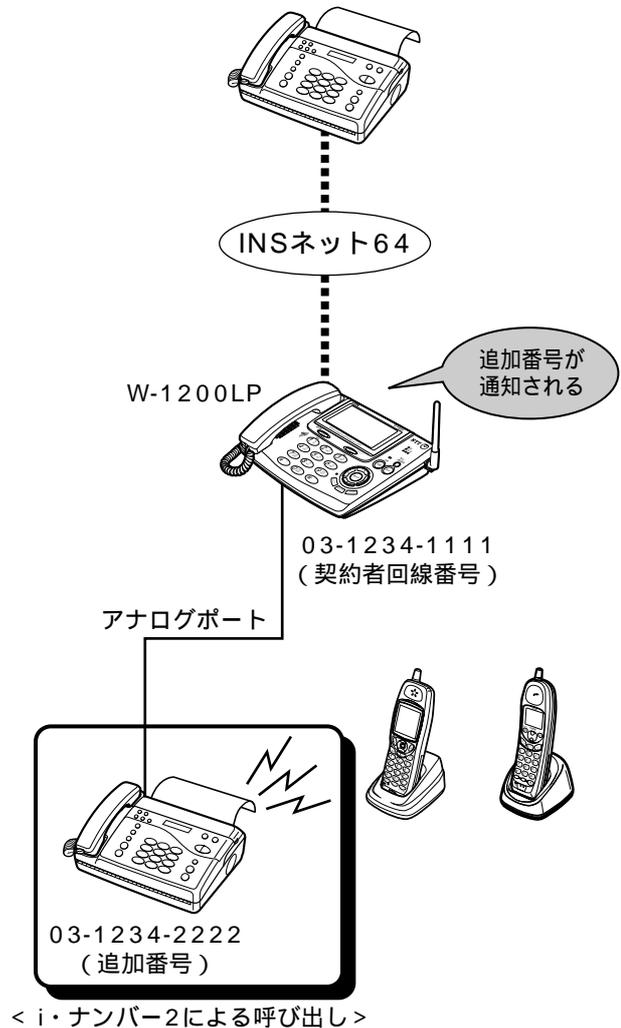
設定項目	設定内容
i・ナンバー設定(●P76)	i・ナンバー-1に「一斉着信」を設定する i・ナンバー-2に「6(アナログポートの内線番号)」を設定する
アナログポートの設定(●P169)	「FAX接続あり」に設定する

(03-1234-1111へ発信) = i・ナンバー-1への発信

(03-1234-2222へ発信) = i・ナンバー-2への発信

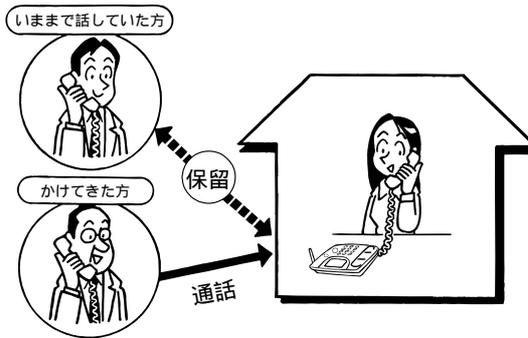


i・ナンバー-1を「一斉着信」と設定していますが、「FAX接続あり」と設定しているため、電話からの着信の場合、このファクスは呼び出されません。なお、同様の場合でも、「FAX接続なし」と設定すると、このファクスは呼び出されます。(●P169)



# お話し中にかかってきた電話を受ける (キャッチ機能)

外の相手の方とお話し中に電話がかかってきたとき、お話し中の方を保留にして、あとからかかってきた電話に出ることができます。



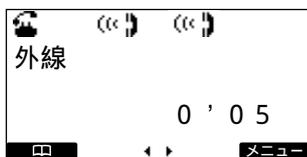
他の電話機やファクスなどで回線を使っているときは、応答できません。

## 主電話機で受ける

- 1 外の相手の方とお話し中に「ブルルル...」という着信音が聞こえる。



- 2 外の相手の方に待っていただくように伝え、**キャッチ** ボタンを押す。  
お話し中の方は保留になり、あとからかかってきた相手の方に切り替わります。



- 3 かけてきた方とお話する。



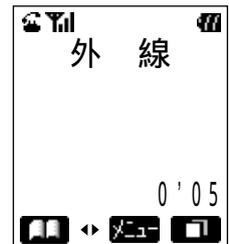
- 4 最初に話していた方とお話するには、もう一度 **キャッチ** ボタンを押す。

## コードレス電話機で受ける

- 1 外の相手の方とお話し中に「ブルルル...」という着信音が聞こえる。



- 2 外の相手の方に待っていただくように伝え、**キャッチ** ボタンを押す。  
お話し中の方は保留になり、かけてきた相手の方に切り替わります。



- 3 かけてきた方とお話する。



- 4 最初に話していた方とお話するには、もう一度 **キャッチ** ボタンを押す。

### お知らせ

アナログポートに接続した電話機では、キャッチ機能はご利用になれません。

### ワンポイント

コードレス電話機「P6」ではコードレス電話機「LP1」と同様の操作でお話し中にかかってきた電話を受けることができます。**キャッチ** ボタンをキャッチボタンに読み替えてご使用ください。

# サブアドレスを指定して特定の機器を呼び出すには (サブアドレス)

INSネットサービスでは、1回線に複数の電話機やワイヤレスパソコンアダプタなどのデータ専用子機を接続しているとき、サブアドレスを指定して特定の電話機やワイヤレスパソコンアダプタなどを直接呼び出すことができます。

## この電話機のサブアドレス

外から電話をかけるときに、この電話機の電話番号のあとにサブアドレス（各電話機／データ専用子機の内線番号）をダイヤルすると、その電話機／データ専用子機だけを呼び出すことができます。サブアドレスは、呼び出す方がサブアドレスを指定できる場合のみ利用できます。この電話機の内線番号とサブアドレスは、以下のようになっています。内線番号およびサブアドレスは変更することはできません。

### 【内線番号とサブアドレス】

電話機	内線番号	サブアドレス
主電話機	1	1
コードレス電話機	2	2
増設コードレス電話機等 (1台目)	3	3
増設コードレス電話機等 (2台目)	4	4
増設コードレス電話機等 (3台目)	5	5
ファクス等の通信機器 (アナログポート)	6	6
ワイヤレスパソコンアダプタ	72~75	72~75
ワイヤレスモデムアダプタA	76、77	76、77

内線番号72～77はデータ通信専用です。2～5、72～77で合計8台まで設置することができます。

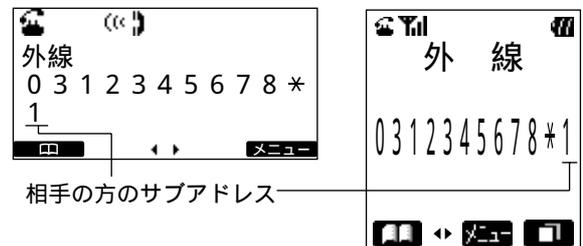
相手の方がサブアドレスを指定して主電話機または、コードレス電話機に電話をかけてくると通常と異なる着信音が鳴り、主電話機または、指定したコードレス電話機だけが呼び出されていることをお知らせします。サブアドレス通知を利用している相手の方から電話がかかってきたときは相手の方の電話番号が以下のように表示されます。



この電話機からサブアドレスを指定して電話をかけるにはこの電話機からも相手の方のサブアドレスを指定して電話をかけることができます。相手の方もISDN回線を契約していて、サブアドレスを設定している場合に、ご利用になれます。

- ハンドセットを取りあげる。
- または充電器から取りあげる。
- 電話番号をダイヤルボタンで押す。
-  ボタン（コードレス電話機の場合は  ボタン）を押す。
- サブアドレス番号をダイヤルボタンで押す。
- 表示されている電話番号とサブアドレスがダイヤルされます。

<主電話機>                      <コードレス電話機>



相手の方が出たらお話しする。

この電話機の発信者番号にサブアドレスが含まれるようにするにはお買い求め時は、かけた電話機の発信者番号を通知するときにサブアドレスを通知しないように設定されています。サブアドレスを通知するときは、サブアドレス通知を「通知する」に設定してください。(P156)



### ワンポイント

サブアドレスとは  
サブアドレスはINSネットのサブアドレス通知サービスを受けるときに必要な番号です。電話番号のあとにサブアドレス区切り（\*）とサブアドレスをダイヤルすると、特定の電話機やデータ端末を呼び出すことができます。i・ナンバーと同等の機能ですが、アナログ回線からの発信ではサブアドレスを指定することはできません。

# 条件を指定して転送するには (INSボイスワープ)



INSボイスワープは、リモコン操作で転送の開始や転送先の変更などができる転送サービスです。この電話機では、INSボイスワープをご利用になるとき、次のすべてについて利用者の方が直接設定することができます。

- 転送サービスの開始（転送方法の選択） / 停止
- 転送先電話番号の登録
- 転送先リストの選択（転送先の選択）
- 無応答時の転送の起動時間（転送待ち時間）の設定
- リモートコントロール機能の設定（暗証番号の設定）
- 転送トーキの設定
- 転送元トーキの設定

このサービスをご利用になるには、INSボイスワープの契約（有料）が必要です。

## 例 転送先電話番号を登録する場合

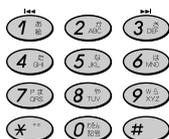
**1** ハンドセットを取りあげる。  
「ツー」という発信音を確認してください。



ハンズフリー ボタンを押します。

**2** INSボイスワープの特番（1422）をダイヤルボタンで押す。

操作を案内する音声ガイダンスが聞こえます。



特番については、INSボイスワープのご契約時に局番なしの116番または当社の営業所等でご確認ください。

**3** 転送先電話番号をダイヤルする。

**4** ハンドセットを置く。



ハンズフリー ボタンを押します。

## お知らせ

i・ナンバーをご利用の場合、上記のような操作はINSボイスワープを契約した電話番号が割り当てられている電話機からのみ行えます。

INSボイスワープについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

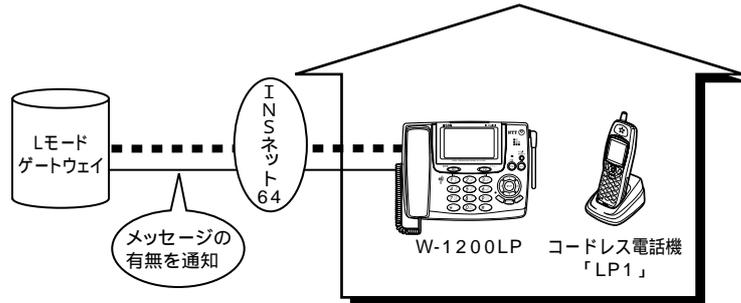
コードレス電話機からも、INSボイスワープの設定が行えます。

# Lモードを利用するには



本商品は、Lモードに対応したコードレス電話機を接続してご利用になれます。Lモードとは、Lモード対応の電話機を使って情報検索サービス（ブラウザサービス）やメールの送受信などを手軽にお楽しみいただけるサービスです。

このサービスをご利用になるには、Lモードの契約（有料）が必要です。



## Lモードを利用する

Lモード対応コードレス電話機など、Lモードに対応した通信機器が必要です。Lモードをご利用になるには、これらの電話機などから開始の操作をする必要があります。また、Lモードを利用する通信機器の内線番号を主電話機で設定する必要があります。詳しくは、Lモードに対応した通信機器（Lモード対応コードレス電話機など）の取扱説明書をご覧ください。

・コードレス電話機「LP1」をご利用の場合は、本書の「Lモード編」（P85～145）をご覧ください。

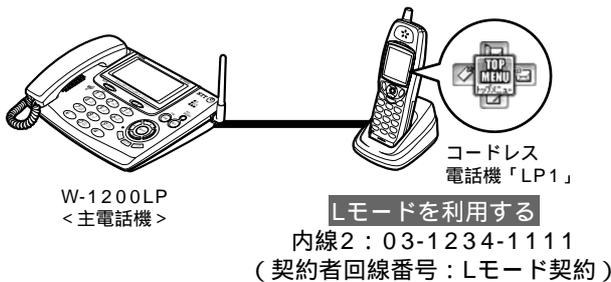
## 主電話機の設定

Lテーブルを設定します。

機能	設定内容	参照ページ
Lテーブル Lモードを契約した番号に対応するコードレス電話機の内線番号の設定	Lモードを契約した契約者回線番号、i・ナンバー（1～3）にLモード対応コードレス電話機の内線番号を割り当てる。 i・ナンバーをご利用にならないときも設定は必要です。	P155

### 設定例（i・ナンバーを利用しない場合）

i・ナンバー1（L）：契約者回線番号（03-1234-1111）

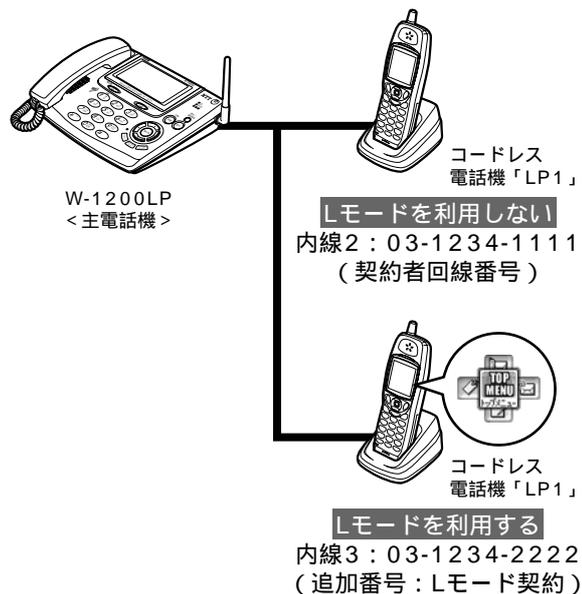


Lテーブル	
i・ナンバ - 1(L) :	内線 2
i・ナンバ - 2(L) :	なし
i・ナンバ - 3(L) :	なし
⇕ モデル	

i・ナンバー1に、Lモードを利用するコードレス電話機の内線番号を割り当てる

### 設定例（i・ナンバーを利用する場合）

追加番号を使うため、i・ナンバーのご契約が必要です。  
i・ナンバーの設定（P76）で追加番号の着信先を割り当てます。  
i・ナンバー1（L）：契約者回線番号（03-1234-1111）  
i・ナンバー2（L）：1つめの追加番号（03-1234-2222）



Lテーブル	
i・ナンバ - 1(L) :	なし
i・ナンバ - 2(L) :	内線 3
i・ナンバ - 3(L) :	なし
⇕ モデル	

Lモードを契約した i・ナンバー追加番号に、Lモードを利用するコードレス電話機の内線番号を割り当てる

## お知らせ

Lモードを複数契約されるには、契約数と同じ数のLモード対応機器をご用意ください。  
コードレス電話機「LP1」は最大4台まで設置できますが、Lモードのご利用は、主電話機のLテーブルで設定した内線番号のコードレス電話機のみです（最大3台まで）。

# メッセージやメールの到着を知りたいときは (INSメッセージ到着お知らせサービス)

INSメッセージ到着お知らせサービスとは、当社のメッセージセンタにお客様へのメッセージが録音されたときや、Lモードゲートウェイでお客様宛のメールをお預かりしたときなどに、その情報を受信し、電話機のディスプレイに表示させてお客様にお知らせするサービスです。

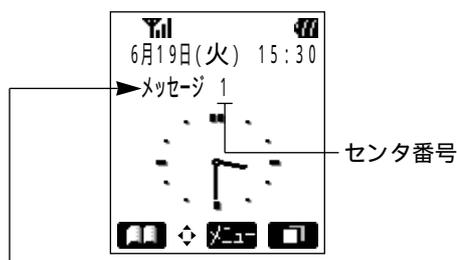
このサービスをご利用になるには、INSマジックボックスなどとあわせてINSメッセージ到着お知らせサービスのご契約（有料）が必要です。

## メッセージの表示例（コードレス電話機「LP1」の場合）

INSメッセージ到着お知らせサービスでは、5つのメッセージセンタを利用します。センタ1はマジックボックス、センタ2はLモードのLメール、センタ5はLモードのSメールで利用します。

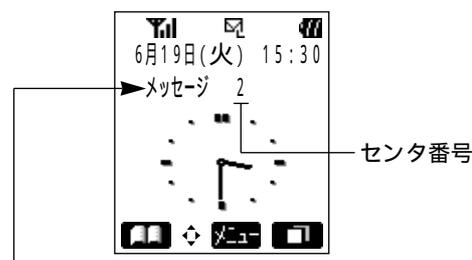
ディスプレイに「メッセージ」と表示されたとき、どのメッセージセンタからのお知らせかはセンタ番号で識別してください。「メッセージ 1 2 5」のように一度に2つ以上のセンタからのお知らせを表示する場合があります。

<メッセージセンタに、メッセージが録音されたときの表示例>



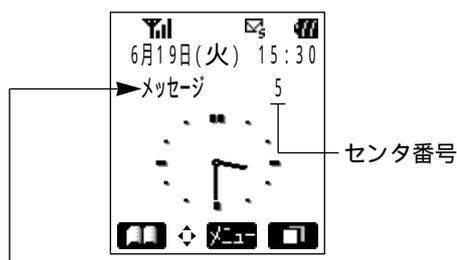
「メッセージ1」と表示されたときは、メッセージを聞くための操作を行います。

<LモードゲートウェイでLメールをお預かりしたときの表示例>



「メッセージ2」と表示されたときは、Lメールを受信して読む操作を行います。

<LモードゲートウェイでSメールをお預かりしたときの表示例>



「メッセージ5」と表示されたときは、Sメールを受信して読む操作を行います。

## お知らせ

Lメール、Sメールをご利用の場合には、Lモードを契約すると、INSメッセージ到着お知らせサービスをご利用になれます。

停電中は「メッセージ」の通知が表示されません。また、通知が表示されているときに停電になった場合は停電が終わったあと表示が消え、再度表示はされません。

メッセージは、通話中は表示されません。

「メッセージ」の表示は、メッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信すると自動的に消えます。

メッセージセンタからお知らせを受信したことは、着信履歴（●P72）に記録されます。この場合、「センタ番号2 メディア2」のように表示され、お知らせを受信した日時は表示されません（メディアの番号は表示されないこともあります）。INSメッセージ到着お知らせサービスは、番号ごとに契約することができます。

メッセージ1はi・ナンバー設定（●P76）により、メッセージ2、5はLテーブル設定（●P81）により通知先の内線電話機を変更することができます。

INSマジックボックス、Lモードの詳細については、局番なしの116または当社の営業所等へお問い合わせください。

### お願い

センタ2、5は、それぞれLモードのLメール、Sメールでご利用ください。それ以外の設定でご利用の場合、正常にメッセージが表示されません。

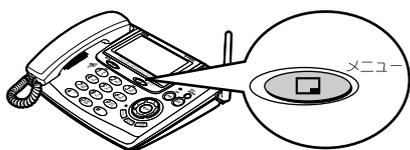
# ヘルプ機能を利用するには

機能の内容や登録・設定操作を知りたいときは、ヘルプ機能を利用することができます。

## 主電話機から利用する

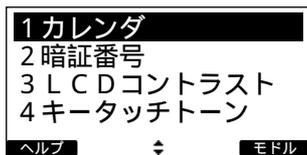
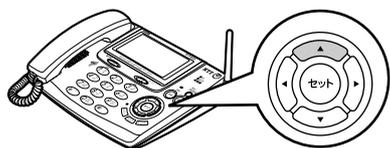
### <例> 暗証番号の登録方法を知りたいとき

- 1 ハンドセットを置いたまま、 ボタンを押す。



- 2 上ボタン ( ) / 下ボタン ( ) / 左ボタン ( ) / 右ボタン ( ) で「初期 (設定)」、「電話 (設定)」、「留守 (設定)」、「ISDN (設定)」のいずれかを選択し、 ボタンを押す。

この場合は「初期 (設定)」を選択します。

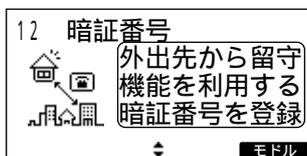


- 3 下ボタン ( ) または上ボタン ( ) を繰り返し押し、項目を選択する。

この場合は「暗証番号」を表示させます。

- 4  ボタン [ヘルプ] を押す。

ヘルプ画面が表示されます。



- 5  ボタンを押す。

暗証番号登録の画面が表示され、登録操作を行えます。

## コードレス電話機「LP1」から利用する

### 例 電話帳の登録方法を知りたいとき

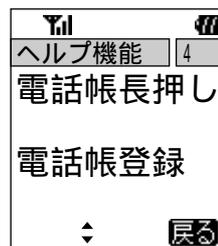
- 1  ボタン [メニュー] を押す。



- 2  ボタンを 方向に倒して、「ヘルプ」が選択されていることを確認し、 ボタン [選択] を押します。



- 3  ボタン [選択] を押します。



- 4  ボタンを 方向または 方向に倒して、[電話帳登録] を選択します。

操作方法が表示されます。



### お知らせ

コードレス電話機「P6」には、ヘルプ機能はありません。

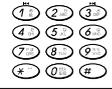
# その他の便利な機能を使うには

この電話機のその他の機能を利用した、便利な使いかたをご紹介します。用途に応じてお使いください。

## 主電話機だけの便利な機能

機能	こんなときに	このように操作します
お話しの内容を録音する (通話録音)	外の相手の方のお話し中に、覚えておきたい用件をメモ代わりに録音しておきたいとき	お話し中に  → 録音を終了したら 

## 主電話機とコードレス電話機の便利な機能

機能	こんなときに	このように操作します
プッシュホンサービスを利用する	各種プッシュホンサービスを利用したい	電話をかけ、つながったら → 
サブアドレスを指定して電話をかける	INSネットサービスの相手の方で、複数の電話機が接続されている場合、サブアドレスを指定して特定の電話機を呼び出したい	 →  電話番号 →  → 
キーパッドファシリティを送る	INSネットサービスの機能であるキーパッドファシリティを利用して、情報を送信したい	お話し中に 

### ワンポイント

通話録音の録音件数、録音時間は留守番電話の用件の1件として録音されます。最大59件、約10分まで録音できます(通話録音の件数、時間により異なります)。

通話録音の内容を再生するには  
ハンドセットを置いたまま、再生ボタンを押します。通話録音の用件は、留守番電話の用件の一つとして再生されます。(●P66)

キーパッドファシリティで利用できるサービスは以下のようなものがあります。

- INSボイスワープ
- 迷惑電話おことわりサービス(開始/停止)
- INSマジックボックス

詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

利用できるプッシュホンサービスの種類は以下のようなものがあります。

- クレジット通話サービス
- ポケットベルサービス
- 銀行ANSERサービス
- ホームテレホンによるテレコントロール
- 留守番電話へのリモコン操作 など

サブアドレスを指定できないようにするには(サブアドレス区切)

サブアドレス区切を解除すると、 ボタンを電話番号とサブアドレスの区切りとして使用できなくなります。(●P156)

### お知らせ

ハンズフリー通話中は通話録音はできません。  
内線通話、ドアホン通話は録音できません。  
通話録音中に保留にしたり電話を切ったりキャッチホン応答すると、録音は終了します。  
お話し中にかかってきた電話でも通話録音ができます。  
なお、通話録音の開始音(「ピー」)、通話録音の終了音(「ピッピッ」)は、お話し中の相手にも聞こえます。  
データ発信時には必ずサブアドレスを付けて発信してください。  
銀行ANSERサービスなどの一部のシステムでは、プッシュホンサービスを利用できない場合があります。

### お願い

相手の方に無断で通話録音をしないでください。通話録音は、必ず相手の方の了解を得てから録音を始めてください。個人のプライバシーの侵害にあたる場合があります。

# Lモードをご利用になる前に必ずお読み ください

Lモードとは、Lモード対応の電話機を使って情報検索サービス（ブラウザサービス）やメールの送受信などを手軽にお楽しみいただけるサービスです。このサービスをご利用になるには、Lモードのご契約（有料）が必要です。

また、主電話機側では「Lテーブル」の設定が必要です。

Lモードをご利用になるときは、次の手順で手続きおよび操作を行ってください。

1 当社とLモードをご契約ください。

2 主電話機でLテーブルの設定を行ってください。  
詳しくは、81、155ページをご参照ください。

3 コードレス電話機「LP1」で端末機器自動設定を行ってください。（☛右欄）

FAX TO機能をご利用になる場合は、主電話機のFAXポートの内線番号等の設定を、コードレス電話機で行う必要があります。（☛P163 FAX転送設定）

4 Lモードをご利用ください。（☛P86～）  
ご利用の前に本書およびLモードの使用説明書をよくお読みください。

## お知らせ

「サービス利用時に発番号通知する」の画面で「いいえ」を選択し、○ボタン [決定] を押すと「サービスご利用時には発番号通知が必要です」と表示されます。この場合は自動設定を行いませんのでLモードをご利用になれません。

Lモードをご利用になるには、発番号（お客様の電話番号）を通知する必要があります。

端末機器自動設定中に中止をしたときなど設定が完了していない場合は、Lモードをご利用になることはできません。

Lモードを解約された場合、端末機器自動設定はできません。電池パックを取り外したり、電源をOFFにすると、受信メールやBookmarkの参照などは利用できなくなります。

「接続中です」または「設定中」と表示されている間は、コードレス電話機「LP1」をご利用になることができません。

PBX（構内交換機）、ホームテレホンなど発信先の電話番号のほかにダイヤルの先頭に「0」などをつける必要がある通信機器に主電話機を接続している場合は、Lモードをご利用いただけません。

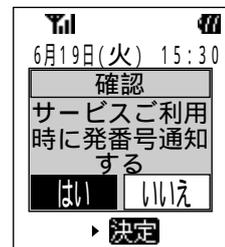
引越し等により本商品を移動した場合は、再度、端末機器自動設定を行ってください。

主電話機でLテーブルの設定を行わないと、Lモードをご利用になれません。（☛P81）

## はじめにこの操作を行ってください （端末機器自動設定）

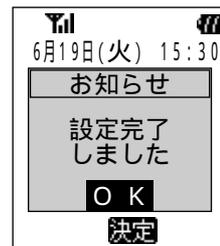
Lモードをはじめてご利用になる場合、 ボタンを押すと自動的にLモードゲートウェイアクセス番号を取得するための設定を行います。この設定を行わないと、Lモードをご利用になれません。また、電池パックを取り外したとき、電源をON/OFFしたときには、もう一度この設定を行う必要があります。

1  ボタンを押す。



2 「はい」が選択されていることを確認し、○ボタン [決定] を押す。

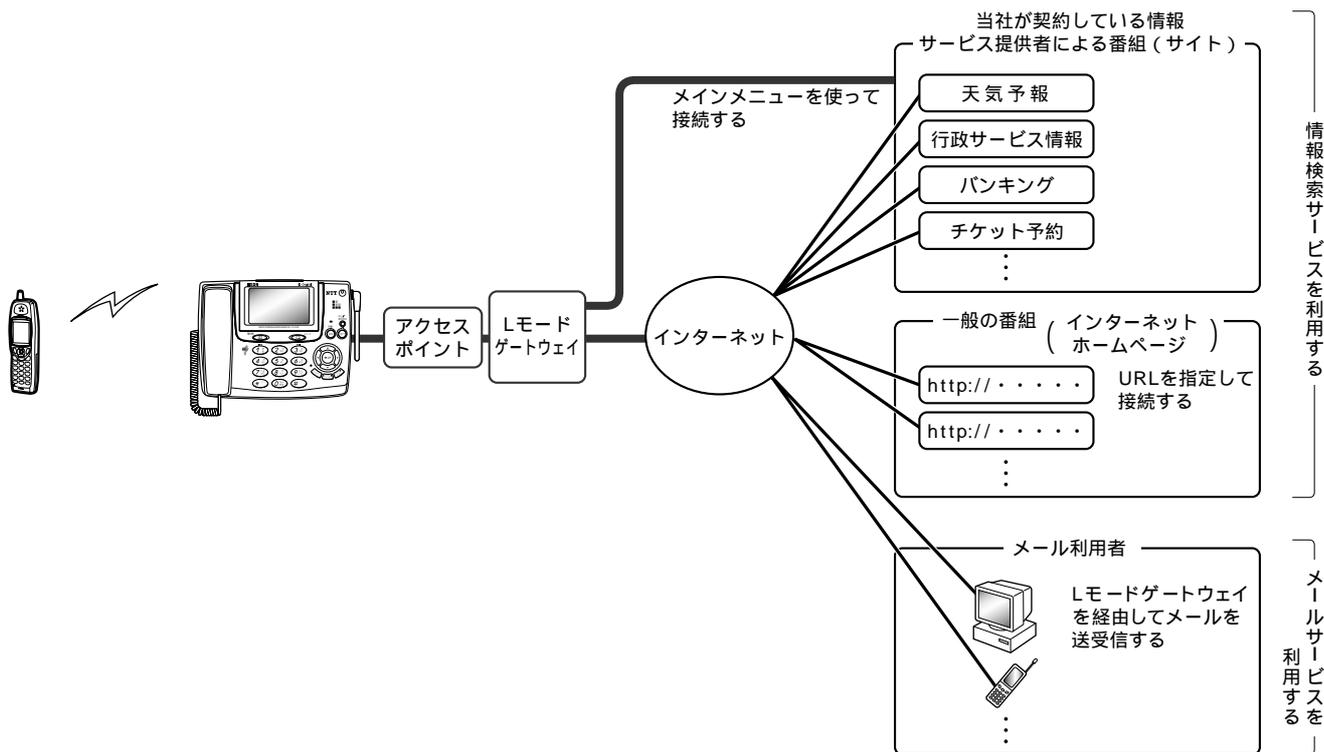
「接続中です」または「設定中」の画面が表示され、自動的に設定が完了します。設定が完了すると、「設定完了しました」と表示されます。



3 ○ボタン [OK] を押す。

# Lモードをご利用になる前に必ずお読み ください

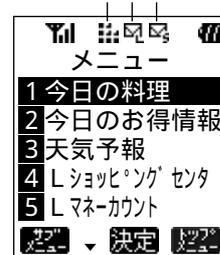
## こんなことができます



## おぼえておいてください

### Lモード関連のディスプレイ表示

■ ■ ■ ■	点滅	Lモードゲートウェイに接続を開始したとき / ページの取得中 (情報検索サービス) / メール受信 / メール送信 (メールサービス)
	点灯	Lモードゲートウェイと接続しているとき
☑		メッセージセンターでLメールをお預かりしているとき (P82)
☑		メッセージセンターでSメールをお預かりしているとき (P82)



### Lモードの操作をしているのにエッジライトやディスプレイの「■ ■ ■ ■」が点灯していないことがあるが？

エッジライトとディスプレイの「■ ■ ■ ■」は、Lモードゲートウェイと接続している状態のときのみ点灯します。「■ ■ ■ ■」は状態により点滅することがあります。

Lモード操作中でもLモードゲートウェイと接続していないときは、エッジライトと「■ ■ ■ ■」は消えています。

### Lモードの操作中は通信料金がかかる？

Lモードゲートウェイと接続しているとき (エッジライトが点灯しディスプレイの「■ ■ ■ ■」が点灯または点滅しているとき) にのみ、通信料金がかかります。

### 何もしていないのに「切断されました」と表示されたら？

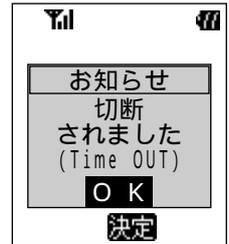
◎ ボタン [OK] を押してください。

回線が切断されてエッジライトと「」が消えてもサイトやメール画面が表示された状態は保たれます。この状態のときは通信料がかかりません。また別のサイトを見るなどの操作を行うと自動的にもう一度接続が行われます。

Lモードゲートウェイと接続中、一定の時間画面操作を何もしないでいると自動的に接続が切断されるのは、切断のし忘れを防止する「無通信監視タイマ」機能の働きです。切断までの時間（初期値3分）を変更したり、自動的に切断されないように設定することもできます。（●P145）

無通信監視タイマがタイムアウトした場合、「切断されました」が表示されます。「ページ取得中」が表示されているときにも、無通信監視タイマがタイムアウトしたときは「切断されました」と表示されます。

なお、無通信監視タイマの設定を「無制限」にしても、Lモードゲートウェイと接続中に30分間何も操作をしないと、Lモードゲートウェイ側が回線を切断します。



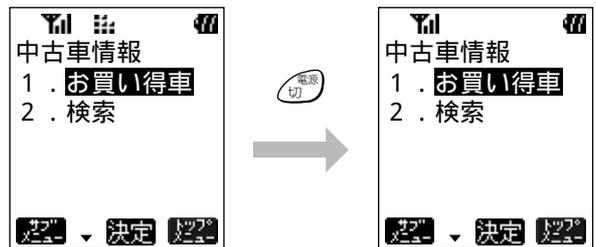
### Lモード利用中に電話がかかってきたときは？

コードレス電話機「LP1」では、エッジライトが点灯し「」が点灯や点滅をしているときは電話を受けることができませんが、消えているときは電話が受けられます。

主電話機およびコードレス電話機「P6」では電話を受けることができます。

### Lモードゲートウェイとの接続を切断したいときは？

Lモードゲートウェイとの接続を切断するには、 ボタンを押します。エッジライトと「」が消えても、サイトやメール画面が表示された状態は保たれます。



### 待ち受け画面に戻るときは？

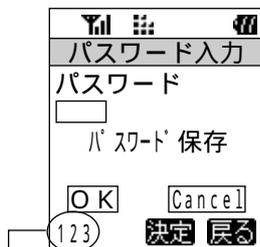
エッジライトと「」が消灯しているときに  ボタンを押すと、Lモードの画面から待ち受け画面に戻ります。エッジライトと「」が点灯または点滅しているときには、 ボタンを押してLモードゲートウェイとの接続を切断してから、もう一度  ボタンを押します。

 ボタンを押したあと待ち受け画面に戻るまで電話をかけることができません。

### パスワードの入力画面が表示されたときは？

Lモードのご利用時にお客様の本人確認が必要な場合は、数字4桁のパスワードの入力が必要になります。パスワード入力画面が表示されたときに、パスワード入力と同時に「パスワード保存」にチェックをいれると、その後Lモードゲートウェイからパスワードの要求があったときにコードレス電話機が自動的にパスワードを送信します。

パスワード入力画面が表示されたら ◎ ボタン [決定] を押し、入力モードが数字入力 (123) になっていることを確認する。



入力モード

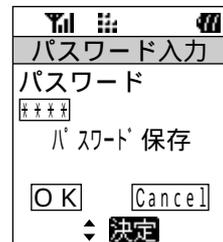
パスワードを入力し、◎ ボタン [決定] を押す。

例) パスワードが「0000」の場合

    と入力する。ただし、画面には入力したパスワードではなく、\*\*\*\*と表示されます。



◎ ボタンを 方向に倒す。



# Lモードをご利用になる前に必ずお読み ください

○ ボタン[決定]を押す。



○ ボタンを押すごとにパスワードを保存する / 保存しないが切り替えられます。保存する場合は、✓が付きます。

○ ボタンを 方向に倒す。



「OK」が選択されていることを確認し、○ ボタン[決定]を押す。  
キャンセルする場合は、○ ボタンを 方向に倒して、[Cancel]を選択し、○ ボタン[決定]を押します。

## 迷惑メールを防止するには

迷惑メールの大半は、番号を自動生成してメールアドレスを作成し、不特定多数のアドレスに対して送信されています。このような迷惑メールを防止するには、端末機器自動設定によって設定された電話番号のメールアドレスを、マイアドレス（英字と数字の組み合わせによる独自のメールアドレス）に変更することが効果的です。（P210）なお、迷惑メールお断り機能も有効な方法です。（P209）



## お知らせ

パスワードをはじめて入力するときは、任意の数字を入力できます。入力保存したパスワードは忘れないように注意してください。間違ったパスワードを入力した場合は再度パスワード入力画面が表示されます。この場合はパスワードをお確かめのうえもう一度パスワードの入力操作を行ってください。  
パスワードの変更方法についてはLモードの使用説明書をご覧ください。



## ワンポイント

Lモードゲートウェイと接続している状態により以下の画面が表示されます。

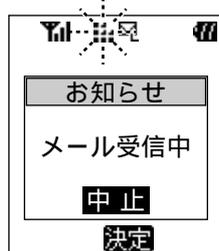
- ・Lモードゲートウェイへの接続を開始してから完了するまで



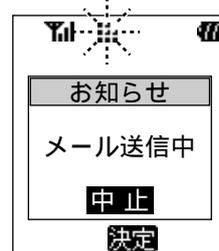
- ・Lモードゲートウェイからページ取得中（情報検索サービス）



- ・Lモードゲートウェイからメール受信（メールサービス）



- ・Lモードゲートウェイにメール送信（メールサービス）



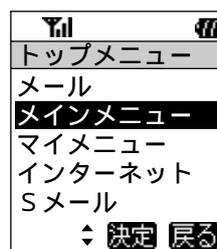
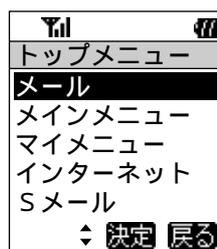
## 情報検索サービスを利用する

(●基本操作P91~94、●応用操作P104~119)

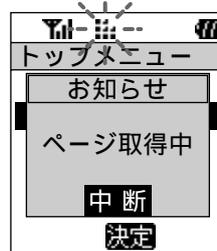
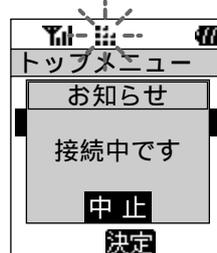
ディスプレイ上でメニューを選択しながら、さまざまなサイト(情報サービス提供者が提供する番組)を利用することができます。サイト以外のインターネットホームページを見ることもできます。



待ち受け画面



Lモードゲートウェイとの接続が開始され、エッジライトが点灯しディスプレイの「」が点滅します。



ページ取得が完了するとメニューの一覧が表示されるので、お好みのメニューを選んでサイトに接続します。(●P91)

**メール**  
メールのメニュー(●P95)を表示させます。

**メインメニュー**  
便利なメニューが用意されたサイトに接続します。(●P91)

**マイメニュー**  
当社が契約しているサイトに登録すると、ここから簡単な操作で接続できます。

**インターネット**  
用意されたサイト以外の、インターネットホームページに接続することができます。(●P104)

**Sメール**  
Sメールのメニューを表示させます。(●P95)

**画面メモ**  
サイト/ホームページの表示内容を保存しておき、何度も見直すことができます。(●P110)

**Bookmark**  
お気に入りのサイト/ホームページに簡単に接続できます。(●P106)

**ラストページ**  
最後に表示したホームページを、Lモードゲートウェイに接続しないで表示することができます。

**Lワーブ情報**  
Lワーブに登録したサイト/ホームページを確認したりタイトルを編集することができます。(●P108)



### お知らせ

Lモードメニューコンテンツ以外のコンテンツは、正しく表示されない場合があります。  
Lモードゲートウェイと接続中(エッジライトが点灯しディスプレイの「」が点灯または点滅しているとき)は通信料金がかかります。  
パスワードの変更、マイメニューへの登録についてはLモードの使用説明書をご覧ください。  
ボタンを押してLモードゲートウェイとの接続を開始したあと(「接続中です」を表示)回線の状態によってはまれにLモードゲートウェイと接続出来ない場合があります(「接続失敗」が表示されます)。  
回線の状態によってはまれにLモードゲートウェイとの接続が切断されることがあります(「切断されました」と画面表示され「」とエッジライトが消灯します)。この場合はボタンを押して「切断されました」の画面表示を消し、もう一度ボタンを押してLモードゲートウェイへの接続の操作を行ってください。

# Lモードをご利用になる前に必ずお読み ください

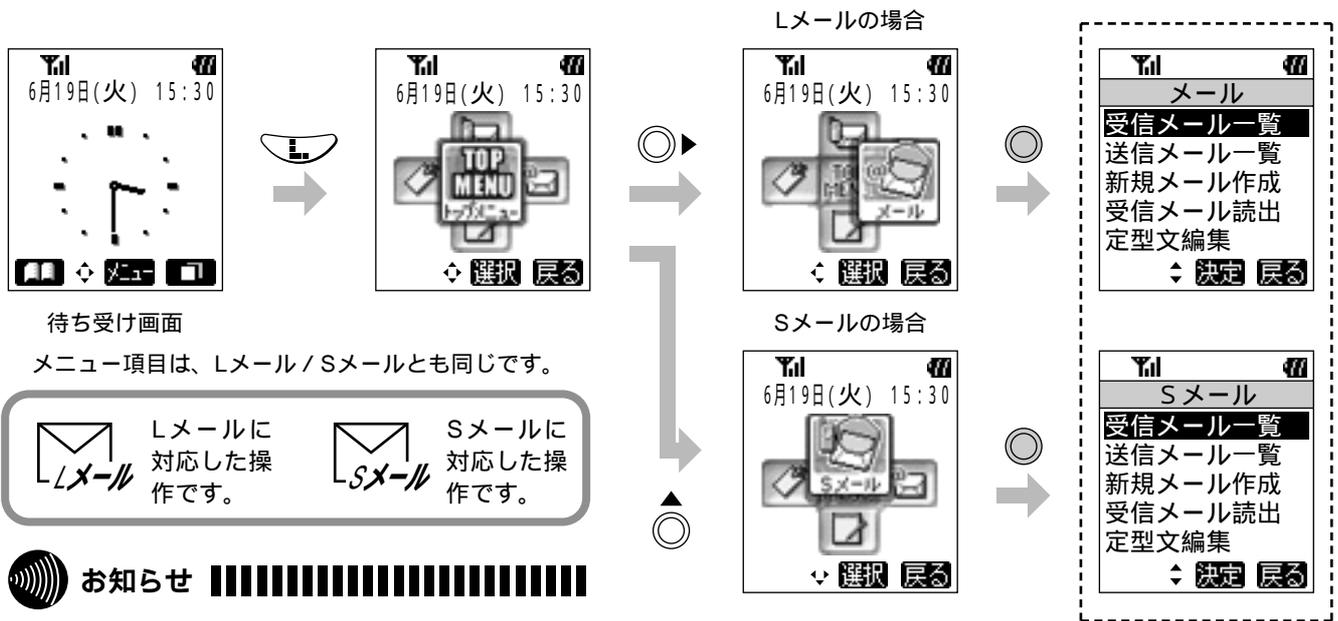
## メールサービスを利用する

(●基本操作P95～103、●応用操作P116～117、120～141)

メールサービスには、LメールサービスとSメールサービスの2種類があります。

Lメールサービスは、Lモード対応電話機どうしだけでなく、パソコンや携帯電話などとも最大500文字(全角)まで、メールの送受信ができます。

Sメールサービスは、Lモード対応電話機どうしだけでなく、パソコンや携帯電話などとも題名なしで最大40文字(全角)までのメールが、手軽で安価な通信料金で送受信できます。Sメールサービスをご利用になるには、Lモードのオプションサービスとしてのご契約(無料)が必要です。



## お知らせ

Lモードゲートウェイと接続中(エッジライトが点灯しディスプレイの「」が点灯または点滅しているとき)は、通信料金がかかります。

### 受信メール一覧

受信メールを読み直す(●P102) 受信メールの返事を送る(●P130) 受信メールをほかの宛先に転送する(●P132) 差出人を電話帳に登録する(●P133) 受信メールを保護する(●P134) 受信メールをすべて削除する(●P135) 特定の受信メールを削除する(●P135) 受信メール一覧を並べ替える(●P136) 受信メール一覧の表示方法を切り替える(●P137)

### 送信メール一覧

送信メールの内容を確認する(●P121) 保存していた未送信メールを送る(●P123) 送信メールを手直しして使う(●P124) 送信メールを保護する(●P125) 送信メールをすべて削除する(●P126) 特定の送信メールを削除する(●P126) 送信メール一覧を並べ替える(●P127) 送信メール一覧の表示方法を切り替える(●P128)

### 新規メール作成

新規メールを作成して送る(●P95) 作成したメールを保存する(●P99)

### 受信メール読出

Lモードゲートウェイがお預かりしているお客様宛のメールを読み出す(●P100)

### 定型文編集

文字入力に便利な独自の定型文を登録する(●P138)

### 署名貼付設定

送信するすべてのメールに署名を付ける(●P140)

### 署名編集

送信メールに付ける自分の名前やメールアドレスを保存する(●P139)

### メール件数確認

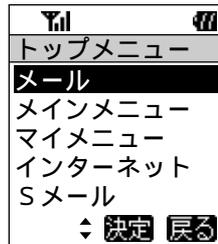
送信メール一覧、受信メール一覧に保存されているメールの数を確認する(●P141)

## Lモードゲートウェイと接続して各種サービスを利用する

Lモードゲートウェイと接続し、情報サービス提供者が提供するサイトを使った各種サービスを利用することができます。

### サイトに接続する

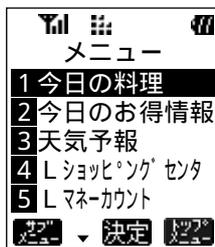
- 1 待ち受け画面で ボタンを押して、「トップメニュー - 」が選択されていることを確認し、 ボタン [ 選択 ] を押す。



- 2 ボタンを 方向または 方向に倒して「メインメニュー」を選択する。



- 3 ボタン [ 決定 ] を押す。  
Lモードゲートウェイとの接続が開始されます。「接続中です」、「ページ取得中」と表示されたあと、メニューが表示されます。  
エッジライトと「」が点灯します。



### お知らせ

GIF形式以外の画像はこのコードレス電話機のディスプレイで表示できません。画像の位置には が表示されます。またGIF形式であっても表示できない場合があります。Lモードメニューコンテンツ以外のコンテンツは、正しく表示されない場合があります。Lモードゲートウェイと接続中（エッジライトが点灯しディスプレイの「」が点灯または点滅しているとき）は通信料金がかかります。

### Lモードゲートウェイの接続を切断する

- 1 Lモードゲートウェイとの接続を切断するときには、 ボタンを押す。  
エッジライトと「」が消えたことを確認してください。
- 2 Lモードの操作を終了するときには、もう一度 ボタンを押す。



### ワンポイント

画像を含むサイト表示に時間がかかるときは画像情報が多い場合、画像を表示しないように設定することで、表示の速度を速くすることができます。文字情報だけでいい場合は、有効な設定です。(●P143)  
サイトを表示するときに、画像データを表示させないように設定を変えます。設定は、「L設定」で行います。

- 待ち受け画面で ボタン [ メニュー ] を押す。  
 ボタンを 方向に倒して「L設定」を選択し、 ボタン [ 選択 ] を押す。  
「画像表示設定」が選択されていることを確認し、 ボタン [ 選択 ] を押す。  
 ボタンを 方向または 方向に倒して「画像なし」を選択し、 ボタン [ 決定 ] を押し、「設定しました」と表示されたら ボタン [ OK ] を押す。

- 表示中のサイトのURLを確認するには  
サイトの表示中に、 ボタン [ サブメニュー ] を押す。  
 ボタンを 方向または 方向に倒して「URL参照」を選択し、 ボタン [ 決定 ] を押す。  
サイトの画面に戻るときは、 ボタン [ 戻る ] を押す。

最後に表示したホームページをオフラインで見るとは最後に表示したホームページはコードレス電話機に保存されており、Lモードゲートウェイに接続しなくても表示することができます。

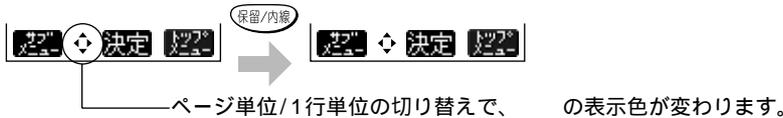
- 待ち受け画面で ボタンを押す、 ボタン [ 選択 ] を押す。  
 ボタンを 方向または 方向に倒して「ラストページ」を選択し、 ボタン [ 決定 ] を押す。  
「切断されました」と表示されたら (●P87)  
Lモード利用中に電話がかかってきたときは (●P87)

## サイト画面上での操作のしかた

### 画面の下方 / 上方を見る

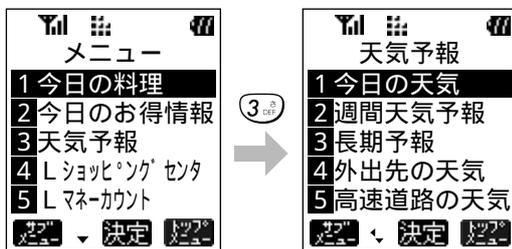
ディスプレイに1画面が表示しきれないときは、 ボタンを 方向に倒して画面の下方を表示させます。上方向に戻るときは  ボタンを 方向に倒します。

このとき、 ボタンを押すと、画面がページ単位の切り替えになります。もう一度  ボタンを押すと、1行単位に戻ります。



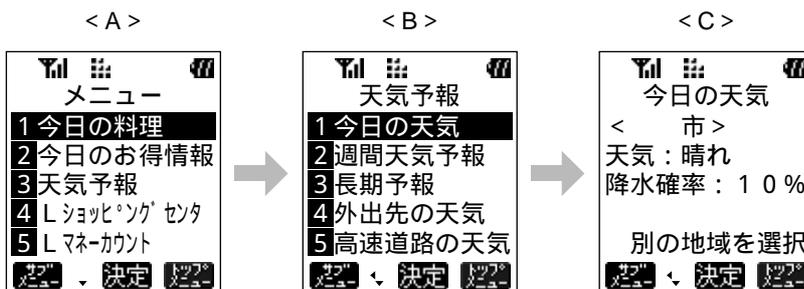
### リンク先に移動する

 ボタンを 方向または 方向に倒して項目を選択し、 ボタン [ 決定 ] を押すと、別のサイト（リンク先）に接続できます。項目に番号がついてリンクとなっている場合は、ダイヤルボタンで項目番号を入力するだけでリンク先へ接続できる場合があります。



### 前に見ていたサイトへ戻る / 次のサイトへ進む

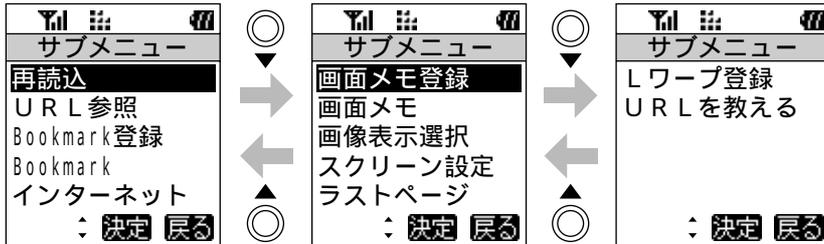
サイトの表示履歴が記憶されているので、前に見ていたサイトに戻ったり、もう1度進んで表示させたりすることができます。



<A> <B> <C> の順に接続した場合、<C> を表示しているときに  ボタンを 方向に繰り返し倒すと、<B> <A> と戻って表示することができます。<A> に戻ってから  ボタンを 方向に倒すと、もう1度 <B> <C> と進んで表示できます。

### サブメニューを使う

サイトを表示しているときに、 ボタン [サブメニュー] を押すと、次のようなサブメニューが表示されます。



 ボタンを 方向または 方向に倒して項目を選択して  ボタン [決定] を押すと、次の操作に進めます。

- 再読込……………表示中のサイトを新しい情報に更新する (●P112)
- URL参照……………表示中のサイトのURLを確認する (●P91)
- Bookmark登録…表示中のサイトをBookmarkに登録する (●P106)
- Bookmark ……あらかじめBookmarkに登録してあるサイトに移動する (●P106)
- インターネット…表示したサイトのURLの履歴一覧を表示する (●P105)
- 画面メモ登録…表示中のサイトを画面メモに登録する (●P110)
- 画面メモ……………保存されている画面メモの一覧を表示する (●P110)
- 画像選択表示…画像を1枚選択して表示させる (●P113)
- スクリーン設定…表示しているサイトの先頭の画像 (表示しているサイトに画像が複数ある場合) を待ち受け画面に使う (●P114)
- ラストページ…最後に表示したサイトを記憶して、オフラインで表示する (●P91)
- Lワーブ登録…表示中のサイトをLワーブに登録する (●P108)
- URLを教える…表示中のサイトのURLをコピーし、メール作成画面を表示して貼り付ける (●P105)

### 文字を入力する

 ボタンを 方向または 方向に倒して文字を入力したいテキストボックスを選択し、 ボタン [決定] を押すと、カーソルが表示されて文字が入力できる状態になります。文字を入力し、 ボタン [決定] を押すと、文字入力が完了します。  
「文字を入力するには」(●P58)



## Lモードゲートウェイと接続して各種サービスを利用する

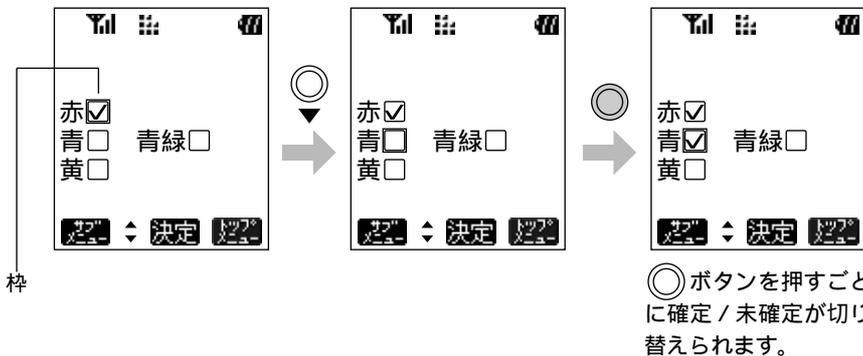
### ラジオボタンのついた項目を選択する

目的の項目のラジオボタン「○」を「●」にすることによって、複数の項目から1つだけ確定できます。○ボタンを 方向に倒して目的の項目に枠を移動させ、○ボタン [決定] を押して確定します。



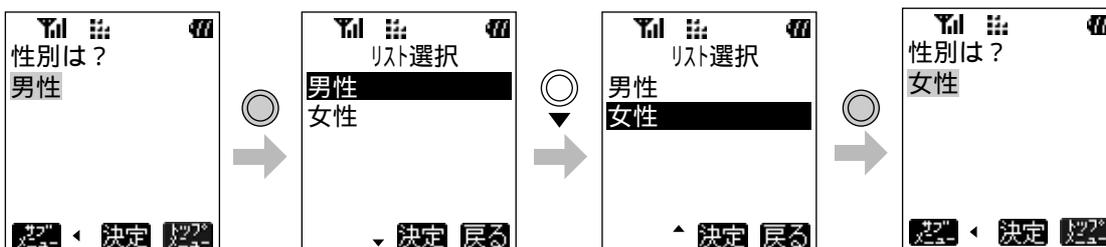
### チェックボックスにチェックマークをつける

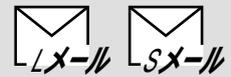
複数の項目を確定することができます。○ボタンを 方向または 方向に倒して目的の項目に枠を移動させ、○ボタン [決定] を押します。確定すると「✓」(チェックマーク)が付きます。



### プルダウンメニューから項目を選択する

項目の右側に「」が表示されているときにその項目を選択して○ボタン [決定] を押すと、隠れていた選択肢(プルダウンメニュー)が表示されます。○ボタンを 方向または 方向に倒して目的の項目を選択し、○ボタン [決定] を押して確定します。





LメールやSメールを送る基本的な方法として、新規メールを作成してすぐに送信する方法があります（送信メール一覧から保存した未送信メールを送る手順についてはP123を参照してください）。送信したメールは送信メール一覧に最大50件まで保存され、内容を確認することもできます。

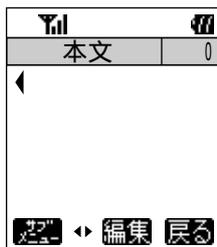
## 新規メールを作成して送信する

- 1 待ち受け画面で ボタンを押す。



- 2 Lメールの場合は ボタンを 方向に倒して「メール」を選択、Sメールの場合は ボタンを 方向に倒して「Sメール」を選択し、 ボタン [ 選択 ] を押す。  
LメールまたはSメールのメニューが表示されます。

- 3 ボタンを 方向または 方向に倒して「新規メール作成」を選択し、 ボタン [ 決定 ] を押す。  
メール作成画面（本文表示画面）が表示されます。



- 4 ボタン [ 編集 ] を押す。  
本文編集画面が表示されます。

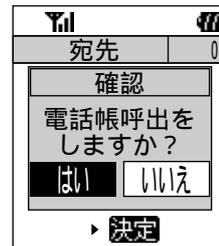
- 5 本文を入力する。  
Lメールは最大全角500文字分、Sメールは最大全角40文字分まで入力できます。  
「文字を入力するには」(●P58)



ボタンを押すと、改行されます。改行は半角2文字分として数えます。

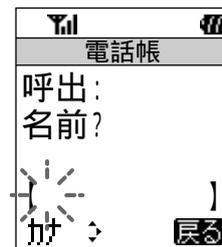
- 6 ボタン [ 決定 ] を押す。  
本文表示画面に戻ります。

- 7 ボタンを 方向に倒して宛先表示画面を表示させ、 ボタン [ 編集 ] を押す。



電話帳を使わずに宛先を入力するときは(●P96)

- 8 「はい」が選択されていることを確認し、 ボタン [ 決定 ] を押す。



- 9 名前のフリガナの先頭1文字をダイヤルボタンで入力し、 ボタンを 方向または 方向に倒す。  
入力した文字から始まる名前が五十音順に表示されます。

ボタンを 方向または 方向に倒して目的の名前を選択し、 ボタンを2回押す。

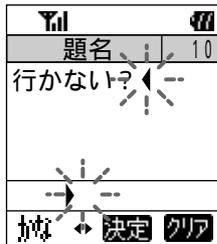
宛先表示画面に戻ります。  
Sメールの場合や題名を入力する必要がない場合は、手順14に進みます。

ボタンを 方向に倒して題名表示画面を表示させ、 ボタン [ 編集 ] を押す。

題名編集画面が表示されます。

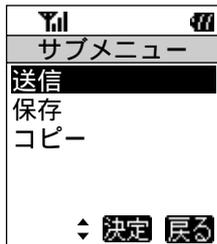


- 12** 題名（最大全角30文字分）を入力する。  
「文字を入力するには」(●P58)



- 13**  ボタン [ 決定 ] を押す。  
題名表示画面に戻ります。

- 14**  ボタン [ サブメニュー ] を押す。



- 15** 「送信」が選択されていることを確認し、 ボタン [ 決定 ] を押す。

Lモードゲートウェイとの接続が開始されます。「メール送信中」と表示され、メールが送信されます。Sメールの場合、送信メール一覧が表示されます。

- 16** 「送信完了切断しますか?」と表示されたら、「はい」が選択されていることを確認して  ボタン [ 決定 ] を押す。

送信メール一覧が表示されます。

## 自分宛にメールを送ってみましょう

メールが送れるかどうかを試すために、自分宛にメールを送ってみましょう。  
「新規メールを作成して送信する」の手順で新規メールを作成します。宛先にはこの電話機のメールアドレスを指定してください。題名と本文は、入力しなくても送信できます。送信が終了したら、「メールを受信して読む」(●P100)の操作を行ってみましょう。

ご自分のメールアドレスがおわかりにならない場合は、Lモードの使用説明書の確認方法をご参照ください。



## ワンポイント

電話帳を使わずに宛先を入力するときは  
手順7のあと、次のように操作します。

- ボタンを 方向に倒して「いいえ」を選択し、 ボタン [ 決定 ] を押す。

宛先メールアドレス（Lメールは半角で最大50文字、Sメールは半角で最大35文字）を入力する。

相手がLモード対応電話機でLモード契約してあれば、相手の電話番号だけでもメールが送信できます。

マイアドレス設定 (●P210) でアドレスを変更した場合でも、相手がLモード対応電話機でLモード契約してあれば、変更後のアドレスのユーザ名（メールアドレスの@より前の部分）だけでメールが送信できます。

- ボタン [ 決定 ] を押す。

手順11以降の操作を行う。

作成したメールを保存するには (●P99)

保存されていたメールを送信するには (●P123)

一度送信したメールを手直しして送信するには (●P124)

受信したメールの返事を出すには (●P130)

受信したメールをほかの宛先に転送するには (●P132)

送信メールの入力必須項目は

宛先のみです。宛先が指定されていれば、題名や本文が未入力でも送信操作が行えます。

送信を中止するには

送信中に  ボタン [ 中止 ] を押します。

送信メールを保護するには (●P125)

保存しておきたくないメールは

送信メール一覧から削除できます。(●P126)

Lモード利用中に電話がかかってきたときは (●P87)

Lモードの操作をやめるときは

ボタンを押して、待ち受け画面に戻ります。

## 絵文字を入力する



メールの題名、メールの本文の編集画面、サイト/ホームページの編集画面に限り、絵文字(232種類)(●P184)を入力することができます。

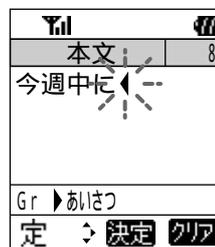
- 1 メールの題名、メールの本文の編集画面、サイト/ホームページの編集画面で、 ボタンを繰り返し押し、かな入力モードに切り替える。
- 2 を押して絵文字を表示させる。
- 3 ボタンを 方向または 方向に倒して表示内容を切り替え、 ボタンを 方向または 方向に倒して目的の絵文字を選択して ボタン [決定] を押す。

## 定型文を使って文字を入力する

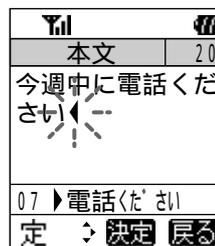


「こんにちは」「メールください」などの、よく使われる文が簡単に入力できます。あらかじめ用意されている定型文だけでなく、独自の定型文を登録して利用することもできます。(●P138)

- 1 本文、宛先、題名などの編集画面で、 ボタンを繰り返し押し、定型文入力モードに切り替える。



- 2 ボタンを 方向または 方向に倒して目的のグループを表示させる。
- 3 ボタンを 方向または 方向に倒して目的の定型文を表示させる。
- 4 ボタン [決定] を押す。  
定型文が入力されます。



## お知らせ

送信メール一覧に未送信メールと保護メールが合わせて50件あると、新規メールが作成できません。未送信のメールを送信する、保護メールの保護を解除する、不要なメールを削除するなどの操作をしてください。

送信メールの宛先に入力できるアドレスは1件のみです。2件以上入力するとどちらの宛先にも送信されません。

題名、本文に半角カタカナ、絵文字を入力してメールを送信した場合は、相手側で正常に表示できない場合があります。Lメールどうし、Sメールどうしでメールの送受信を行う場合、絵文字は表示されます。

定型文の入力が最大文字数の制限を超えた場合は、入力できる文字数のみが入力されます。

Lモードゲートウェイと接続中(エッジライトが点灯しディスプレイの「」が点灯または点滅しているとき)は通信料金がかかります。

最大入力文字数については、半角を使用した場合は全角を使用した場合の2倍の文字数が入力できます。

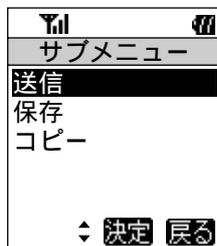


プラス  
α

## 文字をコピーする

繰り返し使いたい文や宛先などをメール作成中や編集中にコピーしておく、貼り付けの操作をするだけで、簡単に入力できます。貼り付けは、新しくコピーを行うまで繰り返し行えます。

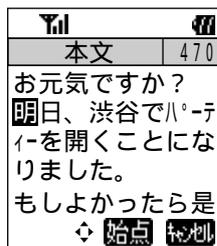
- 1 本文、宛先、題名などの内容表示画面で、 ボタン [サブメニュー] を押す。



- 2 ボタンを 方向または 方向に倒して「コピー」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

コピー元の画面に戻ります。  
宛先、題名のコピーをする場合は手順7へ進みます。

- 3 ボタンを 方向に倒して、カーソルをコピーしたい最初の文字に移動させる。



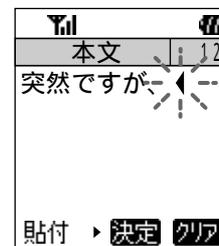
- 4 ボタン [始点] を押す。
- 5 ボタンを 方向に倒して、カーソルをコピーしたい最後の文字に移動させる。
- 6 ボタン [終点] を押す。  
「コピーしました」と表示されます。
- 7 ボタン [OK] を押す。  
コピー元の画面に戻ります。

プラス  
α

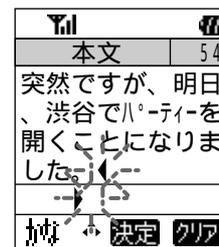
## 文字を貼り付ける

あらかじめコピーしておいた文字を貼り付けます。

- 1 文字を貼り付ける位置にカーソルがある状態で、 ボタンを繰り返し押し、貼付入力モードに切り替える。



- 2 ボタン [決定] を押す。  
文字が貼り付けられ、入力モードに切り替わります。



## 作成したメールを保存する

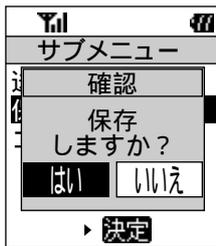
メールを作成したあと、すぐに送信しないで保存しておくことができます。保存しておいたメール（未送信メール）は、送信メール一覧から送信します。（☛P123）

**1** 「新規メールを作成して送信する」の手順1～14の操作を行う。（☛P95、96）

**2**  ボタンを  方向または  方向に倒して「保存」を選択する。



**3**  ボタン [決定] を押す。



**4** 「はい」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。  
作成したメールが送信メール一覧に保存されます。



### ワンポイント

Lモードの操作をやめるときは

 ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。



お客様宛のLメールやSメールは、Lモードゲートウェイ（メールセンタ）がお預かりしています。INSメッセージ到着お知らせサービス（●P82）をご利用の場合は、新しいLメールをお預かりしたことをお知らせする「メッセージ 2」（Sメールの場合は「メッセージ 5」）という文字がディスプレイに表示されるので、メール受信の操作を行ってください。受信したメールは受信メール一覧に保存され、すぐに読むことができます。

また、受信メールは受信メール一覧に最大50件まで保存され、すでに50件保存されている場合には、保護されていない古い既読メールから自動的に削除されます。

## メールを受信して読む

新しく受信したメールを読むもっとも基本的な方法として、Lモードゲートウェイへの読み出しを行い、メール受信後すぐに内容を読む手順を説明します。内容画面についての詳細は、「受信メールの内容画面の見かた」（●P103）を参照してください。また、すでに受信済みのメールを読む操作については、「メールを読み直す」（●P102）を参照してください。

**1** 待ち受け画面で ボタンを押す。



**2** Lメールの場合は ボタンを 方向に倒して「メール」を選択、Sメールの場合は ボタンを 方向に倒して「Sメール」を選択し、 ボタン [ 選択 ] を押す。

LメールまたはSメールのメニューが表示されます。

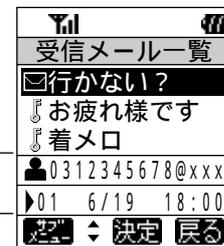
**3** ボタンを 方向または 方向に倒して「受信メール読出」を選択し、 ボタン [ 決定 ] を押す。

新しい受信メールがあるときは、「メール受信」と表示されたあと、メールが受信されます。「受信メールがありません」と表示されたときは、 ボタン [ 決定 ] を押して「はい」が選択されていることを確認し、 ボタン [ 決定 ] を押してLモードゲートウェイとの接続を切断します。

**4** 「受信完了切断しますか？」と表示されたら、「はい」が選択されていることを確認して ボタン [ 決定 ] を押す。

最新の受信メールが選択された受信メール一覧が表示されます。

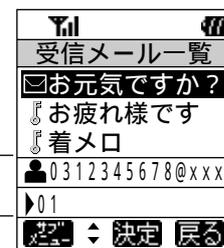
Lメール



一覧（上3行）で現在選択されている受信メールの差出人メールアドレス、受信番号（「01」は、1番新しい受信メール）受信日時  
1：日付順ソートの場合

題名  
 は未読メール、  
 は保護メール、  
無印は保護されていない既読メールであることを示す。

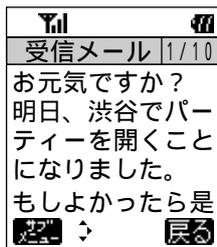
Sメール



一覧（上3行）で現在選択されている受信メールの差出人メールアドレス、受信番号（「01」は、アドレス順ソートで先頭に来る受信メール）

本文の先頭（全角7文字分）  
 は未読メール、  
 は保護メール、  
無印は保護されていない既読メールであることを示す。

5 ○ボタンを 方向または 方向に倒して受信メールを選択し、○ボタン [決定] を押す。  
 選択した受信メールの内容が表示されます。



「受信メールの内容画面の見かた」(P103)

6 内容の確認が終わったら、○ボタン [戻る] を押す。

## メールが到着すると

次のように表示されます。

Lメール、Sメール到着の場合



センタ番号



## ワンポイント

削除されないように特定の受信メールを保護するには (P134)

受信したメールの返事を出すには (P130)

受信したメールをほかの宛先に転送するには (P132)

差出人を電話帳に登録するには (P133)

もっと簡単に受信操作を行うには

Lワープ (P108) 機能を使って、以下のように操作します。

○ボタンを 方向に倒す。

Lメールの場合は①、Sメールの場合は②を押す。

「メール限界」と表示されたときは

受信メール一覧がすでにいっぱいです。保護メールと未読メールがあわせて50件あると、新しいメールが受信できません。保護メールの保護を解除するか、不要なメールの削除を行ってください。(P134、135)

受信メール本文中の電話番号やメールアドレスを利用するにはメール本文に電話番号やメールアドレス、URLなどが含まれている場合、簡単に電話をかけたりメールを送信したり、サイトやホームページへ接続することができます。(P116、117)



「切断されました」と表示されたら (P87)

Lモード利用中に電話がかかってきたときは (P87)

Lモードの操作をやめるときは

電話切ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。



## お知らせ

お客様に読み出しされたメールは、Lモードゲートウェイ内から削除され、再度読み出しを行うことはできません。お客様宛のメールをLモードゲートウェイでお預かりする期間は14日間です。また、お預かりできるメールは、最大200件です。

Lモードゲートウェイとの接続中(エッジライトが点灯し「■」が点灯または点滅しているとき)は、電話としてご利用になることができません。

本文は、Lメールの場合は全角500文字分まで、Sメールの場合は全角40文字分まで送受信できます。

文字数を超えて受信したとき、Lメールは500文字目、Sメールは40文字目に「\*」または「\*\*」が表示されます。LメールやSメールでは、添付ファイルの送受信はできません。Lモードゲートウェイとの接続が必要なのは、読み出しを行うときだけです。受信したメールを読んだり、受信メール一覧に保存されているメールを読むときは、Lモードゲートウェイと接続している必要はありません。

「メッセージ」の表示は、メッセージセンタからメッセージ消去の情報を受信するまで表示されます。

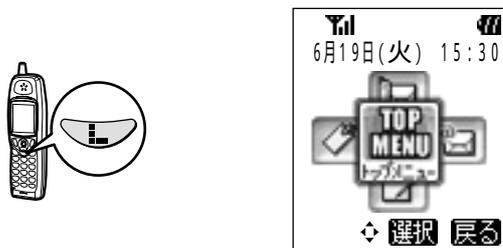
Lモードゲートウェイと接続中(エッジライトが点灯しディスプレイの「■」が点灯または点滅しているとき)は通信料金がかかります。



## メールを読み直す

受信メール一覧から読みたいメールを選択し、内容を見ます。  
Lモードゲートウェイへは接続しません。  
内容画面についての詳細は、「受信メールの内容画面の見かた」  
(P103)を参照してください。

1 待ち受け画面で ボタンを押す。



2 Lメールの場合は ボタンを 方向に倒して「メール」を選択、Sメールの場合は ボタンを 方向に倒して「Sメール」を選択し、 ボタン [ 選択 ] を押す。

3 ボタンを 方向または 方向に倒して、「受信メール一覧」を選択し、 ボタン [ 決定 ] を押す。  
受信メール一覧が表示されます。



4 ボタンを 方向または 方向に倒して目的のメールを選択し、 ボタン [ 決定 ] を押す。  
受信メールの内容が表示されます。

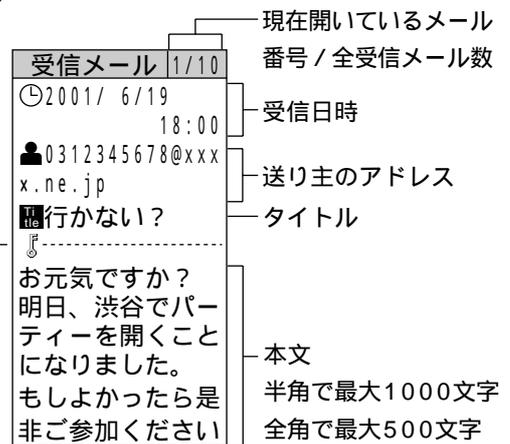
5 内容の確認が終わったら、 ボタン [ 戻る ] を押す。  
受信メール一覧に戻ります。他の受信メールを読むときは、手順4～5を繰り返します。

プラス  
α

## 受信メールの内容

LメールとSメールで、受信メールの内容が異なります。

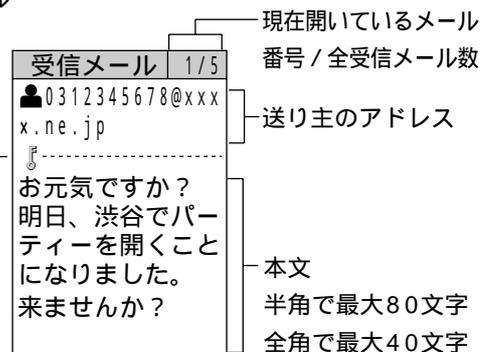
Lメール



メール状態表示

は保護メール、  
無印は保護されていない既読メール。

Sメール



メール状態表示

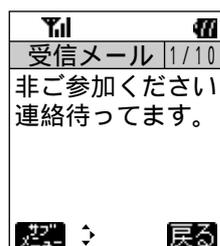
は保護メール、  
無印は保護されていない既読メール。

## ワンポイント

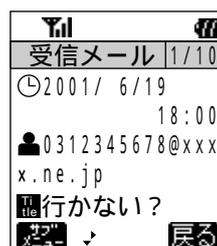
Lモードの操作をやめるときは  
 ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。

## 受信メールの内容画面の見かた

Lメールの場合



○ ボタンを繰り返し  
方向に倒すと、受信  
した日時や送り主の  
アドレスなどが確認でき  
る



この例では、現在開いているLメール  
が、受信メール一覧に保存されている  
全10件中、1番新しいLメールであ  
ることを示す

1：日付順ソート（●P136）の場合

### 画面の下方 / 上方を見る

○ ボタンを 方向に倒すと、画面の下方が表示されます。上方に戻るときは○ ボタンを 方向に倒します。

このとき、(保留/内線) ボタンを押すと、画面がページ単位の切り替えになります。もう一度 (保留/内線) ボタンを押すと、1行単位に戻ります。

### 受信メール一覧画面に戻る

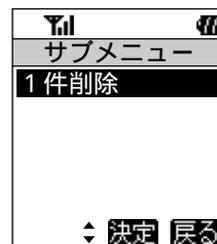
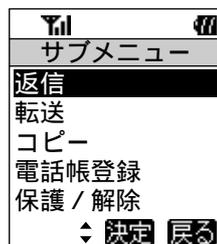
□ ボタン [戻る] を押すと、受信メール一覧の画面に戻ります。

### サブメニューを使う

内容画面で □ ボタン [サブメニュー] を押すと、次のようなサブメニューが表示されます。

○ ボタンを 方向または 方向に倒して項目を選択し、○ ボタン [決定] を押すと、次の操作に進めます。

- 返信……………すぐに返事を送る（●P130）
- 転送……………表示中のメールを別の相手に転送する（●P132）
- コピー……………表示中のメールの内容をコピーする
- 電話帳登録……………表示中のメールの送信者を電話帳に登録する（●P133）
- 保護 / 解除……………自動的に削除してはいけないメールとして保護する / 保護を解除する（●P134）
- 1件削除……………表示中のメールのみを削除する（●P135）



# インターネットホームページを見る (URL入力)

見たいホームページのアドレス (URL) を指定してインターネットに接続し、ホームページを見ることができます。接続したサイトやホームページのURLは最新の10件が記憶されており、これを利用して以前に見たホームページをもう一度見ることもできます。ホームページの画面操作方法はサイト画面と同じです。(●P92、94)

## URLを入力してホームページに接続する

- 1 待ち受け画面で ボタンを押し、 ボタン [ 選択 ] を押す。



- 2 ボタンを 方向 または 方向 に倒して「インターネット」を選択し、 ボタン [ 決定 ] を押す。



- 3 ボタン [ 決定 ] を押す。  
URL入力画面が表示されます。

- 4 URL (半角英数で最大500文字) を入力する。  
「文字を入力するには」(●P58)



- 5 ボタン [ 決定 ] を押す。  
「接続中です」、「ページ取得中」と表示されたあと、目的のインターネットホームページが表示されます。エッジライトと「」が点灯します。

- 6 Lモードゲートウェイとの接続を切断するとき、 ボタンを押す。  
エッジライトと「」が消えます。



- 7 Lモードの利用を終了するとき、もう一度 ボタンを押す。

## お知らせ

データ量の大きいホームページに接続すると、すべての内容が表示できない場合があります。GIF形式以外の画像はこの電話機のディスプレイで表示できません。画像の位置には が表示されます。また、GIF形式であっても表示できない場合があります。Lモードメニューコンテンツ以外のコンテンツは、正しく表示されない場合があります。「このページをご覧いただくにはフレーム対応のブラウザが必要です」もしくは、「ページサイズオーバー」と表示される場合があります。

## ワンポイント

ホームページを見るのを中止するには「接続中です」、「ページ取得中」が表示されているときに ボタン [ 中止 ] または [ 中断 ] を押します。

よく見るホームページに簡単に接続するにはよく見るサイト/ホームページをLワープ (●P108) やBookmark (●P106) に登録しておく、簡単に接続できて便利です。

繰り返し見たい内容を保存するには気に入ったサイト/ホームページは、画面メモに保存して繰り返し見ることができます。(●P110)

ホームページが正常に表示されなかったときは再読込を行ってみてください。(●P112)

「切断されました」と表示されたら (●P87)

Lモード利用中に電話がかかってきたときは (●P87)

## URLの履歴を使ってホームページに接続する

- 1 「URLを入力してホームページに接続する」の手順1～2の操作をする。(●P104)



- 2  ボタンを 方向または 方向に倒して目的のURLを選択し、 ボタン [決定] を押す。
- 3  ボタン [決定] を押す。  
「接続中です」、「ページ取得中」と表示されたあと、目的のインターネットホームページが表示されます。



### ワンポイント

表示中のサイトのURLをコピーしてメールを作成するにはURLをコピーしたいサイト/ホームページを表示させる。

- ボタン [サブメニュー] を押す。
  - ボタンを 方向または 方向に倒して「URLを教える」を選択し、 ボタン [決定] を押す。
- 「送信メールを作成しますか?」と表示されたら、「はい」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。
- 「センタとの接続を切断しますか?」と表示されたら、 ボタンを 方向または 方向に倒して「はい」または「いいえ」を選択し、 ボタン [決定] を押す。
- 「新規メールを作成して送信する」(●P95)の手順4～16の操作を行う。

URLの履歴を削除するには

- 「URLを入力してホームページに接続する」の手順1～2の操作をする。(●P104)
- ボタンを 方向または 方向に倒して削除するURL(すべて削除するときはどれでもよい)を選択する。
  - ボタン [サブメニュー] を押す。
  - ボタンを 方向または 方向に倒して「1件削除」(すべて削除するときは「全削除」)を選択し、 ボタン [決定] を押す。
- 「削除しますか?」と表示されたら ボタンを 方向に倒して「はい」を選択し、 ボタン [決定] を押す。
- ボタン [OK] を押す。

履歴に記憶されているURLをコピーするには

履歴に記憶されているURLをコピーすると、貼り付けの操作(●P98)をするだけで、メールの本文などに簡単に入力できます。貼り付けは、新しくコピーを行うまで繰り返し行えます。

- 「URLを入力してホームページに接続する」の手順1～2の操作をする。(●P104)
- ボタンを 方向または 方向に倒してコピーするURLを選択する。
  - ボタン [サブメニュー] を押す。
  - ボタンを 方向または 方向に倒して「コピー」を選択し、 ボタン [決定] を押す。
- 「コピーしました」と表示されたら、 ボタン [OK] を押す。

「切断されました」と表示されたら(●P87)

Lモード利用中に電話がかかってきたときは(●P87)

Lモードゲートウェイとの接続を切断するときは/Lモードの操作をやめるときは

- ボタンを押してLモードゲートウェイとの接続を切断します。もう一度  ボタンを押すとLモードを終了して待ち受け画面に戻ります。(●P87)





## ワンポイント

さらにお気に入りのサイト/ホームページは毎回見るようなお気に入りのサイト/ホームページは、Lワープ(●P108)に登録すると、Bookmarkよりもさらに簡単に接続できます。ただし、Lワープを使った接続は、待ち受け画面からしか行えません。

「これ以上登録できません」と表示されたときはすでに30件登録されています。不要なBookmarkを削除してください。

別のサイト/ホームページを表示中にBookmarkを使うときは

サイト/ホームページ表示中に ボタン [サブメニュー] を押す。

ボタンを 方向または 方向に倒して「Bookmark」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

ボタンを 方向または 方向に倒して、表示させたいサイト/ホームページをBookmarkの一覧から選択し、 ボタン [決定] を押す。

不要になったBookmarkを削除するには

「Bookmarkを使ってサイト/ホームページを見る」の手順1~2の操作を行う。(●P106)

ボタンを 方向または 方向に倒して削除したいBookmark(すべて削除するときはどれでもよい)を選択する。

ボタン [サブメニュー] を押す。

ボタンを 方向または 方向に倒して「1件削除」(すべて削除するときは「全削除」)を選択し、 ボタン [決定] を押す。

「削除しますか?」と表示されたら、 ボタンを 方向に倒して「はい」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

ボタン [決定] を押す。

Bookmark一覧を見やすくするには/Bookmarkのタイトルを編集するには

URLで登録されているBookmarkにタイトルをつけたり、あらかじめ設定されていたタイトルを自由に編集することができます。

「Bookmarkを使ってサイト/ホームページを見る」の手順1~2の操作を行う。(●P106)

ボタンを 方向または 方向に倒してタイトルをつけるまたは編集するBookmarkを選択する。

ボタン [サブメニュー] を押す。

ボタンを 方向または 方向に倒して「タイトル編集」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

タイトルを入力/編集し、 ボタン [決定] を押す。

BookmarkのURLを確認するには

ワンポイント「Bookmark一覧を見やすくするには/Bookmarkのタイトルを編集するには」の ~ の操作をして「URL参照」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押します。

BookmarkのURLを編集するには

ワンポイント「Bookmark一覧を見やすくするには/Bookmarkのタイトルを編集するには」の で「URL編集」を選択してから ボタン [決定] を押し、URLを編集して ボタン [決定] を押します。

「切断されました」と表示されたら(●P87)

Lモード利用中に電話がかかってきたときは(●P87)

Lモードゲートウェイとの接続を切断するときは/Lモードの操作をやめるときは

ボタンを押してLモードゲートウェイとの接続を切断します。もう一度 ボタンを押すとLモードを終了して待ち受け画面に戻ります。(●P87)

# いつもの操作をより簡単にする (Lワープ)

Lワープは、お客様の「いつもの操作」をより簡単にするための機能です。ボタンを2つ押すだけでメールの読み出しが行えるほか、いつも見るサイト/ホームページをLワープ（最大8件）に登録しておく、すばやく接続できます。

## いつも見るサイト/ホームページを Lワープに登録する

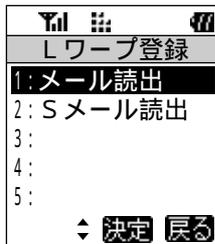
あらかじめ、Lワープ番号「1」には「メール読出」が、Lワープ番号「2」には「Sメール読出」が登録されています。「3」～「9」または「0」に、いつも見るサイト/ホームページを登録してご利用ください。

**1** 登録したいサイト/ホームページを表示させる。  
サイト/ホームページを表示させるには（P91、104）

**2** 戻るボタン [サブメニュー] を押す。



**3** 戻るボタンを 上方向または 下方向に倒して「Lワープ登録」を選択し、戻るボタン [決定] を押す。



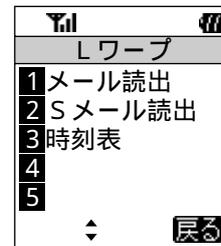
**4** 戻るボタンを 上方向または 下方向に倒して登録先の番号を選択し、戻るボタン [決定] を押す。

**5** 「登録しますか?」と表示されたら、「はい」が選択されていることを確認して戻るボタン [決定] を押す。

**6** 「登録しました」と表示されたら、戻るボタン [OK] を押す。  
表示させていたサイト/ホームページに戻ります。

## Lワープを使ってLモード操作を行う

**1** 待ち受け画面で戻るボタンを 上方向に倒す。  
Lワープの登録内容一覧が表示されます。



**2** 目的のLワープ番号（1～9、0）を押す。  
①または②を押したときはLモードゲートウェイに接続し、メール受信がはじまります。①と②以外を押したときは、Lモードゲートウェイに接続され、目的のサイト/インターネットホームページが表示されます。



## ワンポイント

Bookmarkと使い分けるには  
お気に入りのサイト/ホームページをBookmark (●P106)に登録する方法もありますが、Lワークに登録した方がBookmarkを使うよりも接続操作がさらに簡単です。ただし、Lワークを使った接続は、待ち受け画面、Lワークからのみ行えます。

「上書きしますか?」と表示されたときは  
Lワーク登録時に、すでに登録されている番号を選択して○ボタン [決定] を押し、「上書きしますか?」と表示されます。○ボタンを 方向に倒して「はい」を選択し、○ボタン [決定] を押し、前に登録されていた内容が消えて新しい内容が登録されます。

Lワーク一覧を見やすくするには/Lワークのタイトルを編集するには  
URLで登録されているLワークにタイトルをつけたり、あらかじめ設定されていたタイトルを自由に編集することができます。

待ち受け画面で  ボタンを押し、○ボタン [選択] を押し。

○ボタンを 方向または 方向に倒して「Lワーク情報」を選択し、○ボタン [決定] を押し。

○ボタンを 方向または 方向に倒してタイトルを編集するLワークを選択する。

 ボタン [サブメニュー] を押し。

○ボタンを 方向または 方向に倒して「タイトル編集」を選択し、○ボタン [決定] を押し。

タイトルを入力/編集し、○ボタン [決定] を押し。

LワークのURLを確認するには  
ワンポイント「Lワークを見やすくするには/Lワークのタイトルを編集するには」の ~ の操作をし、「URL参照」が選択されていることを確認して○ボタン [決定] を押します。

LワークのURLをコピーするには  
Lワークに登録されているURLをコピーし、貼り付け (●P98) の操作で送信メールの本文などに簡単に入力することができます。

ワンポイント「Lワーク一覧を見やすくするには/Lワークのタイトルを編集するには」の手順 ~ の操作をする。「URL参照」が選択されていることを確認して○ボタン [決定] を押し。

 ボタン [サブメニュー] を押し。

○ボタンを 方向または 方向に倒して「コピー」を選択し、○ボタン [決定] を押し。

「コピーしました」と表示されたら、○ボタン [OK] を押し。

「切断されました」と表示されたら (●P87)

Lモード利用中に電話がかかってきたときは (●P87)

Lモードゲートウェイとの接続を切断するときは/Lモードの操作をやめるときは

 ボタンを押してLモードゲートウェイとの接続を切断します。もう一度  ボタンを押すとLモードを終了して待ち受け画面に戻ります。(●P87)



## お知らせ

Lワークの「1」と「2」は上書きできないためサイト/ホームページを登録することはできません。サイトやホームページによってはLワークに登録できない場合があります。Lワーク登録の上書きはできますが削除することはできません。

表示中のページを画面メモ(最大10件)に登録すると、画面データとしてこのコードレス電話機に保存され、Lモードゲートウェイに接続しなくても繰り返し見ることができます。また、画面メモ中の画像を待ち受け画面用のスクリーンにすることができます。(P114)

### 気に入ったページを画面メモに登録する

1 登録したいサイト/ホームページを表示させる。  
「サイト/ホームページを表示させるには」(P91、104)

2  ボタン [サブメニュー] を押す。

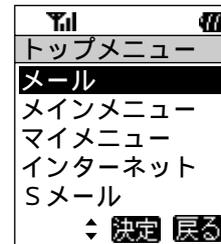


3  ボタンを  方向または  方向に倒して「画面メモ登録」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

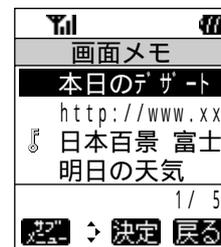
4  ボタン [OK] を押す。  
画面メモに登録され、サイト/ホームページ画面に戻ります。

### 画面メモを見る

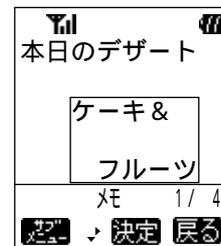
1 待ち受け画面で  ボタンを押し、 ボタン [決定] を押す。



2  ボタンを  方向または  方向に倒して「画面メモ」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



3  ボタンを  方向または  方向に倒して表示する画面メモを選択し、 ボタン [決定] を押す。  
画面メモが表示されます。



 ボタンを  方向または  方向に倒すごとに、前後の画面メモに切り替えられます。

## 画面メモを削除する

画面メモの一覧から1件ずつ削除する手順です。画面メモ表示中に、手順3～5と同様の操作で削除することもできます。

- 1 「画面メモを見る」の手順1～2の操作を行う。  
(●P110)

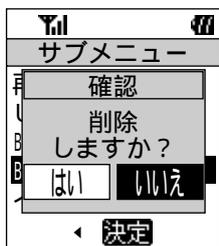


- 2  ボタンを 方向または 方向に倒して削除する画面メモを選択する。

- 3  ボタン [サブメニュー] を押す。



- 4  ボタンを 方向または 方向に倒して「1件削除」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



- 5  ボタンを 方向に倒して「はい」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

- 6  ボタン [OK] を押す。



## ワンポイント

画面メモに保存される内容は

文字データ、画像データのほか、リンクの情報も保存されます。画面メモ上でリンク先を選択すると、自動的にLモードゲートウェイに接続され、リンク先のサイト/ホームページが表示されます。

「一杯です」と表示されたときは

すでに10件分登録されています。不要な画面メモを削除してください。

画面メモを一括削除するには

「画面メモを見る」の手順1～2の操作を行う。(●P110)

ボタン [サブメニュー] を押す。

ボタンを 方向または 方向に倒して「全削除」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

「はい」が選ばれていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。

画面メモを保護 / 保護解除するには

「画面メモを見る」の手順1～2の操作を行う。(●P110)

ボタンを 方向または 方向に倒して保護 / 保護解除したい画面メモを選択する。

ボタン [サブメニュー] を押す。

ボタンを 方向または 方向に倒して「保護 / 解除」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

ボタン [OK] を押す。

画面メモ一覧を見やすくするには / 画面メモのタイトルを編集するには

URLで登録されている画面メモにタイトルをつけたり、あらかじめ設定されていたタイトルを自由に編集することができます。

「画面メモを見る」の手順1～2の操作を行う。(●P110)

ボタンを 方向または 方向に倒してタイトルをつけるまたは編集する画面メモを選択する。

ボタン [サブメニュー] を押す。

ボタンを 方向または 方向に倒して「タイトル編集」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

タイトルを入力 / 編集し、 ボタン [決定] を押す。

ボタン [OK] を押す。

画面メモのURLを確認するには

ワンポイント「画面メモ一覧を見やすくするには / 画面メモのタイトルを編集するには」の手順～の操作をして「URL参照」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押します。

「切断されました」と表示されたら (●P87)

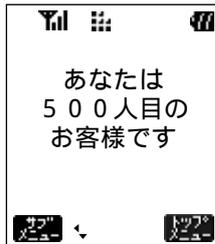
Lモード利用中に電話がかかってきたときは (●P87)

Lモードゲートウェイとの接続を切断するときには / Lモードの操作をやめるときは

ボタンを押してLモードゲートウェイとの接続を切断します。もう一度  ボタンを押すとLモードを終了して待ち受け画面に戻ります。(●P87)

サイト / ホームページを表示中に再読込を行うと、表示内容が更新されます。接続時にサイト / ホームページが正常に表示されなかった場合などには、再読込を行ってください。

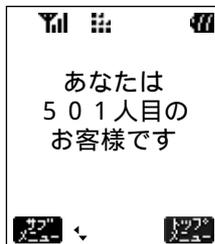
サイト / ホームページを表示中に...



**1**  ボタン [サブメニュー] を押す。

**2** 「再読込」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。

再読込が行われます。



お知らせ



Lモード対応のページ以外は、正しく表示されない場合があります。

# 画像を1枚ずつ確認する

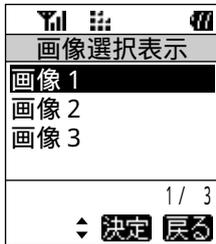
## (画像選択表示)

表示中のサイト/ホームページ上に2枚以上の画像があつて画面に表示しきれないときに、全部で画像が何枚あるのかを確認したり、1枚ずつ別々に表示させることができます。

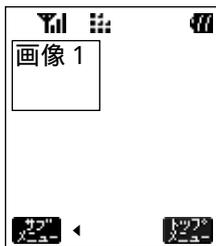
サイト/ホームページを表示中に...



- 1 ボタン [サブメニュー] を押す。
- 2 ボタンを 方向または 方向に倒して「画像選択表示」を選択し、 ボタン [決定] を押す。  
画像の一覧が表示されます。



- 3 ボタンを 方向または 方向に倒して表示させたい画像を選択し、 ボタン [決定] を押す。  
「ページ取得中」と表示されたあと、画像が表示されます。



サイズはもとのサイト/ホームページ上と同じです。



### ワンポイント

「切断されました」と表示されたら (●P87)

Lモード利用中に電話がかかってきたときは (●P87)

Lモードゲートウェイとの接続を切断するときは/Lモードの操作をやめるときは

ボタンを押してLモードゲートウェイとの接続を切断します。もう一度 ボタンを押すとLモードを終了して待ち受け画面に戻ります。(●P87)



### お知らせ

画像の一覧には、画像ファイル名が表示されます(最大100枚まで)

GIF形式以外の画像は表示できません。また、GIF形式であっても表示できない場合があります。

# 待ち受け画面用の画像を用意する (スクリーン設定)

スクリーン設定では、表示中のサイト/ホームページの画像(最大10件)を、待ち受け画面用に保存することができます。お買い求め時には、あらかじめ10種類のスクリーンが用意されています(上書きするとともに戻りません)。

スクリーン設定した画像を待ち受け画面に設定する操作については、P164を参照してください。

## サイト/ホームページの画像を スクリーン設定する

サイト/ホームページの画像を表示中に...



- 1 ボタン [サブメニュー] を押す。



- 2 ボタンを 方向または 方向に倒して「スクリーン設定」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

1枚目のスクリーンが表示されます。



- 3 ボタンを 方向または 方向に倒して上書きする画面を選択し、 ボタン [決定] を押す。

- 4 「設定完了」と表示されたら、 ボタン [OK] を押す。

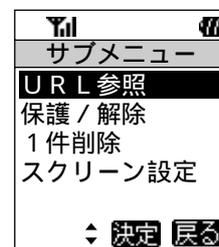
サイト/ホームページ画面に戻ります。

## 画面メモの画像をスクリーン設定する

画面メモ (P110) を表示中に...



- 1 ボタン [サブメニュー] を押す。



- 2 ボタンを 方向または 方向に倒して「スクリーン設定」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

1枚目のスクリーンが表示されます。

- 3 ボタンを 方向または 方向に倒して上書きする画面を選択し、 ボタン [決定] を押す。

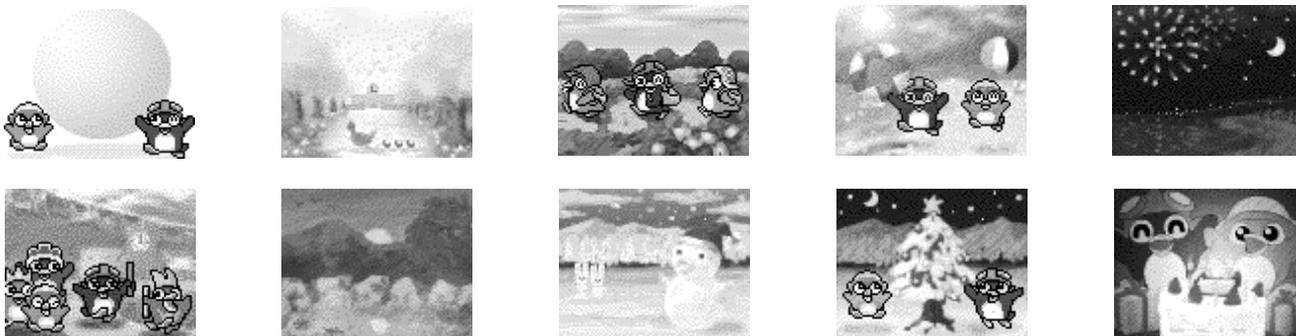
- 4 「設定完了」と表示されたら、 ボタン [OK] を押す。

画面メモ画面に戻ります。



ワンポイント

お買い求め時のスクリーン（10種類）



画面上に複数の画像があるときは

サイト/ホームページ上または画面メモ上に画像が2枚以上あるときは、先頭の画像だけがスクリーン画面として設定されます。

複数の画像の中から目的の画像を選ぶには

サイト/ホームページ上の先頭以外の画像をスクリーン設定したい場合は、画像選択表示（●P113）で目的の画像を1枚だけ表示させてからスクリーン設定を行ってください。画面メモは画像選択表示できません。

画像の表示形式を変えるには

「画像表示設定」で「標準表示」、「縮小表示」を選ぶことができます。（●P143）

「切断されました」と表示されたら（●P87）

Lモード利用中に電話がかかってきたときは（●P87）

Lモードゲートウェイとの接続を切断するときには/Lモードの操作をやめるときには

ボタンを押してLモードゲートウェイとの接続を切断します。もう一度 ボタンを押すとLモードを終了して待ち受け画面に戻ります。（●P87）



お知らせ

スクリーン設定できるのは、GIF形式の画像だけです。

画像表示設定で「標準表示」に設定しているとき、1画面に表示しきれない部分は削除されます。

スクリーンの画面には、画像のみが左上寄せで保存されます。もとの画面に文字データなどがあつた場合には、画像が左上に寄ってしまいます。

<サイト/ホームページ表示中>



<スクリーン>

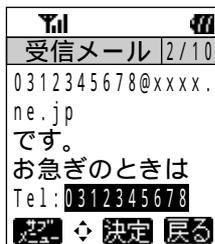




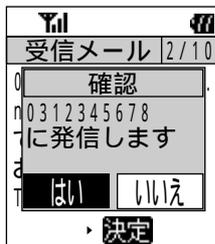
サイト/ホームページや画面メモ、メール内に表示されている電話番号やファクス番号、メールアドレス、URLなどを利用して、簡単に電話をかけたり、ファクスを受信したり、送信メールの作成、サイト/ホームページへの接続などが行えます。

## 表示されている電話番号に電話をかける (PHONE TO機能)

- 1 サイトやメールなどを表示中に、 ボタンを 方向または 方向に倒して目的の電話番号を選択する。



- 2 ボタン [決定] を押す。  
電話番号の確認画面が表示されます。



電話番号は必ず確認してください。

- 3 「はい」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。  
相手先を呼び出します。



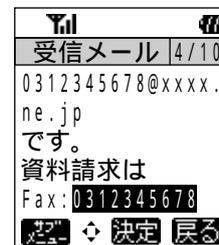
ハンズフリー通話になります。

- 4 通話が終了したら電話を切る。  
メール画面に戻ります。

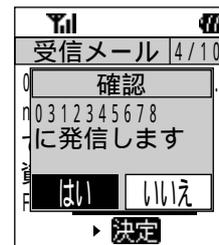
## 表示されているファクス番号に電話をかけて 内線のファクスに転送する (FAX TO機能)

転送するファクスの内線番号は、あらかじめ「FAX転送設定」(●P163)で登録しておきます。  
また、主電話機で「FAX接続あり」に設定する必要があります。(●P169)

- 1 サイトやメールなどを表示中に、 ボタンを 方向または 方向に倒して目的のファクス番号を選択する。



- 2 ボタン [決定] を押す。  
ファクス番号の確認画面が表示されます。



ファクス番号は必ず確認してください。

- 3 「はい」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。  
相手先を呼び出します。



- 4 相手先のファクスが応答して「決定でFAX受信を開始します」と表示されたら、 ボタン [OK] を押す。

内線のファクスに転送され、「転送完了」と表示されます。

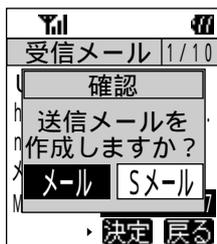
転送先のファクスで、ファクス受信が開始されます。

## 表示されているメールアドレス宛に メールを送る (MAIL TO機能)

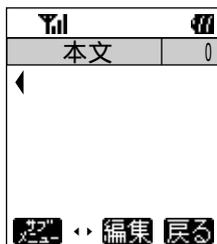
- 1 サイトやメールなどを表示中に、 ボタンを 方向または 方向に倒して目的のメールアドレスを反転表示させ、 ボタン [決定] を押す。



- 2  ボタンを 方向または 方向に倒して「メール」または「Sメール」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



- 3  ボタン [決定] を押す。  
メール作成画面 (本文表示画面) が表示されます。



Lモードゲートウェイと接続しているときは「センタとの接続を切断しますか?」と表示されます。切断するときは、「はい」が選択されていることを確認して、 ボタン [決定] を押します。

- 4  ボタン [編集] を押す。  
本文編集画面が表示されます。

- 5 題名や本文を入力し、送信する。  
「新規メールを作成して送信する」( P95) の手順5以降の操作を行います。



### ワンポイント

メール本文で電話番号を反転表示させるにはキーワード「Tel:」などのあとに電話番号を入力してください。また電話番号のあとはスペースか改行を入力してください。メール本文でファクス番号を反転表示させるにはキーワード「Fax:」などのあとにファクス番号を入力してください。また、ファクス番号のあとはスペースか改行を入力してください。

メール本文でメールアドレスを反転表示させるにはキーワード「MailTo:」などのあとにメールアドレスを入力してください。またメールアドレスのあとはスペースか改行を入力してください。

「メール限界」と表示されたときは送信メール一覧に未送信メールと保護メールが合わせて50件ある場合、メールが作成できません。未送信のメールを送信する、保護メールの保護を解除する、不要なメールを削除するなどの操作をしてください。

「切断されました」と表示されたら ( P87)

Lモード利用中に電話がかかってきたときは ( P87)

Lモードゲートウェイとの接続を切断するときは/Lモードの操作をやめるときは

 ボタンを押してLモードゲートウェイとの接続を切断します。もう一度  ボタンを押すとLモードを終了して待ち受け画面に戻ります。 ( P87)



### お知らせ

サイトやメールによっては電話番号、ファクス番号やメールアドレスが反転表示されない場合があります。この場合は、PHONE TO、FAX TO、MAIL TOの機能は使えません。Lモードゲートウェイとの接続中 (エッジライトが点灯しディスプレイの「」が点灯または点滅しているときは)、電話としてご利用になることができません。したがって、PHONE TO機能を使って電話をかけるときには、自動的にLモードゲートウェイとの回線が切断されます。PHONE TO、FAX TO機能を使ってかけた電話番号を再ダイヤルすることはできません。

MAIL TO機能でLモードゲートウェイと接続したままにしていると、メール作成中も通話料がかかりますのでご注意ください。

Lモードゲートウェイと接続中 (エッジライトが点灯しディスプレイの「」が点灯または点滅しているときは) は通話料がかかります。

PHONE TO、FAX TO発信とメッセージ到着通知などの着信が同時に行われたときは、正常に動作しないことがあります。ブラウザ&メールボードからPHONE TO、FAX TO発信を使って電話をかけた場合、通話中にブラウザ&メールボードを取り外すと通話は切れます。

PHONE TO、FAX TO発信にも、通話料がかかります。「Fネット検出」の機能を持たないファクスでは、FAX TO機能は使えません。



# 着信メロディを受信する

着信メロディを提供しているサイト/ホームページからお好みのメロディのデータを受信（これを「ダウンロード」といいます）し、このコードレス電話機の着信メロディとして使うことができます。ダウンロードしたメロディを着信メロディに設定する操作については、P160を参照してください。

## 着信メロディをダウンロードする

着信メロディのダウンロード完了後、演奏を聴いてから保存するかどうかを決めることができます。保存できるのは3曲までです。ダウンロードしたメロディがすでに3曲保存されている場合、新しい着信メロディを保存すると、保存されていたメロディが上書きされ、新たに保存したメロディに置き換えられます。

**1** メロディがダウンロードできるサイト/ホームページを表示させる。

「サイト/ホームページを表示させるには」(P91、104)

**2** ボタンを 方向または 方向に倒してダウンロードしたいメロディを選択する。



**3** ボタン [決定] を押す。

「ページ取得中」と表示されたあと、詳細画面が表示されます。



**4** 演奏するときは、 ボタンを 方向に倒して「再生」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

演奏が開始され、終了すると手順3の画面に戻ります。



### お知らせ

Lモードゲートウェイ接続中（エッジライトが点灯しディスプレイの「」が点灯または点滅しているとき）は通信料金がかかります。

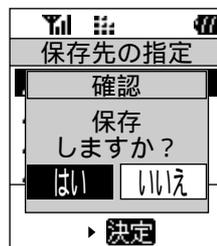
Lモードメニューコンテンツ以外のコンテンツは正しく表示されない場合があります。

ダウンロードするデータによってはメロディ変換できず、演奏できない場合があります。

**5** ボタンを 方向に倒して「保存」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



**6** ボタンを 方向または 方向に倒して保存先を選択し、 ボタン [決定] を押す。



**7** 「はい」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。

「保存完了」と表示されます。

**8** ボタン [OK] を押す。

サイト/ホームページの画面に戻ります。



### ワンポイント

「保存しますか?」と表示されたときは手順6で「はい」が選択されていることを確認して ボタン [決定] を押すと、前に保存されていたメロディが削除されて新しい内容が登録されます。保存先を変えたいときは、「いいえ」を選択して ボタン [決定] を押します。メロディの保存を中止するときは ボタン [戻る] を押します。

「切断されました」と表示されたら (P87)

Lモード利用中に電話がかかってきたときは (P87)

Lモードゲートウェイとの接続を切断するときは/Lモードの操作をやめるときは

ボタンを押してLモードゲートウェイとの接続を切断します。もう一度 ボタンを押すとLモードを終了して待ち受け画面に戻ります。(P87)

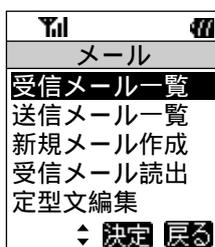
# 送信メール一覧を利用する



Lメール、Sメールの送信メール一覧には、送信済みのメールや未送信メール、送信できなかったメールが、最大50件まで保存されます。50件を超えると保護されていない古いメールから自動的に削除されます。未送信メールは削除されません。送信メール一覧からは、送信済み / 未送信メールを使ったさまざまな操作が行えます。

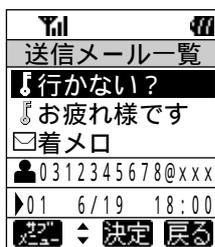
## 送信メール一覧を表示する

- 1 待ち受け画面で ボタンを押す。
- 2 Lメールの場合は ボタンを 方向に倒して「メール」を選択、Sメールの場合は ボタンを 方向に倒して「Sメール」を選択し、 ボタン [ 選択 ] を押す。



- 3 ボタンを 方向または 方向に倒して「送信メール一覧」を選択し、 ボタン [ 決定 ] を押す。  
送信メール一覧が表示されます。

Lメールの場合は題名、  
Sメールの場合は本文の先頭  
(全角7文字分)  
 は未送信メール、 は  
保護メール、無印は保護さ  
れていない送信済みメール  
であることを示す

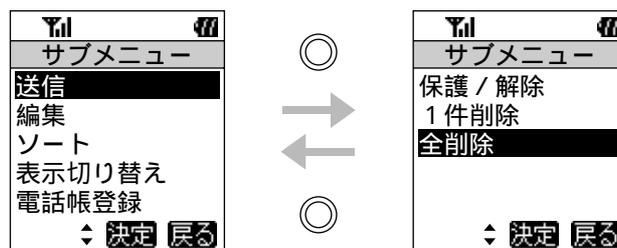


一覧(上3行)で現在選択されている送信メールの宛先、送信番号(「 01 」は、1番新しい1送信メール)送信日時  
1 : 日付順ソート (●P127) の場合

## ワンポイント

送信メール一覧表示中のサブメニュー  
送信メール一覧画面で ボタン [ サブメニュー ] を押すと、8項目のサブメニューが表示されます。  
 ボタンを 方向または 方向に倒して項目を選択し、 ボタン [ 決定 ] を押すと、次の操作に進めます。

<サブメニュー画面>



- 送信……………選択中のメールをすぐに送信する (●P123)
  - 編集……………選択中のメール宛先、題名、本文を編集する (●P124)
  - ソート……………送信メールの並び順を変える (●P127)
  - 表示切り替え……一覧の表示方法(題名表示 / アドレス表示)を切り替える (●P128)
  - 電話帳登録………選択中のメールの宛先を電話帳に登録する (●P122)
  - 保護 / 解除………自動的に削除してはいけないメールとして保護する / 保護を解除する (●P125)
  - 1件削除……………選択中のメールのみを削除する (●P126)
  - 全削除……………すべての送信メールを削除する (●P126)
- Lモードの操作をやめるときは  
 ボタンを押して、待ち受け画面に戻ります。

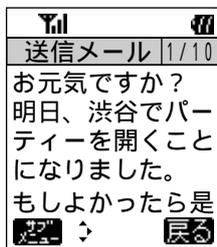
## 送信メールの内容を確認する

1 送信メール一覧を表示させる。



2 〇ボタンを 方向または 方向に倒して内容を確認したい送信メールを選択する。

3 〇ボタン [決定] を押す。  
送信メールの内容が表示されます。



4 〇ボタン [戻る] を押す。  
送信メール一覧に戻ります。



### ワンポイント

画面の下方 / 上方を見る

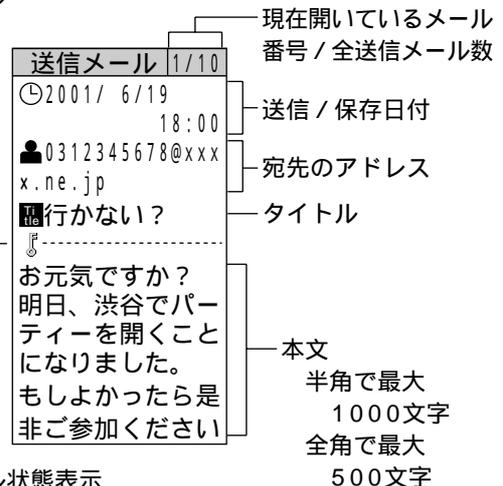
〇ボタンを 方向に倒すと、画面の下方が表示されます。上方に戻るときは〇ボタンを 方向に倒します。このとき、(保留/内線) ボタンを押すと、画面がページ単位の切り替えになります。もう一度 (保留/内線) ボタンを押すと、1行単位に戻ります。

プラス  
α

## 送信メールの内容

LメールとSメールで、送信メールの内容が異なります。

### Lメール



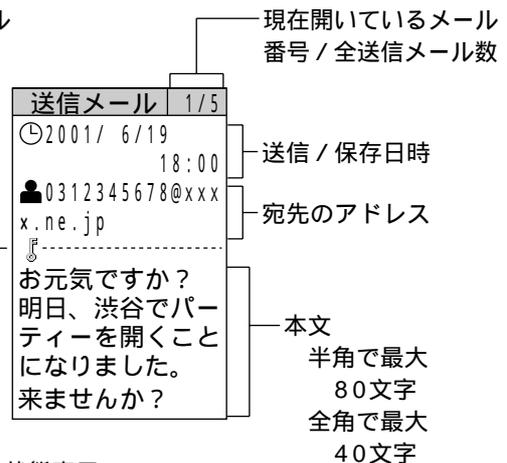
メール状態表示

✉ は未送信メール、

🔒 は保護メール、

無印は保護されていない送信済みメール

### Sメール



メール状態表示

✉ は未送信メール、

🔒 は保護メール、

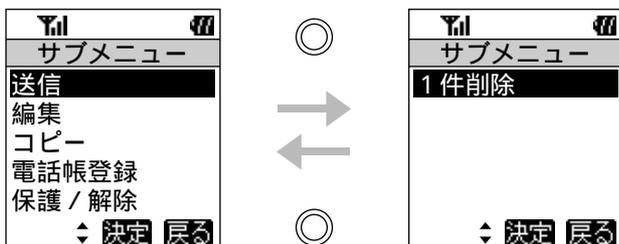
無印は保護されていない送信済みメール



## ワンポイント

送信メール内容表示中のサブメニュー  
内容画面で ボタン [サブメニュー] を押すと、次のようなサブメニューが表示されます。

ボタンを 方向または 方向に倒して項目を選択し、 ボタン [決定] を押すと、次の操作に進めます。



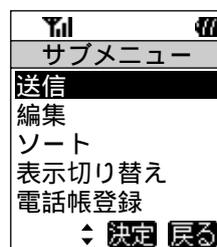
- 送信……………表示中のメールをすぐに送信する (●P123)
  - 編集……………表示中のメール宛先、題名、本文を編集する (●P124)
  - コピー……………表示中のメールの内容をコピーする (●P98)
  - 電話帳登録………表示中のメールの宛先を電話帳に登録する (●右欄)
  - 保護 / 解除………自動的に削除してはいけないメールとして保護する / 保護を解除する (●P125)
  - 1件削除……………選択中のメールのみを削除する (●P126)
- 送信メール本文中の電話番号やメールアドレス、URLなどを利用する  
メール本文に電話番号やメールアドレス、URLなどが含まれている場合、簡単に電話をかけたたり、メールを送信したりサイトやホームページへ接続することができます。 (●P116 ~ 118)



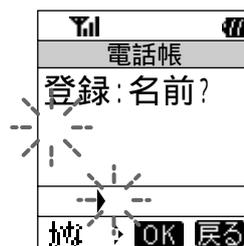
## 宛先を電話帳に登録する

メールの宛先を、簡単な操作で電話帳に登録することができます。

- 1 送信メール一覧を表示させる。(●P120)
- 2 ボタンを 方向または 方向に倒して差出人に登録したいメールを選択する。
- 3 ボタン [サブメニュー] を押す。



- 4 ボタンを 方向または 方向に倒して「電話帳登録」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



- 5 「電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルに登録するには」 (●P46) の手順2以降の操作を行う。  
メールアドレスは自動的に入力されています。メールアドレス以外の項目を入力してください。



## ワンポイント

「これ以上登録できません」と表示されたときはすでに電話帳が300件登録されています。不要なメールアドレス / 電話帳を削除してください。  
内容を確認してから登録操作に入るには手順2のあと、内容画面を表示させてから ボタン [サブメニュー] を押して電話帳の登録に入ることもできます。





## 送信メールを手直して使う

未送信 / 送信済みメールの題名や本文などを編集して送ることができます。

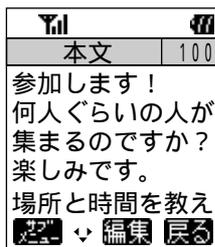
1 送信メール一覧を表示させる。(P120)

2 ボタンを 方向または 方向に倒して編集したい送信メールを選択する。



3 ボタン [サブメニュー] を押す。

4 ボタンを 方向または 方向に倒して「編集」を選択し、 ボタン [決定] を押す。  
メール作成画面 (本文表示画面) が表示されます。



5 ボタンを 方向または 方向に倒して編集する項目の表示画面を表示させる。

ボタンを 方向または 方向に倒すごとに本文 / 宛先 / 題名が切り替わります。  
Sメールの場合は、本文 / 宛先が切り替わります。

6 ボタン [編集] を押す。

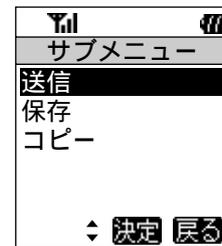
編集画面が表示されます。  
< 宛先を編集する場合 >



7 内容を編集する。  
「文字を入力するには」(P58)

8 ボタン [決定] を押す。  
メール作成画面に戻ります。

9 ボタン [サブメニュー] を押す。



10 「送信」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。

Lモードゲートウェイとの接続が始まります。「接続中です」と表示されたあと、メールが送信されます。

11 「送信完了切断しますか？」と表示されたら、「はい」が選択されていることを確認して ボタン [決定] を押す。  
送信メール一覧に戻ります。

## ワンポイント

「メール限界」と表示されたときは  
送信メール一覧に未送信メールと保護メールが合わせて50件あると、新規メールを作成できません。未送信のメールを送信する、保護メールの保護を解除する、不要なメールを削除するなどの操作をしてください。

内容を確認してから編集操作を始めるには  
手順2のあと、内容画面を表示させてから ボタン [サブメニュー] を押して編集操作に入ることもできます。

「切断されました」と表示されたら (P87)

Lモード利用中に電話がかかってきたときは (P87)

Lモードの操作をやめるときは

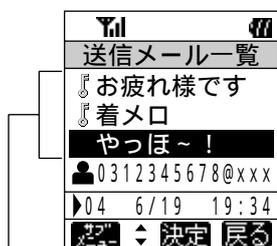
ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。

## 送信メールを保護 / 保護解除する

保存しておきたい送信メールを、自動的に削除されないように保護（最大50件）することができます。保護の必要がなくなったメールは、同じ操作で保護解除できます。

1 送信メール一覧を表示させる。（☞P120）

2 ボタンを 方向または 方向に倒して保護 / 保護解除したい送信メールを選択する。



メール状態表示

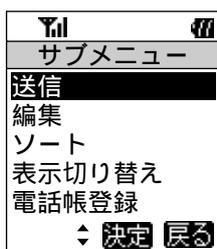
は未送信メール、

は保護メール、

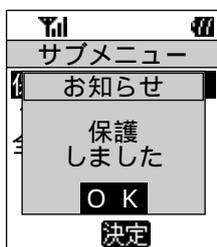
無印は保護されていない

送信済みメール

3 ボタン [サブメニュー] を押す。



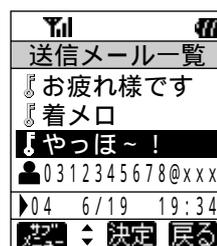
4 ボタンを 方向または 方向に倒して「保護 / 解除」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



保護メールを選択した場合は「保護解除しました」と表示されます。

5 ボタン [OK] を押す。

送信メール一覧に戻ります。保護したメールに「」が付きます。



### ワンポイント

メールの内容を確認してから保護 / 保護解除するには手順1～2の操作をする。

ボタン [決定] を押して内容を確認する。

ボタン [サブメニュー] を押す。

手順4～5の操作をする。

Lモードの操作をやめるときは

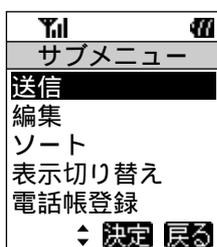
ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。



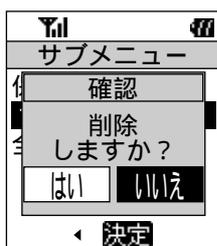
## 送信メールを削除する

保護されていない送信済みメールは古い順に自動的に削除されますが、すぐに削除したいメールは自分で削除できます。未送信メールや保護メールも削除できます。送信メールをまとめて削除することもできます。

- 1 送信メール一覧を表示させる。(●P120)
- 2 ボタンを 方向または 方向に倒して削除したい送信メールを選択する。
- 3 ボタン [サブメニュー] を押す。



- 4 ボタンを 方向または 方向に倒して「1件削除」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



未送信メール（保護メール）の場合は「未送信メールを（保護メールを）削除しますか？」と表示されます。

- 5 ボタンを 方向に倒して「はい」を選択し、 ボタン [決定] を押す。
- 6 「削除しました」と表示されたら、 ボタン [OK] を押す。  
送信メール一覧に戻ります。



### ワンポイント

メールの内容を確認してから削除するには  
手順1～2の操作をする。

- ボタン [決定] を押して内容を確認する。
- 手順3～6の操作をする。

すべての送信メールをまとめて削除するには  
送信メール一覧を表示させる。(●P120)

- ボタン [サブメニュー] を押す。
- ボタンを 方向または 方向に倒して「全削除」を選択し、 ボタン [決定] を押す。
- ボタンを 方向または 方向に倒して「全送信メール」を選択し、 ボタン [決定] を押す。
- 「全削除しますか？」と表示されたら、「はい」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。

Lモードの操作をやめるときは

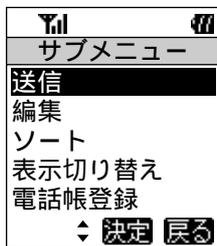
- ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。

## 送信メール一覧を並べ替える (ソート)

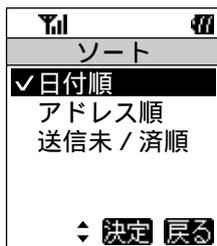
送信メール一覧の並び順は、お買い求め時はLメール、Sメールともに日付順に設定されています。ソート(分類)の方法を変えて、アドレス順に並べたり、未送信と送信済みに分けるなどの並べかたができます。

**1** 送信メール一覧を表示させる。(▶P120)

**2**  ボタン [サブメニュー] を押す。



**3**  ボタンを  方向または  方向に倒して「ソート」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



現在の並べかたに「✓」が付いています。

**4**  ボタンを  方向または  方向に倒して並べかたを選択し、 ボタン [決定] を押す。

「設定しました」と表示されます。

**5**  ボタン [OK] を押す。

### ワンポイント

日付順・アドレス順・送信未/済順とは並べかたを変えると、一覧の表示や送信番号が以下の順番になります。

並べかたの種類	順番
日付順	a) 日時の新しいメールが前
アドレス順	a) 宛先アドレス昇順
	b) 宛先アドレスが同じ場合は、未送信が前、送信済みがあと
	c) b) が同じ場合は日時の新しいメールが前
送信未/済順	a) 未送信が前、送信済みがあと
	b) a) が同じ場合は日時の新しいメールが前

Lモードの操作をやめるときは

 ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。

### お知らせ

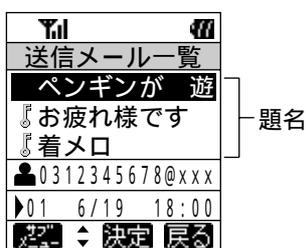
ソート設定は、Lメールごと、Sメールごとに個別に設定することができます。



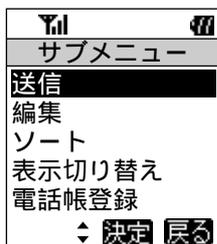
## 送信メール一覧の表示方法を 切り替える

送信メール一覧は、お買い求め時は題名（Sメールの場合は本文の先頭）が表示されるように設定されています。送信相手がわかりやすいアドレス表示にも変えられます。

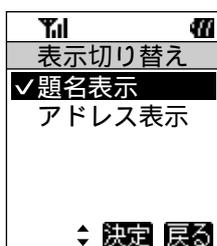
1 送信メール一覧を表示させる。（▶P120）



2 〇 ボタン [サブメニュー] を押す。



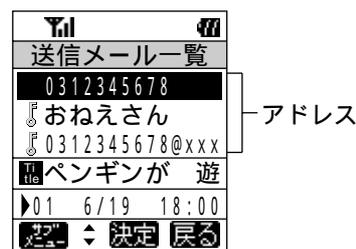
3 〇 ボタンを 方向または 方向に倒して「表示切り替え」を選択し、〇 ボタン [決定] を押す。



現在の表示方法に「✓」が付いています。  
Sメールの場合は「題名表示」のかわりに「本文表示」と表示されます。

4 〇 ボタンを 方向または 方向に倒して表示方法を選択し、〇 ボタン [決定] を押す。  
「設定しました」と表示されます。

5 〇 ボタン [OK] を押す。  
表示方法が変わります。



### ワンポイント

Lモードの操作をやめるときは  
電話切 ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。

### お知らせ

一覧の表示切り替え設定は、Lメールごと、Sメールごとに個別に設定することができます。

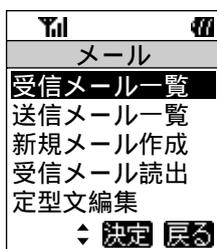
# 受信メール一覧を利用する



Lメール、Sメールの受信メール一覧には、未読のメールや既読メールが、最大50件まで保存されます。50件を超えると保護されていない古い既読メールから自動的に削除されます。未読メールは削除されません。受信メール一覧からは、メールを使ったさまざまな操作が行えます。

## 受信メール一覧を表示する

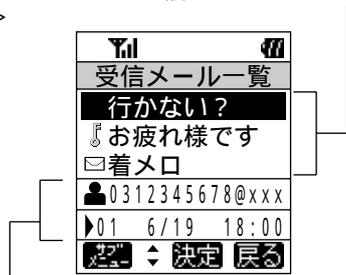
- 1 待ち受け画面で ボタンを押す。
- 2 Lメールの場合は ボタンを 方向に倒して「メール」を選択、Sメールの場合は ボタンを 方向に倒して「Sメール」を選択し、 ボタン [選択] を押す。



- 3 「受信メール一覧」が選択されていることを確認して ボタン [決定] を押す。  
受信メール一覧が表示されます。

Lメールの場合は題名、  
Sメールの場合は本文の先頭  
(全角7文字分)  
 は未読メール、  
 は保護メール、  
無印は保護されていない既  
読メールであることを示す

<Lメール>

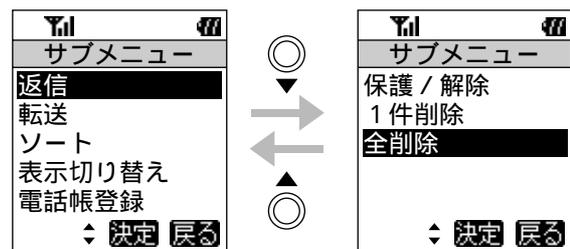


一覧(上3行)で現在選択されている受信メールの差出人メールアドレス、受信番号(「01」は、1番新しい<sup>1</sup>受信メール)、受信日時<sup>2</sup>

- 1: 日付順ソート  
(☛P136)の場合
- 2: Sメールの場合は受信日時は表示されません。

## ワンポイント

受信メール一覧表示中のサブメニュー  
受信メール一覧画面で ボタン [サブメニュー] を押すと、8項目のサブメニューが表示されます。  
 ボタンを 方向または 方向に倒してメニューから項目を選択し、 ボタン [決定] を押すと、次の操作に進めます。



- 返信……………選択中のメールにすぐに返事を送る (☛P130)
- 転送……………選択中のメールを別の相手に転送する (☛P132)
- ソート……………受信メールの並び順を変える (☛P136)
- 表示切り替え……………一覧の表示方法(題名表示/アドレス表示)を切り替える (☛P137)
- 電話帳登録……………選択中のメールの送信者を電話帳に登録する (☛P133)
- 保護/解除……………自動的に削除してはいけないメールとして保護する/保護を解除する (☛P134)
- 1件削除……………選択中のメールのみを削除する (☛P135)
- 全削除……………すべての受信メールを削除する (☛P135)

Lモードの操作をやめるときは

ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。



## 受信メールの返事を送る（返信メール）

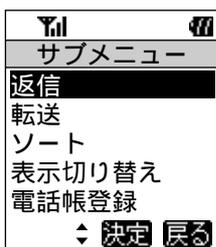
受信したメールに返事を出すときは、返信の機能を利用しましょう。本文を編集／作成するだけで簡単に返信メールが作成できます。返信メールの作成には内容画面からでも入れます。

1 受信メール一覧を表示させる。（☛P129）

2  ボタンを 方向または 方向に倒して返信メールを出したいメールを選択する。

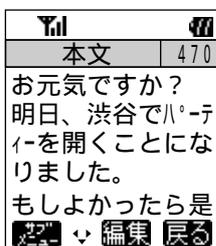


3  ボタン [サブメニュー] を押す。

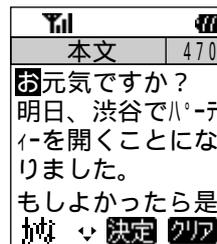


4 「返信」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。

メール作成画面（本文表示画面）が表示されます。もとのメールの本文が入力されています。

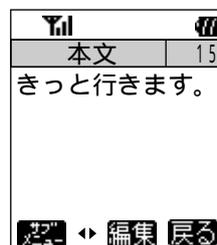


5  ボタン [編集] を押す。  
本文編集画面が表示されます。

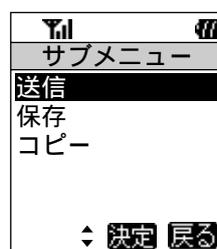


6 内容を編集／作成する。  
「文字を入力するには」(☛P58)

7  ボタン [決定] を押す。  
本文表示画面に戻ります。



8  ボタン [サブメニュー] を押す。



9 「送信」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。

Lモードゲートウェイとの接続が開始されます。「接続中です」と表示されたあと、メールが送信されます。

10 「送信完了切断しますか？」と表示されたら、「はい」が選択されていることを確認して ボタン [決定] を押す。

送信メール一覧が表示されます。

## 受信メール本文中の電話番号やメールアドレスを利用する

メール本文に電話番号やメールアドレスなどが含まれている場合、簡単に電話をかけたりメールを送信したりすることができます。(●P116、117)



## ワンポイント

題名を変更するときは  
返信メールの題名にはあらかじめ「Re>x x x」と入力されています。「Re>」は、「x x x」というメールへの返信であることを表します。題名を変えたいときは、手順7のあと ボタンを 方向または 方向に倒して題名の表示画面を表示させて ボタン [編集] を押し、題名を編集してください。



- 「メール限界」と表示されたときは  
送信メール一覧に未送信メールと保護メールが合わせて50件あると、返信メールが作成できません。未送信のメールを送信する、保護メールの保護を解除する、不要なメールを削除するなどの操作をしてください。
- 内容を確認してから返信メールを作成するには  
手順2のあとに、内容画面を表示させてから、 ボタン [サブメニュー] を押し返信メールの作成に入ることできます。
- 「切断されました」と表示されたら (●P87)
- Lモード利用中に電話がかかってきたときは (●P87)
- Lモードの操作をやめるときは  
 ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。

## お知らせ

Lモードゲートウェイと接続中(エッジライトが点灯しディスプレイの「」が点灯または点滅しているとき)は通信料金がかかります。

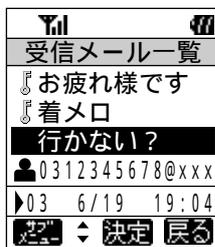


## 受信メールをほかの宛先に転送する (フォワードメール)

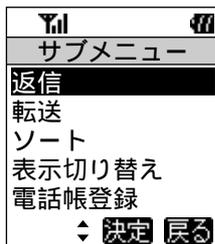
受信したメールの内容をそのまま他の宛先に送るときは、転送の機能を利用しましょう。宛先を変えるだけで簡単にフォワードメールが送れます。フォワードメールの作成は内容画面からも入れます。

1 受信メール一覧を表示させる。(●P129)

2 ボタンを 方向または 方向に倒してフォワードメールを出したいメールを選択する。



3 ボタン [サブメニュー] を押す。



4 ボタンを 方向または 方向に倒して「転送」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

宛先表示画面が表示されます。



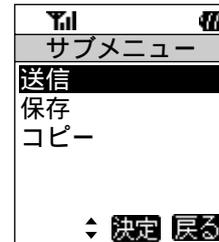
5 ボタン [編集] を押し、宛先を指定する。

宛先の指定方法、入力方法については「新規メールを作成して送信する」(●P95)を参照してください。



6 ボタン [決定] を押す。

7 ボタン [サブメニュー] を押す。



8 「送信」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。

Lモードゲートウェイとの接続が開始されます。「接続中です」と表示されたあと、メールが送信されます。

9 「送信完了切断しますか?」と表示されたら、「はい」が選択されていることを確認して ボタン [決定] を押す。

送信メール一覧が表示されます。

## ワンポイント

題名を変更するときは

フォワードメールの題名にはあらかじめ「Fw>xxx」と入力されています。「Fw >」は、「xxx」というメールのフォワードメールであることを表します。題名を変えたいときは、手順6のあと ボタンを 方向または 方向に倒して題名表示画面を表示させて ボタン [編集] を押し、題名を編集してください。(●P95)

「メール限界」と表示されたときは

送信メール一覧に未送信メールと保護メールが合わせて50件あると、フォワードメールが作成できません。未送信のメールを送信する、保護メールの保護を解除する、不要なメールを削除するなどの操作をしてください。

内容を確認してからフォワードメールを作成するには手順2のあと、 ボタン [決定] を押し、内容画面を表示させてから ボタン [サブメニュー] を押してフォワードメールの作成に入ることできます。

「切断されました」と表示されたら (●P87)

Lモード利用中に電話がかかってきたときは (●P87)

Lモードの操作をやめるときは

ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。

## お知らせ

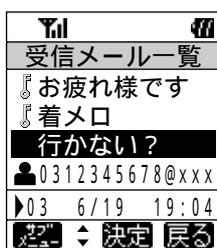
Lモードゲートウェイと接続中(エッジライトが点灯しディスプレイの「」が点灯または点滅しているとき)は通信料金がかかります。

## 差出人を電話帳に登録する

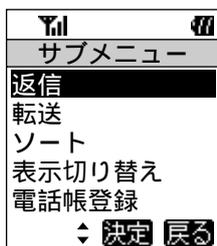
メールの差出人を、簡単な操作で電話帳に登録することができます。

1 受信メール一覧を表示させる。(P129)

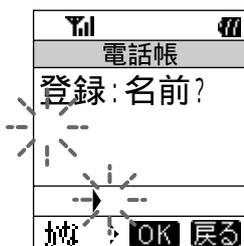
2  ボタンを 方向または 方向に倒して差出人を登録したいメールを選択する。



3  ボタン [サブメニュー] を押す。



4  ボタンを 方向または 方向に倒して「電話帳登録」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



5 「電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルに登録するには」(P46) の手順2以降の操作を行う。

メールアドレスは自動的に入力されています。メールアドレス以外の項目を入力してください。



### ワンポイント

「これ以上登録できません」と表示されたときはすでに電話帳が300件登録されています。不要なメールアドレス/電話帳を削除してください。  
内容を確認してから登録操作に入るには手順2のあと、 ボタン [決定] を押し、内容画面を表示させてから  ボタン [サブメニュー] を押して電話帳の登録に入ることもできます。

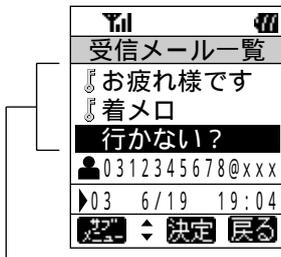


## 受信メールを保護 / 保護解除する

保存しておきたい受信メールを、自動的に削除されないように保護（最大50件）することができます。保護の必要がなくなったメールは、同じ操作で保護解除できます。

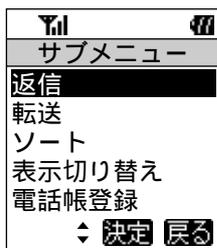
1 受信メール一覧を表示させる。(▶P129)

2 ボタンを 方向または 方向に倒して保護 / 保護解除したいメールを選択する。

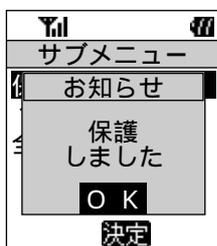


メール状態表示  
 は未読メール、  
 は保護メール、  
 無印は保護されていない  
 既読メール

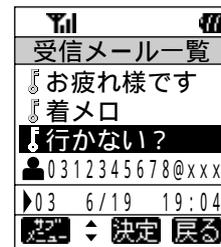
3 ボタン [サブメニュー] を押す。



4 ボタンを 方向または 方向に倒して「保護 / 解除」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



5 ボタン [OK] を押す。  
 受信メール一覧に戻ります。保護したメールに「」が付きます。



## ワンポイント

メールの内容を確認してから保護 / 保護解除するには手順1～2の操作をする。

ボタン [決定] を押して内容を確認する。

ボタン [サブメニュー] を押す。

手順4～5の操作をする。

「これ以上保護できません」と表示されたときは保護メールの保護を解除する、不要な保護メールを削除するなどの操作をしてください。

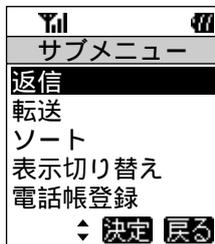
Lモードの操作をやめるときは

ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。

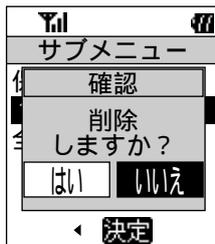
## 受信メールを削除する

保護されていない受信メールは古い順に自動的に削除されますが、すぐに削除したいメールは自分で削除できます。未読メールや保護メールも削除できます。受信メールをまとめて削除することもできます。

- 1 受信メール一覧を表示させる。(●P129)
- 2  ボタンを 方向または 方向に倒して、削除したい受信メールを選択する。
- 3  ボタン [サブメニュー] を押す。



- 4  ボタンを 方向または 方向に倒して「1件削除」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



未読メール(保護メール)の場合は「未読メールを(保護メールを)削除しますか?」と表示されます。

- 5  ボタンを 方向に倒して「はい」を選択し、 ボタン [決定] を押す。
- 6 「削除しました」と表示されたら  ボタン [OK] を押す。  
受信メール一覧に戻ります。



### ワンポイント

メールの内容を確認してから削除するには

手順1～2の操作をする。

 ボタン [決定] を押して内容を確認する。

 ボタン [サブメニュー] を押す。

手順4～6の操作をする。

すべての受信メールをまとめて削除するには

受信メール一覧を表示させる。(●P129)

 ボタン [サブメニュー] を押す。

 ボタンを 方向または 方向に倒して「全削除」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

 ボタンを 方向または 方向に倒して「全受信メール」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

「全削除しますか?」と表示されたら、「はい」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。

Lモードの操作をやめるときは

 ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。

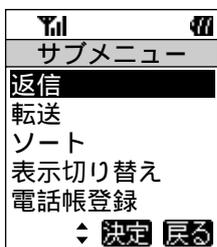


## 受信メール一覧を並べ替える (ソート)

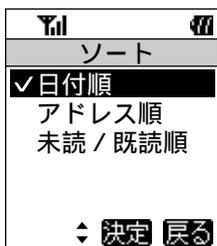
受信メール一覧の並び順は、お買い求め時はLメールでは日付順に、Sメールではアドレス順に設定されています。ソート(分類)の方法を変えて、アドレス順に並べたり、未読と既読を分けるなどの並べかたができます。

1 受信メール一覧を表示させる。(←P129)

2 ボタン [サブメニュー] を押す。



3 ボタンを 方向または 方向に倒して「ソート」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



現在の並べかたに「✓」が付いています。

4 ボタンを 方向または 方向に倒して並べかたを選択し、 ボタン [決定] を押す。  
「設定しました」と表示されます。

5 ボタン [OK] を押す。

### ワンポイント

日付順・アドレス順・未読 / 既読順とは並べかたを変えると、一覧の表示や受信番号が以下の順番になります。

ただし、Sメールは、日付順ソートは行えません。

並べかたの種類	順番
日付順	a) 日時の新しいメールが前
アドレス順	a) アドレス昇順 b) アドレスが同じ場合は、未読が前、既読があと c) b) が同じ場合は日時の新しいメールが前
未読 / 既読順	a) 未読が前、既読があと b) a) が同じ場合は日時の新しいメールが前

Lモードの操作をやめるときは

ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。

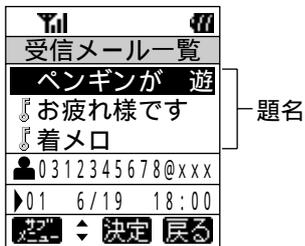
### お知らせ

ソート設定は、Lメールごと、Sメールごとに個別に設定することができます。

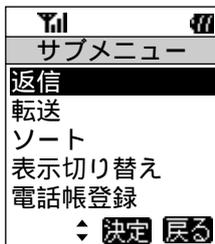
## 受信メール一覧の 表示方法を切り替える

受信メール一覧は、お買い求め時は題名が表示されるように設定されています。受信相手がわかりやすいアドレス表示にも変えられます。

### 1 受信メール一覧を表示させる。(P129)

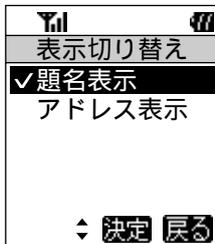


### 2 ボタン [サブメニュー] を押す。



### 3 ボタンを 方向または 方向に倒して「表示切り替え」を選択し、ボタン [決定] を押す。

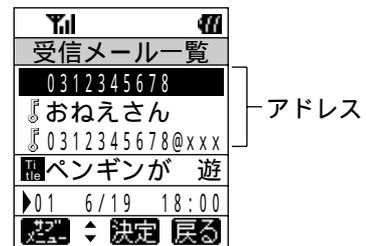
Lメールの場合



現在の表示方法に「✓」が付いています。

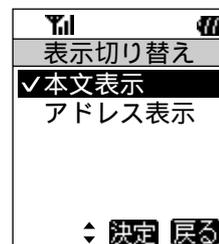
### 4 ボタンを 方向または 方向に倒して表示方法を選択し、ボタン [決定] を押す。 「設定しました」と表示されます。

### 5 ボタン [OK] を押す。 表示方法が変わります。



### ワンポイント

Sメール一覧の場合の表示方法の切替について  
Sメールでは、「本文表示」と「アドレス表示」を切り替えることができます。



Lモードの操作をやめるときは  
電源切 ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。

### お知らせ

一覧の表示切り替え設定は、Lメールごと、Sメールごとに個別に設定することができます。

# 独自の定型文を作る



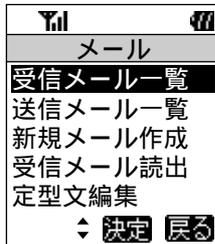
メールを作成するときに便利な定型文は、あらかじめ次の45種類が登録されています。これらはほかの文に変えることができます。使い勝手に合わせて、独自の定型文を作ってください。

## 定型文を作り変える

<例> : 「おはよう」を「お待ちしています」に変える

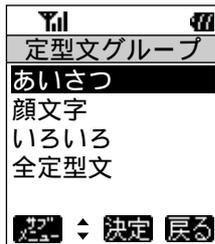
1 待ち受け画面で ボタンを押す。

2 Lメールの場合は ボタンを 方向に倒して「メール」を選択、Sメールの場合は ボタンを 方向に倒して「Sメール」を選択し、 ボタン[選択]を押す。



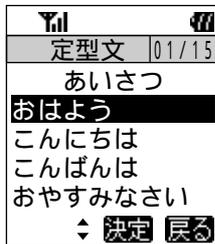
3 ボタンを 方向または 方向に倒して「定型文編集」を選択し、 ボタン[決定]を押す。

定型文グループの一覧が表示されます。



4 ボタンを 方向または 方向に倒して定型文グループを選択し、 ボタン[決定]を押す。

定型文一覧が表示されます。



5 ボタンを 方向または 方向に倒して編集したい定型文を選択し、 ボタン[決定]を押す。



6 ボタン[編集]を押す。

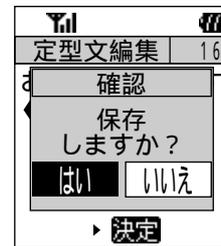
定型文編集画面が表示されます。

7 定型文(全角で最大64文字分)を編集する。

「文字を入力するには」(P58)



8 ボタン[決定]を押す。



9 「はい」が選択されていることを確認し、 ボタン[決定]を押す。

編集した定型文が登録されます。



## ワンポイント

用意されている定型文は

あいさつ		顔文字		いろいろ	
1	おはよう	16	(^_^);	31	http://www.
2	こんにちは	17	(;_;) )	32	.co.jp/
3	こんばんは	18	(^_^)v	33	.ne.jp/
4	おやすみなさい	19	(^o^)	34	.or.jp/
5	ごめんなさい	20	m(_ _)m	35	.ac.jp/
6	ありがとう	21	(?_?)	36	.com
7	電話ください	22	(^o^)/	37	Please
8	メールください	23	(ToT)	38	Thank you
9	何しているの?	24	(@_@)	39	Sorry
10	今忙しい?	25	( _ X)	40	Hello
11	どこにいるの?	26	(*_*)	41	OK
12	がんばって	27	(>_<)	42	NG
13	検討中です	28	ミ	43	インターネット
14	遅れます	29	(-_-)	44	メールアドレス
15	変更します	30	<ミ	45	ホームページ

Lモードの操作をやめるときは



ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。

# 送信メールに署名を付ける



Lメール、Sメールの送信メールの末尾に、自作の署名を付けることができます。署名を付けるには、あらかじめ自分の名前やメールアドレスを署名として保存しておき、署名貼付設定を「貼付する」にします。お買い求め時には「貼付しない」に設定されています。

## 署名を作る

<例> :「おねえさん 0312345678@xxxx.ne.jp」を入力して保存する

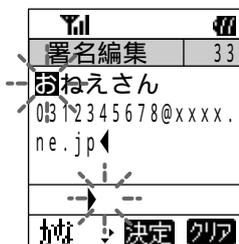
- 1 待ち受け画面で ボタンを押す。
- 2 Lメールの場合は ボタンを 方向に倒して「メール」を選択、Sメールの場合は ボタンを 方向に倒して「Sメール」を選択し、 ボタン [選択] を押す。



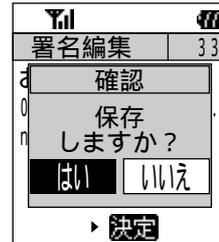
- 3 ボタンを 方向または 方向に倒して「署名編集」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



- 4 ボタン [編集] を押す。  
署名編集画面が表示されます。
- 5 署名（全角で最大30文字分）を編集する。  
「文字を入力するには」(P58)



- 6 ボタン [決定] を押す。



- 7 「はい」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。  
署名が登録されます。



### ワンポイント

Lモードの操作をやめるときは ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。

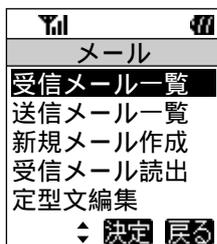


## 署名の貼付を設定する

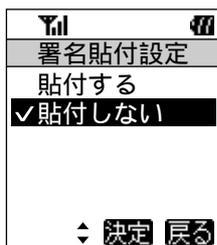
「貼付する」に設定すると、送信するすべてのメールに自動的に署名が貼付されます。

1 待ち受け画面で ボタンを押す。

2 Lメールの場合は ボタンを 方向に倒して「メール」を選択、Sメールの場合は ボタンを 方向に倒して「Sメール」を選択し、 ボタン [選択] を押す。

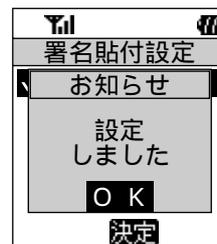


3 ボタンを 方向または 方向に倒して「署名貼付設定」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



現在の設定に「✓」が付いています。

4 ボタンを 方向または 方向に倒して「貼付する」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



5 ボタン [OK] を押す。



### ワンポイント

Lモードの操作をやめるときは ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。



### お知らせ

署名の文字数は、送信メールの本文として数えられます。署名を付けると、入力可能な本文の文字数が減るのでご注意ください。

「貼付する」に設定しても、署名が保存されていないと何も貼付されません。

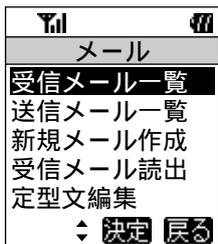
# 保存されているメールの数を 確認する



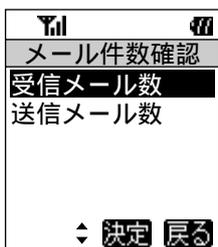
Lメール、Sメールの送信メール一覧、受信メール一覧に保存されているメールの数が確認できます。

1 待ち受け画面で ボタンを押す。

2 Lメールの場合は ボタンを 方向に倒して「メール」を選択、Sメールの場合は ボタンを 方向に倒して「Sメール」を選択し、 ボタン [選択] を押す。



3 ボタンを 方向または 方向に倒して「メール件数確認」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



4 ボタンを 方向または 方向に倒して確認したい項目を選択し、 ボタン [決定] を押す。



送信メールは「未送信」「送信済み」「空き」の各件数と保護メールの件数が、受信メールは「未読」「既読」「空き」の各件数と保護メールの件数が表示されます。



## ワンポイント

Lモードの操作をやめるときは ボタンを押して待ち受け画面に戻ります。



## お知らせ

「保護」には未送信 / 送信済、また、未読 / 既読にかかわらず、保護されているすべてのメール件数が表示されます。

## Lモードの設定変更機能 / 機種変更時に 便利な機能 (L設定)

Lモードの利用に関する設定を確認したり、変更したりすることができます。また、機種変更をする場合に、この電話機に登録されている電話帳やブックマークのデータが引き続き利用できるようにするための便利な機能が用意されています。操作手順については、各参照ページをご覧ください。

### 画像表示設定 (●P143)

サイト/ホームページに含まれている画像を表示せずに、文字だけが表示されるように設定することができます。「画像なし」に設定すると、画像の部分に「」が表示されます。また、「標準表示」、「縮小表示」で画像を表示するように設定しても、画像の種類によっては表示できないものがあります。

### 端末機器自動設定 (●P85)

自動的にLモードゲートウェイアクセス番号を取得するための設定を手動で操作します。

### センタ番号確認 (●P143)

アクセスポイントの電話番号が確認できます。

### 電話帳データ送信 (●P144)

電話帳の登録内容をLモードゲートウェイに送信して一時的に保管します。保管したデータは機種変更後にダウンロードして使用することができます。

### Bookmarkデータ送信 (●P144)

ブックマークの登録内容をLモードゲートウェイに送信して一時的に保管します。保管したデータは機種変更後にダウンロードして使用することができます。

### 無通信監視タイマ (●P145)

Lモードゲートウェイと接続しているときに、一定の時間何もしないと、自動的に回線が切断されるようになっています。この切断までの時間を1分から9分まで、または「0：無制限(回線の自動切断を行わない)」に設定することができます。お買い求め時は3分に設定されています。

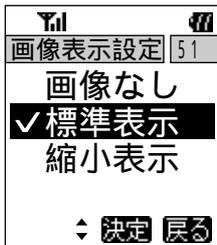
## 画像データの表示形式を設定する (画像表示設定)

画像を多く含むサイト/ホームページの取得、表示には、時間がかかることがあります。画像の表示をやめて文字だけが表示されるようにすることで、サイト/ホームページの取得、表示にかかる時間を短縮することができます。「画像なし」に設定すると、画像の部分に「」が表示されます。

- 1 待ち受け画面で  ボタン [メニュー] を押す。
- 2  ボタンを  方向に倒して「L設定」を選択し、 ボタン [選択] を押す。

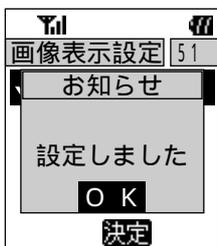


- 3 「画像表示設定」が選択されていることを確認して  ボタン [選択] を押す。  
現在の設定に「✓」が付いています。



- 「画像なし」：画像データを取得しません。サイト/ホームページの取得時間を短縮できます。
- 「標準表示」：画像データを取得し、そのままの大きさで表示します。
- 「縮小表示」：画像データを取得し、画像が画面に表示しきれないときは、画面の大きさに合わせて表示します。

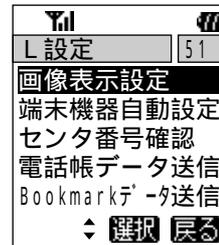
- 4  ボタンを  方向または  方向に倒して表示モードを選択し、 ボタン [決定] を押す。



- 5  ボタン [OK] を押す。

## センタ番号を確認する

- 1 待ち受け画面で  ボタン [メニュー] を押す。
- 2  ボタンを  方向に倒して「L設定」を選択し、 ボタン [選択] を押す。



- 3  ボタンを  方向または  方向に倒して「センタ番号確認」を選択し、 ボタン [選択] を押す。



アクセスポイントの電話番号が表示されます。センタ番号がない場合空白となっています。

- 4  ボタン [OK] を押す。

### お知らせ

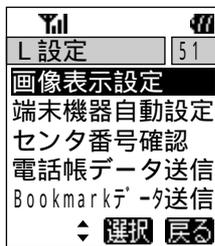
画像表示設定を「標準表示」または「縮小表示」に設定しても、GIF形式以外の画像データは表示できません。また、GIF形式であっても、表示できない場合があります。

## 電話帳 / Bookmarkデータを送信する (データアップロード)

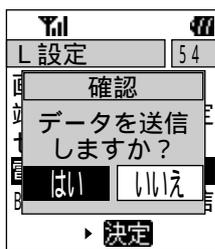
電話帳データ / Bookmarkデータは、お客様自身宛の送信メールとしてLモードゲートウェイに送信され、保管されます。機種変更後の電話機で、保管されていたデータの受信(ダウンロード)操作を行うと、電話帳やBookmarkの登録内容が引き続きご使用になれます。

### <例> : 電話帳データを送信する場合

- 1 待ち受け画面で ボタン [メニュー] を押す。
- 2 ボタンを 方向に倒して「L設定」を選択し、 ボタン [選択] を押す。



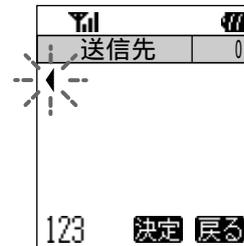
- 3 ボタンを 方向または 方向に倒して「電話帳データ送信」を選択し、 ボタン [選択] を押す。  
Bookmarkデータを送信する場合は、「Bookmarkデータ送信」を選択します。



### ワンポイント

電話帳 / Bookmarkデータをダウンロードするには機種変更後、Lモードが使えるように電話機を設定してから通常のメール受信の操作を行うと、自動的に電話帳 / Bookmarkデータが登録されます。

- 4 「はい」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。



- 5 お客様の電話番号を入力し、 ボタン [決定] を押す。  
Lモードゲートウェイとの接続が開始されます。「接続中です」と表示されたあと、データが送信されます。
- 6 「送信完了切断しますか?」と表示されたら、「はい」が選択されていることを確認して ボタン [決定] を押す。

### お知らせ

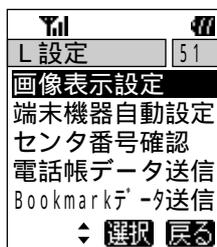
すでに電話帳やBookmarkが登録されている電話機でデータダウンロードを行うと、登録されているデータにダウンロードしたデータが追加登録されます。機種変更後は、登録を行う前にデータダウンロードを行ってください。  
データアップロードを行った電話機とデータダウンロードを行う電話機の電話番号(メールアドレス)が一致しないと、ダウンロードできません。  
電話帳 / Bookmarkデータは受信メールとして受信されますが、受信メール一覧には保存されません。  
電話帳 / Bookmarkデータを送信するときにデータがない場合は「データがありません」と表示されます。  
Lモードゲートウェイと接続中(エッジライトが点灯しディスプレイの「」が点灯または点滅しているとき)は通信料金がかかります。  
機種によってはLモードゲートウェイに保管した電話帳やBookmarkが正常にダウンロードされない場合があります。

## 無通信監視タイマを設定する

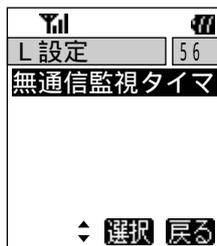
お買い求め時は、3分に設定されています。

1 待ち受け画面で ボタン [メニュー] を押す。

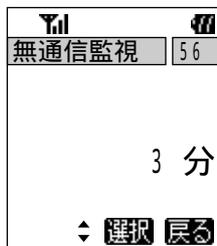
2 ボタンを 方向に倒して「L設定」を選択し、 ボタン [選択] を押す。



3 ボタンを 方向または 方向に倒して「無通信監視タイマ」を選択する。



4 ボタン [選択] を押す。



現在の設定内容が表示されています。

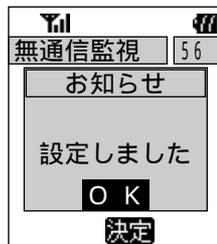
5 ボタン [選択] を押す。



6 ボタンを 方向または 方向に倒して、時間を  
選択する。

0 : 無制限 (回線の自動切断を行わない)  
1~9 : 1~9 (分) で制限時間を指定する

7 ボタン [決定] を押す。



8 ボタン [OK] を押す。

### お知らせ

無通信監視タイマを「無制限」に設定する場合は、Lモードのご利用が終了したあと、回線を切断するのを忘れないようにご注意ください。

# 電話をかける / 受ける (主電話機・コードレス電話機)

「こんなことがしたい」などといった場面でお役に立つ便利な操作や操作中の注意点などを、テーマ別に質問形式でまとめています。本文中から、アイコンを目印にして簡単に参照できるようになっています。

## 通話

**Q** プリセット発信とは？

**A** 相手の方の電話番号をディスプレイで確認してから電話をかける方法です。

ハンドセットを置いたまま、またはコードレス電話機を充電器に置いたまま電話番号をダイヤルボタンで押し、電話番号を確認します。ハンドセットを取り上げる / 充電器から取り上げるとダイヤルされます。

**Q** クイック通話とは？(クイック通話設定時)

**A** コードレス電話機で電話を受けるとき、充電器から取り上げるだけですぐお話しできる方法です。

お買い求め時は、クイック通話ができるように設定されています。クイック通話ができる / できないは、設定によって変更されます。(●P163、166)

クイック通話が設定されていると、以下のようになります。

- 充電器から取り上げたあと、 ボタンを押さなくても、ダイヤルボタンを押すだけで電話がかけられます。
- 電話がかかってきたとき、 ボタンを押さなくても、充電器から取り上げるだけで相手の方とお話しできます。

**Q** クイック通話を解除すると？

**A** コードレス電話機で電話を受けるとき、充電器から取り上げたあと  ボタンを押さないとお話しできません。

また、電話をかけるときは、充電器から取り上げたあと  ボタンを押して「ツー」という発信音を確認してからダイヤルボタンを押します。

**Q** お話し中に外から電話がかかってきた / ファクスが送信されたときは？

**A** 以下のいずれかの方法で電話を受けます。受けた電話がファクスからの着信だった場合、「FAX接続あり」に設定してあるときは、「ファクスを受信する」(●P170)の操作でファクスを受信することができます。

- どれか1台の電話機で外の相手の方とお話し中だったとき  
使用中でない電話機では、通常通りに電話が受けられます。使用中の電話機ではお話しに重なって着信音が聞こえます。キャッチボタンを押すとお話し中の電話が保留になり、あとの電話に切り替わります。
- 2台それぞれ別の方とお話し中に新たに外から電話がかかってきたとき  
2回線使用中の場合、新たに外から電話がかかってきたときはお話し中になります。  
電話を受けることも、FAXを受信することもできません。

**Q** お話し中に電話をかける / ファクスを送るには？

**A** どれか1台の電話機で外の相手の方とお話し中に新たに電話をかける / ファクスを送るとき

- 使用中でない電話機 / ファクス  
通常の発信操作で電話をかけることができます。また、ファクスを送信することができます。  
2台でそれぞれ別の方とお話し中に新たに電話をかけようとしたとき  
ハンドセットまたはコードレス電話機を取り上げると「ツーツー…」という音が聞こえ電話をかけることができません。

## ハンズフリー通話

**Q** お話しの途中でハンズフリー通話に変えたいときには？

**A** ハンズフリーボタンを押します。

- 主電話機  
お話し途中で  ボタンを押すと、ハンズフリー通話に切り替わります。そのままハンドセットを置いても電話は切れません。お話しが終わったら、ハンドセットを置いた状態で、もう一度  ボタンを押します。
- コードレス電話機  
 ボタンを押すと、ハンズフリー通話に切り替わります。お話しが終わったら、 ボタンを押すか、充電器に置きます。

**Q** ハンズフリー通話の途中でハンドセット / コードレス電話機を持ったお話しに変えたいときには？

**A** ハンドセットを取り上げます。コードレス電話機の場合は充電器から取りあげ  ボタンを押します。

- コードレス電話機「P6」では、充電器から取り上げます。

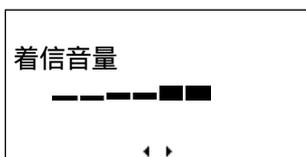
## 音量

**Q** 着信音の音量を切り替えるには？(着信音量)

**A** ハンドセットを置いたまま、左ボタン( )または右ボタン( )を押して調節します。

着信音量は、「大」「中」「小」の3段階に調整できます。以下の手順で調節します。

左ボタン( )または右ボタン( )を押す。  
現在の着信音量で着信音が鳴る。「OFF」に設定されているときは、が表示される。  
約2秒以内にもう一度左ボタン( )または右ボタン( )を押して表示を確認しながら音量調節する。  
「OFF」にするとときは、「小」の状態でも左ボタン( )を1秒以上押します。  
「小」に戻るときは、「OFF」の状態でも右ボタン( )を押します。



電話がかかってきて着信音が鳴っているときにも、左ボタン( )または右ボタン( )で着信音量を変えることができます。

お買い求め時は、「中」に設定されています。

着信音量を「OFF」にしても、内線、ドアホン、サブアドレス着信、i・ナンバーでの個別着信の呼出音は鳴ります。

着信音量を「OFF」にしたときは、電話がかかってきたことをディスプレイの表示で確認してください。

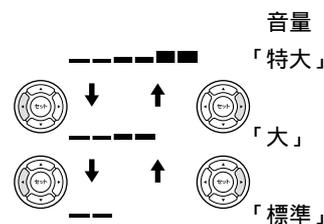
**Q** 内線通話／保留転送のときの呼出音の音量を切り替えるには？

**A** 着信音量を切り替えます。  
「着信音の音量を切り替えるには？」を参照し、着信音量を調節してください。  
ただし、着信音量が「OFF」に設定されている場合でも、内線通話／保留転送の呼出音は「小」で鳴ります。また、音声呼出の呼出音と呼びかける声の音量は、「スピーカの音量を調節するには？」を参照し、スピーカ音量を切り替えて調節してください。

**Q** ハンドセットでお話中、相手の方の声が聞き取りにくいときには？(受話音量)

**A** お話中に左ボタン( )または右ボタン( )で調節します。

受話音量は、「標準」「大」「特大」の3段階に調整できます。大きくするときは、お話し中に右ボタン( )を押します。小さくするときは、左ボタン( )を押します。

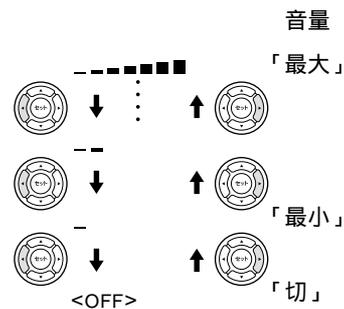


お買い求め時は、「標準」に設定されています。  
調節した受話音量は、電話を切っても、もとに戻りません。

**Q** スピーカの音量を調節するには？(スピーカ音量)

**A** 左ボタン( )または右ボタン( )で調節します。

スピーカ音量は7段階に調整できます。右ボタン( )を押すと大きく、左ボタン( )を押すと小さくなります。「OFF」にするとときは、音量を最小にした状態でさらに左ボタン( )を押します。



ハンズフリー通話中や、内線から音声で呼びかけられているときなどに調整できます。

お買い求め時は、中間の音量に設定されています。

スピーカ音量を「OFF」にしても、保留音や用件再生時の音量、ガイダンスの音量および内線ハンズフリー通話の音量、音声呼出の音量は、「OFF」にはなりません。

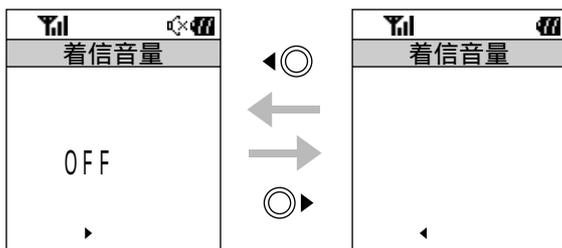
調節したスピーカ音量は、電話を切っても、もとに戻りません。

# 音量を調節するとき (コードレス電話機「LP1」)

## 音量

**Q** 着信音の音量を切り替えるには? (着信音量)

**A** 通話ランプが消えている状態のときに、 ボタンを 方向または 方向に倒して調節します。着信音量は、「OFF」「小」「中」「標準」「大」「特大」の6段階に調整できます。以下の手順で調節します。  
充電器から取りあげ、 ボタンを押す。  
 ボタンを 方向または 方向に倒す。  
「OFF」に設定されているときは、 が表示される。2秒以内にもう一度  ボタンを 方向または 方向に倒して表示を確認しながら音量調節する。  
「OFF」にするときは、 ボタンを 方向に1秒以上押しします。  
「小」に戻すときは、「OFF」の状態でも  ボタンを 方向に倒します。



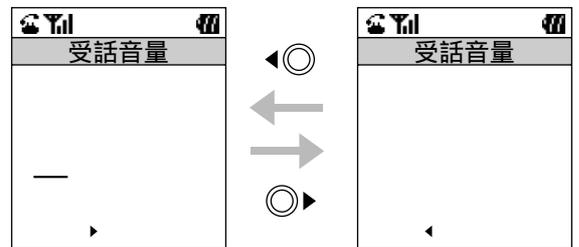
電話がかかってきて着信音が鳴っているときにも、 ボタンを 方向または 方向に倒して着信音量を変えることができます。  
お買い求め時は、「標準」に設定されています。  
着信音量を「OFF」にしても、内線、ドアホン、サブアドレス着信、i・ナンバーでの個別着信の呼出音は鳴ります。  
着信音量を「OFF」にしたときは、電話がかかってきたことをディスプレイの表示で確認してください。

**Q** 内線通話 / 保留転送のときの呼出音の音量を切り替えるには?

**A** 着信音量を切り替えます。  
「着信音の音量を切り替えるには?」を参照し、着信音量を調節してください。  
ただし、着信音量が「OFF」に設定されている場合でも、内線通話 / 保留転送の呼出音は「標準」で鳴ります。また、音声呼出の呼出音と呼びかける声の音量は、「スピーカの音量を調節するには?」を参照し、スピーカ音量を切り替えて調節してください。

**Q** 相手の方の声が聞き取りにくいときには? (受話音量)

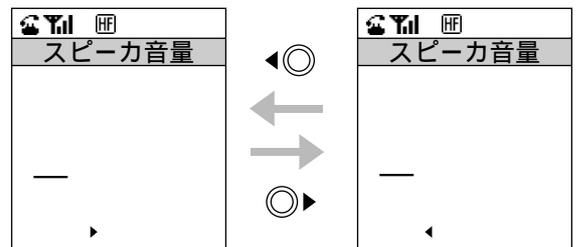
**A** お話中に  ボタンを 方向または 方向に倒して調節します。  
受話音量は、「小」「中」「標準」「大」「特大」の5段階に調整できます。大きくするときは、お話中に  ボタンを 方向に倒します。小さくするときは  ボタンを 方向に倒します。



お買い求め時は、「小」に設定されています。  
調節した受話音量は、電話を切っても、もとに戻りません。  
内線通話、ドアホン通話でも、「小」「中」「標準」「大」「特大」の5段階に調節できます。

**Q** スピーカの音量を調節するには? (スピーカ音量)

**A**  ボタンを 方向または 方向に倒して調節します。  
スピーカ音量は「小」「中」「標準」「大」「特大」の5段階に調節できます。 ボタンを 方向に倒すと大きく、 ボタンを 方向に倒すと小さくなります。



ハンズフリー通話中や、内線から音声で呼びかけられているときなどに調整できます。  
お買い求め時は、「標準」に設定されています。  
調節したスピーカ音量は、電話を切っても、もとに戻りません。

# 音量を調節するとき (コードレス電話機「P6」)



**Q** 着信音の音量を切り替えるには？(着信音量)

**A** 通話ランプが消えている状態のときに、左ボタン( )または右ボタン( )で調節します。

着信音量は、「標準」「大」「特大」の3段階に調整できます。

以下の手順で調節します。

充電器から取りあげ、**切** ボタンを押す。

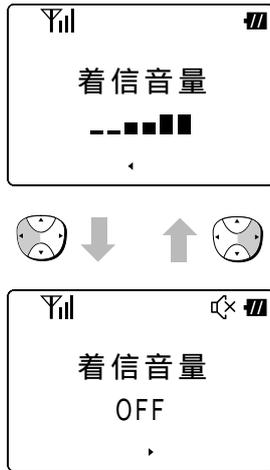
左ボタン( )または右ボタン( )を押す。

現在の着信音量で着信音が鳴ります。「OFF」に設定されているときは、**OFF**が表示されます。

約2秒以内にもう一度左ボタン( )または右ボタン( )を押し表示を確認しながら音量調節する。

「OFF」にするときは、左ボタン( )を1秒以上押します。

「標準」に戻るときは、「OFF」の状態でも右ボタン( )を1秒以上押します。



電話がかかってきて着信音が鳴っているときにも、左ボタン( )または右ボタン( )で着信音量を変えることができます。

お買い求め時は、「標準」に設定されています。

着信音量を「OFF」にしても、内線、ドアホン、サブアドレス着信、i・ナンバーでの個別着信の呼出音は鳴ります。

着信音量を「OFF」にしたときは、電話がかかってきたことをディスプレイの表示で確認してください。

**Q** 内線通話/保留転送のときの呼出音の音量を切り替えるには？

**A** 着信音量を切り替えます。

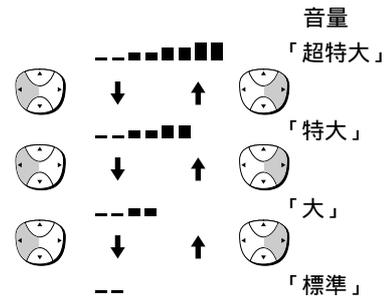
「着信音の音量を切り替えるには？」を参照し、着信音量を調節してください。

ただし、着信音量が「OFF」に設定されている場合でも、内線通話/保留転送の呼出音は「標準」で鳴ります。また、音声呼出の呼出音と呼びかける声の音量は、「スピーカの音量を調節するには？」を参照し、スピーカ音量を切り替えて調節してください。

**Q** 相手の方の声が聞き取りにくいときには？(受話音量)

**A** お話し中に左ボタン( )または右ボタン( )で調節します。

受話音量は、「標準」「大」「特大」「超特大」の4段階に調整できます。大きくするときには、お話し中に右ボタン( )を押します。小さくするときには、左ボタン( )を押します。



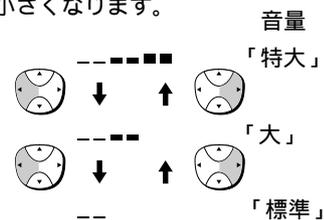
お買い求め時は、「標準」に設定されています。

調節した受話音量は電話を切っても、もとに戻りません。内線通話、ドアホン通話では、「標準」「大」「特大」の3段階に調整できます。

**Q** スピーカの音量を調節するには？(スピーカ音量)

**A** 左ボタン( )または右ボタン( )を押して調節します。

スピーカ音量は、「標準」「大」「特大」の3段階に調整できます。右ボタン( )を押すと大きく、左ボタン( )を押すと小さくなります。



ハンズフリー通話中や、内線から音声で呼びかけられているときなどに調整できます。

お買い求め時は、「標準」に設定されています。

調節したスピーカ音量は、電話を切っても、もとに戻りません。

# 保留 / 内線通話 / 保留転送のとき (主電話機・コードレス電話機)



## 保留 / 内線通話 / 保留転送

**Q** 主電話機で保留にしたときは？

**A** コードレス電話機で出るときは、必ず主電話機のハンドセットを置いてください。

ハンドセットを置いていないと、コードレス電話機で出ようとしても、お話することができません。

保留にした主電話機でハンドセットを置かなかったときは、約3分30秒後に自動的に他の電話機でも出られるようになります。約5分間電話に出ない場合自動的に通話は切れます。

**Q** コードレス電話機で保留にしたときは？

**A** 他の電話機で出るときは、必ずコードレス電話機を充電器に置くか ボタンを押してください。

充電器に置くか ボタンを押さないと、他の電話機でお話することができません。

保留にしたあと、コードレス電話機を充電器に置かなかったとき、または ボタンを押さなかったときは、約3分30秒後に自動的に他の電話機でも出られるようになります。約5分間電話に出ない場合自動的に通話は切れます。

**Q** 内線番号の割り当ては？

**A** 内線番号は以下のように割り当てられています。

内線番号	電話機等	
1	主電話機	
2	コードレス電話機	
3、4、5	増設したコードレス電話機 / PHS対応電話機	
6	ファクス等の通信機器 (アナログポート)	
72~75	ワイヤレスパソコンアダプタ	2~5、72~77で合計8台まで設定が可能
76、77	ワイヤレスモデムアダプタA	

内線番号72~75、76、77はデータ通信専用です。

**Q** 内線通話 / 保留転送のときの呼出音の音量を切り替えるには？ (●P147、148、149)

**Q** 内線トークバック (音声呼出) をやめるには？

**A** 内線呼出の設定を「トーン呼出」にします。「トーン呼出」に設定すると、呼び出し中は呼出音が鳴り続けるようになります。(●P158)

**Q** 保留転送で、呼び出しを中止して、外の相手の方とのお話に戻るには？

**A** ボタン (コードレス電話機は ボタン) を押します。

外の相手の方とのお話に戻ることができます。

**Q** 保留転送で、呼びかけに対してハンドセットまたはコードレス電話機を持たずに応答するには？

**A** 呼出音が鳴り、呼びかける声が聞こえたら、そのままマイクに向かってお話しします。

マイクとの距離は、約50 cmを目安としてください。内線応答したあと、外の相手の方とお話するときは、ハンドセットを取りあげてください。コードレス電話機の場合は充電器から取りあげるか、 ボタンを押してください。呼び出した方が電話を切ると、外からの電話につながります。

**Q** 保留中に電話をかける / 電話がかかってきたときは？

**A** 保留にしたあと、電話をかける / 受けるときは次のようになります。

- 保留にした電話機でのみ保留中の電話に出られる状態 (主電話機で保留にしてハンドセットを置く前、または、コードレス電話機で保留にして充電器に置くか ボタンを押す前) 保留にした電話機以外の電話機で、電話をかけたり受けたりすることができます。
- どの電話機でも保留中の電話に出られる状態 (主電話機で保留にしてハンドセットを置いたあと、または、コードレス電話機で保留にして充電器に置くか ボタンを押したあと) どの電話機からも、ハンドセットを取りあげたり ボタンを押して電話をかけることはできません。また電話を受けることもできません。ただしコードレス電話機のみプリセット発信で電話をかけることができます(「P6」のみ)。また、アナログポートに接続した電話機で電話をかけることもできます。この状態では、保留にした電話機以外の電話機からは、残りの1回線についても、保留にすることはできません。

# その他の機能をお使いのとき (主電話機・コードレス電話機)



## 登録・設定操作

**Q** 登録・設定操作中に電話がかかってきたときは？

**A** 登録・設定操作中の主電話機やコードレス電話機に着信があると、登録・設定が無効になります。もう一度最初からやり直してください。

また、操作の途中で約5分間ボタンを押さなかったときも、登録・設定は無効になります。

コードレス電話機では、以下の場合も無効になります。

- 操作中に内線から電話がかかってきたとき
  - 操作の途中で充電器に置いたとき
  - 操作の途中で ボタンを押したとき
- 応答メッセージの録音中に電話がかかってくると、録音は自動的に中止されます。電話を切ったあともう一度録音し直してください。

**Q** 電話番号にポーズ(待ち時間)を入れて登録するには？

**A** 主電話機では、ポーズを入れたいところで ボタンを、コードレス電話機では保留/内線ボタンと ボタンを続けて押します。

簡単ダイヤルや電話帳ダイヤルにポケットベル番号を登録する場合など、メッセージが流れている間にポーズ(待ち時間)を入れたいときには ボタン(コードレス電話機では保留/内線ボタンを押し ボタン)を押します。1回押すごとに約1秒のポーズが入ります。ポーズも1桁と数えます。

**Q** 操作を間違えたときは？

**A** ボタン(コードレス電話機では ボタン)を押して操作を取り消します。もう一度最初からやり直してください。



## 警報音

**Q** コードレス電話機でお話し中に「ピッピッピッ...」という音が鳴ったら？

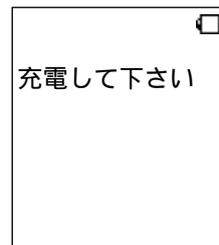
**A** 音が鳴らなくなる場所まで主電話機に近づいてください。

「ピッピッピッ...」という音は、通話できる範囲からはずれたことを知らせる圏外警報音です。約30秒間警報音が鳴ると電話が切れてしまいますので、警報音が鳴らなくなるところまで移動してください。

**Q** コードレス電話機でお話し中に「ピー」という音が鳴ったら？

**A** 電話を切って充電してください。

お話し途中で電池残量がなくなると「ピー」という低電圧警報音が約4秒間鳴ります。約1分すると電話が切れてしまいますので、充電してください。



## 表示

**Q** ディスプレイに表示される電話番号の桁数は？

- A**
- 主電話機  
電話番号は22桁まで表示されます。  
12桁以上の電話番号の場合、2段表示になります。  
23桁以上の電話番号の場合、23桁目以降は右から左へ順次表示され、最後から22桁を表示します。  
ただし、着信時の電話番号表示は、1段表示となります。
  - コードレス電話機「LP1」  
電話番号は24桁まで表示されます。  
13桁以上の電話番号の場合、2段表示になります。  
25桁以上の電話番号の場合、25桁目以降は右から左へ順次表示され、最後から24桁を表示します。
  - コードレス電話機「P6」  
電話番号は32桁まで表示されます。  
17桁以上の電話番号の場合、2段表示になります。  
33桁以上の電話番号の場合、33桁目以降は右から左へ順次表示され、最後から32桁を表示します。

**Q** ディスプレイに表示される通話時間は？

**A** 通話時間は最大99分59秒まで表示されます。100分になると0分00秒から表示されます。通話時間は目安の表示です。通話料金の請求書の内容と一致しないことがあります。

**Q** ディスプレイに表示される通話料金は？

**A** 通話料金は主電話機で小数点表示を含まず5桁まで、コードレス電話機で小数点表示を含む7桁まで表示されます。

上記の範囲を超えると通話料金は表示されません。通話料金は目安の表示です。通話料金の請求書の内容と一致しないことがあります。また、他通信業者との通信で料金情報がネットワークより送出不される場合に、実際の請求額と表示額が異なったり、料金表示されないことがあります。

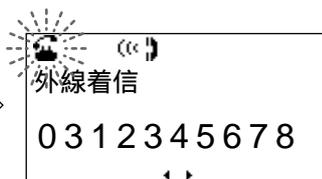
**表示**

**Q** 電話がかかってきたときのディスプレイ表示は？

**A** ご契約の状況に応じて、次のように表示されます。

- INSナンバー・ディスプレイを契約しているとき

相手の方が発信電話番号を通知してきたとき



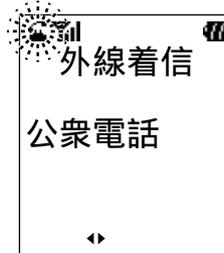
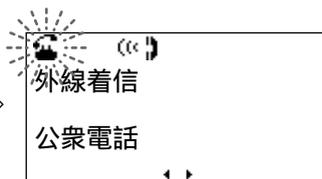
簡単ダイヤルまたは電話帳ダイヤルに登録している相手の方が発信電話番号を通知してきたとき

主電話機およびコードレス電話機で名前を表示させるには、それぞれの電話機で登録する必要があります。

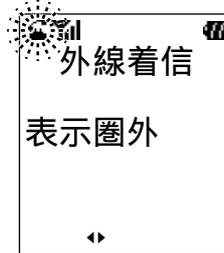
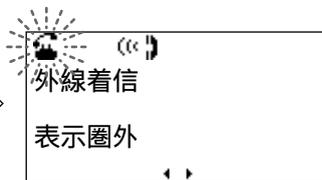
ネーム・ディスプレイをご利用のときは、登録されていなくても、相手の方が通知してかけてきた場合は表示されます（相手の方の名前が簡単ダイヤルまたは電話帳ダイヤルに登録されている場合は、その名前が表示されます）。



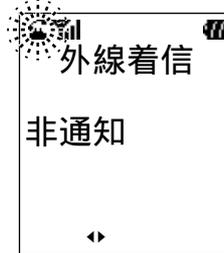
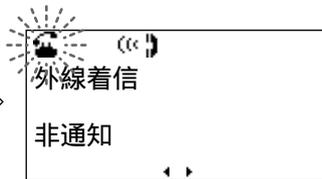
公衆電話からかかってきたとき



INSナンバー・ディスプレイを提供していないエリアから電話がかかってきたとき



かけてきた相手の方が電話番号を表示しない操作をしたとき、または表示しない契約になっているとき



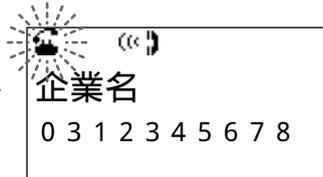
<主電話機>

<コードレス電話機>  
コードレス電話機「P6」も同様の表示です。

• ネーム・ディスプレイを契約しているとき

相手の方が企業名（氏名）を通知して電話をかけてきたとき

相手の方の名前が簡単ダイヤルまたは電話帳ダイヤルに登録されている場合は、その名前が表示されます。



• INSナンバー・ディスプレイを契約していないとき

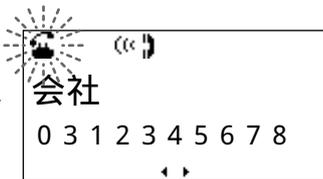
相手の方がINSネット、PHS対応電話機、携帯電話から発信者番号を通知して電話をかけてきたとき



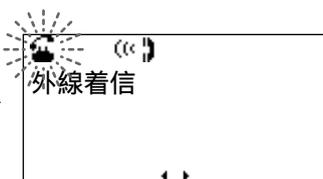
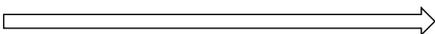
簡単ダイヤルまたは電話帳ダイヤルに登録している相手の方が、INSネット、PHS対応電話機、携帯電話から発信者番号を通知して電話をかけてきたとき

主電話機およびコードレス電話機で名前を表示させるには、それぞれの電話機で登録する必要があります。

ネーム・ディスプレイをご利用のときは、登録されていなくても、相手の方が通知してかけた場合は表示されます（相手の方の名前が簡単ダイヤルまたは電話帳ダイヤルに登録されている場合は、その名前が表示されます）。



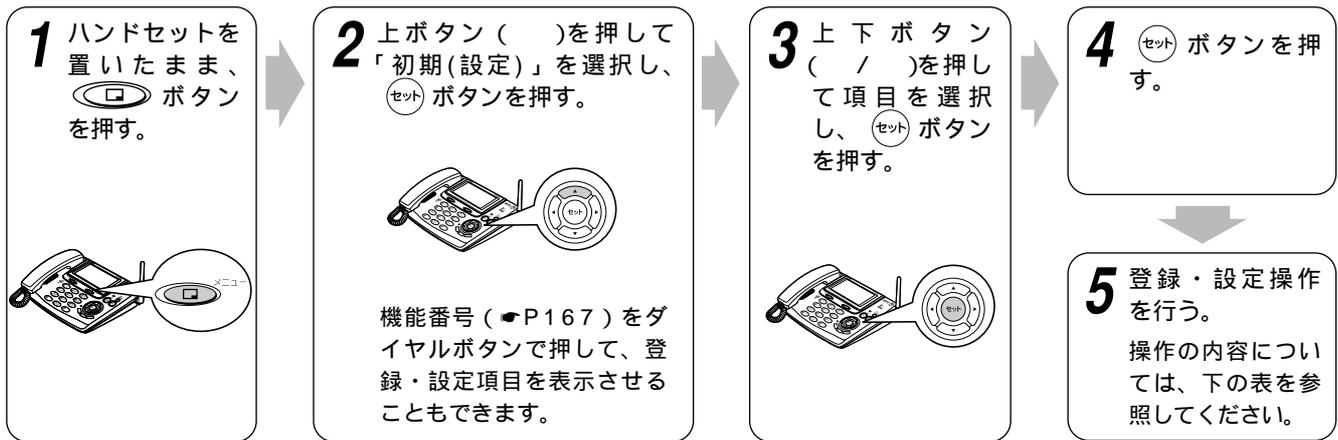
その他のとき



## 主電話機で行う登録・設定

使い勝手に合わせていろいろな機能を登録したり、設定を変更することができます。

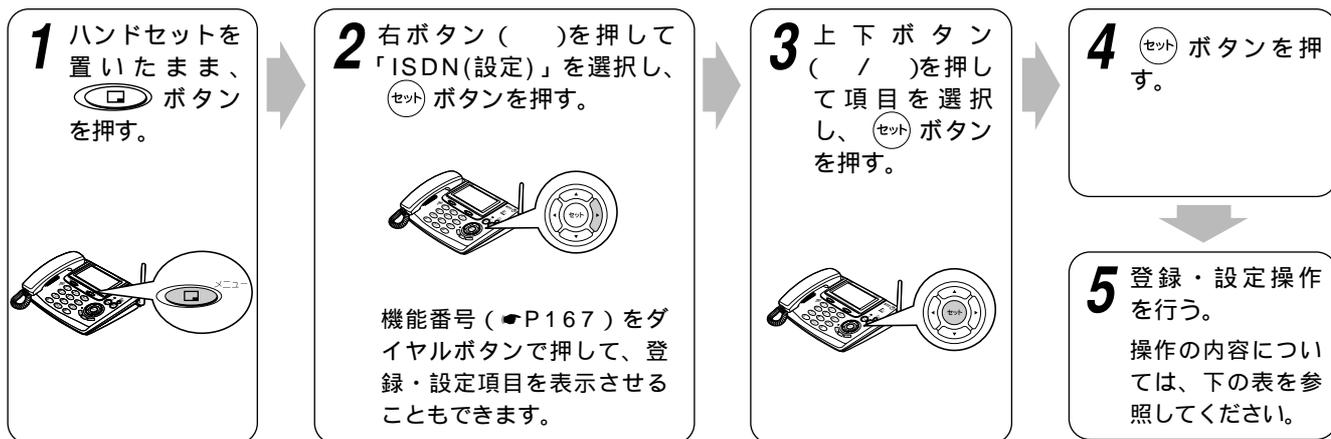
### 「初期設定」から行う登録・設定



: お買い求め時の設定

登録・設定項目	手順3で選択するディスプレイ表示	手順5で行う操作
日付・時刻の設定 (●P33)	カレンダー	日付・時刻の入力 (ダイヤルボタン) 2001年01月01日12時00分 <例: 2001年6月19日午後3時30分に設定する場合> と押す 
暗証番号の登録 (●P68) (外出先から留守機能を利用する)	暗証番号	暗証番号の入力 (ダイヤルボタン) 削除するときは、 [サクジョ] を押す 
画面表示の濃淡の調整	LCDコントラスト	レベルの選択 ( / ) 1: レベル1(最も薄い) 2: レベル2 3: レベル3(標準) 4: レベル4 5: レベル5(最も濃い) 押しも可 
キー入力したときのピツという音の設定	キータッチトーン	ON / OFFの選択 ( / ) ON: ボタンを押したときに「ピツ」という音が鳴る OFF: ボタンを押したときに「ピツ」という音が鳴らない 
アナログポート端末の送受信レベルの設定	パッド調整	標準 / UPの選択 ( / ) 標準: (通常は標準でお使いください) UP: (FAXなどがうまく送受信できないとき) 

## 「ISDN設定」から行う登録・設定



■ : お買い求め時の設定

登録・設定項目	手順3で選択するディスプレイ表示	手順5で行う操作
<p>i・ナンバー番号に対応する内線番号の設定 (●P76)</p> <p>i・ナンバー (追加番号) で個別に呼び出す内線番号を設定します。</p>	i・ナンバー	<p>i・ナンバー (1~3) の選択 ( /  )</p> <p></p> <p>内線番号 / 一斉着信 / 着信しないの選択 ( /  )</p> <p>1 : 主電話機 2~5 : 内線2~5 6 : アナログ (FAX) ポート 7 : 内線72~75、76、77 0 : 着信しない * : 一斉着信</p> <p> ~ 、 押しも可</p> <p>内線70番台の場合は、「7」を選択して  を押したあと、一の位の番号 (2~7) を選択して  を押します。</p> <p><b>i・ナンバー-1 : 一斉</b> <b>i・ナンバー-2 : 内線2のみに着信する</b> <b>i・ナンバー-3 : 一斉</b></p> <p></p>
<p>Lモードを契約した番号に対応するコードレス電話機の内線番号の設定 (●P81)</p> <p>本商品をお買い求めのとき、またはコードレス電話機「LP1」を増設した場合に設定します。</p> <p>i・ナンバーを契約していない場合は、i・ナンバー-1 (契約者回線番号) に設定します。</p> <p>本商品をお買い求め時は、i・ナンバー-1 (L) を選択し、内線番号2を登録してください。</p>	Lテーブル	<p>i・ナンバー (L) (1~3) の選択 ( /  )</p> <p></p> <p>内線番号 / なしの選択 ( /  )</p> <p>2~5 : 内線2~5 0 : なし</p> <p> ~  押しも可</p> <p><b>i・ナンバー-1 (L) なし</b> <b>i・ナンバー-2 (L) なし</b> <b>i・ナンバー-3 (L) なし</b></p> <p></p>

(次ページへつづく)

## 主電話機で行う登録・設定

：お買い求め時の設定

登録・設定項目	手順3で選択するディスプレイ表示	手順5で行う操作
内線番号をサブアドレスとして相手に通知するかどうかの設定 サブアドレスを通知した相手が、INSネット、PHS対応電話機、携帯電話をご利用の場合、電話をかけ返してきたときは個別呼出となります。	サブアドレス通知	する／しないの選択 (  /  ) する：通知する しない：通知しない (  )
* を電話番号とサブアドレスの区切りとして利用するかどうかの設定 相手がINSネットサービスをご利用で、サブアドレスに対応した電話機の場合、サブアドレスの個別呼出ができます。	サブアドレス区切	利用する／利用しないの選択 (  /  ) 利用する： * をサブアドレス区切りとして利用する 利用しない： * をサブアドレス区切りとして利用しない (  )
ダイヤルしたあとすぐに発信したいときに (#) ボタンを利用するかどうかの設定	発信ボタン	利用する／利用しないの選択 (  /  ) 利用する： # を発信ボタンとして利用する 利用しない： # を発信ボタンとして利用しない (  )
アクセスポイントなどの接続先に合った通信モードの設定	データ通信モード	PIAFS / PPPの選択 (  /  ) PIAFS：データ通信モードをPIAFS透過モードにする PPP：データ通信モードを同期PPP変換モードにする (  )
データ着信に応答する子機の内線番号の設定 お使いのパソコンをサーバとしてご使用になる場合に設定します。	データ着信子機	内線番号 / 指定なしの選択 (  /  ) 2～5：内線2～5 7：内線72～75 0：指定なし (  ) ~ (  ) 押しも可 内線70番台の場合は、「7」を選択して (  ) を押したあと、一の位の番号(2～7)を選択して (  ) を押します。 (  )
10時間以上のデータ通信で自動的に回線切断するかどうかの設定 「ON」に設定すると、ワイヤレスパソコンアダプタ、ワイヤレスモデムアダプタAを利用してデータ通信を行っているときも同様に切断されます。	強制切断タイマー	ON / OFFの選択 (  /  ) ON：10時間後に回線を強制切断する OFF：強制切断しない (  )
メッセージ到着お知らせサービスの表示を消去するかどうかの設定 「消去」に設定すると、主電話機とすべてのコードレス電話機の表示が消去されます。	メッセージ表示消去	消去 / 中止の選択 (  /  ) 消去：お知らせサービスの表示を消去する 中止：消去しない (  )

## 「留守設定」から行う登録・設定

**1** ハンドセットを置いたまま、 ボタンを押す。



**2** 左ボタン (  ) を押して「留守(設定)」を選択し、 ボタンを押す。



機能番号 ( ●P167 ) をダイヤルボタンで押して、登録・設定項目を表示させることもできます。

**3** 上下ボタン (  /  ) を押して項目を選択し、 ボタンを押す。



**4**  ボタンを押す。

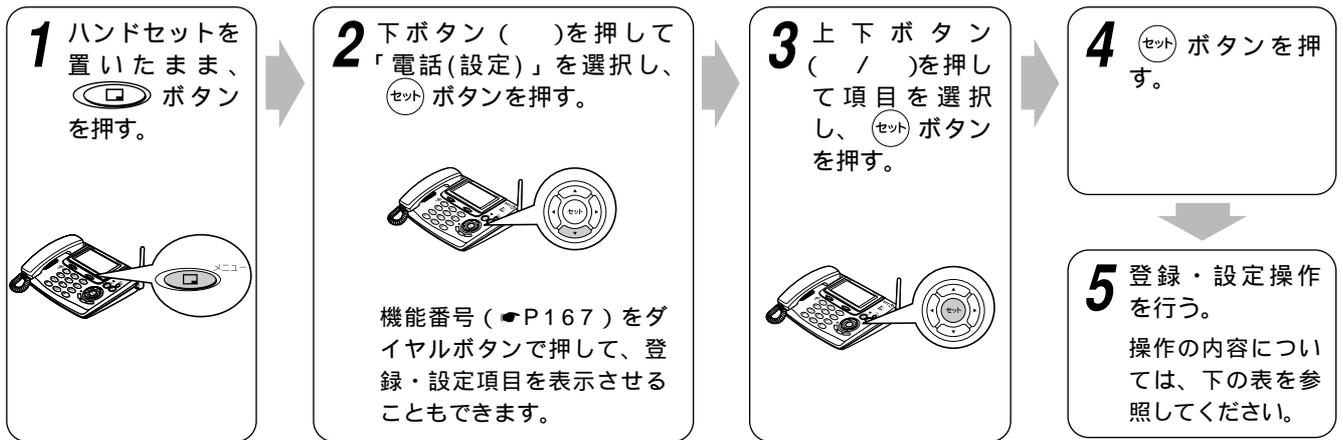
**5** 登録・設定操作を行う。  
操作の内容については、下の表を参照してください。

■ : お買い求め時の設定

登録・設定項目	手順3で選択するディスプレイ表示	手順5で行う操作
留守応答を開始するまでの着信鳴動回数の設定	着信回数	着信回数の選択 (  /  ) 1~9 : 1~9回 ( 5回 )  ~  押しも可 
録音されている用件を、留守解除後も消去せずに残すかどうかの設定	アキュムレート録音	する/しないの選択 (  /  ) する : 用件を消去せずに残す しない : 用件を消去する 
留守応答メッセージの録音 ( ●P67 )	応答メッセージ録音	ハンドセットを取りあげる 応答メッセージ録音 ( 最大20秒間 ) ハンドセットを置く 応答メッセージが再生される
録音した留守応答メッセージの消去	応答メッセージ消去	消去/中止の選択 (  /  ) 消去 : 留守応答メッセージを消去する 中止 : 消去をとりやめる 
録音されている用件の全消去	用件全消去	消去/中止の選択 (  /  ) 消去 : 用件をすべて消去する 中止 : 消去をとりやめる 

## 主電話機で行う登録・設定

### 「電話設定」から行う登録・設定



登録・設定項目	手順3で選択するディスプレイ表示	手順5で行う操作
内線呼出の方法の設定 (内線トークバック)	内線呼出	音声呼出 / トーン呼出の選択 (  /  ) 音声呼出: 呼出音のあと呼びかけられる トーン呼出: 呼び出し中は呼出音が鳴り続ける 
外線着信時の音色の設定 主電話機の音色を選択できます。お好みにより選択してください。	外線着信音	高音 / 低音の選択 (  /  ) 高音: 着信音が高音で鳴る 低音: 着信音が低音で鳴る 選択するたびに着信音が鳴ります。 
非通知の着信に対して応答するかどうかの設定	非通知拒否	する / しないの選択 (  /  ) する: 非通知拒否メッセージで応答する しない: 非通知拒否メッセージで応答しない 
ドアホンを接続するかどうかの設定 ドアホンを接続する場合は、必ず「接続あり」に設定してください。	ドアホン	ドアホン1、2の選択 (  /  )  接続あり / 接続なしの選択 (  /  ) 接続あり: ドアホンを接続する 接続なし: ドアホンを接続しない 
内線電話機ごとのドアホン着信規制の設定 主電話機、コードレス電話機の設置場所によりドアホン着信させたくない場合には、「規制あり」に設定してください。	ドアホン着信規制	内線番号 ( 1 ~ 5 ) の選択 (  /  ) ~  押しも可 規制できない内線電話機の設定内容に「 - 」が表示されます。  規制あり / 規制なしの選択 (  /  ) 規制あり: ドアホンからの呼出音が鳴らず、応答できない 規制なし: ドアホンからの呼出音が鳴り、応答できる 

：お買い求め時の設定

登録・設定項目	手順3で選択する ディスプレイ表示	手順5で行う操作
ファクスを接続するかどうかの設定 (●P169) ファクスを接続する場合には「接続あり」 に設定してください。	FAX	接続あり / 接続なしの選択 (  /  ) 接続あり：ファクスを接続する 接続なし：ファクスを接続しない (セッ) ノータッチ受信 / 手動転送の選択 (  /  ) ノータッチ受信：ノータッチ受信する 手動転送：手動転送する (セッ) 鳴動 / 無鳴動の選択 (  /  ) 鳴動：ファクス受信時に着信音を鳴らす 無鳴動：ファクス受信時に着信音を鳴らさない (セッ)



登録・設定操作中に電話がかかってきたときは (●P151)

操作を間違えたときは (●P151)

# コードレス電話機「LP1」で行う登録・設定

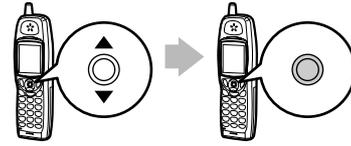
使い勝手に合わせているいろいろな機能を登録したり、設定を変更することができます。  
「L設定」から行う登録・設定については、P142を参照してください。

## 「着信メロディ」から行う登録・設定

**1**  ボタン[メニュー]を押し、「着信メロディ」が選択されていることを確認し、 ボタン[選択]を押し。



**2**  ボタンを 方向または 方向に倒して項目を選択し、 ボタン[選択]を押し。



機能番号 (●P168) をダイヤルボタンで押して、登録・設定項目を表示させることもできます。

**3** 登録・設定操作を行う。  
操作の内容については、下の表を参照してください。

：お買い求め時の設定

登録・設定項目	手順2で選択するディスプレイ表示	手順3で行う操作
着信音のメロディを設定 (着信音切替)(●P41)	着信音	<p>現在の設定内容が表示されます。</p> <p><input type="radio"/> ボタン[選択]を押し</p> <p>メロディの選択 (<input type="radio"/> ボタンを 方向または 方向に倒す)</p> <p><b>トレモロ</b></p> <p>すずおり</p> <p>クラリネットをこわしちゃった</p> <p>亜麻色の髪の乙女</p> <p>カノン</p> <p>悲愴</p> <p>春</p> <p>メロディ1~3 (登録・変更可。メロディ登録後は、登録されたメロディ名表示)</p> <p>選択したメロディが鳴ります。</p> <p><input type="radio"/> ボタン[決定]を押し</p> <p><input type="radio"/> ボタン[OK]を押し</p> <p>(編集不可、ダウンロード不可 (固定メロディ))</p>
メール着信音のメロディを設定	メール受信音	<p>現在の設定内容が表示されます。</p> <p><input type="radio"/> ボタン[選択]を押し</p> <p>メロディの選択 (<input type="radio"/> ボタンを 方向または 方向に倒す)</p> <p><b>通常と同じ</b></p> <p>すずおり</p> <p>クラリネットをこわしちゃった</p> <p>亜麻色の髪の乙女</p> <p>カノン</p> <p>悲愴</p> <p>春</p> <p>メロディ1~3 (登録・変更可。メロディ登録後は、登録されたメロディ名表示)</p> <p>選択したメロディが鳴ります。</p> <p><input type="radio"/> ボタン[決定]を押し</p> <p><input type="radio"/> ボタン[OK]を押し</p> <p>(編集不可、ダウンロード不可 (固定メロディ))</p>

登録・設定項目	手順2で選択するディスプレイ表示	手順3で行う操作
メロディごとの音色を設定	エフェクト設定	<p>現在の設定内容が表示されます。</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ 選択 ] を押す</p> <p>適用するメロディの選択 ( <input type="radio"/> ボタンを 方向または 方向に倒す )</p> <p>エフェクト設定可能なメロディが表示されます。固定メロディの「トレモロ」および「すずおり」については、エフェクト設定できません。</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ 決定 ] を押す</p> <p>エフェクトの選択 ( <input type="radio"/> ボタンを 方向または 方向に倒す )</p> <p>音色が変換され、メロディが鳴ります。</p> <p>1 : ボサノバ</p> <p>2 : ロックンロール</p> <p>3 : サンバ</p> <p>4 : フォーク</p> <p>5 : ロックバラード</p> <p>6 : テクノ</p> <p>7 : パラパラ</p> <p>8 : ヒップホップ</p> <p>9 : ミュージックボックス</p> <p><b>0 : ノーマル</b></p> <p><input type="radio"/> ボタン [ 決定 ] を押す</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ OK ] を押す</p>



登録・設定操作中に電話がかかってきたときは (P151)

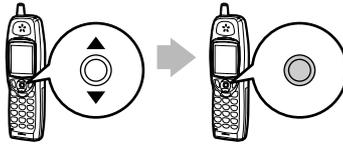
操作を間違えたときは (P151)

## 「設定」から行う登録・設定

**1**  ボタン[メニュー] を押し、 ボタンを 方向に倒して「設定」を選択し、 ボタン[選択]を押す。



**2**  ボタンを 方向または 方向に倒して「項目」を選択し、 ボタン[選択]を押す。



機能番号 (●P168) をダイヤルボタンで押して、登録・設定項目を表示させることもできます。

**3** 登録・設定操作を行う。  
操作の内容については、下の表を参照してください。

■ : お買い求め時の設定

登録・設定項目	手順2で選択するディスプレイ表示	手順3で行う操作
日付・時刻の設定 (●P32)	カレンダー設定	<p>&lt;例：2001年6月19日午後3時30分と設定する場合&gt; 現在の設定内容が表示されます。</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ 選択 ] を押す</p> <p>西暦年の入力 例： <input type="radio"/> 0 <input type="radio"/> 1 と押す</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ 決定 ] を押す</p> <p>日付の入力 例： <input type="radio"/> 0 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 9 と押す</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ 決定 ] を押す</p> <p>時刻の入力 例： <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 0 と押す</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ 決定 ] を押す</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ OK ] を押す</p>
LCDコントラスト	LCDコントラスト	<p>現在の設定内容が表示されます。</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ 選択 ] を押す</p> <p>コントラストの調節 ( <input type="radio"/> ボタンを 方向または 方向に倒す ) 方向に倒すたびに淡く、 方向に倒すたびに濃くなります。</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ 決定 ] を押す</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ OK ] を押す</p>

### お知らせ

コードレス電話機「LP1」は、お買い求め時または電池切れなどで設定内容がお買い求め時の内容に戻った場合、「カレンダー設定」で西暦の設定をする必要があります。  
日付・時刻に関しては主電話機で日付・時刻を設定しておけば、コードレス電話機「LP1」で一度通話を行うと主電話機と同じ日付・時刻が設定されます。(●P33)

登録・設定項目	手順2で選択するディスプレイ表示	手順3で行う操作
キータッチトーン	キータッチトーン	<p>現在の設定内容が表示されます。</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ 選択 ] を押す</p> <p>ON / OFFの選択 ( <input type="radio"/> ボタンを 方向または 方向に倒す )</p> <p>ON : ボタンを押したときに「ピッ」という音が鳴る</p> <p>OFF : 音が鳴らない</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ 決定 ] を押す</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ OK ] を押す</p>
クイック通話 ( ●P146 )	クイック通話	<p>現在の設定内容が表示されます。</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ 選択 ] を押す</p> <p>ON / OFFの選択 ( <input type="radio"/> ボタンを 方向または 方向に倒す )</p> <p>ON : 着信時に充電器から取りあげるだけで電話に出られる</p> <p>OFF : 充電器から取りあげたあと  ボタンを押す</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ 決定 ] を押す</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ OK ] を押す</p>
ファクス転送設定	FAX転送設定	<p>現在の設定内容が表示されます。</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ 選択 ] を押す</p> <p>ON / OFFの選択 ( <input type="radio"/> ボタンを 方向または 方向に倒す )</p> <p>ON : FAX TO機能 ( ●P116 ) を利用する</p> <p>OFF : FAX TO機能を利用しない</p> <p>「OFF」を選択したときは手順 へ進んでください。</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ 決定 ] を押す</p> <p>転送先ファクスの内線番号を入力</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ 決定 ] を押す</p> <p><input type="radio"/> ボタン [ OK ] を押す</p>
内線番号表示	内線番号表示	<p>コードレス電話機の内線番号が表示される。</p> <p>前の画面に戻るには :  ボタン [ 戻る ] を押す</p>



登録・設定操作中に電話がかかってきたときは ( ●P151 )

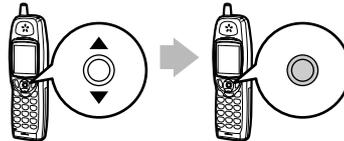
操作を間違えたときは ( ●P151 )

## 「スクリーン」から行う登録・設定

**1**  ボタン [メニュー] を押し、 ボタンを方向に倒して「スクリーン」を選択し、 ボタン [選択] を押す。



**2**  ボタンを方向または方向に倒して項目を選択し、 ボタン [選択] を押す。



機能番号 (●P168) をダイヤルボタンで押して、登録・設定項目を表示させることもできます。

**3** 登録・設定操作を行う。  
操作の内容については、下の表を参照してください。

■ : お買い求め時の設定

登録・設定項目	手順2で選択するディスプレイ表示	手順3で行う操作
待ち受け画面の設定	スクリーン選択	表示パターンの選択 ( <input type="radio"/> ボタンを方向または方向に倒す) イラスト イラスト + 時計 ■ アナログ時計 デジタル時計 <input type="radio"/> ボタン [決定] を押す 「アナログ時計」または「デジタル時計」を選択したときは、設定を終了して待ち受け画面に戻ります。 画像の選択 ( <input type="radio"/> ボタンを方向または方向に倒す) <input type="radio"/> ボタン [決定] を押す。 画像の表示方法の選択 ( <input type="radio"/> ボタンを方向または方向に倒す) 中央: 画面中央に画像 (1つ) を表示 全体: 画面全体に画像を表示 <input type="radio"/> ボタン [決定] を押す
ガイダンス設定	ガイダンス設定	現在の設定内容が表示されます。 <input type="radio"/> ボタン [選択] を押す ON / OFF の選択 ( <input type="radio"/> ボタンを方向または方向に倒す) ■ ON : 待ち受け時、画面の下にガイダンスが表示される OFF : 待ち受け時は、ガイダンスが表示されない <input type="radio"/> ボタン [決定] を押す <input type="radio"/> ボタン [OK] を押す

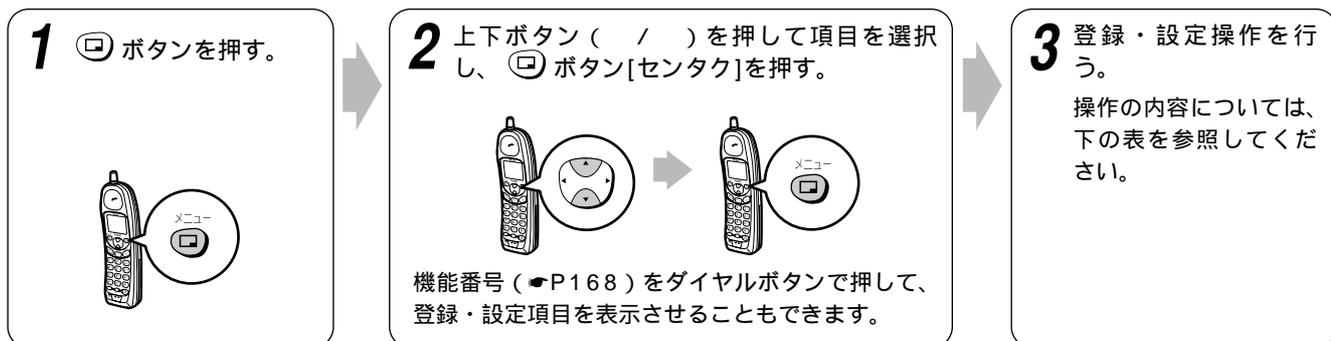


登録・設定操作中に電話がかかってきたときは (●P151)

操作を間違えたときは (●P151)

# コードレス電話機「P6」で行う登録・設定

使い勝手に合わせていろいろな機能を登録したり、設定を変更することができます。



：お買い求め時の設定

登録・設定項目	手順2で選択するディスプレイ表示	手順3で行う操作
<b>モード切替</b> コードレス電話機「P6」は、モードを切り替えることによって別の主電話機の子機として使用できます。	モード切替	モードの選択 ( / ) ホーム1：主電話機(標準) ホーム2：別の主電話機 ホーム3：別の主電話機 [ケッテイ]
<b>着信音切替 (P41)</b>	着信音切替	着信音の選択 ( / ) トレモロ トーン1~3(固定) メロディ1~6(固定) 着信音を選択するたびに、着信音量の設定に従って音が鳴ります。(P149) 「OFF」に設定しているときでも、音量「標準」で音が鳴ります。 [ケッテイ]
<b>簡単ダイヤル確認 (P53)</b>	簡単ダイヤル検索	簡単ダイヤルの確認 ( / ) [切]
<b>キータッチトーン</b>	キータッチトーン	ON/OFFの選択 ( / ) ON：ボタンを押したときに「ピッ」という音が鳴る OFF：音が鳴らない [ケッテイ]

付録

2 登録・設定

## お知らせ

コードレス電話機「P6」は、最大3台の主電話機に登録し、モードを切り替えて使用することができます。この機能を利用すると、同じコードレス電話機「P6」を別の主電話機のある場所でも使用できます。登録できる主電話機の機種については当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

(次ページへつづく)

コードレス電話機「P6」で行う登録・設定

登録・設定項目	手順2で選択するディスプレイ表示	手順3で行う操作
クイック通話 (●P146)	クイック通話	ON / OFFの選択 (  /  ) ON : 着信時に充電器から取りあげるだけで電話に出られる OFF : 充電器から取りあげたあと  を押す [  ] [ ケッテイ ]
電話帳全削除	電話帳全削除	YES / NOの選択 (  /  ) YES : 電話帳をすべて削除する NO : 削除を中止する [  ] [ ケッテイ ]
日付・時刻の設定 (●P33)	カレンダー	日付・時刻の入力 (ダイヤルボタン) 例 : 2001年6月19日午後3時30分の場合             と押す [  ] [ ケッテイ ]



## お知らせ

主電話機で日付・時刻を設定しておけば、コードレス電話機で一度通話を行うと主電話機と同じ日付・時刻が設定されます。(●P33)



登録・設定操作中に電話がかかってきたときは (●P151)

操作を間違えたときは (●P151)

## 主電話機

 ボタンを押したあとに、以下の機能番号を押してください。

登録・設定項目		機能番号	参照ページ
初期設定	カレンダー	 	☛ P 33、154
	暗証番号	 	☛ P 68、154
	LCDコントラスト	 	☛ P 154
	キータッチトーン	 	☛ P 154
	パッド調整	 	☛ P 154
留守設定	着信回数	 	☛ P 157
	アキュムレート録音	 	☛ P 65、157
	応答メッセージ録音	 	☛ P 67、157
	応答メッセージ消去	 	☛ P 67、157
	用件全消去	 	☛ P 157
ISDN設定	i・ナンバー	 	☛ P 76、155
	Lテーブル	 	☛ P 81、155
	サブアドレス通知	 	☛ P 79、156
	サブアドレス区切	 	☛ P 156
	発信ボタン	 	☛ P 156
	データ通信モード	 	☛ P 156、172
	データ着信子機	 	☛ P 156
	強制切断タイマー	 	☛ P 156
	メッセージ表示消去	 	☛ P 156
電話設定	内線呼出	 	☛ P 60、158
	外線着信音	 	☛ P 158
	非通知拒否	 	☛ P 158
	ドアホン	 	☛ P 158
	ドアホン着信規制	 	☛ P 158
	FAX	 	☛ P 159、169

## 機能番号一覧

### コードレス電話機「LP1」

☉ ボタンを押したあとに、以下の機能番号を押してください。

登録・設定項目		機能番号	参照ページ
着信メロディ	着信音	① <sup>あ</sup> ① <sup>あ</sup>	☛ P 160
	メール受信音	① <sup>あ</sup> ② <sup>カ</sup>	☛ P 160
	エフェクト設定	① <sup>あ</sup> ③ <sup>あ</sup>	☛ P 161
設定	カレンダー設定	② <sup>カ</sup> ① <sup>あ</sup>	☛ P 162
	LCDコントラスト	② <sup>カ</sup> ② <sup>カ</sup>	☛ P 162
	キータッチトーン	② <sup>カ</sup> ③ <sup>あ</sup>	☛ P 163
	クイック通話	② <sup>カ</sup> ④ <sup>カ</sup>	☛ P 163
	FAX転送設定	② <sup>カ</sup> ⑤ <sup>カ</sup>	☛ P 163
	内線番号表示	② <sup>カ</sup> ⑥ <sup>カ</sup>	☛ P 163
スクリーン	スクリーン選択	③ <sup>カ</sup> ① <sup>あ</sup>	☛ P 164
	ガイダンス設定	③ <sup>カ</sup> ② <sup>カ</sup>	☛ P 164
ヘルプ機能	-	④ <sup>カ</sup>	☛ P 83
L設定	画像表示設定	⑤ <sup>カ</sup> ① <sup>あ</sup>	☛ P 143
	端末機器自動設定	⑤ <sup>カ</sup> ② <sup>カ</sup>	☛ P 85
	センタ番号確認	⑤ <sup>カ</sup> ③ <sup>あ</sup>	☛ P 143
	電話帳データ送信	⑤ <sup>カ</sup> ④ <sup>カ</sup>	☛ P 144
	Bookmarkデータ送信	⑤ <sup>カ</sup> ⑤ <sup>カ</sup>	☛ P 144
	無通信監視タイマ	⑤ <sup>カ</sup> ⑥ <sup>カ</sup>	☛ P 145

### コードレス電話機「P6」

☉ ボタンを押したあとに、以下の機能番号を押してください。

登録・設定項目	機能番号	参照ページ
モード切替	⑦ <sup>カ</sup>	☛ P 165
着信音切替	① <sup>あ</sup>	☛ P 165
簡単ダイヤル検索	② <sup>カ</sup>	☛ P 165
キータッチトーン	③ <sup>あ</sup>	☛ P 165
クイック通話	④ <sup>カ</sup>	☛ P 166
電話帳全削除	⑤ <sup>カ</sup>	☛ P 166
カレンダー	⑥ <sup>カ</sup>	☛ P 166

# アナログ通信機器を利用するには

アナログポートに接続したアナログ通信機器（ファクス、電話機）では、通常の発信、着信のほか、主電話機、コードレス電話機との内線通話や保留転送ができます。

## アナログポートを設定する

アナログポートに機器を接続するときは、接続した機器が電話機かファクスかを主電話機で設定します。接続した機器により、次のいずれかに設定してください。

<電話機を接続したとき>

FAX接続なし.....着信があると、主電話機、コードレス電話機、アナログポートの電話機で着信音が鳴り、どの電話機からも電話に出ることができます。

<ファクスを接続したとき>

FAX接続あり.....着信に対して主電話機またはコードレス電話機で応答し、ファクスからの着信だった場合は、アナログポートへ転送してファクスを受信します。転送の方法は手動転送とノータッチ受信があります。

ファクスを接続するとき、この電話機で「無鳴動」を選択し、ファクス側を「Fネット検出」に設定すると、ファクスの着信音を鳴らさずに受信できます。

i・ナンバーサービスをご利用になるとき

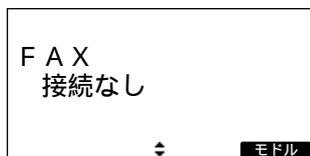
i・ナンバーサービス（●P76）をご利用になると、相手の方にファクス専用の電話番号をダイヤルしていただくことにより、直接ファクスに着信させることができます。i・ナンバーサービスをご契約のうえ、下記のファクス設定とi・ナンバー設定（●P76）を行ってください。

## 主電話機の設定

1 ハンドセットを置いたまま、 ボタンを押す。

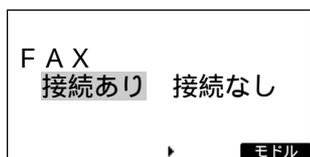
2 下ボタン（）を押して「電話（設定）」を選択し、 ボタンを押す。

3 下ボタン（）または上ボタン（）で「FAX」を選択し、 ボタンを押す。



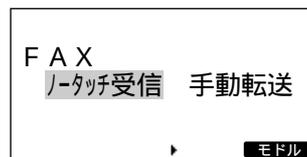
4  ボタンを押す。

5 左ボタン（）または右ボタン（）で「接続あり」/「接続なし」を選択する。



6  ボタンを押す。

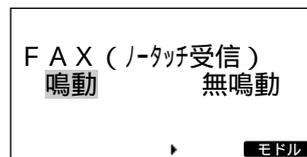
7 左ボタン（）または右ボタン（）で「ノータッチ受信」/「手動転送」を選択する。



8  ボタンを押す。

9 左ボタン（）または右ボタン（）で「鳴動」/「無鳴動」を選択する。

例 手順7で「ノータッチ受信」を選択したとき



10  ボタンを押す。

「ピー」という音が鳴って、設定が終わります。



## ワンポイント

「ノータッチ受信」とは  
「ノータッチ受信」とは、電話に出たとき、ファクスの信号を検出すると、自動的にファクスを接続しているアナログポートに転送する機能です。  
手動でアナログポートに転送してファクスを受信するときは、「手動転送」に設定してください。

「鳴動/無鳴動」を変更すると  
「主電話機の設定」の手順9で「無鳴動」を選択した場合は、アナログポートに接続したファクス側を「Fネット検出」に設定してください。  
ファクス側に「Fネット検出」の機能がない場合は、「鳴動」を選択します。このとき接続したファクス側は、必ず「自動受信」に設定してください。接続したファクスと、主電話機の設定との関係は以下のとおりです。

接続したファクス		主電話機の設定
「Fネット検出」の有無	「自動受信」設定	
無	する	鳴動
有	不要	無鳴動

アナログポートのファクスを「自動受信」に設定すると、主電話機やコードレス電話機から内線6を呼び出しても、ファクス受信となってしまいます。



## お知らせ

ファクス「接続あり」に設定すると、高位レイヤ整合性が「G2/G3ファクス」でかかってきた場合、この電話機の設定に関係なく自動的にアナログポートに着信します。

# アナログ通信機器を利用するには

## ファクスを受信する

手動転送またはノータッチ受信の設定により、着信に应答したあとのファクス受信操作が異なります。お買い求め時は、「ノータッチ受信」に設定されています。  
また、留守をセットしているときや、ファクス専用の電話番号で受信するとき(●P77)は、自動的にファクスが受信できます。

### 「ノータッチ受信」に設定されているとき

着信音が鳴ったら...

<主電話機>



赤

<コードレス電話機>



緑

- 1 主電話機のハンドセットを取りあげる。またはコードレス電話機を充電器から取りあげる。ファクスからの着信の場合、「ポーポー...」という音のあと「ファクシミリに転送します」というガイダンスが聞こえます。アナログポートのファクスが呼び出され、ファクス受信が開始されます。
- 2 ガイダンスを確認したあと主電話機のハンドセットを置く。コードレス電話機の場合は充電器に置くか、 ボタンを押す。

### 「手動転送」に設定されているとき

着信音が鳴ったら...

<主電話機>



赤

<コードレス電話機>



緑

- 1 主電話機のハンドセットを取りあげる。またはコードレス電話機を充電器から取りあげる。ファクスからの着信の場合、「ポーポー...」という音が聞こえます。
- 2 ボタン、 (コードレス電話機の場合は保留/内線ボタン、) を押す。アナログポートのファクスが呼び出され、ファクス受信が開始します。
- 3 主電話機のハンドセットを置く。コードレス電話機の場合は充電器に置くか ボタンを押す。

プラス  
α

### 留守をセットしているときは

「FAX接続あり」に設定している場合には、留守番電話が应答したあと、ファクスからの着信だった場合は、アナログポートに自動的に転送します。

このとき流れるメッセージは、自作应答メッセージが録音されている場合は自作应答メッセージが、それ以外の場合は次のようなものになります。

「ただいま留守にしています。おそれいりますが、ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方は送信してください。」



ただいま留守にしています。おそれいりますが...

ただし、主電話機を使用しているときは、留守番電話は应答しません。



### ワンポイント

ファクスを送信するにはご利用のファクスの取扱説明書を参照し、操作方法に従ってファクスを送信してください。

アナログポートにファクスを接続してご使用になるとき主電話機あるいはコードレス電話機でお話し中の電話を保留にして、あとの電話とのお話しに切り替えることができますが、あとの電話がファクスからの着信だった場合は、ファクスを受信することができません。ファクスを受信するには、次の操作を行ってください。

いったん、 ボタン(コードレス電話機の場合はキャッチボタン)を押して前の電話に戻る。

相手の方にファクスからの着信があったことを伝え、ハンドセットを置いて(コードレス電話機の場合は ボタンを押して) 通話を終了する。

着信音が聞こえる。

電話を受けると、ファクスの受信に戻る。 ボタン、 (コードレス電話機の場合は ボタン、) を押す。

アナログポートに接続されたファクスで受信することができます。



### お知らせ

i・ナンバーサービスによる着信先指定およびサブアドレス着信時はノータッチ受信できません。



お話し中にファクスを送るには(●P146)

お話し中に外からファクスが送信されたときは(●P146)

## 電話をかける / 受ける

ご利用の電話機の取扱説明書を参照し、操作方法に従って電話をかけた後、受けたりしてください。

電話をかけるには、ご利用の電話機の回線種別を「PB」に設定する必要があります。

## 保留にする / 解除する

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えて...

- 1 フッキングする。  
ハンドセットを置くと、着信音が鳴ります。  
フッキングとは(●ワンポイント)
- 2 お話しに戻るときは、再度フッキングする。



### ワンポイント

フッキングとは  
電話機のフックスイッチをポンと押します。1秒以上押し続けると電話が切れることがありますのでご注意ください。



コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン(またはフックボタン、フラッシュボタンなど)を押します。

電話番号を押したあとすぐに発信するには  
アナログポートの電話機で電話をかけるときも、主電話機やコードレス電話機でかけるときと同じように、電話番号を押したあとボタンを押さないと、約5秒後に発信します。すぐに発信させたいときは、#ボタンを押します。(発信ボタンの設定(●P156)で「利用する」に設定されているとき)

お話し中に電話がかかってきたときは  
アナログポートの電話機ではお話し中にかかってきた電話に  
応答することはできません。



### お知らせ

アナログポートの電話機では、以下のINSネット64サービスを利用することはできません。

- INSナンバー・ディスプレイ
- ネーム・ディスプレイ
- INSナンバー・リクエストの開始・停止操作
- INSボイスワープの設定操作
- INSマジックボックスの設定操作

ファクス機能付き電話機をアナログポートに接続したときも、電話からの着信は主電話機がコードレス電話機で受け、ファクスからの着信はアナログポートで受けるというように使い分けてください。ただしファクス機能付き電話機からも電話をかけることはできます。

## 他の電話機を呼び出す(内線通話)

- 1 ハンドセットを取りあげる。
- 2 呼び出す電話機の内線番号(①~⑤)を押す。  
呼出音が聞こえます。
- 3 相手の方が応答したら、お話しする。  
内線トークバック(音声呼出)(●P60)を利用して他の電話機を呼び出すこともできます。
- 4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

## 他の電話機へ取りつぐ(保留転送)

お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えて...

- 1 フッキングする。  
保留メロディが流れます。  
フッキングとは(●ワンポイント)
- 2 呼び出す電話機の内線番号(①~⑤)を押す。  
呼出音が聞こえます。
- 3 相手の方が応答したら、電話を取りつぐことを伝える。  
内線トークバック(音声呼出)(●P60)を利用して他の電話機を呼び出すこともできます。
- 4 転送するために、ハンドセットを置く。



### ワンポイント

他の電話機へ取りつぐ操作で相手の方が応答しなかったときは呼び出された方が応答しなかったときは、フッキングすると他の相手の方とのお話しに戻ることができます。

他の電話機から呼び出されたときは  
呼出音が鳴る。  
ハンドセットを取りあげてお話しする。



### お知らせ

内線トークバックでアナログポートの電話機を呼び出すことはできません。

# ワイヤレスパソコンアダプタなどを利用してデータ通信を行うには

オプションのワイヤレスパソコンアダプタやPHS対応電話機など、PIAFS対応の通信機器を利用して、データ通信を行うことができます。本機能をご利用になるときは、ワイヤレスパソコンアダプタやPHS対応電話機などの取扱説明書を合わせて参照してください。

## ワイヤレスパソコンアダプタなどから利用できる通信モード

インターネットやデータ通信を行うときに利用する通信モードには、以下のような種類があります。アクセスポイントなどの接続先に合った通信モードを選択してください。(●P156)

### PIAFS / 同期PPP変換

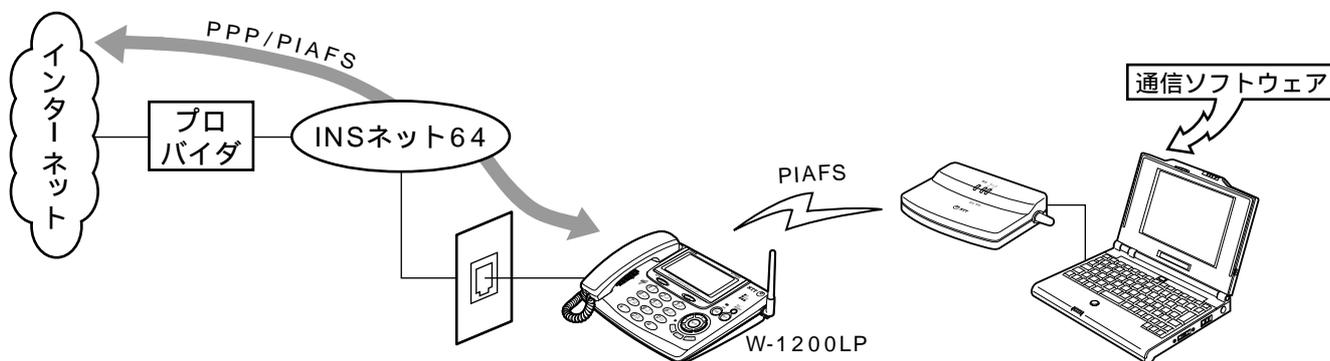
PHS対応電話機やワイヤレスパソコンアダプタでPIAFSモードで通信を行い、この電話機で同期PPPに変換して通信するモードです。インターネットの同期PPP接続サービス(64 kbps)を利用するときに選択します。

### PIAFS (64K / 32K)

PHS対応電話機やワイヤレスパソコンアダプタからの通信データをこの電話機で変換せずに、そのままINSネット64回線へ透過するモード(PIAFS透過通信)です。通信相手がPIAFSをサポートしているときに利用します。またインターネットのPIAFS接続サービス(64K/32K)を利用するときに選択します。

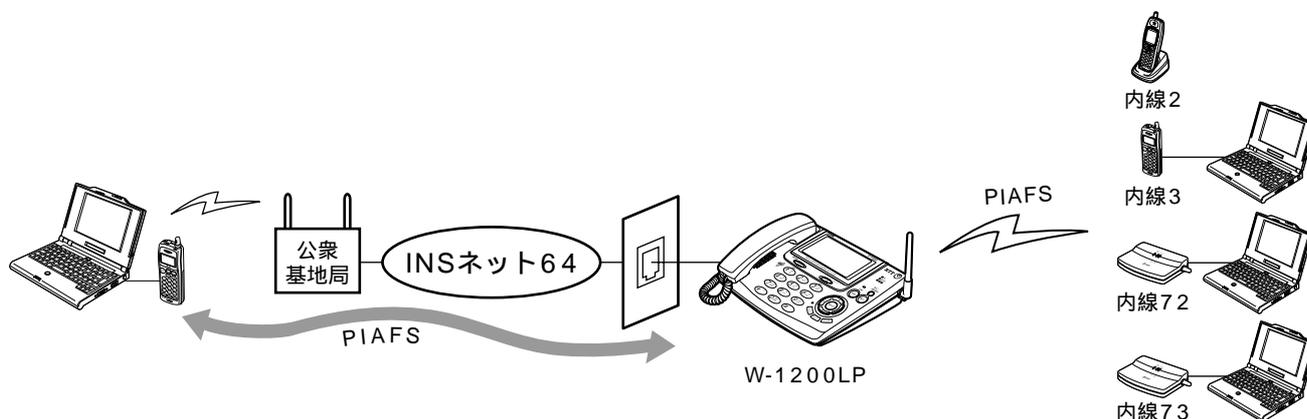
## インターネットに接続する

ワイヤレスパソコンアダプタやPHS対応電話機などPIAFS対応の通信機器に接続したパソコンから、通信ソフトウェアなどを起動して発信操作を行います。発信操作については、ご利用のワイヤレスパソコンアダプタやPHS対応電話機などの取扱説明書を参照してください。



## 外のパソコンとデータ通信を行う

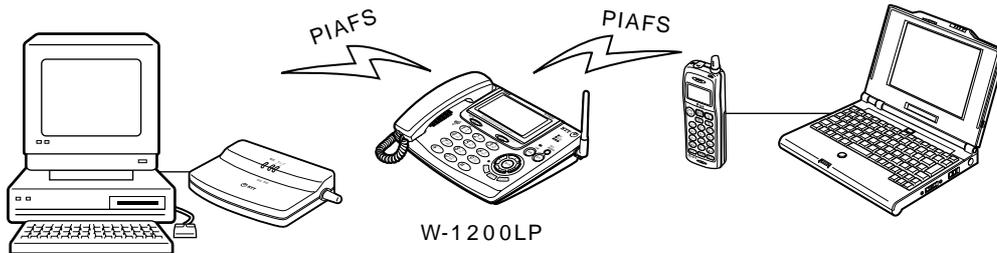
外出先からPHS対応電話機などを利用して家庭内のパソコンにアクセスしてデータ通信を行う場合(データ呼の着信)、サブアドレスを指定しなくてもデータ着信子機に設定されている内線番号に自動的に着信します。あらかじめデータ着信子機の内線番号を設定しておいてください。(●P156)



- データ着信子機指定をしていない子機でも、サブアドレスを利用してデータ着信させることができます。
- データ着信させてデータ通信を行う場合、パソコンなどのデータ端末やサーバをデータ着信可能な設定しておく必要があります。

## パソコンどうして内線データ通信を行う

この電話機を介して、ワイヤレスパソコンアダプタやPHS対応電話機などに接続したパソコンどうして内線データ通信を行うことができます。ワイヤレスパソコンアダプタやPHS対応電話機などに接続されているパソコンから、相手の内線番号に発信します。



### お知らせ

データ通信を行うときは、ワイヤレスパソコンアダプタやPHS対応電話機などで電波の状態を確認してから行ってください。電波の状態が悪いときはエラーが多発し、データ通信が停止することがあります。

内線に登録したPHS対応電話機でインターネットやデータ通信を行うには、PCカード(PCMCIA)対応のパソコンと、それぞれのPHS対応電話機に合わせたPIAFSカードが必要です。接続および設定についての詳細は、それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

ワイヤレスパソコンアダプタやPHS対応電話機からデータ通信を行うときは、PIAFS透過通信の組み合わせであれば、2つ同時に使用できます。

64Kデータ通信でインターネットやデータ通信を利用中でも、他のコードレス電話機で電話をかけたり受けたりすることができます。

PIAFS透過通信をご利用になるときは、この電話機のデータ通信モードを「PIAFS」に設定してください。(●P156) パルディオ611S、64Kパルディオ・データ/FAXカードDC-6S、モバイルカードP-in、パソコンアダプタ64C1で同期PPP変換通信をご利用になるときは、この電話機で同期PPP通信に設定し、子機(611S)、64Kパルディオ・データ/FAXカードDC-6S、モバイルカードP-in、パソコンアダプタ64C1側のパソコンから相手先電話番号の末尾に#0111を設定してください。

64kPIAFS透過通信で接続する場合は、必ず64kPIAFS対応のアクセスポイントに接続してください。64kPIAFS透過通信で発信し、64kPIAFS非対応のアクセスポイントへ誤って接続した場合、いったん接続したあとに切断されることがあります。その場合は通話料が加算されますのでご注意ください。



内線番号の割り当ては(●P150)



### ワンポイント

PIAFSとは  
PHSを使ったデジタルデータ通信のデータ転送方式です。この電話機は、ワイヤレスパソコンアダプタやPHS対応電話機などPIAFS対応の通信機器から、データ通信を行うことができます。

内線データ通信を行うときには  
この電話機の内線に登録したワイヤレスパソコンアダプタやPHS対応電話機などに接続したパソコンどうして内線データ通信を行うときは、PIAFS32Kデータ通信(透過モード)となります。なおPIAFS64Kは内線データ通信ではご利用になれません。



# 付属品をご利用になるには

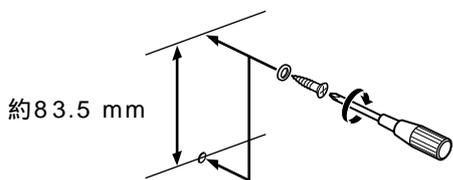
付属品の壁掛け木ネジをご利用になると、主電話機や充電器を壁に掛けてお使いいただけます。

## 主電話機を壁に取り付ける

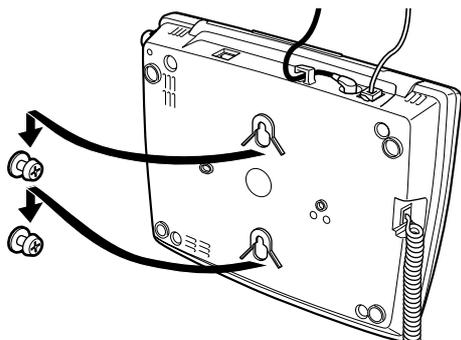
- 1 ハンドセット受けを引き出し、突起部の大きな方を上にして、差し込む。



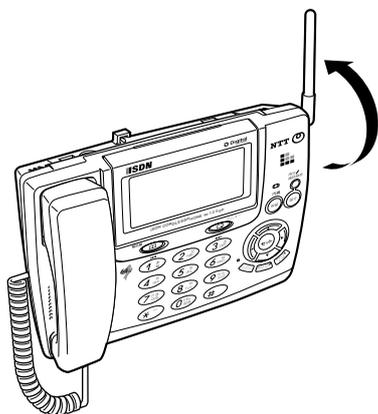
- 2 操作早見表に付いているゲージ (P205) を使って、壁掛け木ネジを壁に取り付ける。



- 3 コードをつなぎ、主電話機を壁にしっかりと取り付ける。

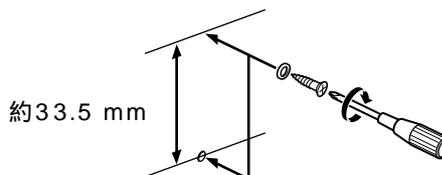


- 4 壁に取り付けたらアンテナを起こす。

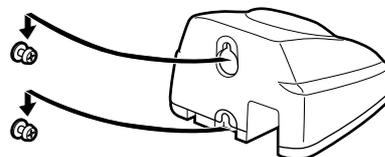


## コードレス電話機「LP1」の充電器を壁に取り付ける

- 1 操作早見表に付いているゲージ (P207) を使って壁掛け木ネジを壁に取り付ける。



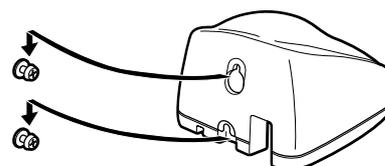
- 2 コードレス電話機「LP1」の充電器を壁にしっかりと取り付ける。



## コードレス電話機「P6」の充電器を壁に取り付ける

- 1 操作早見表に付いているゲージ (P208) を使って壁掛け木ネジを壁に取り付ける。

- 2 コードレス電話機「P6」の充電器を壁にしっかりと取り付ける。



## お知らせ

あらかじめ、取り付ける場所で発信・着信および通話ができるかどうかを確認してください。

### 注意

ご使用になる前に、確実に取り付けられているか確認してください。薄いベニヤ板や軟らかい壁などに取付けると、重みでネジが抜けて主電話機、コードレス電話機、充電器が落下し、故障やけがの原因となることがあります。

# ドアホンを接続して使うには

オプションのドアホンボックスとドアホンを利用すると、ドアホンからの呼び出しに主電話機からもコードレス電話機からも応答することができます。

## ドアホンを接続する

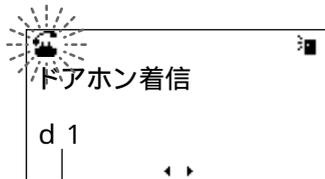
ドアホンは2台まで接続することができます。ドアホンの取り付け工事について、詳しくは局番なしの116番または当社のサービス取扱所へご相談ください。

## 主電話機の設定

ドアホンを接続する場合は、主電話機で必ず「接続あり」に設定してください。(P158)

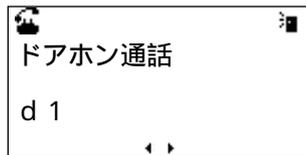
### 主電話機でドアホンの呼び出しに応答する

ドアホンからの呼出音が鳴り、 が点灯したら



呼び出している  
ドアホンの番号

**1** ハンドセットを取りあげて、お話しする。



**2** お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

### ワンポイント

ドアホンの呼出音は  
ドアホンを2台接続したとき、ドアホン1とドアホン2では呼出音が違います。

ドアホン1...「ピンポーン」  
ドアホン2...「ピンポーン、ピンポーン」

外の相手の方とのお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには

外の相手の方とのお話し中にドアホンの呼出音が重なって聞こえたら...

キャッチボタンを押してドアホンに応答する。

ドアホンとのお話しが終わったら、キャッチボタンを押す。ハンズフリー通話でお話ししていたときは、ハンドセットを取りあげたあと(コードレス電話機では充電器から取りあげたあと)キャッチボタンを押してドアホンに応答します。ドアホンに応答している間、電話の相手の方には保留メモリが流れます。

内線通話中にドアホンに応答するには

お話し中にドアホンの呼出音が重なって聞こえた場合、キャッチボタンを押すと、ドアホンに応答することができます。ハンズフリー通話でお話ししていたときは、ハンドセットを取りあげたあと(コードレス電話機では充電器から取りあげたあと)キャッチボタンを押します。このとき、内線通話は切れます。

ドアホンとのお話し中に外からの電話に応答するには

お話し中に着信音が重なって聞こえた場合、キャッチボタンを押すと、電話の相手の方とお話しすることができます。このとき、ドアホンとのお話しは切れます。

### お知らせ

主電話機では「ピンポーン」という音が鳴ったあと、保留/内線ランプが点滅している間(約20秒間)にハンドセットを取りあげないと、応答することができません。

コードレス電話機では「ピンポーン」という音が鳴ったあと、通話ランプが点滅している間(約20秒間)に充電器から取りあげるか、 ボタンを押さないと、応答することができません。

アナログポートの電話機でドアホンの呼び出しに応答したり、ドアホンと呼び出ししたりすることはできません。

### コードレス電話機でドアホンの呼び出しに応答する

ドアホンからの呼出音が鳴ったら...



**1** 充電器から取りあげて、お話しする。  
充電器から外しているときは、 ボタンを押します。

**2** お話しが終わったら、充電器に置く。  
充電器に置かないときは、 ボタンを押します。

# オプションをご利用になるには

より便利にお使いになるためのオプション品が用意されています。オプション品をご利用になるときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

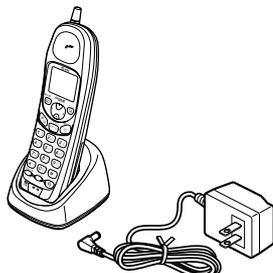
## 増設用コードレス電話機

コードレス電話機は、最大4台まで使うことができます。増設用のコードレス電話機には、充電器と電源アダプタがセットされています。デジタルコードレス電話機「P6」「LP1」のほかに、PHS対応電話機を増設することもできます。

---デジタルコードレス電話機「LP1」  
(デジタルコードレスTEL LP1)---



---デジタルコードレス電話機「P6」  
(デジタルコードレスTEL P6)---

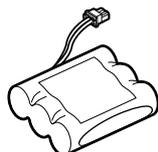


## 電池パック

コードレス電話機の電池パックを交換するときは、オプションの電池パックをご利用ください。

コードレスホン電池パック-062

(CT-デンチパック-062)



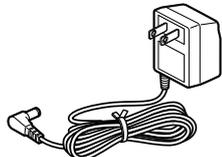
## 充電器および電源アダプタ

付属の充電器以外の場所でコードレス電話機を充電できるように、充電器および電源アダプタがあります。

---コードレス電話機「LP1」充電器---  
(コードレスTEL LP1 -ジューデンキ)



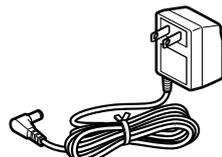
電源アダプタSA01(K)  
(デンゲンアダプタSA01(K))



---コードレス電話機「P6」充電器---  
(コードレスTEL P6 -ジューデンキ)



電源アダプタSA01(K)  
(デンゲンアダプタSA01(K))



## ドアホン

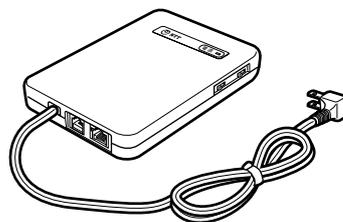
ドアホンが2台まで接続できます。玄関や勝手口などで来客との対応ができる各種ドアホンを用意しています。

ドアホンを接続するには、ドアホンボックスが必要です。

## ドアホンボックス

ドアホンボックスに接続することにより、ドアホンを2台接続することができます。

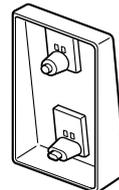
(E-ドアホンボックス)



ドアホンボックスを接続するときは、主電話機での設定が必要です。(P 158)

## 主電話機用壁掛けアダプタ

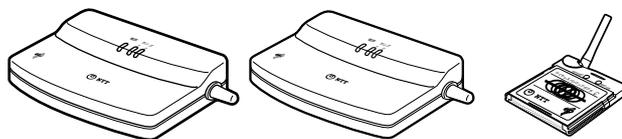
主電話機を壁に取り付ける際にご利用になると、取り付け角度が約8度変わり、使いやすくなります。



## ワイヤレスパソコンアダプタ

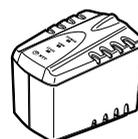
主電話機とワイヤレスパソコンアダプタを無線接続することにより、INSネット64回線を使ってデータ通信を行うことができます。(P 172)

(W-PADP) (W-64RU1) (W-64C1)



## ワイヤレスモデムアダプタA

主電話機とワイヤレスモデムアダプタAを無線接続することにより、データ通信を行うことができます。(P 174)



## ブラウザ&メールボード

コードレス電話機「LP1」のブラウザボード接続端子に、ブラウザ&メールボードを接続することができます。

ブラウザ機能やメール機能の操作がわかりやすくなります。

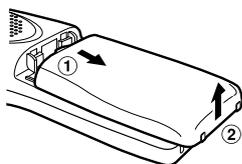
# 電池パックの取り扱い

電池パックは消耗品です。コードレス電話機の使用頻度にもよりますが、約1年程度ご使用になれます。長時間充電してもすぐ電池の残量がなくなる場合は、新しい電池パック（オプション）に交換してください。ご購入についてはNTT-ME/DOパーツサービスセンタまたはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

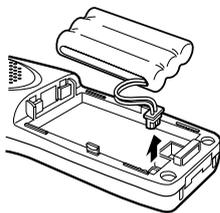
NTT-MEパーツサービスセンタ：☎ 0120-86-8289  
NTT-DOパーツサービスセンタ：☎ 0120-86-8289

## 電池パックを交換する

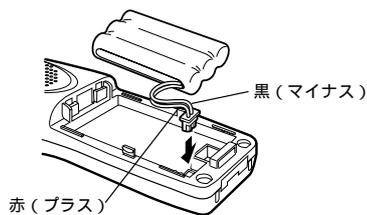
- ① コードレス電話機の電源を切る。（☛P30）
- ② 電池カバーを取り外す。  
電池カバーをスライドさせてから（ ）持ち上げるようにして開けます（ ）。



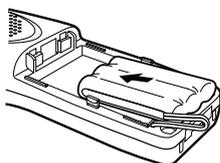
- ③ 電池パックを取り出し、コネクタを外す。  
コネクタは根元を持って引き抜きます。



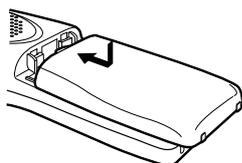
- ④ 新しい電池パックに交換し、電池パックのコネクタを差込口に差し込む。  
コネクタは赤いコードが左になるようにして最後まで確実に差し込みます。



- ⑤ 電池パックを入れる。  
電池カバーを取り付けるとき、コードが電池カバーにあたらぬように、コードをケース内へしっかり押し込んでください。



- ⑥ 電池カバーを取り付ける。  
コードをはさまないように注意して電池カバーをスライドさせ、「パチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。



- ⑦ 電源を入れる。（☛P30）
- ⑧ 充電器に置き、充電ランプが緑色の点灯に変わっても、必ず6時間以上充電する。（☛P31）



コードレス電話機「LP1」から電池パックを取り外したまま約1日 放置、または「充電してください」と表示されたあと充電せずにそのまま約1ヶ月 放置した場合、登録された情報内容（電話帳やメール、ブラウザ機能で登録したデータなど）が消去され、お買い求め時の状態に戻ります。情報内容は、別にメモをとるなどして保管して下さるようお願いいたします。  
内蔵バックアップ電池の充電状態によりこれらの期間は短くなることがあります。

## 電池パック回収のお願い

本電池パックはリサイクル可能なニッケル水素電池です。不要となった電池パックは、当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社の販売担当者にお渡しいただくなど、資源有効利用のためにリサイクルの推進にご協力をお願いします。

### STOP お願い

電池パックのコードを、無理に引っ張ったり差し込んだりしないでください。



電池パックについて  
電池パックの取り扱いは、次の点にご注意ください。

- 必ず専用のもをお使いください。
- 取り出して充電しないでください。
- 火の中に投入したり、分解・加熱しないでください。
- 充電には、専用の充電器をお使いください。
- 端子を短絡させないでください。

# 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

## 基本的な使いかた

### (主電話機・コードレス電話機共通)

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
動作しない	電源アダプタが外れている	電源アダプタを正しく差し込んでください	●P28
	停電のため	故障ではありません	●P182
時刻が12:00表示のまま	日付・時刻が設定されていない	主電話機で日付・時刻を設定してください	●P33
時刻が合っていない	時刻の設定が間違っている	主電話機で時刻の設定をやり直してください	●P33
	引越などで電話機コードと電源アダプタを抜いてしまった	主電話機で時刻の設定をやり直してください	●P33
「ツー」という発信音が聞こえない	電話機コードが外れている	電話機コードを正しく接続してください	●P28
電話をかけるとき、相手につながるまで時間がかかる	ダイヤル桁間タイマによる	故障ではありません 電話番号を押したあと、 <b>(#)</b> ボタン (コードレス電話機は <b>(#)</b> ボタン) を押す とすぐに発信します	●P34、36
着信音が鳴らない	着信音量が「OFF」に設定されている	着信音を「OFF」以外の音量に設定してください	●147、148、149
	i・ナンバーの設定が「着信しない」になっている	着信先を正しく設定してください	●P76
着信時、相手の方の電話番号が表示されない	当社とINSナンバー・ディスプレイの契約をしていない	当社と契約をしてください	●P71
	公衆電話、非通知、表示圏外などで通知できない	故障ではありません	●P72
	停電中のため	故障ではありません	●P182
電源アダプタがあたたかい	内部には発熱する部分があり、多少温度が上がる	故障ではありません	-

### (主電話機)

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
主電話機のディスプレイに「回線未接続」と表示される	INSネット64回線の電話機コードが外れている	付属品の電話機コードでしっかり接続してください	●P28
	INSネット64回線が開通していない	INSネット64回線が開通していないと使用できません INSネット64回線については、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください	-
ダイヤルできない	他の電話機やファクス、ワイヤレスパソコンアダプタなどが2回線とも使用中のため	故障ではありません	●P34
再ダイヤルできない	コードレス電話機でかけた電話番号を、主電話機で再ダイヤルしようとしている	故障ではありません	●P43
登録・設定ができない	主電話機のハンドセットが外れている	ディスプレイの  が消えてから行ってください	●P21
	コードレス電話機でハンズフリー通話中のため	通話が終了してから行ってください	●P36、40
通話録音ができない	録音時間の残量がない	用件を消去してください	●P66
	停電のため	故障ではありません	●P182

# 故障かな？と思ったら

## (コードレス電話機)

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
動作しない	電池パックが正しく接続されていない	電池パックを正しく接続してください	☛P30
	電池残量がなくなっている	コードレス電話機を充電してください	☛P31
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	☛P6
	コードレス電話機の電源が入っていない	電源を入れてください	☛P30
	主電話機にセットとして登録されていない	当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください	-
時刻が合っていない	主電話機で時刻を設定したが、コードレス電話機で一度も通話していない	コードレス電話機で通話してください	☛P33
ダイヤルできない	主電話機から離れすぎている	主電話機に近づいてください	☛P32
	主電話機用電源アダプタが外れていたり、停電中のため	電源アダプタを正しく差し込んでください	☛P28
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	☛P6
	他の電話機やファクス、ワイヤレスパソコンアダプタなどが2回線とも使用中	故障ではありません	☛P34、36
	停電中のため	故障ではありません	☛P182
再ダイヤルできない	停電中のため	故障ではありません	☛P182
	主電話機でかけた電話番号を、コードレス電話機で再ダイヤルしようとしている	故障ではありません	☛P43
着信音が鳴らない	電池残量がなくなっている	コードレス電話機を充電してください	☛P31
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	☛P6
	主電話機から離れすぎている	主電話機に近づいてください	☛P32
	着信音量が「OFF」に設定されている	着信音を「OFF」以外の音量に設定してください	☛P148、149
お話しが途切れる	主電話機から離れすぎている	主電話機に近づいてください	☛P32
	主電話機とコードレス電話機の間に障害物がある	障害物のないところへ移動してください	☛P32
登録・設定ができない	通話ランプが点灯している	故障ではありません  ボタンを押してください	-
充電しても低電圧警報が鳴る、あるいは充電しても使えない	充電器の電源アダプタが外れている	充電器の電源アダプタを正しく接続してください	☛P31
	電池パックが寿命のため	新しい電池パックと交換してください	☛P178
	充電端子が汚れている	乾いた布で清掃してください	☛P31
	充電器に正しく置かれていない	充電器に正しく置いてください	☛P31
充電器に置いて充電ランプが点灯しない	電池パックが正しく接続されていない	電池パックを正しく接続してください	☛P30、178
	充電器の電源アダプタが外れている	充電器の電源アダプタを正しく接続してください	☛P31
お話し中に低電圧警報が鳴る	充電器に正しく置かれていない	充電器に正しく置いてください	☛P31
	電池の残量がなくなりかけている	コードレス電話機を充電してください	☛P31
触るとあたたかい	充電されたため	故障ではありません	-

## ハンズフリー通話 (主電話機・コードレス電話機共通)

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
スピーカから聞こえる音が小さい	スピーカ音量が「小」になっている	スピーカ音量を聞きやすい音量に調整してください	☛P8、147、148、149
	音が大きい、または電話機を壁に向けて置いたため、ハウリングを防ぐため自動的にスピーカの音が小さくなった	スピーカの音量を少し下げるか、電話機を壁から離してください	
相手の方の声が途切れる	双方で同時に話した	故障ではありません	☛P8
	室内がざわついている	周囲を静かにしてご利用ください	
「ピー」というハウリング音が入る	マイクに手などを近づけている	マイクから手などを遠ざけてください	☛P8
主電話機でハンズフリー通話ができない	コードレス電話機でハンズフリー通話をしている	コードレス電話機のお話しが終わってから操作してください。	☛P34
コードレス電話機でハンズフリー通話ができない	主電話機でハンズフリー通話をしている	主電話機のお話しが終わってから操作してください。	☛P36
	主電話機で録音再生している	録音再生が終わってから操作してください	☛P36
	主電話機で登録・設定操作している	登録・設定が終わってから操作してください	☛P36

### 留守番電話（主電話機）

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
用件の録音された時刻が合っていない	日付・時刻が設定されていない	日付・時刻を設定してください	●P33
	電話機コードと電源アダプタが抜かれた	日付・時刻を設定し直してください	●P33
留守番電話が応答しない	主電話機の電源アダプタが外れている	主電話機の電源アダプタを正しく接続してください	●P28
	停電のため	故障ではありません	●P182
	留守をセットしていない	留守をセットしてください	●P65
	コードレス電話機がハンズフリー通話中	通話を終了してください	●P36、40
留守をセットすると応答専用メッセージが聞こえる	録音残量がないのに留守をセットした	用件を消去してください	●P66
留守がセットできない	ハンドセットがきちんと置かれていない	ハンドセットをきちんと置いてください	-
用件が録音されない、あるいは途中で切れてしまう	録音時間の残量がない	用件を消去してください	●P66
	相手の方の声が小さすぎる	相手の方の声が小さかったりなにも話さないと、約8秒後に電話は自動的に切れます 故障ではありません	-
	停電のため	故障ではありません	●P182

### リモコン操作

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
応答メッセージが聞こえない	留守がセットされていない	故障ではありません	-
暗証番号を受け付けない	プッシュ信号を送ることができない	プッシュ信号を送ることができる電話機からリモコン操作してください	●P69
	暗証番号が登録されていない	暗証番号を登録してください	●P68
	応答メッセージが聞こえる前に <b>#</b> ボタンを押した	応答メッセージが聞こえている間に <b>#</b> ボタンを押してください	●P69
再セット（用件の全消去）ができない	用件をすべて再生していない	用件をすべて再生してから用件再セットを行ってください	●P69

### ワイヤレスパソコンアダプタなどをお使いのとき

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
発信、着信ができない	ワイヤレスパソコンアダプタなどが主電話機から離れすぎている	主電話機に近づいてください	●P172、174
	主電話機のアンテナを立てていない	主電話機のアンテナを立ててください	●P28

### アナログポートをお使いのとき

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
電話がかかけられない	アナログポートにアナログ通信機器が正しく接続されていない	正しく接続してください	●P28
	ダイヤル式（DP）のアナログ通信機器を使用している	プッシュ式（PB）のアナログ通信機器を接続してください	●P29
着信音が鳴らない	アナログポートの設定が間違っている	アナログポートの設定を「FAX接続なし」にしてください	●P169
	1つのアナログポートに2台以上の電話機やファクスを接続している	1つのアナログポートに接続するアナログ通信機器は1台にしてください	●P29
ファクスが自動的に受信しない	接続したファクスが、「無鳴動着信機能」を持っていない	「鳴動」に設定して、ファクスを自動受信モードに設定してください	●P169
	i・ナンバーの設定が間違っている	i・ナンバーの設定を確認してください	●P76

# 停電になったときは

停電時は、留守番機能やINSナンバー・ディスプレイ、INSメッセージ到着お知らせサービスを利用した機能はご利用できません。また停電中は、主電話機のランプとディスプレイの表示は消えます。主電話機では、電話をかけたたり、受けたりすることはできますが、ダイヤルボタン以外のボタンを使用することはできません。また、コードレス電話機、ドアホン、アナログポートのファクスやワイヤレスパソコンアダプタ、ワイヤレスモデムアダプタAはご使用になれません。

## 停電時には以下のことにご注意ください

停電になったとき	主電話機	外の相手の方とお話し中	そのままお話しができます
		保留中	保留メロディが止まります（保留はそのまま続きます） ハンドセットを取りあげて、お話しください（ハンドセットを置かなかったときは、そのままお話しできます）
		ハンズフリー通話中	保留になります（保留メロディは流れません） ハンドセットを取りあげて、お話しください
	コードレス電話機	外の相手の方とお話し中	保留になります（保留メロディは流れません） 主電話機でハンドセットを取りあげてお話しください コードレス電話機は圏外になります
		保留中	保留メロディが止まります（保留はそのまま続きます） 主電話機でハンドセットを取りあげてお話しください コードレス電話機は圏外になります
		ハンズフリー通話中	保留になります（保留メロディは流れません） 主電話機でハンドセットを取りあげてお話しください コードレス電話機は圏外になります
コードレス電話機「LP1」	Lモードゲートウェイ接続中	通信が切断します	
アナログポートの電話機・ファクス	通話中・通信中	通話・通信が切断します	
停電中	主電話機	電話をかけるには	ハンドセットを取りあげてかけてください （電話帳ダイヤル、簡単ダイヤルで電話をかけることはできません）
		電話がかかってきたときは	ハンドセットを取りあげてお話しください
		保留を解除するには	ハンドセットを取りあげてお話しください
	コードレス電話機 アナログポートの電話機	電話をかけるには	電話はかけられません
		電話がかかってきたときは	着信音が鳴らず、電話は受けられません
	コードレス電話機「LP1」	Lモード	使用できません
	アナログポートのファクス	送信するには	送信できません
受信するには		受信できません	

停電中の着信音は、通常時の音量・音色とは異なります。



## お知らせ

コードレス電話機で外の相手の方とお話し中に停電になった場合、停電が復旧しても保留の状態が続きますが、主電話機でもコードレス電話機でも出られるようになります。主電話機では、停電になっても次の内容は保持されます。

< 保持される内容 >

- 再ダイヤル
- 電話帳ダイヤル
- 簡単ダイヤル
- 日付・時刻
- 留守セット
- 録音された用件
- 着信履歴（メッセージ到着お知らせサービスの履歴を除く）
- 機能設定

コードレス電話機の登録・設定内容は停電になっても消えません（Lモード関連を除く）。

外出先からのリモコン操作中に停電になると、電話は切れます。

留守番電話の動作中に停電になると電話は切れます。

保留中は、約5分たつと自動的に電話が切れます。

## こんな音がしたら

	音	主電話機	コードレス電話機	音の意味
電話をかける／受ける	ツー (外線発信音)	ハンドセットを取りあげたとき ハンスフリー ボタンを押したとき	充電器から取りあげたとき 通話 ボタン、または ハンスフリー ボタンを押したとき	外へ電話をかけられます
	ツー (内線発信音)	ハンドセットを置いたまま 保留 ボタンを押したとき	充電器から取りあげて、 電源切 ボタンを押したあとに 保留／内線ボタンを押したとき	内線の呼び出しができます
	ツーツー... (話中音)	電話をかけた相手の方がお話し中のとき、または他の電話機が使用中のとき		お話し中です
			主電話機から離れすぎているとき	主電話機に近づいてください
	ブルブル... (外線着信音)	外の相手の方から電話がかかってきたとき		電話がかかってきています
	ブルブル・ブルブル... (内線呼出音)	内線で呼び出しているとき、または呼び出されているとき		内線で呼び出して(呼び出されて)います
	ピッピッピッ... (圏外警報音)		お話し中に通話できる範囲から外れたとき	主電話機に近づいてください
ピー (約4秒間) (低電圧警報音)		電池残量がなくなりかけているとき	充電器に置いて充電してください	
登録・設定	ピー (1回) (確認音)	設定の操作が終わったとき		設定の操作が正しく行われました
	ピピピピ (エラー音)	登録または設定の操作を間違えたとき		登録・設定の操作が間違っています
その他	ピッ (キータッチ音)	ボタンを押したとき		ボタンが押されました
	ピッ (充電トーン)		充電器に置いたとき	充電器に正しく置かれました
	ピンポーン (ドアホン1) ピンボン、ピンポーン (ドアホン2) (ドアホン呼出音)	ドアホンから呼び出されたとき		ドアホンから呼び出されています

# 絵文字一覧

絵文字を入力できるのは、Lモードご利用時のみです。(●P97)

NO.	タイトル	イメージ
1	黒ハート	
2	揺れるハート	
3	失恋	
4	ハートたち (複数ハート)	
5	わーい (嬉しい顔)	
6	ちっ (怒った顔)	
7	がく~ (落胆した顔)	
8	もうやだ~ (悲しい顔)	
9	ふらふら	
10	グッド (上向き矢印)	
11	るんるん	
12	いい気分 (温泉)	
13	かわいい	
14	キスマーク	
15	ぴかぴか (新しい)	
16	ひらめき	
17	むかつ (怒り)	
18	パンチ	
19	爆弾	
20	ムード	

NO.	タイトル	イメージ
21	バッド (下向き矢印)	
22	眠い (睡眠)	
23	exclamation	
24	exclamation& question	
25	exclamation x 2	
26	どんっ (衝撃)	
27	あせあせ (飛び散る汗)	
28	たらっ (汗)	
29	ダッシュ (走り出すさま)	
30	ー (長音記号 1)	
31	ー (長音記号 2)	
32	phone to	
33	mail to	
34	fax to	
35	メール	
36	有料	
37	無料	
38	ID	
39	パスワード	
40	次項有	

NO.	タイトル	イメージ
41	クリア	
42	サーチ (調べる)	
43	NEW	
44	位置情報	
45	フリーダイヤル	
46	シャープダイヤル	
47	1	
48	2	
49	3	
50	4	
51	5	
52	6	
53	7	
54	8	
55	9	
56	0	
57	決定	
58	新月	
59	やや欠け月	
60	半月	

NO.	タイトル	イメージ
61	三日月	
62	満月	
63	目	
64	耳	
65	手(ゲー)	
66	手(チョキ)	
67	手(パー)	
68	足	
69	くつ	
70	眼鏡	
71	車椅子	
72	ハート	
73	スペード	
74	ダイヤ	
75	クラブ	
76	右斜め上	
77	右斜め下	
78	左斜め上	
79	犬	
80	猫	

NO.	タイトル	イメージ
81	リゾート	
82	クリスマス	
83	左斜め下	
84	家	
85	ビル	
86	郵便局	
87	病院	
88	銀行	
89	A T M	
90	ホテル	
91	コンビニ	
92	ガソリンスタンド	
93	駐車場	
94	信号	
95	トイレ	
96	レストラン	
97	喫茶店	
98	バー	
99	ビール	
100	ファーストフード	

NO.	タイトル	イメージ
101	ブティック	
102	美容院	
103	カラオケ	
104	映画	
105	遊園地	
106	音楽	
107	アート	
108	演劇	
109	イベント	
110	チケット	
111	喫煙	
112	禁煙	
113	電車	
114	地下鉄	
115	新幹線	
116	車(セダン)	
117	車(RV)	
118	バス	
119	船	
120	飛行機	

## 絵文字一覧

NO.	タイトル	イメージ
121	ポケットベル	
122	カメラ	
123	カバン	
124	本	
125	リボン	
126	プレゼント	
127	バースデー	
128	電話	
129	携帯電話	
130	メモ	
131	TV	
132	ゲーム	
133	CD	
134	スポーツ	
135	野球	
136	ゴルフ	
137	テニス	
138	サッカー	
139	スキー	
140	バスケットボール	

NO.	タイトル	イメージ
141	モータースポーツ	
142	牡羊座	
143	牡牛座	
144	双子座	
145	蟹座	
146	獅子座	
147	乙女座	
148	天秤座	
149	蠍座	
150	射手座	
151	山羊座	
152	水瓶座	
153	魚座	
154	晴れ	
155	曇り	
156	雨	
157	雪	
158	雷	
159	台風	
160	霧	

NO.	タイトル	イメージ
161	小雨	
162	Lモード	
163	Lポイントアップ	
164	メール	
165	Sメール	
166	(家庭用) F A X	
167	電話(2)	
168	通信中	
169	サービスカウンター	
170	マイエリア	
171	phone to(2)	
172	mail to(2)	
173	fax to(2)	
174	net to(2)	
175	hp to(2)	
176	有料コンテンツ	
177	無料コンテンツ	
178	着信メロディ	
179	カラー対応	
180	ダイナミックループ	

	タイトル	イメージ
181	ダイヤルQ 2	
182	料理	
183	掃除	
184	洗濯	
185	買い物	
186	お酒	
187	果物	
188	魚	
189	仮面	
190	花束	
191	クラッカー	
192	かわいい(2)	
193	にっこり	
194	キスシーン	
195	ごみ箱	
196	カート	
197	小雨(2)	
198	スポーツ(2)	
199	スキー(2)	
200	バス(2)	

NO.	タイトル	イメージ
201	船(2)	
202	音符	
203	パースデーケーキ	
204	ハイキング	
205	1(白抜き)	
206	2(白抜き)	
207	3(白抜き)	
208	4(白抜き)	
209	5(白抜き)	
210	6(白抜き)	
211	7(白抜き)	
212	8(白抜き)	
213	9(白抜き)	
214	0(白抜き)	
215	ごめんなさい(ありがとう)	
216	悲しい	
217	星	
218	チューリップ	
219	花	
220	旅行	

NO.	タイトル	イメージ
221	山	
222	海	
223	お弁当	
224	家族	
225	お父さん	
226	お母さん	
227	男の子	
228	女の子	
229	こども	
230	学校	
231	集まり	
232	公園	

# 区点コード表

## JIS第1水準漢字コード表

漢字コードは左列の番号と上横列の番号を組み合わせた4桁の番号です。

(例) 亜 漢字コード1601

下記の漢字コード表はJIS区点コード(第一水準漢字)に準じています(一部記号を除く)。

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
記号	010			、	。	、	・	:	;	?	
	011	!	、	。	、	、	^		_	\	
	012	ゞ	ゞ	”	全	々	々	○	—		
	013		/	\	~			…		‘	’
	014	“	”	(	)	[	]	[	]	{	}
	015			《	》	「	」	『	』	【	】
	016	+	-	±	×	÷	=		<	>	
	017							°			¥
	018	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	
	019										
	020										〒
	021					=					
	022										
	023										
	024					〒					
	026										
	027										
	028				‰				†	‡	¶
	029										
数字	031							0	1	2	3
	032	4	5	6	7	8	9				
アルファベット	033				A	B	C	D	E	F	G
	034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
	035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
	036						a	b	c	d	e
	037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
	039										z

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ひらがな	040		あ	あ	い	い	う	う	え	え	お
	041	お	か	が	き	ぎ	く	く	け	げ	こ
	042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
	043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
	044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
	045	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	ぺ	ほ
	046	ぼ	ぼ	ま	み	む	め	も	や	ゃ	ゆ
	047	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ
	048	ゐ	ゑ	を	ん						
カタカナ	050		ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ
	051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	ク	ケ	ゲ	コ
	052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
	053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
	054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
	055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
	056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ャ	ユ
	057	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ
	058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ			
	059										
	特殊記号	060									
061											
062											
063											
064							μ				
065											
070											
071											
072											
073											
074											
075											
076											
077											
078											
079											
080											
081											
082											
083											

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
あ	160		亜	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	
	161	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	芦	鯨	
	162	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	
	163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按		暗	案	闇
	164	鞍	杏									
い	164			以	伊	位	依	偉	困	夷	委	
	165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	
	166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遣	医	
	167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壺	溢	逸	
	168	稻	茨	芋	翳	允	印	咽			姻	
	169	引	飲	淫	胤	蔭						
	170		院	陰	隱	韻		吋				
う	170							右	宇	烏	羽	
	171	迂	雨	卯	鷓	窺	丑	碓	白	渦	嘘	
	172	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閨	噂	
	173	云	運	雲								
え	173				荏	餌	叡	嘗	嬰	影	映	
	174	曳	米	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	
	175	衛	詠	銳	液	疫	益	馭	悅	謁	越	
	176	閑	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨	
	177	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁	
	178	艶	苑	園	遠	鉛	鴛	塩				
お	178								於	汚	甥	
	179	凹	央	奥	往	応						
	180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯	
	181	鷗	黄	岡	冲	荻	億	屋	憶	臆	桶	
	182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音			

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
か	182										下	化
	183	仮	何	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	嫁
	184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	菓
	185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	菓
	186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨	峨
	187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	駕
	188	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔	悔
	189	恢	懷	戒	拐	改						
	190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	芥
	191	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害	崖	崖
	192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	涇	涇
	193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	廓
	194	拡	攪	格	核	殼	獲	確	穫	覺	角	角
	195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	額
	196	顎	掛	笠	檉	檀	梶	鰍	淵	割	喝	喝
	197	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯉	鯉
	198	叶	椋	樺	靴	株	兜	竈	釜	釜	鎌	鎌
	199	啮	鴨	栢	茅	萱						
	200		粥	刈	苳	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	刊
	201	勘	勸	卷	喚	堪	姦	完	官	寬	干	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	棺	
203	款	歡	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	看	
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	觀	觀	
205	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	陷	韓	館	館	
206	舘	丸	含	岸	巖	玩	癩	眼	岩	翫	翫	
207	廩	雁	頑	顏	願							

付録

# 区点コード表

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
き	207						企	伎	危	喜	器	
	208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	
	209	旗	既	期	棋	棄						
	210		機	帰	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	
	211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	
	212	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	
	213	犧	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	
	214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	
	215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	
	216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	
	217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	
	218	巨	拒	拋	拳	渠	虚				漁	
	219	禦	魚	亨	享	京						
	220		供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	
	221	脚	叫	喬	境	峽	強	彊	怯	恐	恭	
	222	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	
	223	蕎	郷	鏡	響	響	驚	仰	凝	堯	曉	
	224	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅	勤	均	
	225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	
	226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟			
	<	226										九
		227	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	馭
		228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
		229	串	櫛	釧	屑	屈					
		230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	糸
		231	栗	線	窟	桑	歛	君	薰	訓	群	軍
232	郡											
け	232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	
	233	珪	型	契	形	徑	惠	慶	慧	憩	掲	
	234	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經	繼	
	235	繫	野	莖	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸	
	236	鷄	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙	桁	
	237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	暄	月	件	
	238	儉	倦	健	兼	券	劍			堅	嫌	
239	建	憲	懸	拳	捲							

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
け	240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	梟
	241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	頭	験
	242	鯨	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現
	243	絃	舷	言	諺	限					
	243							乎	個	古	呼
こ	244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	固
	245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	舘	狐
	246	顧	鼓	五	互	伍	午	吳	吾	娛	雇
	247	御	悟	梧	檣	瑚	暮	語	誤	護	醐
	248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倅	光	公	功
	249	効	勾	厚	口	向					
	250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉸
	256	砧	鋼	閣	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麴	克	刻
	258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甌
	259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	良	魂		
さ	261										些
	262	佐	又	峻	嵯	左	差	查	沙	磋	砂
	263	詐	鎖	袞	坐	座	挫	債	催	再	最
	264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	歲	濟
	265	災	采	犀	碎	砦	祭	斎	細	菜	裁
	266	載	際	劑	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	267	堺	神	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	269	鮭	笹	匙	冊	刷					
	270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜
	271	鯖	捌	鏑	鮫	皿	晒	三	傘	參	山
272	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕	
273	讚	贊	酸	餐	斬	暫	残				

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
し	273								仕	仔	伺
	274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姊	姿
	275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	系
	277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	278	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	児
	279	字	寺	慈	持	時					
	280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	281	耳	自	時	辞	汐	鹿	式	識	鳴	竺
	282	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	283	湿	漆	疾	質	実	部	篠	悒	柴	芝
	284	屢	蕊	縞	舍	写	射	捨	赦	斜	煮
	285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	286	尺	杓	灼	爵	酌	积	錫	若	寂	弱
	287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	289	綬	需	囚	収	周					
	290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	291	終	繡	習	臭	舟	菟	衆	襲	讐	蹴
	292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	從	戎	柔	汁	洪	獸	縱	重	銃	叔	
294	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	出	術	
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
し	298	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐
	299	恕	鋤	除	傷	償					
	300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	303	松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦
	304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	305	紹	肖	菖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	306	詳	象	賞	醬	鉦	鐘	鐘	障	鞞	上
	307	丈	丞	乘	冗	剌	城	場	壤	嬢	常
	308	情	擾	条	杖	淨	状	置	穰	蒸	讓
	309	釀	錠	囑	埴	飾					
	310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寢	審
	312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣				
す	315									筍	諏
	316	須	酢	凶	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	317	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	帥	錘	随
	318	瑞	髓	崇	高	数	枢	趨	難	据	杉
	319	梶	菅	頗	雀	裾					
	320		澄	摺	寸						

付録

区点コード表

3「参考」

# 区点コード表

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
せ	320					世	瀬	畝	是	凄	制
	321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	齐	税
	324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	雪	切
	326	接	撰	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戰
	328	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎
	329	煽	旋	穿	箭	線					
	330		織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐
	331	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禪	繕	膳							
そ	332					糲	噌	塑	岨	措	曾
	333	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	334	組	蘇	訴	阻	遯	鼠	僧	創	双	叢
	335	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	忽	想
	336	搜	掃	挿	搔	操	早	曹	巢	槍	槽
	337	漕	燥	争	瘦	相	窓	糟	総	綜	聡
	338	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	339	霜	騷	像	增	憎					
	340		臟	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	統
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	
た	343	他	多	太	汰	訖	唾	墮	妥	惰	打
	344	柁	舵	梢	陀	馱	驛	体	堆	对	耐
	345	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	348	宅	托	扞	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	349	諾	茸	夙	蛸	只					
	350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	豎	迎
	351	棚	谷	狸	鱒	樽	誰	炭	短	嘆	坦
	352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	壇	端	筆
	353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛				断
	354	暖	檀	段	男	談					

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ち	354							值	知	地	弛
	355	智	池	痴	稚	置	致	蜘蛛	遲	馳	築
	356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	室	茶	嫡	着
	357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	358	註	耐	鑄	駐	樽	瀦	猪	苧	著	貯
	359	丁	兆	洞	喋	寵					
	360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	362	暢	調	謀	超	跳	眺	長	頂	鳥	勅
	363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ	363								津	墜	椎
	364	槌	追	鎚	痛	通	塚	梅	摑	槻	佃
	365	漬	柘	辻	薦	綴	罇	椿	漬	坪	壺
	366	孀	紬	爪	吊	釣	鶴				
て	366							亭	低	停	偵
	367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	368	梯	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	369	艇	訂	諦	蹄	通					
	370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	371	的	笛	適	鎚	溺	哲	徹	撤	纏	甜
	372	的	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電			
と	373									兎	吐
	374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	袴	棟
	378	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等
	379	答	筒	糖	統	到					
	380		董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透
	381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	382	懂	撞	洞	瞳	童	胴	苟	道	銅	峠
	383	鴝	匿	得	徳	洩	凸	督	禿	篤	毒
	384	独	読	読	橡	凸	屯	敦	沌	鳶	苦
385	寅	寅	西	滯						遁	
386	頓	頓	吞	曇	鈍						

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
な	386					奈	那	内	乍	凧	薙	
	387	謎	灘	捺	鍋	檣	馴	縄	啜	南	楠	
	388	軟	難	汝								
に	388				二	尼	忒	迓	勾	賑	肉	
	389 390	虹	廿	日	乳	入	妊	忍	認			
ぬ	390									濡		
ね	390										襦	
	391	衿	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	
	392	粘										
の	392		乃	迺	之	苙	囊	惱	濃	納	能	
	393	腦	膿	農	覗	蚤						
は	393						巴	把	播	霸	杷	
	394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	糜	
	395	拌	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	
	396	倍	培	媒	梅	煤	狼	買	剥	博	賠	
	397	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	
	398	柏	泊	白	箔	粕	舶				曝	
	399	爆	縛	莫	駁	麥					漠	
	400		函	箱	裕	箸	筭	櫛	幡	肌	罰	
	401	畑	畠	八	鉢	澆	癸	髮	伐	判	妹	
	402	拔	筏	闊	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	征	
	403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版	
	404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	采	煩	
	405	頒	飯	挽	晚	番	盤	盤	蕃		蛮	
	ひ	405										匪
		406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407		比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	
408		誹	費	避	非	飛	樋		備	尾	微	
409		枇	毘	琵琶	眉	美						
410			鼻	柎	稗	匹	疋	髟	彦	膝	菱	
411		肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姬	媛	紐	
412		百	謬	依	彪	標	水	漂	瓢	票	表	
413		評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋏	蒜	
414 415		蛭	鱗	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	
ふ	415			不	付	埠	夫	婦	富	富	布	
	416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	
	417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	
	417	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	謬	
	418											

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ふ	419	伏	副	復	幅	服					
	420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	421	物	耐	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ	422							丙	併	兵	塀
	423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	塀
	424	僻	壁	癖	碧	別	警	蔑	篋	偏	変
	425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁
	426	鞭									
ほ	426		保	舗	舗	圃	捕	步	甫	補	輔
	427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	429	抱	捧	放	方	朋					
	430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	434	銚	防	吠	類	北	僕	卜	墨	撲	朴
	435	牧	陸	穆	鉤	勃	没	殆	堀	幌	奔
	436	本	翻	凡	盆						
ま	436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	437	昧	枚	每	哩	禎	幕	膜	枕	鮪	征
	438	鱒	榭	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	俣
	439	爾	磨	万	慢	滿					
	440			蔓							
み	440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民	眠	
む	441										務
	442	夢	無	牟	矛	霧	鷓	棕	婿	娘	
め	442										冥
	443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	444	免	棉	綿	緬	面	麵				
も	444								摸	模	茂
	445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	妄
	446	目	空	勿	餅	尤	戾	初	賁	問	默
	447	紋	門								悶
や	447			刃	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	448	矢	厄	役	約	薬	訖	躍	靖	柳	藪
	449	鍵									
ゆ	449		愉	愈	油	癒					

# 区点コード表

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ゆ	450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ	452										予
	453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	454	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用
	455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽
	456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら	456										羅
	457	螺	裸	来	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
	458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽		
り	458										利 吏
	459	履	李	梨	理	璃					
	460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	461	律	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	463	両	凌	寮	料	梁	涼	獠	療	瞭	稜
	464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	465	厘	林	淋	淋	琳	臨	輪	隣	隣	麟
る	466	瑠	壘	涼	累	類					
	466						令	伶	例	冷	励
れ	467	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗
	468	齡	曆	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	469	漣	煉	簾	練	聯					
	470		蓮	連	練						
	470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
ろ	471	露	勞	婁	廊	弄	朗	樓	榔	浪	漏
	472	牢	狼	籠	老	聾	蠟	郎	六	麓	禄
	473	肋	録	論							
	473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
わ	474	梓	鷺	互	巨	鱈	詫	藁	蕨	腕	湾
	475	碗	腕								
	475						(株)代(呼)				
478	(有)協										

## JIS第2水準漢字コード表

下記の漢字コード表はJIS区点コード（第二水準漢字）に準じています。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
480		弋	丐	丕	个	卩	、	井	丿	乂
481	乖	乘	亂	丿	豫	爭	舒	式	于	亞
482	亟	一	亢	京	毫	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仞	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佻	佗	佯	佻	侏	侏	佻	佻	佩	佰
485	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑
486	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑
487	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑
488	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑
489	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑
490		僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
491	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
492	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
493	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
494	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
495	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
496	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
497	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
498	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
499	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
500		辦	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
501	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
502	甸	甸	甸	甸	甸	甸	甸	甸	甸	甸
503	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸	匸
504	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮	卮
505	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠
506	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭
507	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩
508	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒
509	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
510		咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫
511	晤	晤	晤	晤	晤	晤	晤	晤	晤	晤
512	售	售	售	售	售	售	售	售	售	售
513	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯
514	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻
515	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
516	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴
517	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤
518	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼
519	囟	囟	囟	囟	囟	囟	囟	囟	囟	囟
520		圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜	圜
521	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏
522	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩	坩
523	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔
524	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡
525	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
526	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
527	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻
528	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭
529	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭
530		奸	奸	奸	奸	奸	奸	奸	奸	奸
531	姜	姜	姜	姜	姜	姜	姜	姜	姜	姜
532	婀	婀	婀	婀	婀	婀	婀	婀	婀	婀
533	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵
534	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌
535	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀
536	學	學	學	學	學	學	學	學	學	學
537	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔
538	寶	寶	寶	寶	寶	寶	寶	寶	寶	寶
539	尹	尹	尹	尹	尹	尹	尹	尹	尹	尹
540		屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐
541	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑
542	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
543	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
544	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌
545	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢
546	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔
547	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑
548	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟
549	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁
550		廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖
551	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬

# 区点コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
552	彘	弋	弑	彘	弩	弭	弭	弭	彈	彌
553	彎	弯	互	彖	彗	彙	彡	彭	彳	衍
554	徃	徂	徂	徂	徂	徂	徂	徂	徂	徂
555	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃
556	惠	忿	怡	恠	怙	恠	恠	恠	恠	恠
557	怕	佛	怦	怏	怏	恚	恚	恚	恚	恚
558	協	恆	恍	恣	恃	恤	恠	恠	恠	恠
559	悃	悃	悃	悃	悃	悃	悃	悃	悃	悃
560		悄	俊	悖	悖	悖	悖	悖	悖	悖
561	惠	惓	悴	悴	悽	惆	悵	悵	悵	悵
562	愆	惶	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
563	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
564	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
565	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
566	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
567	應	懷	懈	勲	懍	愴	懋	懋	懋	懋
568	憑	懶	懣	懣	懣	懣	懣	懣	懣	懣
569	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍
570		戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛
571	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
572	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
573	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
574	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
575	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
576	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
577	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
578	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
579	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
580		據	據	據	據	據	據	據	據	據
581	舉	擠	擡	擡	擡	擡	擡	擡	擡	擡
582	擺	攀	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪
583	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪
584	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪	攪
585	斷	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃
586	无	旱	旱	旱	旱	旱	旱	旱	旱	旱
587	易	晏	晄	晉	晄	晄	晄	晄	晄	晄
588	晄	晄	晄	晄	晄	晄	晄	晄	晄	晄
589	暨	暹	暹	暹	暹	暹	暹	暹	暹	暹
590		曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄
591	曳	曷	肫	肫	肫	肫	肫	肫	肫	肫

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
592	朶	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓
593	杓	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰
594	枷	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯
595	柢	柢	柢	柢	柢	柢	柢	柢	柢	柢
596	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀
597	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟
598	梵	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓
599	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢
600		栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢	栢
601	棹	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠
602	楷	胡	胡	胡	胡	胡	胡	胡	胡	胡
603	楸	椰	椰	椰	椰	椰	椰	椰	椰	椰
604	楷	槁	槁	槁	槁	槁	槁	槁	槁	槁
605	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
606	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
607	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
608	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
609	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
610		榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
611	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
612	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧	榧
613	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎
614	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎
615	殞	殞	殞	殞	殞	殞	殞	殞	殞	殞
616	毳	毫	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳
617	氣	永	汕	汕	汕	汕	汕	汕	汕	汕
618	汾	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
619	泗	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
620		汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
621	洽	洸	洸	洸	洸	洸	洸	洸	洸	洸
622	洽	洸	洸	洸	洸	洸	洸	洸	洸	洸
623	涵	淇	淇	淇	淇	淇	淇	淇	淇	淇
624	浙	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺	淺
625	渙	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚	浚
626	湃	渺	渺	渺	渺	渺	渺	渺	渺	渺
627	混	溷	溷	溷	溷	溷	溷	溷	溷	溷
628	溷	溷	溷	溷	溷	溷	溷	溷	溷	溷
629	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲
630		滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲
631	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
632	澳	澗	澡	澤	澹	漬	漚	濟	濕	漚
633	瀾	濘	瀆	濮	濛	瀉	瀟	濺	瀑	瀆
634	瀏	濾	瀛	瀚	渚	瀝	瀘	瀟	瀾	瀾
635	激	灑	灣	炙	炒	炯	炯	炬	炸	炳
636	炮	烟	佻	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	熙	熙	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	煩	熨	熬	熨	熹	熾	燒	燉	燻	燎
639	燠	燉	燧	燧	燼					
640		爇	爇	爇	爇	爇	爇	爇	爇	爇
641	爲	爇	爇	爇	爇	爇	爇	爇	爇	爇
642	犁	犁	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇	犇
643	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎
644	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗
645	獎	獾	默	獾	獾	獾	獾	獾	獾	獾
646	獺	珈	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳	玳
647	琅	瑯	琥	瑀	瑁	瑂	瑃	瑄	瑅	瑆
648	瑇	瑜	瑈	瑉	瑊	瑋	瑌	瑍	瑎	瑏
649	璧	瓊	瓏	瓠	瓡	瓢	瓣	瓤	瓥	瓦
650		瓧	瓨	瓩	瓪	瓫	瓬	瓭	瓮	瓯
651	瓷	甄	甃	甄	甅	甆	甇	甈	甉	甊
652	甋	甌	甎	甏	甑	甓	甔	甕	甖	甗
653	甙	甚	甛	甜	甝	甞	甠	甡	產	産
654	疊	疊	疊	疔	疒	疓	疔	疕	疖	疗
655	疘	疙	疚	疛	疜	疝	疞	疟	疠	疡
656	疢	疣	疤	疥	疦	疧	疨	疩	疪	疫
657	瘋	瘍	疬	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
658	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
659	癪	癫	癬	癭	癮					
660		癯	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰	癰
661	皖	皓	皙	皚	皑	皒	皓	皔	皕	皖
662	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍
663	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
664	眸	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇	睇
665	瞎	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋
666	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽	瞽
667	砌	砒	砑	砒	砑	砒	砑	砒	砑	砒
668	砒	砑	砒	砑	砒	砑	砒	砑	砒	砑
669	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪
670		礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪
671	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
672	楔	稷	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禹	秉
673	枇	稷	秬	稷	稷	稷	稷	稷	稷	稷
674	稷	稷	稷	稷	稷	稷	稷	稷	稷	稷
675	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢
676	窖	窩	竈	竈	竈	竈	竈	竈	竈	竈
677	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊
678	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊
679	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈
680		筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈
681	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈
682	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈
683	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈
684	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈
685	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈	筈
686	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
687	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
688	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝
689	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝
690		紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
691	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
692	經	綉	條	綉	綉	綉	綉	綉	綉	綉
693	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
694	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
695	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
696	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
697	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
698	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
699	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
700		罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
701	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
702	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
703	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
704	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
705	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
706	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
707	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
708	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛
709	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛
710		脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛
711	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦

# 区点コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
712	腔	脰	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈	膈
713	臂	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺
714	櫛	臧	臧	臧	臧	臧	臧	臧	臧	臧
715	舍	舐	舖	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩
716	艦	艦	艦	艦	艦	艦	艦	艦	艦	艦
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芫	芫	芫	芫
718	苴	苟	苜	苴	苴	苴	苴	苴	苴	苴
719	苞	茆	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
720		茵	茴	茗	茲	茱	苟	茹	苻	苔
721	茯	茫	茗	荔	莅	莛	莪	荅	莢	莖
722	莫	莎	蒟	莊	茶	菟	荳	葱	莠	莉
723	苋	菴	萱	董	萑	菴	萃	菘	萋	菁
724	幕	萋	菠	菲	萍	范	蒴	莽	莢	菱
725	苎	葭	葭	葭	葭	葭	葭	葭	葭	葭
726	蒂	葩	葆	萬	葯	施	蒿	葦	蓋	蕪
727	蒿	蒟	蒞	蒼	弱	蓍	蓍	蓍	蓍	蓍
728	莠	蔡	宿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔕	蔕	蔕
729	蓼	蔴	薺	薺	薺	薺	薺	薺	薺	薺
730		蓴	藜	藜	藜	藜	藜	藜	藜	藜
731	蕘	蕭	薔	薔	薔	薔	薔	薔	薔	薔
732	藉	齊	藏	臺	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘊	蘋	蘋	蘭	蘆	龍	蘚	蘚	蘚
734	虍	虍	虍	虍	虍	虍	虍	虍	虍	虍
735	蚋	蚌	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶
736	蛔	蛞	蛞	蛞	蛞	蛞	蛞	蛞	蛞	蛞
737	蜀	蜃	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻
738	蝮	蜻	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥	蜥
739	蝴	蝗	蝨	蝨	蝨	蝨	蝨	蝨	蝨	蝨
740		蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
741	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
742	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
743	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
744	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤
745	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤
746	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤
747	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤
748	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤
749	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤
750	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤
751	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
752	覺	覽	覲	觀	觚	觚	觚	觚	觚	觚
753	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃
754	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒
755	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
756	誼	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫
757	論	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛
758	謳	鞫	警	謫	謾	謾	謾	謾	謾	謾
759	證	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚
760		譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚	譚
761	讓	識	識	識	識	識	識	識	識	識
762	豐	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕
763	狸	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌
764	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳
765	賻	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄
766	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄
767	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾
768	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
769	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂
770		蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
771	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
772	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡
773	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡	躡
774	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾
775	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻
776	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻
777	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭
778	迥	迥	迥	迥	迥	迥	迥	迥	迥	迥
779	迥	迥	迥	迥	迥	迥	迥	迥	迥	迥
780		遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐	遐
781	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞
782	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊
783	郭	郭	郭	郭	郭	郭	郭	郭	郭	郭
784	酥	醑	醑	醑	醑	醑	醑	醑	醑	醑
785	醑	醑	醑	醑	醑	醑	醑	醑	醑	醑
786	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵
787	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕
788	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤
789	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤
790		錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙	錙
791	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼	鍼

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
792	鑿	縮	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃
793	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃	鏃
794	鑿	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄
795	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄
796	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔
797	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔
798	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關
799	陘	陘	陘	陘	陘	陘	陘	陘	陘	陘
800		陘	陘	陘	陘	陘	陘	陘	陘	陘
801	險	陘	陘	陘	陘	陘	陘	陘	陘	陘
802	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋
803	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏
804	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏
805	靛	靛	靛	靛	靛	靛	靛	靛	靛	靛
806	靛	靛	靛	靛	靛	靛	靛	靛	靛	靛
807	靛	靛	靛	靛	靛	靛	靛	靛	靛	靛
808	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶
809	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏
810		顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏
811	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭
812	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞
813	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞
814	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
815	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟
816	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅
817	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢
818	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
819	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
820		髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
821	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔
822	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎	魎
823	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
824	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫	錫
825	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀
826	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀	鯀
827	繪	繪	繪	繪	繪	繪	繪	繪	繪	繪
828	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱
829	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩
830		鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩
831	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
832	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉
833	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉	鴉
834	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋
835	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋
836	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠
837	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠
838	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠
839	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠	黠
840		堯	堯	遙	遙	遙	熙			

付録

区点コード表

3「参考」

## アルファベット

Bookmark	106
データを送信する	144
登録する	106
Bookmarkデータ送信	144
FAX TO機能	116
INSナンバー・ディスプレイ	13、71
相手の方が電話番号を通知しないとき	
着信音を鳴らさないようにする（非通知拒否）	72
相手の方の電話番号が表示されない理由	72
かけてきた方にこちらからかけ直す	
（蓄積番号発信）	72
かけてきた方の電話番号を表示する	
（着信履歴表示）	72
ディスプレイの表示例	71、152
電話番号を確認してから受ける	39、41、71
INSネット64回線	28
INSネットサービス	13
INSボイスワープ	13、80
INSメッセージ到着お知らせサービス	13、82
i・ナンバー	13、76
LCDコントラスト	154、162、167、168
L設定	142
Lテーブル	81、155
Lボタン	22
Lメール	95
Lメールサービス	90
Lモード	12、81、85
Lモードゲートウェイ	82、91
Lモード対応コードレス電話機	12
Lワープ	108
Lワープ情報	89
MAIL TO機能	117
PHONE TO機能	116
PHS対応電話機	12、172
PIAFS	12、172
Sメール	95
Sメールサービス	90
URL	
確認する	91、107、109
コピーする	93、105、109
入力する	104
履歴を表示する	105
URL参照	91
URLを教える	93
WEB TO機能	118

## 五十音

## 【ア行】

アキュムレート録音	65、157、167
アナログ通信機器	12、14
アナログ通信機器を接続する	29
アナログ通信機器を利用する	169
アナログポート	19
アナログポートの設定	169
暗証番号	68
暗証番号の登録・変更・消去	68、154、167
アンテナ	18、22、25
上ボタン/下ボタン	18
液晶ディスプレイ	18、22、25
LCDコントラスト調整	154、162
液晶ディスプレイの見かた	21、24、27
エッジライト	23
エフェクト設定	161、168
絵文字	184
応答メッセージ	
応答専用メッセージ	64
応答録音メッセージ	64
自分の声で録音する	67、157、167
置き場所	6
音	
こんな音がしたら	183
オプション	177
音声呼出	60、158
音量	
コードレス電話機の音量を調節する	148、149
主電話機の音量を調節する	147

## 【カ行】

ガイドランス設定	164
各部の名前	18、22、25
画像選択表示	113
画像表示設定	143、168
壁掛け	175、177
画面メモ	110、114
簡単ダイヤル	
簡単ダイヤル検索	52、165、168
簡単ダイヤルでかける	52
簡単ダイヤルの登録・修正・消去	45、46、48、50
記憶されている電話番号をコピーして登録する	46、49
キータッチトーン	154、163、165、167、168
キーパッドファシリティ	84
機能番号一覧	167、168
キャッチ機能	78

キャッチボタン ..... 18、22、25  
 切 / 電源ボタン ..... 22、25  
 クイック通話 ..... 146、163、166、168  
 区点コード ..... 188  
 クリアボタン ..... 18、22、25  
 警報音 ..... 151、183  
 圏外 ..... 32、152、183  
 コード押さえ ..... 19、28  
 コードレス電話機  
   コードレス電話機の電源を入れる / 切る ..... 30  
   コードレス電話機を充電する ..... 31  
   電池残量を確認する ..... 32  
   電波の状態を確認する ..... 32  
 故障かな? と思ったら ..... 179  
 コピー ..... 98  
 コマンドナビゲーションボタン ..... 22  
 コントラスト ..... 154、162、167、168

【サ行】

サービスガイド ..... 12  
 再生ボタン ..... 18  
 再ダイヤル ..... 43  
   再ダイヤルを消去する ..... 43、44  
 再ダイヤルボタン ..... 18、22、25  
 サイト画面 ..... 91、92  
 再読込 ..... 112  
 サブアドレス ..... 13  
   相手の方のサブアドレスの表示のされかた ..... 79  
   この電話機のサブアドレス ..... 79  
   サブアドレス区切 ..... 156、167  
   サブアドレスを指定して電話をかける ..... 79  
   サブアドレスを通知する ..... 156、167  
 時刻の設定 ..... 33  
 シャープボタン ..... 18、22、25  
 充電 ..... 31  
 充電器 ..... 17  
   充電器を壁に取り付ける ..... 175  
   充電器を準備する ..... 31  
 充電器用電源アダプタ ..... 17  
 充電ランプ ..... 23、26  
 受信メール  
   削除する ..... 135  
   差出人を電話帳登録する ..... 133  
   受信する ..... 100  
   転送する ..... 132  
   返信する ..... 130  
   保護する ..... 134  
   読み直す ..... 102  
   読む ..... 100

受信メール一覧画面 ..... 129  
   並べ替える ..... 136  
   表示方法を切り替える ..... 137  
 主電話機  
   主電話機を壁に取り付ける ..... 175  
   主電話機を接続する ..... 28  
 主電話機用壁掛けアダプタ ..... 177  
 主電話機用電源アダプタ ..... 17  
 受話音量 ..... 147、148、149  
 受話口 ..... 18、22、25  
 仕様 ..... 211  
 情報検索サービス ..... 89  
 署名 ..... 139  
 スクリーン設定 ..... 114  
 スクリーン選択 ..... 164  
 スターボタン ..... 18、22、25  
 スピーカ ..... 18  
 スピーカ音量 ..... 147、148、149  
 セットボタン ..... 18  
 センタ番号 ..... 82  
 センタ番号確認 ..... 143  
 操作早見表 ..... 205  
 送信メール  
   宛先を電話帳登録する ..... 122  
   削除する ..... 126  
   作成する ..... 95  
   署名を付ける ..... 139  
   送信する ..... 95、123  
   手直しする ..... 124  
   保護する ..... 125  
   保存する ..... 99  
 送信メール一覧画面 ..... 120  
   並べ替える ..... 127  
   表示方法を切り替える ..... 128  
 増設用コードレス電話機 ..... 177  
 送話口 ..... 18、22、25  
 ソート ..... 127、136  
 ソフトキー1 ..... 22  
 ソフトキー2 (電話帳ボタン) ..... 22  
 ソフトキー3 (再ダイヤル / 着信履歴 / クリアボタン) ..... 22

【タ行】

ダイヤルボタン ..... 18、22、25  
 ダイヤルライト ..... 20、23、26  
 端末機器自動設定 ..... 142  
 チェックボックス ..... 94  
 蓄積番号発信 ..... 73  
 着信 ..... 38

- 着信音
    - 着信音切替 ..... 160、165、168
    - 着信音量 ..... 147、148、149
    - 着信回数 ..... 65、157
  - 着信メロディ
    - 設定する ..... 160
    - ダウンロードする ..... 119
  - 着信履歴
    - かけてきた相手の方にかかけ直す ..... 73、74、75
    - 着信履歴を消去する ..... 73、74、75
  - 着信履歴ボタン ..... 22
  - 追加番号 ..... 76
  - 通話時間表示 ..... 151
  - 通話ボタン ..... 22、25
  - 通話ランプ ..... 23、26
  - 通話料金表示 ..... 151
  - 通話録音 ..... 84
  - 通話録音ボタン ..... 18
  - 定型文
    - 作り変える ..... 138
    - 入力する ..... 97
  - ディスプレイ表示 ..... 21、24、27、152、153
  - 停電になったとき ..... 182
  - データアップロード ..... 144
  - データ着信子機 ..... 156、172
  - データ通信 ..... 12、172
  - データ通信モード ..... 156
  - テキストボックス ..... 93
  - 電源アダプタ ..... 17、28
  - 電源アダプタコード差込口 ..... 19、28、31
  - 電源ボタン ..... 22、25
  - 電源を入れる ..... 30
  - 転送
    - 保留転送 ..... 62
  - 電池カバー ..... 30、178
  - 電池コネクタ ..... 30、178
  - 電池残量 ..... 32
  - 電池パック ..... 17
    - オプション ..... 177
    - 電池の使用可能時間 ..... 32
    - 電池パック回収のお願い ..... 178
    - 電池パックを交換する ..... 178
  - 電波の状態 ..... 32
  - 電話機コード差込口 ..... 19、28
  - 電話帳ダイヤル ..... 12
    - 記憶されている電話番号を
      - コピーして登録する ..... 46、47
      - データを送信する ..... 144
      - 電話帳全削除 ..... 166
      - 電話帳ダイヤルでかける ..... 52、53
    - 電話帳ダイヤルを
      - 登録・修正・消去する ..... 45、46、48、50
      - メールアドレスを登録する ..... 122、133
  - 電話帳データ送信 ..... 144
  - 電話帳ボタン ..... 18、22、25
  - 電話を受ける
    - 相手の方に待っていただく ..... 42
    - クイック通話 ..... 40
    - コードレス電話機で受ける ..... 40
    - 主電話機で受ける ..... 38
    - 通話中に受ける ..... 78
    - ハンズフリーで受ける ..... 38、40
  - 電話をかける
    - 同じ相手の方にかかけ直す ..... 43
    - 簡単ダイヤルでかける ..... 52
    - クイック通話 ..... 36
    - コードレス電話機でかける ..... 36
    - 主電話機でかける ..... 34
    - 通話中にかける ..... 146
    - 電話帳ダイヤルでかける ..... 54
    - ハンズフリーでかける ..... 34、36
    - プリセット発信 ..... 35、37、146
  - ドアホン ..... 176
    - ドアホンに応答する ..... 176
    - ドアホンを接続する ..... 158、176
  - ドアホン着信規制の設定 ..... 158
  - ドアホンボックス ..... 177
  - 登録・設定 ..... 154
    - コードレス電話機から行う ..... 160、165
    - 主電話機から行う ..... 154
  - トーン呼出 ..... 60、158
  - トップメニュー ..... 89
  - 取扱説明書の読み進めかた ..... 16
  - とりけしボタン ..... 18
  - 取りつぐ ..... 62
- 【ナ行】**
- 内線通話 ..... 60、150
    - コードレス電話機から呼び出す ..... 61
    - 主電話機から呼び出す ..... 60
    - 内線呼出の方法を設定する ..... 158、167
  - 内線トークバック ..... 12、60、158
  - 内線番号 ..... 60、150、163、168
  - 内線番号表示 ..... 163
  - 内線呼出の設定 ..... 158、167
  - 内蔵メッセージ ..... 64
  - 内容画面 ..... 102、121
  - ナビゲーションボタン ..... 22
  - 鳴り分け ..... 47

ナンバー・ディスプレイ……………71  
 入力モード……………57  
 ネームディスプレイ……………72、152

【ハ行】

パスワード……………87、209  
 バックライト……………20、23、26  
 発信……………34、36  
 発信者番号通知……………70  
     発信者番号にサブアドレスが含まれるようにする……………79  
 発信ボタン……………156、167  
 貼り付け……………98  
 パッド調整……………154  
 ハンズフリー通話……………12、34、36、146  
 ハンズフリーボタン……………18、22、25  
 ハンズフリーランプ……………20、26  
 ハンドセット……………18  
 ハンドセットコード……………18  
 ハンドセットコード差込口……………28  
 左ボタン / 右ボタン……………18  
 非通知拒否……………72、158  
 日付・時刻の設定……………32、33、154、162、166  
 ファクス……………14  
     ファクスを受信する……………170  
     ファクスを接続したときの設定……………169  
     ファクスを接続する……………170  
 ファクス転送設定……………116、163  
 フォワードメール……………132  
 付属品……………17、175  
 フックスイッチ……………18  
 ブッシュホンサービス……………84  
 ブラウザボード接続端子……………22  
 プリセット発信……………35、37  
 ヘルプ機能……………83  
 返信メール……………130  
 ポーズ（待ち時間）……………151  
 ホームページ  
     再読込……………112  
     保存する……………110  
     見る……………91、104  
 保守サービス……………211  
 保留……………42、150  
 保留転送……………62、150  
     コードレス電話機から取りつぐ……………63  
     主電話機から取りつぐ……………62  
 保留 / 内線ボタン……………18、22、25  
 保留 / 内線ランプ……………20  
 保留リコール……………42

【マ行】

マイアドレス……………209  
 マイク……………18、22、25  
 待ち受け画面……………114、164  
 未送信メール……………123  
 未読メール……………100  
 無通信監視タイマ……………145  
 迷惑メール……………88  
 迷惑メールお断り機能……………210  
 メール……………95  
 メールアドレス  
     宛先を入力する……………96  
     電話帳に登録する……………45、133  
 メール一覧画面……………120、129  
 メール件数確認……………141  
 メールサービス……………90  
 メール受信音……………160、168  
 メール内容画面……………102、121  
 メニューボタン……………18、25  
 メッセージセンタ……………82  
 メッセージ到着お知らせサービス……………82  
 モード切替……………165、168  
 文字入力  
     ボタンと文字の対応表……………57、58、59  
     文字を入力する……………57、58、59

【ヤ行】

用件……………64  
     外出先から用件を聞く……………69  
     用件再生中にできる操作……………66  
     用件を聞く……………66  
     用件をすべて消去する……………157  
     留守を解除したあとに用件を聞き直す……………66  
     留守をセットしたまま用件を再生する……………66  
 用件録音……………64  
 呼出音……………147、148、149

【ラ行】

ラジオボタン……………94  
 ラストページ……………93  
 ランプ表示……………20、23、26  
 リモコン操作……………68  
     暗証番号に登録する……………68  
     外出先から用件を聞く……………69  
 留守番電話……………64  
     自分の声で応答メッセージを録音する……………67  
     内蔵メッセージ……………64  
     留守を解除する……………66  
     留守をセットする……………65

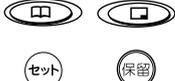
留守ボタン	18
留守ランプ	20
録音	
応答メッセージ録音	67
通話録音	84
用件録音	64
録音時間	65

## 【ワ行】

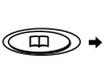
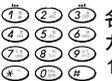
ワイヤレスパソコンアダプタ	172
ワイヤレスモデムアダプタA	174

# 操作早見表

(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

記号説明							
	ハンドセットを取りあげます	ハンドセットを置きます	各機能ボタンを押します	左右上下ボタンを繰り返し押します	ダイヤルボタンを押します	お話しします	マイクに向かってお話しします

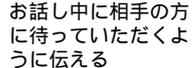
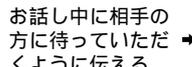
## 相手先を登録する

項目	操作	参照
電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルに登録する	 1秒以上押す →  名前 →  [OK] /  セット →  [OK] /  セット →  フリガナ →  [OK] /  セット →  電話番号 →  →  [トウロク] /  セット で終了	P45
電話帳ダイヤルでかける	 簡単ダイヤル番号 (0-9) →  →  (または  ハンズフリー →  )	P52
電話帳ダイヤルでかける	 →  名前のフリガナの先頭1文字 →  →  /  かけたい相手を選択 →  →  (または  ハンズフリー →  )	P54

## 電話をかける

簡単ダイヤルでかける	 簡単ダイヤル番号 (0-9) →  →  (または  ハンズフリー →  )	P52
電話帳ダイヤルでかける	 →  名前のフリガナの先頭1文字 →  →  /  かけたい相手を選択 →  →  (または  ハンズフリー →  )	P54

## 保留・保留転送をする

お話し中に相手の方に待っていただく (保留)	 お話し中に相手の方に待っていただくように伝える →  保留 → お話しに戻るときは  保留 → 	P42
電話を取りつく (保留転送)	 お話し中に相手の方に待っていただくように伝える →  保留 →  内線番号 (2-6) →  呼出音が終わったら呼びかける →  呼び出した電話機が応答したら 	P62

## 内線通話をする

他の内線電話機を呼び出す	 保留 →  内線番号 (2-6) →  →  → 	P60
他の内線電話機からの呼び出しを受ける	 呼出音が聞こえる →  (または  →  )	P61

### W-1200LP 留守番電話のリモコン操作

この操作は必ずプッシュホンなど、プッシュ信号の送れる電話機で行ってください。

- この電話機に電話をかける。
- 応答メッセージが聞こえはじめたら、  
田、暗証番号、田を押す。
  - 応答メッセージが止まります。止まらなかったときは、もう一度押し直す。
  - 録音件数のあと用件が再生される。(その他の操作が必要ない場合は、手順4へ)
- 「番号を押してください。」という音声聞こえたら、必要なリモコン操作をする。
  - リモコン操作を案内する音声を聞いてから操作するか、裏面のリモコン操作一覧を参照して操作する。
- リモコン操作が終わったら、電話を切る。

主電話機を壁に取り付ける際、この矢印の間隔にネジを取り付けてください (P175)

(83.5 mm)

# 操作早見表

## リモコン操作一覧

- 「番号を押してください」のあとにできる操作

用件の先頭からの再生 ..... ②  
用件の全消去 (再セット) ..... ⑧ ①

- 「再生中にできる操作

用件の戻し ..... ①      用件の送り ..... ③  
1つ前の用件再生 ..... ① ①      再生の停止 ..... ⑧



(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

記号説明								
	充電器から取りあげます	充電器に置きます	各機能ボタンを押します	コマンドナビゲーションボタン(中央)を押します	コマンドナビゲーションボタンを左、右、上、下方向に倒します	ダイヤルボタンを押します	お話しします	マイクに向かってお話しします

## 相手先を登録する

項目	項目	参照
電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルに登録する	1秒以上押す →  名前 →  →  /  →  フリガナ →  /	P46
	電話番号 →  →  メールアドレス →  →  /  →  鳴り分け設定 [登録] で終了)	
	→  /  →  画像設定 →  →  /  →  簡単ダイヤル番号 →  [登録] [登録] で終了)	

## 電話をかける

簡単ダイヤルでかける	→  簡単ダイヤル番号 (0~9) →  (または  ハズフリー →  )	P53
電話帳ダイヤルでかける	→  名前のフリガナの先頭1文字 →  /  →  /  かけたい相手を選択 (繰り返し) 通話 →  (または  ハズフリー →  )	P55

## 保留・保留転送をする

お話し中に相手の方に待っていただく(保留)	お話し中に相手の方に待っていただくように伝える →  保留/内線 → お話しに戻るとき  保留/内線 (または  通話) →	P42
電話を取りつく(保留転送)	お話し中に相手の方に待っていただくように伝える →  保留/内線 →  内線番号 (1~6) →  呼出音が終わったら呼びかける →  呼び出した電話機が応答したら  (または  電源切)	P63

## 内線通話をする

他の内線電話機を呼び出す	→  電源切 →  通話ランプが点灯していないことを確認して  保留/内線 →  内線番号 (1~6) →  →  (または  電源切)	P61
他の内線電話機からの呼び出しを受ける	呼出音が聞こえる →  (または  →  )	P60

充電器を壁に取り付ける際、この矢印の間隔にネジを取り付けてください  
(P175)

(33.5 mm)



# 操作早見表

(詳しくは、取扱説明書をご覧ください。)

記号説明								
	充電器から取りあげます	充電器に置きます	各機能ボタンを押します	左右上下ボタンを繰り返し押します	ダイヤルボタンを押します	お話しします	マイクに向かってお話しします	

## 相手先を登録する

項目	操作	参照
電話帳ダイヤル・簡単ダイヤルに登録する	1秒以上押す →  名前 →  [OK] →  /  [OK] →  フリガナ →  /  鳴り分け設定 →  [トウロク]	P48
	/  [OK] →  電話番号 →  →  /	
	/  [トウロク] →  /  簡単ダイヤル番号 →  [トウロク]	

## 電話をかける

簡単ダイヤルでかける	簡単ダイヤル番号 (0~9) →  通話 →  (または  →  )	P53
電話帳ダイヤルでかける	→  名前のフリガナの先頭1文字 →  /  →  /  かけたい相手を選択 →  通話 →  (または  →  )	P56

## 保留・保留転送をする

お話し中に相手の方に待っていただく (保留)	お話し中に相手の方に待っていただくように伝える →  保留/内線 → お話しに戻るとき  保留/内線 (または  通話) →	P42
電話を取りつく (保留転送)	お話し中に相手の方に待っていただくように伝える →  保留/内線 →  内線番号 (1~6) →  呼出音が終わったら呼びかける →  (または  切)	P63

## 内線通話をする

他の内線電話機を呼び出す	→  切 → 通話ランプが点灯していないことを確認して  保留/内線 →  内線番号 (1~6) →  →  (または  切)	P61
他の内線電話機からの呼び出しを受ける	呼出音が聞こえる →  (または  →  )	P60

充電器を壁に取り付ける際、この矢印の間隔にネジを取り付けてください (P175)

(33.5 mm)



(詳しくは、Lモードの使用説明書をご覧ください。)

## パスワードの入力

Lモードのご利用時にお客様の本人確認が必要な場合は、数字4桁のパスワードの入力が必要になります。パスワード入力画面が表示されたときに、パスワード入力と同時に「パスワード保存」にチェックをいれると、今後Lモードゲートウェイからパスワードの要求があったときにコードレス電話機が自動的にパスワードを送信します。  
入力保存の方法については、P87を参照してください。



### お知らせ

Lモードのご契約時には、パスワードが「0000」に設定されていますので、独自のパスワードを設定してください。  
お客様がパスワードを変更されない場合は「0000」がパスワードとして設定されたことになります。  
パスワードの変更方法や設定の状況を確認する方法については、Lモードの使用説明書をご覧ください。(平成13年7月現在)  
Lモードにおいてパスワードの入力が必要な場合は以下の場合です(すべて同一のパスワードを使用します)。  
・有料番組の申し込みおよび解約  
・L案内メールサービスの申し込みおよび解約  
・パスワードの変更  
・各種サービス機能の設定

パスワードは他人に知られないよう十分ご注意ください。お客様のパスワードの漏洩による損害等につきまして、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

パスワードをお忘れになった場合は、同番なしの116番へお問い合わせください。なお、その際には本人確認として、書面の提出が必要になります。

パスワード保存をされている場合は、ご契約者ご本人以外の方がLモードを利用した場合にも保存したパスワードが自動的に送信されます。そのため、パスワード入力が必要なサービスもご契約者と同様に利用可能となりますのでご注意ください。

間違ったパスワードを入力した場合は、再度パスワード入力画面が表示されます。パスワードをお確かめのうえ、もう一度パスワードの入力操作を行ってください。ただし、パスワードを4回連続して誤入力した場合は、メッセージが表示され、自動的にLモードゲートウェイとの接続が切断されます。

## 迷惑メールを防止するには

送信元のアドレスがわかっている迷惑メールや勧誘メールなどの不要なメールを防止するには、次の2つの方法があります。

メールアドレスをマイアドレスへ変更する。(「マイアドレスの設定」(P210)を参照してください。)

迷惑メールお断り機能を利用する。

### 迷惑メールお断り機能

送信元のアドレスがわかっている迷惑メールや勧誘メールなどの不要なメールについて、メールアドレスを登録しておく、登録されているメールアドレスから送られてくるメールの受信を拒否します。Sメールは未対応です。

登録可能なメールアドレスの件数は最大30件

登録可能なメールアドレスの文字は、半角で最大50文字



### お知らせ

マイアドレスと電話番号のアドレスを併用している場合は、マイアドレスと電話番号のアドレス両方について迷惑メールお断り機能でメールの受信を拒否します。

メール送信者がグループアドレスを変更している場合は、電話番号と任意グループアドレスの両方に対して、迷惑メールお断り機能を設定する方法が有効です。

登録、登録の削除、設定内容の確認方法など詳細については、Lモードの使用説明書をご覧ください。

## 迷惑メールお断り機能のアドレスを登録する



待ち受け画面でボタンを押す。

[トップメニュー] が選択されていることを確認し、ボタン [選択] を押す。

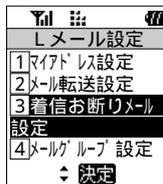
ボタンを 方向に倒して「メインメニュー」を選択し、ボタン [決定] を押す。  
メニューが表示されます。

ボタンを 方向に倒して「Lモードコーナー」を選択し、ボタン [決定] を押す。  
Lモードコーナーが表示されます。

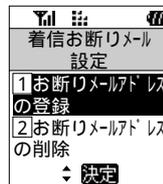
ボタンを 方向に倒して「Lモード各種設定」を選択し、ボタン [決定] を押す。

ボタンを 方向に倒して「Lメール設定」を選択し、ボタン [決定] を押す。  
パスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。  
Lメール設定が表示されます。

ボタンを 方向に倒して「着信お断りメール設定」を選択し、ボタン [決定] を押す。



「お断りメールアドレスの登録」が選択されていることを確認し、ボタン [決定] を押す。



ボタンを 方向に倒して、お断りメールアドレスの入力欄を表示させる。

着信を断るメールアドレスを入力する。



ボタンを 方向に倒して「決定」を選択し、ボタンを押す。  
登録されたアドレスが表示されます。

画面は表示例です。

続けて他のアドレスを登録する場合は、ボタンを 方向に倒して「登録」を選択し、ボタン「登録を続ける」を押し、に戻る。  
続けられない場合は、に進みます。

ボタンを2回押す。  
Lモードの操作が終了し、待ち受け画面に戻ります。

(詳しくは、Lモードの使用説明書をご覧ください。)

## マイアドレスの設定



Lモードのサービス利用開始時のお客様のLメールのアドレスは、「ご利用の電話番号@pipopa.ne.jp」です。このアドレスは、お好みのマイアドレス（英字と数字の組み合わせによる独自のアドレス）に変更することができます。  
なお設定により、マイアドレスと電話番号のアドレスを併用することもできます。併用の設定については、Lモードの使用説明書をご覧ください。

オプションのSメールのアドレスは、「ご利用の電話番号@s.pipopa.ne.jp」です。Lメールと同様にマイアドレスを設定することができます。設定方法はほぼLメールと同じです。詳細については、Lモードの使用説明書をご覧ください。



### お知らせ

マイアドレスの変更後もメールボックスのアドレスは変更されません。

マイアドレスは、3文字以上16文字以内の半角英字（A～Z、大文字、小文字の区別なし）半角数字（0～9）、ハイフン（-）、アンダーバー（\_）、ピリオド（.）の組み合わせがご利用になれます。ただし、ピリオドは最後の1文字には使用できません。

すでに他のお客様が使用されているマイアドレスと同じアドレスには、変更できません。（平成13年7月現在）

設定により、マイアドレスと電話番号のアドレスを併用することができます。併用されている場合は、送信メールの送信元アドレスはマイアドレスが表示されます。（平成13年7月現在）

### マイアドレスを設定する<Lメールの場合>

待ち受け画面で  
 ボタンを押す。

[トップメニュー] ボタンが選択されていることを確認し、  
 ボタン [選択] を押す。

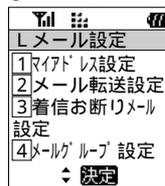
ボタンを 方向に倒して「メインメニュー」を選択し、 ボタン [決定] を押す。  
メニュー - が表示されます。

ボタンを 方向に倒して「Lモードコーナー」を選択し、 ボタン [決定] を押す。  
Lモードコーナーが表示されます。

ボタンを 方向に倒して「Lモード各種設定」を選択し、 ボタン [決定] を押す。

ボタンを 方向に倒して「Lメール設定」を選択し、 ボタン [決定] を押す。  
パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力してください。  
Lメール設定が表示されます。

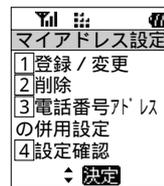
ボタンを 方向に倒して「マイアドレス設定」を選択し、 ボタン [決定] を押す。



ボタン [質問] を押す。

ボタンを 方向に倒して、第2希望の欄を表示させる。

「登録/変更」が選択されていることを確認し、 ボタン [決定] を押す。



第2希望の欄に新しいアドレスを入力する。  
指定しない場合は、に進みます。

第1希望の欄に新しいアドレスを入力する。

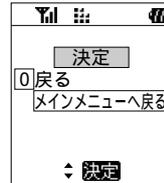


ボタン [決定] を押す。

第3希望の欄に新しいアドレスを入力する。  
指定しない場合は、に進みます。

ボタン [決定] を押す。

ボタンを 方向に倒して「決定」選択し、 ボタン [決定] を押す。



登録されたマイアドレスが表示されます。

ボタンを 方向に2回倒して、「決定」を表示させる。

画面は表示例です。



## 仕様 ( W-1200LP )

収容電話回線	適用回線：INSネット64回線 通信交換方式：Bチャンネル回線交換 接続インタフェース：6ピンモジュラージャック（DSU内蔵） インタフェース形態：P-MP 起動方式：常時起動 主電話機1台、コードレス電話機「LP1」1台、コードレス電話機「LP1」用充電器1台 *主電話機に対してコードレス電話機( PHS対応電話機含む )最大4台、アナログ通信機器1台、ワイヤレスパソコンアダプタ等最大4台、ワイヤレスモデムアダプタ最大2台
寸法・質量	主電話機：幅約241 mm×奥行約180 mm×高さ約74 mm・約850 g コードレス電話機「LP1」：幅約45 mm×奥行約29.5 mm×高さ約175 mm・約140 g （アンテナおよび突起部含む） コードレス電話機「LP1」用充電器：幅約80 mm×奥行約97 mm×高さ約53 mm・約80 g
使用電源	主電話機：AC100 V・50 / 60 Hz、DC11 V <sup>1</sup> コードレス電話機「LP1」：専用ニッケル水素電池 DC3.6 V コードレス電話機「LP1」用充電器：AC100 V・50 / 60 Hz DC10 V <sup>2</sup>
消費電力	主電話機：動作時最大約12 W 充電器：最大約4 W
録音時間	用件録音（約10分）（通話録音を含む） 無音圧縮を行ったとき 無音圧縮なしで約6分
時計精度	主電話機：約±60秒/月
JATE認証番号	CO1-0495JP

<sup>1</sup> 本商品に使用可能な電源アダプタは▽91-56069（定格入力：AC100 V 50 × 60 Hz 出力：DC11 V）です。

<sup>2</sup> 本商品に使用可能な電源アダプタは▽91-55962（定格入力：AC100 V 50 × 60 Hz 出力：DC10 V）です。

## 保守サービスのご案内

### 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理しますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

### 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

### 保守サービスの種類は

定額保守サービス	毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。）（故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要となります。

### 故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

### お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

### その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター： 0120-109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

### 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>  
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ： 0120 - 109217

電話番号をお間違いにならないように、ご注意ください。

©2001 NTTEAST・NTTWEST



本2221-1(2001.7)  
W-1200Pトリセツ